

令和元年度

主要な施策の成果説明書

一般会計

国民健康保険特別会計

公営簡易水道事業特別会計

令和元年度 主要な施策の成果説明書

目 次

一	般	会	計 ……	1		
			概要 ……	1		
			決算状況 ……	4		
総	務		費 ……	8		
民	生		費 ……	35		
衛	生		費 ……	68		
労	働		費 ……	87		
農	林	水	産	業	費 ……	90
商		工		費 ……	108	
土		木		費 ……	126	
消		防		費 ……	141	
教		育		費 ……	145	
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計 ……						182
公 営 簡 易 水 道 事 業 特 別 会 計 ……						190

番号	款	款 名 称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	2	総 務 費	1	2	広聴広報事業	情報交通課	8
2	2	総 務 費	1	3	アルプス囲碁村推進事業	企画財政課	9
3	2	総 務 費	1	3	定住促進事業	まちづくり交流課	10
4	2	総 務 費	1	3	ふるさと応援団事業	企画財政課	12
5	2	総 務 費	1	6	交通安全対策費	市 民 課	13
6	2	総 務 費	1	6	市民バス運行事業	情報交通課	14
7	2	総 務 費	1	6	公共交通対策事業	情報交通課	15
8	2	総 務 費	1	8	市民活動促進事業	まちづくり交流課	17
9	2	総 務 費	1	8	ひとが輝くまちづくり事業	まちづくり交流課	18
10	2	総 務 費	1	9	大町総合情報センター管理運営費	情報交通課	19
11	2	総 務 費	1	9	電子自治体構築事業	情報交通課	20
12	2	総 務 費	1	9	電算処理委託事業	情報交通課	21
13	2	総 務 費	1	9	ケーブルテレビ運営事業	情報交通課	22
14	2	総 務 費	1	11	八坂地域振興事業	八 坂 支 所	23
15	2	総 務 費	1	11	八坂定住促進事業	八 坂 支 所	24
16	2	総 務 費	1	11	明日香荘管理運営費	八 坂 支 所	25
17	2	総 務 費	1	12	美麻地域振興事業	美 麻 支 所	26
18	2	総 務 費	1	12	メンドシーノ交流事業	美 麻 支 所	28
19	2	総 務 費	1	12	美麻定住促進事業	美 麻 支 所	29
20	2	総 務 費	1	12	ぽかぽかランド美麻管理運営費	美 麻 支 所	30
21	2	総 務 費	1	13	芸術文化振興事業	まちづくり交流課	31
22	2	総 務 費	1	13	市民舞台芸術創作事業	生涯学習課	33
23	3	民 生 費	1	1	総合福祉センター管理事業	福 祉 課	35
24	3	民 生 費	1	1	市社会福祉協議会助成事業	福 祉 課	36
25	3	民 生 費	1	1	プレミアム付商品券事業	福 祉 課	37
26	3	民 生 費	1	2	その他障害者福祉サービス事業	福 祉 課	38
27	3	民 生 費	1	3	高齢者福祉一般経費	福 祉 課	40
28	3	民 生 費	1	3	高齢者福祉事業費	福 祉 課	41
29	3	民 生 費	1	4	社会就労センター運営管理費	福 祉 課	42
30	3	民 生 費	1	4	美麻福祉企業センター運営管理費	福 祉 課	43
31	3	民 生 費	1	6	福祉医療給付一般経費	市 民 課	44
32	3	民 生 費	1	7	介護予防包括的支援事業	福 祉 課	45
33	3	民 生 費	1	7	通所型介護予防事業	福 祉 課	46
34	3	民 生 費	1	7	訪問型介護予防事業	福 祉 課	47
35	3	民 生 費	1	7	介護予防普及啓発事業	福 祉 課	48
36	3	民 生 費	1	7	家族介護支援事業	福 祉 課	49
37	3	民 生 費	1	7	成年後見制度支援事業	福 祉 課	50
38	3	民 生 費	1	7	地域自立生活支援事業	福 祉 課	51
39	3	民 生 費	1	7	地域支援任意事業	福 祉 課	53
40	3	民 生 費	1	7	成年後見支援センター事業	福 祉 課	54
41	3	民 生 費	1	7	地域包括ケア実践事業	福 祉 課	55
42	3	民 生 費	1	7	認知症総合支援事業	福 祉 課	57
43	3	民 生 費	2	1	子育て応援事業	子育て支援課	58
44	3	民 生 費	2	1	幼稚園・認定こども園運営支援事業	子育て支援課	59
45	3	民 生 費	2	1	児童福祉扶助費	子育て支援課	60

番号	款	款 名 称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
46	3	民 生 費	2	1	母子等福祉費	子育て支援課	61
47	3	民 生 費	2	1	家庭児童相談室事業	子育て支援課	63
48	3	民 生 費	2	1	療育事業	子育て支援課	64
49	3	民 生 費	2	2	子育て支援センター事業	子育て支援課	65
50	3	民 生 費	2	2	児童クラブ運営事業	子育て支援課	66
51	3	民 生 費	2	3	保育所管理運営事業	子育て支援課	67
52	4	衛 生 費	1	1	病院事業運営費	企画財政課	68
53	4	衛 生 費	1	1	上原の湯管理費	市 民 課	69
54	4	衛 生 費	1	1	後期高齢者健診事業	市 民 課	70
55	4	衛 生 費	1	2	予防接種費	市 民 課	71
56	4	衛 生 費	1	3	妊婦・乳幼児健診事業	市 民 課	72
57	4	衛 生 費	1	3	母子保健事業	市 民 課	74
58	4	衛 生 費	1	3	子育て世代包括支援センター事業	市 民 課	75
59	4	衛 生 費	1	4	健康増進事業	市 民 課	76
60	4	衛 生 費	1	4	がん検診事業	市 民 課	77
61	4	衛 生 費	1	4	精神保健事業	市 民 課	79
62	4	衛 生 費	2	1	不法投棄対策事業	生活環境課	80
63	4	衛 生 費	2	3	し尿処理事業	生活環境課	81
64	4	衛 生 費	2	4	生ごみ等資源化推進事業	生活環境課	82
65	4	衛 生 費	3	1	環境調査事業	生活環境課	83
66	4	衛 生 費	3	1	環境保全事業	生活環境課	85
67	4	衛 生 費	3	1	自然エネルギー活用推進事業	生活環境課	86
68	5	労 働 費	1	1	創業支援事業	商工労政課	87
69	5	労 働 費	1	2	女性未来館ピュア運営事業	生涯学習課	89
70	6	農林水産業費	1	3	農業農村交流事業	農林水産課	90
71	6	農林水産業費	1	3	農業振興事業	農林水産課	91
72	6	農林水産業費	1	3	農業マーケティング事業	農林水産課	93
73	6	農林水産業費	1	3	農業経営基盤強化推進事業	農林水産課	94
74	6	農林水産業費	1	3	中山間地域等直接支払事業	農林水産課	95
75	6	農林水産業費	1	3	多面的機能支払事業	農林水産課	96
76	6	農林水産業費	1	3	農業推進支援センター事業	農林水産課	97
77	6	農林水産業費	1	3	遊休農地荒廃防止事業	農林水産課	98
78	6	農林水産業費	1	3	園芸振興事業	農林水産課	99
79	6	農林水産業費	1	3	有害鳥獣対策事業	農林水産課	100
80	6	農林水産業費	1	5	たかね市民農園管理費	農林水産課	101
81	6	農林水産業費	1	5	ふたえ市民農園管理費	美 麻 支 所	102
82	6	農林水産業費	1	5	おおしお市民農園管理費	美 麻 支 所	103
83	6	農林水産業費	2	1	農業用施設管理事業	建 設 課	104
84	6	農林水産業費	3	1	林業振興一般経費	農林水産課	105
85	6	農林水産業費	3	1	松林健全化推進事業	農林水産課	106
86	6	農林水産業費	3	1	森林環境譲与税事業	農林水産課	107
87	7	商 工 費	1	1	中小企業支援事業	商工労政課	108
88	7	商 工 費	1	1	ブランド振興事業	商工労政課	109
89	7	商 工 費	1	1	中心市街地多目的ホール管理事業	商工労政課	111
90	7	商 工 費	1	1	中心市街地活性化事業	商工労政課	112

番号	款	款 名 称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
91	7	商 工 費	1	1	プレミアム付商品券事業	商工労政課	113
92	7	商 工 費	1	2	工業振興・企業誘致事業	産業立地戦略室	114
93	7	商 工 費	1	2	工場等誘致振興助成事業	産業立地戦略室	115
94	7	商 工 費	1	3	観光誘客宣伝事業	観 光 課	116
95	7	商 工 費	1	3	観光資源活用事業	観 光 課	117
96	7	商 工 費	1	3	2次交通対策事業	観 光 課	118
97	7	商 工 費	1	3	仁科三湖振興事業	観 光 課	119
98	7	商 工 費	1	3	広域観光推進事業	観 光 課	120
99	7	商 工 費	1	3	インバウンド推進事業	観 光 課	121
100	7	商 工 費	1	3	山岳観光推進事業	観 光 課	122
101	7	商 工 費	1	3	着地観光充実事業	観 光 課	123
102	7	商 工 費	1	3	八坂観光施設管理費	八 坂 支 所	124
103	7	商 工 費	1	4	温泉供給事業	上下水道課	125
104	8	土 木 費	2	2	道路維持管理事業	建 設 課	126
105	8	土 木 費	2	2	交通安全施設整備事業	建 設 課	127
106	8	土 木 費	2	3	道路新設改良事業	建 設 課	128
107	8	土 木 費	2	4	雪害対策事業	建 設 課	129
108	8	土 木 費	3	1	水路維持改良事業	建 設 課	131
109	8	土 木 費	3	1	雨水対策整備受託事業	建 設 課	132
110	8	土 木 費	4	1	おたんじょ桜事業	建 設 課	133
111	8	土 木 費	4	2	街路整備事業	建 設 課	134
112	8	土 木 費	4	3	全国都市緑化フェア推進事業	建 設 課	135
113	8	土 木 費	4	3	仁科三湖周辺整備事業	建 設 課	137
114	8	土 木 費	4	4	住宅・建築物耐震化推進事業	建 設 課	138
115	8	土 木 費	4	4	住宅性能向上リフォーム支援事業	建 設 課	139
116	8	土 木 費	5	1	住宅管理費	建 設 課	140
117	9	消 防 費	1	2	消防団運営経費	消防防災課	141
118	9	消 防 費	1	3	消防施設整備事業	消防防災課	142
119	9	消 防 費	1	5	防災対策一般経費	消防防災課	143
120	9	消 防 費	1	5	防災施設整備事業	消防防災課	144
121	10	教 育 費	1	2	奨学金事業	学校教育課	145
122	10	教 育 費	1	2	山村留学支援事業	生涯学習課	146
123	10	教 育 費	1	2	コミュニティスクール推進事業	学校教育課	147
124	10	教 育 費	1	2	ICT活用推進事業	学校教育課	148
125	10	教 育 費	1	2	学校現場業務改善加速事業	学校教育課	149
126	10	教 育 費	2	2	小学校教育振興一般経費	学校教育課	150
127	10	教 育 費	3	2	中学校教育振興一般経費	学校教育課	151
128	10	教 育 費	4	1	エネルギー博物館運営費助成事業	生涯学習課	152
129	10	教 育 費	4	1	公民館分館整備助成事業	生涯学習課	153
130	10	教 育 費	4	1	生涯学習推進事業	生涯学習課	154
131	10	教 育 費	4	1	人権教育推進事業	生涯学習課	155
132	10	教 育 費	4	2	補導・環境浄化活動事業	生涯学習課	157
133	10	教 育 費	4	2	青少年育成事業	生涯学習課	158
134	10	教 育 費	4	3	大町公民館活動費	生涯学習課	159
135	10	教 育 費	4	3	平公民館活動費	生涯学習課	160

番号	款	款 名 称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
136	10	教 育 費	4	3	常盤公民館活動費	生涯学習課	161
137	10	教 育 費	4	3	社公民館活動費	生涯学習課	163
138	10	教 育 費	4	3	八坂公民館活動費	生涯学習課	165
139	10	教 育 費	4	3	美麻公民館活動費	生涯学習課	167
140	10	教 育 費	4	4	図書資料購入事業	生涯学習課	168
141	10	教 育 費	4	5	文化会館公演事業	生涯学習課	169
142	10	教 育 費	4	6	遺跡発掘調査事業	生涯学習課	171
143	10	教 育 費	4	6	中村家住宅管理事業	生涯学習課	172
144	10	教 育 費	5	1	体育大会運営事業	体 育 課	173
145	10	教 育 費	5	1	スポーツ振興事業	体 育 課	174
146	10	教 育 費	5	2	体育施設整備事業	体 育 課	175
147	10	教 育 費	5	3	おいしい給食費	学校教育課	176
148	10	教 育 費	6	1	山岳博物館教育普及事業	山岳博物館	177
149	10	教 育 費	6	1	山岳博物館調査研究事業	山岳博物館	178
150	10	教 育 費	6	1	山岳資料収集保管事業	山岳博物館	179
151	10	教 育 費	6	1	動植物飼育栽培繁殖事業	山岳博物館	180
152	10	教 育 費	6	1	ライチョウ飼育事業	山岳博物館	181

国民健康保険特別会計

番号	款	款 名 称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	6	保健事業費	1	1	特定健診・保健指導事業	市 民 課	185
2	6	保健事業費	2	1	保健衛生費	市 民 課	186
3	9	諸支出金	3	1	高額療養費貸付金	市 民 課	187
4	2	医 業 費	1	1	診療所医業費（八坂診療所直診勘定）	市 民 課	188
5	2	医 業 費	1	1	診療所医業費（美麻診療所直診勘定）	市 民 課	189

公営簡易水道事業特別会計

番号	款	款 名 称	項	目	事業名称	主管課名称	掲載頁
1	2	建設改良費	1	1	水道施設整備事業	上下水道課	191

一 般 会 計

はじめに

令和元年度の経済動向

令和新時代の我が国の経済は、「雇用・所得環境の改善が続き、企業収益が高水準で推移する中、個人消費や設備投資が増加傾向で推移するなど、緩やかな回復基調が続くことが見込まれる」との基調判断が示されており、実質 GDP の成長率は 0.9%程度、名目 GDP の成長率は 1.8%程度と見込まれ、消費者物価（総合）は 0.6%程度の上昇と見込まれています。

県内の経済状況は、年度当初では、雇用環境の改善が続くなかで、各種政策の効果により、回復していくことが期待されるとしていましたが、本年1月の景気動向では、海外経済の減速により弱含んでいるとし、令和元年台風第19号などの自然災害が経済に与える影響に留意する必要があるとしています。

当市では、第5次総合計画の施策目標をより早期に結実させるべく、情報収集を徹底するとともに、常に効果的な手法を検討し、切れ目ない連続性のある事業展開により、高齢化社会に対応可能な地域基盤の充実、市民福祉の向上、芸術文化の振興、観光振興、生活関連道路水路事業、教育文化施設の充実を重点に活力と魅力あふれる地域づくりに努めました。

令和2年度はオリンピック特需やインバウンド消費に支えられ、景気回復基調が続くと見込まれましたが、コロナ禍により状況が一変しました。経済動向や税収などの見通しが立たない中、新たな生活様式も見据え、職員ひとりひとりが更なる行財政改革を意識し、真に必要な施策を見極め、速やかに実行していく力が求められています。

以下、令和元年度の主要な施策の成果について報告いたします。

決算の概要

令和元年度一般会計決算は、歳入総額 17,672,066,836 円、歳出総額 17,034,606,983 円、差し引き形式収支は 637,459,853 円となりました。

このうち翌年度に繰り越すべき財源 195,076,000 円を差し引いた実質収支は 442,383,853 円の黒字となっています。

歳入

歳入では、市税の収入済額は 4,295,610,376 円で、前年度比 0.6%、25,915,871 円の増となっています。これは主に、賃金水準の改善や企業の業績回復による個人・法人市民税の増と、太陽光発電施設の建設などによる固定資産税の増によるものです。

市税の収納率は全体で 97.30%となり、前年度を 1.07%上回りました。

地方譲与税は 193,708,018 円で、森林環境譲与税が創設されたことにより、前年度比 5.5%の増、地方消費税交付金は消費動向の影響により、5.3%減の 542,071,000 円、自動車取得税交付金は消費増税に伴う税制改正により 26.7%減の 31,962,000 円となっております。

地方交付税は 5,758,150,000 円で 0.1%の増、内訳は、普通交付税が地方債償還額の減少や人口減等による減額要素はあるものの、幼児保育、社会福祉及び高齢者福祉に係る算定額が増加したことにより、0.8%増の 4,828,524,000 円、特別交付税が 3.2%減の 929,626,000 円です。

使用料及び手数料は 310,371,442 円で、10 月からの幼児教育及び保育の無償化による保育所使用料の減と、広域ごみ処理施設の稼働に伴うごみ処理手数料の減により、50,746,553 円の減となっております。

国庫支出金は 1,568,464,902 円で、小中学校への空調機器整備事業に対する繰越明許費冷房設備対応臨時特例交付金や、道路改良、除雪機械の整備に対する社会資本整備総合交付金の増などにより、前年比 30.4%増となっております。

県支出金は 887,357,304 円で、障害者自立支援給付費負担金や選挙執行に係る委託金などの増により、前年度比 4.4%の増となっております。

財産収入は、公有財産の売却により 77.8%増の 40,686,196 円となっております。

繰入金は 491,140,000 円で、ふるさと寄附金を原資とした、ふるさと応援基金繰入金的大幅減により、前年度比 52.1%の減となっております。

諸収入のうち受託事業収入では、雨水対策整備受託事業収入が 52.3%増の 78,455,820 円、雑入では、学校給食費の公会計化に伴い、学校給食費 103,033,405 円が加わったため、37.8%増の 534,521,276 円となっております。

市債は 1,295,517,000 円で、臨時財政対策債の 405,617,000 円、繰越明許費学校施設空調設備設置事業債 596,700,000 円などが主なものとなっております。

歳出

歳出で主なものは、総務費では、地域活動に対する補助金交付など、ひとが輝くまちづくり事業に 11,962,965 円、人口減少、少子高齢化対策としての定住促進事業に 53,160,464 円、市民バス運行事業に 95,355,866 円、ケーブルテレビ運営事業 115,144,745 円などの事業を実施いたしました。このほか、統一地方選挙、参議院議員通常選挙の執行経費は併せて 48,376,995 円となりました。

民生費では、障害者自立支援給付事業に 613,907,992 円、福祉医療費の給付に 223,252,969 円、介護予防や認知症対策等の地域支援事業に 137,206,183 円、大町幼稚園改築事業への補助金に 172,249,000 円、保育園の管理運営に 230,015,482 円などの事業を実施いたしました。

衛生費では、広域ごみ処理施設の負担金に 156,130,000 円、病院事業会計への繰出金と貸付金を併せ 1,079,000,000 円、各種予防接種費に 58,271,173 円、し尿処理事業に 107,377,785 円などの事業を実施いたしました。

農林水産業費では、6 次産業化の推進や次世代の人材育成など農業振興事業に 29,909,935 円、多面的機能支払事業に 122,263,374 円、有害鳥獣対策に係る駆除委託や補助金等に 19,543,329 円などの事業を実施いたしました。

商工費では、店舗改築に係る新たな助成など中心市街地活性化事業に 19,089,258 円、山岳観光推進事業では霊松寺のトイレ建設工事に 23,804,000 円、市プロモーション委員会への負担金や番組制作委託など観光誘客宣伝事業 38,673,832 円、温泉郷の配湯管布設替工事に 31,482,000 円などの事業を展開しました。

土木費では、交通事故防止や安全確保のための道路維持管理に繰越事業を含め 302,978,820 円、緊急車両の通行確保や利便性の向上のための道路新設改良に繰越事業を含め 219,537,669 円、除排雪業務委託を含む雪害対策経費に 166,657,153 円、市営向山団地の設備改修を含む住宅管理費に 76,860,824 円など生活関連の事業を実施いたしました。

消防費では、常備消防への負担金 433,929,000 円、地域消防力向上のため、消防ポンプ自動車の購入を含む消防施設整備事業に 28,546,085 円、防災資機材購入に対する補助など防災対策一般経費 4,292,997 円などの事業を実施いたしました。

教育費では、山村留学支援事業に 20,414,160 円、ライチョウ飼育事業では 7,974,768 円、学校給食費の公会計化による、おいしい給食費 106,568,150 円などの事業のほか、繰越明許費の学校施設空調設備設置事業 751,580,000 円、文化会館管理運営一般経費では、サン・アルプス大町の空調設備の改修工事 38,830,000 円、体育施設整備事業ではテニスコート芝改修工事 74,470,000 円などの建設事業を実施いたしました。

公債費は前年度比 0.8%、11,082,123 円増の 1,350,689,375 円となりました。内訳は、償還元金が 1,272,294,031 円、償還利子が 78,395,344 円となっております。

一般会計決算対前年度比較

歳入

(単位：円)

款	項	令和元年度 収入済額	平成30年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1	市税	4,295,610,376	4,269,694,505	25,915,871	0.6
	1 市民税	1,549,005,245	1,543,635,180	5,370,065	0.3
	2 固定資産税	2,334,489,861	2,314,709,686	19,780,175	0.9
	3 軽自動車税	105,933,238	103,308,346	2,624,892	2.5
	4 市たばこ税	168,961,048	167,605,425	1,355,623	0.8
	5 入湯税	43,506,350	46,763,024	-3,256,674	-7.0
	6 都市計画税	93,714,634	93,672,844	41,790	0.0
2	地方譲与税	193,708,018	183,597,000	10,111,018	5.5
	1 地方揮発油譲与税	46,852,000	53,011,000	-6,159,000	-11.6
	2 自動車重量譲与税	134,930,000	130,586,000	4,344,000	3.3
	3 地方道路譲与税	18	0	18	皆増
	4 森林環境譲与税	11,926,000	0	11,926,000	皆増
3	1 利子割交付金	2,697,000	5,832,000	-3,135,000	-53.8
4	1 配当割交付金	11,881,000	9,915,000	1,966,000	19.8
5	1 株式等譲渡所得割交付金	6,838,000	8,323,000	-1,485,000	-17.8
6	1 地方消費税交付金	542,071,000	572,259,000	-30,188,000	-5.3
7	1 ゴルフ場利用税交付金	1,494,850	1,564,850	-70,000	-4.5
8	1 自動車取得税交付金	31,962,000	43,604,000	-11,642,000	-26.7
9	地方特例交付金	71,646,000	11,473,000	60,173,000	524.5
	1 地方特例交付金	17,389,000	11,473,000	5,916,000	51.6
	2 子ども・子育て支援臨時交付金	54,257,000	0	54,257,000	皆増
10	1 地方交付税	5,758,150,000	5,751,605,000	6,545,000	0.1
11	1 交通安全対策特別交付金	3,345,000	3,664,000	-319,000	-8.7
12	分担金及び負担金	61,007,492	58,790,310	2,217,182	3.8
	2 負担金	61,007,492	58,790,310	2,217,182	3.8
13	使用料及び手数料	310,371,442	361,117,995	-50,746,553	-14.1
	1 使用料	273,344,350	306,903,794	-33,559,444	-10.9
	2 手数料	37,027,092	54,214,201	-17,187,109	-31.7
14	国庫支出金	1,568,464,902	1,202,468,675	365,996,227	30.4
	1 国庫負担金	999,381,111	926,718,928	72,662,183	7.8
	2 国庫補助金	561,015,822	268,061,030	292,954,792	109.3
	3 国庫委託金	8,067,969	7,688,717	379,252	4.9
15	県支出金	887,357,304	849,645,757	37,711,547	4.4
	1 県負担金	447,096,920	438,206,110	8,890,810	2.0
	2 県補助金	355,585,810	339,294,789	16,291,021	4.8
	3 県委託金	84,674,574	72,144,858	12,529,716	17.4
16	財産収入	40,686,196	22,880,962	17,805,234	77.8
	1 財産運用収入	22,332,046	20,375,669	1,956,377	9.6
	2 財産売払収入	18,354,150	2,505,293	15,848,857	632.6
17	1 寄附金	38,796,224	32,443,672	6,352,552	19.6
18	1 繰入金	491,140,000	1,026,195,000	-535,055,000	-52.1
19	1 繰越金	800,051,348	520,130,440	279,920,908	53.8
20	諸収入	1,259,271,684	1,078,099,842	181,171,842	16.8
	1 延滞金加算金及び過料	4,198,640	7,084,850	-2,886,210	-40.7
	2 市預金利子	0	0	0	-
	3 貸付金元利収入	507,420,530	505,459,355	1,961,175	0.4
	4 受託事業収入	213,131,238	177,588,912	35,542,326	20.0
	5 雑入	534,521,276	387,966,725	146,554,551	37.8
21	1 市債	1,295,517,000	1,228,248,000	67,269,000	5.5
合計		17,672,066,836	17,241,552,008	430,514,828	2.5

歳出（目的別）

（単位：円）

款 項		令和元年度 支出済額	平成30年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	議会費	146,943,679	151,114,003	-4,170,324	-2.8
1	1 議会費	146,943,679	151,114,003	-4,170,324	-2.8
2	総務費	2,756,343,995	3,022,934,810	-266,590,815	-8.8
1	1 総務管理費	2,430,026,698	2,740,534,486	-310,507,788	-11.3
2	2 徴税費	215,656,227	189,877,942	25,778,285	13.6
3	3 戸籍住民基本台帳費	29,471,258	29,050,083	421,175	1.4
4	4 選挙費	58,839,032	45,618,477	13,220,555	29.0
5	5 統計調査費	8,490,351	6,363,770	2,126,581	33.4
6	6 監査委員費	13,860,429	11,490,052	2,370,377	20.6
3	民生費	4,480,914,850	4,267,854,903	213,059,947	5.0
1	1 社会福祉費	2,527,273,686	2,496,493,550	30,780,136	1.2
2	2 児童福祉費	1,634,861,298	1,466,968,605	167,892,693	11.4
3	3 生活保護費	318,729,866	304,242,748	14,487,118	4.8
4	4 災害救助費	50,000	150,000	-100,000	-66.7
4	衛生費	2,138,595,334	2,560,559,244	-421,963,910	-16.5
1	1 保健衛生費	1,614,558,467	1,489,084,326	125,474,141	8.4
2	2 清掃費	481,202,524	1,031,975,773	-550,773,249	-53.4
3	3 環境保全費	42,834,343	39,499,145	3,335,198	8.4
5	労働費	134,125,602	136,354,502	-2,228,900	-1.6
1	1 労働諸費	134,125,602	136,354,502	-2,228,900	-1.6
6	農林水産業費	589,686,051	573,847,171	15,838,880	2.8
1	1 農業費	364,174,955	353,596,550	10,578,405	3.0
2	2 耕地整備事業費	173,233,664	172,811,702	421,962	0.2
3	3 林業費	42,586,896	34,306,996	8,279,900	24.1
4	4 水利対策費	9,690,536	13,131,923	-3,441,387	-26.2
7	商工費	871,301,866	843,500,705	27,801,161	3.3
1	1 商工費	871,301,866	843,500,705	27,801,161	3.3
8	土木費	1,806,682,529	1,599,031,215	207,651,314	13.0
1	1 土木管理費	41,020,930	35,915,366	5,105,564	14.2
2	2 道路橋梁費	743,471,069	681,293,064	62,178,005	9.1
3	3 河川費	119,574,439	74,998,787	44,575,652	59.4
4	4 都市計画費	806,780,521	725,763,021	81,017,500	11.2
5	5 住宅費	95,835,570	81,060,977	14,774,593	18.2
9	消防費	589,073,159	557,243,292	31,829,867	5.7
1	1 消防費	589,073,159	557,243,292	31,829,867	5.7
10	教育費	2,121,541,743	1,297,530,529	824,011,214	63.5
1	1 教育総務費	879,485,717	222,334,359	657,151,358	295.6
2	2 小学校費	266,028,150	271,947,690	-5,919,540	-2.2
3	3 中学校費	126,804,417	119,111,706	7,692,711	6.5
4	4 社会教育費	350,887,525	344,606,679	6,280,846	1.8
5	5 保健体育費	416,904,589	251,988,980	164,915,609	65.4
6	6 山岳博物館費	81,431,345	87,541,115	-6,109,770	-7.0
11	災害復旧費	48,708,800	91,923,034	-43,214,234	-47.0
1	1 農林施設等災害復旧費	2,376,000	19,910,556	-17,534,556	-88.1
2	2 土木施設等災害復旧費	46,332,800	72,012,478	-25,679,678	-35.7
12	公債費	1,350,689,375	1,339,607,252	11,082,123	0.8
1	1 公債費	1,350,689,375	1,339,607,252	11,082,123	0.8
13	予備費	0	0	0	-
1	1 予備費	0	0	0	-
合計		17,034,606,983	16,441,500,660	593,106,323	3.6

歳出（性質別）

（単位：千円）

	令和元年度 支出済額	平成30年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
人件費	2,797,541	2,983,989	-186,448	-6.2
扶助費	1,907,200	1,829,044	78,156	4.3
公債費	1,350,689	1,339,607	11,082	0.8
物件費	2,498,744	2,305,084	193,660	8.4
維持補修費	383,675	471,490	-87,815	-18.6
補助費等	3,516,689	3,846,113	-329,424	-8.6
うち一部事務組合に対するもの	729,511	1,190,128	-460,617	-38.7
繰出金	1,280,244	1,275,307	4,937	0.4
積立金	258,865	557,719	-298,854	-53.6
投資・出資・貸付金	666,485	505,910	160,575	31.7
投資的経費	2,374,475	1,327,238	1,047,237	78.9
普通建設事業費	2,325,766	1,235,315	1,090,451	88.3
補助事業費	1,000,889	570,568	430,321	75.4
単独事業費	1,324,877	664,747	660,130	99.3
災害復旧費	48,709	91,923	-43,214	-47.0
合計	17,034,607	16,441,501	593,106	3.6

地方消費税交付金社会保障財源分充当先

交付予算額542,071千円（一般財源分323,796千円、社会保障財源分218,275千円）

（単位：千円）

	歳出	財源内訳				
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	市債	その他		
社会福祉	3,349,311	1,527,013	0	228,426	124,282	1,469,590
障害者福祉、高齢者福祉、福祉医療給付、生活保護、児童福祉・子育て支援など						
社会保険	1,153,751	182,664	0	0	42,811	928,276
介護保険、高齢者医療など						
保健衛生	1,379,300	9,340	0	169,561	51,182	1,149,217
疾病予防、母子保健など						
合計	5,882,362	1,719,017	0	397,987	218,275	3,547,083

一般会計決算比較

歳入

(単位：円)

款	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1 市税	4,295,610,376	4,269,694,505	4,280,942,389	4,173,506,915
2 地方譲与税	193,708,018	183,597,000	181,901,000	181,879,000
3 利子割交付金	2,697,000	5,832,000	5,058,000	3,003,000
4 配当割交付金	11,881,000	9,915,000	12,057,000	9,232,000
5 株式等譲渡所得割交付金	6,838,000	8,323,000	13,043,000	5,333,000
6 地方消費税交付金	542,071,000	572,259,000	548,586,000	536,411,000
7 ゴルフ場利用税交付金	1,494,850	1,564,850	1,734,425	1,768,025
8 自動車取得税交付金	31,962,000	43,604,000	46,745,000	32,638,000
9 地方特例交付金	71,646,000	11,473,000	8,955,000	8,731,000
10 地方交付税	5,758,150,000	5,751,605,000	5,900,402,000	6,334,360,000
11 交通安全対策特別交付金	3,345,000	3,664,000	3,958,000	4,248,000
12 分担金及び負担金	61,007,492	58,790,310	63,483,400	58,849,932
13 使用料及び手数料	310,371,442	361,117,995	392,376,058	386,498,366
14 国庫支出金	1,568,464,902	1,202,468,675	1,271,571,008	1,336,276,039
15 県支出金	887,357,304	849,645,757	843,313,379	942,189,156
16 財産収入	40,686,196	22,880,962	23,528,360	28,887,411
17 寄附金	38,796,224	32,443,672	755,528,017	73,089,306
18 繰入金	491,140,000	1,026,195,000	456,984,000	713,148,000
19 繰越金	800,051,348	520,130,440	753,414,131	665,224,269
20 諸収入	1,259,271,684	1,078,099,842	1,155,878,381	1,046,094,847
21 市債	1,295,517,000	1,228,248,000	2,755,291,000	1,758,998,000
合 計	17,672,066,836	17,241,552,008	19,474,749,548	18,300,365,266

歳出（目的別）

(単位：円)

款	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1 議会費	146,943,679	151,114,003	152,065,721	151,793,071
2 総務費	2,756,343,995	3,022,934,810	3,708,661,624	3,124,074,457
3 民生費	4,480,914,850	4,267,854,903	4,353,227,219	4,921,821,544
4 衛生費	2,138,595,334	2,560,559,244	3,896,775,171	2,335,988,313
5 労働費	134,125,602	136,354,502	125,510,660	124,927,985
6 農林水産業費	589,686,051	573,847,171	553,165,505	598,886,891
7 商工費	871,301,866	843,500,705	986,394,335	924,488,947
8 土木費	1,806,682,529	1,599,031,215	1,678,898,764	1,647,892,056
9 消防費	589,073,159	557,243,292	562,525,753	588,638,881
10 教育費	2,121,541,743	1,297,530,529	1,466,689,734	1,420,757,504
11 災害復旧費	48,708,800	91,923,034	39,983,183	35,431,754
12 公債費	1,350,689,375	1,339,607,252	1,430,721,439	1,672,249,732
合 計	17,034,606,983	16,441,500,660	18,954,619,108	17,546,951,135

歳出（性質別）

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
人件費	2,797,541	2,983,989	2,818,693	2,914,215
扶助費	1,907,200	1,829,044	1,745,194	1,960,041
公債費	1,350,689	1,339,607	1,430,721	1,672,250
物件費	2,498,744	2,305,084	2,489,278	2,517,233
維持補修費	383,675	471,490	557,254	596,321
補助費等	3,516,689	3,846,113	5,587,515	3,672,337
繰出金	1,280,244	1,275,307	1,299,450	1,292,756
積立金	258,865	557,719	808,833	75,240
投資・出資・貸付金	666,485	505,910	506,438	508,029
投資の経費	2,374,475	1,327,238	1,711,243	2,338,529
合 計	17,034,607	16,441,501	18,954,619	17,546,951

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	67
担 当 課	総務 部	情報交通 課	広聴広報 係	款 2	総務費				
事 務 事 業 名	広聴広報事業				項 1	総務管理費			
					目 2	文書広報費			
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち				前期計画登載頁		93		
施 策 目 標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進				前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	市民参画と協働によるまちづくりの推進								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	意図
	・広聴活動では「市長への手紙・メール」などにより、市民等から市政への意見・提言をいただく。 ・広報活動では「広報おおまち」などにより、市民等へ行政情報等の提供を行う。	・広聴活動では、市民参加による市民により身近な市政のまちづくりをめざす。 ・広報活動では、市民と行政が市政に関する情報を共有し、お互いの信頼と協調のもと、協働による市政の運営を図り、市民により身近な市政のまちづくりをめざす。

事業の内容	(広聴活動) ・市長への手紙・メールの受領・返信 ・まちづくり行政懇談会の受付・開催 (広報活動) ・広報の発行(月1回) ・声の広報の提供: 市広報及び議会報をテープに録音して届ける、行政情報の有線放送告知 ・行政情報をメールマガジン登録者へ送信(毎週金曜日配信) ・くらしのガイドブックと市勢要覧を合冊して発行	・無料法律相談の受付 ・報道機関への情報提供
-------	--	---------------------------

決算数値(単位:円)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費(決算額)	8,614,695	11,337,785	8,598,192	-2,739,593	-24.2%
	財源内訳					
	特定財源	255,890	145,330	175,780	30,450	21.0%
	一般財源	8,358,805	11,192,455	8,422,412	-2,770,043	-24.7%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
9,288,000				9,288,000	8,598,192	
不用額	特定 財源	細節名	複写機等使用料	広告掲載料		
689,808	内訳	金額	55,780	120,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- ① くらしのガイドブックと市勢要覧を合冊して発行(隔年発行とする)
- ② 市長への手紙・メール
「元年度実績」市長への手紙65件、メール58件、合計123件
- ③ 広報おおまちの発行
年12回(毎月)発行・・・行政に関する各種お知らせから、北アルプス国際芸術祭や世界で活躍する大町市出身アスリートの特集などを掲載

【元年8月号 表紙】

◆ 事業の成果

積極的に情報発信することで、市の情報に触れ共有することにより、市政をより身近に感じていただき少しでも市政に関心を持っていただけだ。

さらに広聴広報活動を行い、信頼と協調を深めることにより、市政への参加を促し、参画と協働によるまちづくりの推進に取り組んでいく。



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		67	
担 当 課		総務 部		企画財政 課		企画調整 係		款 2		総務費		
事 務 事 業 名		アルプス囲碁村推進事業						項 1		総務管理費		
								目 3		企画費		
まちのテーマ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		42		
施 策 目 標		生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目		多様な分野の学習活動の充実と促進										
個 別 計 画		アルプス囲碁村計画										

事業の目的	対象	・ 幼児から高齢者までの幅広い年齢層 ・ 囲碁を通じ、様々な人と人との関わりを大切に する「ひとの和づくり」をコンセプトとした魅力ある まちづくり	意 図	・ 豊かな自然の中で、ゆっくりと囲碁を楽しんでい たけような囲碁村づくりを推進する。 ・ 囲碁を活用した滞在型観光など観光産業との連携 ・ 日本の伝統文化である囲碁の愛好者の拡大を図り、 囲碁を通じた人格形成と人材育成を図る
事業の内容	・ 幼保育園・小中学校への囲碁普及員の派遣 ・ 囲碁十段戦第3局歓迎レセプション及び大盤解説会の開催 ・ アルプス囲碁ボヌキ大会（市内幼保育園年長児による大会） ・ 各種大会・イベント共催 協力等 ・ アルプス囲碁村十段戦の開催 ・ アルプス囲碁村まつり（指導碁・囲碁大会の開催） ・ 保育園囲碁交流会			

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		3,015,000	2,816,000	2,816,000	0	-
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	3,015,000	2,816,000	2,816,000	0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,816,000	0	0	0	2,816,000	2,816,000	0
不用額	特定 財源	細部名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - アルプス囲碁村まつり
 - 令和元年5月25・26日（黒部観光ホテル・大町市総合体育館）
 - ・ 前夜祭（プロ棋士による指導碁、懇親パーティー）
 - ・ 県知事・市長杯争奪囲碁大会
 - ・ 参加者339名
 - 保育園児囲碁交流会
 - 令和元年12月17日（常盤公民館）
 - ・ 市内保育園児（年長）による対局及び囲碁ゲーム等
 - ・ 参加者100名
 - 囲碁普及員の派遣
 - 平成31年4月～令和2年3月（市内幼保育園、小学校、囲碁村会館）
 - ・ 普及員 13名
 - ・ 派遣施設 20か所
 - ・ 指導時間 359.75時間



- ◆ 事業の成果

普及活動等を通じ「囲碁を学ぶ」のではなく、「囲碁に学ぶ、囲碁で学ぶ」という基本的な考え方を基に、現代社会における人との関係や優しさ、思いやりなどを育むことで、「囲碁によるまちづくり」「囲碁によるひとづくり」が推進された。さらに囲碁の普及と底辺の拡大、生きがいに満ちた生涯学習の推進に取り組んでいく。
- ◆ 前年からの改善点等

アルプス囲碁村まつりにおいて、地元岳陽高校の生徒や教師へ大会運営への協力依頼や選手としての参加を促し、また、例年開催するプロ棋士による初心者講習会への参加を促すなど、学校全体での取組みに対する理解や囲碁に関わる機会の増加を進めた。大会運営補助、選手としての参加、普及員派遣など少しずつ効果が始まっている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	67
担 当 課	総務 部	まちづくり交流 課	定住促進 係	款	2	総務費		
事 務 事 業 名	定住促進事業				項	1	総務管理費	
					目	3	企画費	
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁		59	
施 策 目 標	移住・定住促進策等の充実強化				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	定住促進ビジョンの推進							
個 別 計 画	第2期定住促進ビジョン							

事業の目的	〇市民：シビックプライドの醸成により、定住を促す。（転出抑制） 〇市外在住者：地域の魅力発信により、移住意欲を誘引し移住を促す。	意 図	令和2年人口26,000人以上をキープする。 誰もが住みたくなる、住み続けたくなる、さらには住んで良かったと思えるまちを目指す。
-------	---	-----	---

事業の内容	①定住奨励事業の実施（・マイホーム取得助成事業、・空き家改修事業、・商品券交付事業（U・Iターン、新婚）、有料道路負担軽減事業） ②移住相談窓口の充実 ③都市部向け移住セミナー・魅力ツアーの実施 ④移住者交流事業 ⑤結婚支援事業 ⑥空き家バンク・物件情報の提供 ⑦連携自立圏移住交流・若者交流事業		
-------	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	40,594,479	51,308,842	53,160,464	1,851,622	3.6%
	財源内訳					
	特定財源	6,117,000	11,780,033	14,834,289	3,054,256	25.9%
	一般財源	34,477,479	39,528,809	38,326,175	-1,202,634	-3.0%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
57,955,000	-4,086,000	0	0	53,869,000	53,160,464	0
不用額	特定財源	細節名	若者交流事業	移住交流事業	北アルプス連携自立 圏事業負担金	移住・定住・交流推 進支援事業助成ほか
708,536	内訳	金額	809,500	5,978,500	4,286,039	3,760,250

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

1 三大都市圏における移住相談会の開催(16回)

大町市の魅力発信、市の移住施策の紹介、
住宅・仕事・子育て等移住相談への対応

(定住促進アドバイザー、不動産協力事業者、ハローワーク職員による個別相談)

A group of people are gathered around a table in a room with posters on the wall, engaged in a consultation session.

7/27 いなか暮らしフェア
(相談件数18件)

A group of people are sitting at tables in a bright room, participating in a community fair or consultation event.

6/9 大町暮らし おしゃべりカフェ
(相談件数15件)

2 関係人口創出イベントの開催（2回）

商工労政課、観光課等との連携を図り、当市の認知度向上やシティプロ
モーションを強化し、関係人口の入り口を広げ、人と人との繋がりを深め
ることにより、移住意欲の高まりを誘引する事業

A group of people are sitting at tables in a room with large windows, participating in a community event or workshop.

10/19 信濃大町ファンセッション

3 大町の魅力体験ツアー

移住希望者に大町市の環境や先輩移住者の暮らしぶり・働く場について、見学・体験するプログラム
を実施。アウトドアや山好き、子育て、冬の暮らしなど各回にテーマを設けるとともに、人との交流に
より移住のきっかけづくりや移住実現に向けたステップとなっている。

◆夏を楽しむ暮らし体験ツアー

A group of people are standing outdoors in a grassy area, participating in a summer-themed experience tour.

令和元年7月13日～14日
参加者：6組14名

◆子育てモニターツアー

A group of people, including children and adults, are sitting around a table, participating in a childcare monitoring tour.

令和元年8月9日～10日
参加者：3組10名

◆山好きのための信濃大町体験会

令和元年11月2日～3日
参加者：7組10名

A group of people are standing outdoors in a wooded area, participating in a mountain-themed experience event.

◆冬を楽しむ暮らし体験ツアー

令和2年1月25日～26日
参加者：7組13名

A group of people are standing outdoors in a snowy area, participating in a winter-themed experience tour.

4 結婚支援事業

(1) 婚活イベント等による出会いの場の創出



「山コン・トレッキングin大町市」(10/26-27)

参加者：男16名 女19名

カップル成立：5組

(2) 異業種交流による出会いの場創出事業

ワークショップ、ランチミーティング形式による、市内事業所の若手職員同士の交流会の開催
 テーマ『これからの「働き方」を考えてみよう！Vol.2』2回開催（5/10、7/12）

(3) 北アルプス連携自立圏事業 若者交流事業

① 山麓WOW！～全力であそぶ、Wonderful Weekend！～（10/5）

参加者 男性19名 女性12名

② 山麓クリパ～ふるさとでクリスマスっていいよね…！～（12/21）

参加者 男性54名 女性42名

①



②



5 移住者交流事業

「おしゃべり×かどまつづくり」開催（12/21） ○参加者：29名

○内 容：移住者同士だけでなく、先輩移住者や地域住民との交流により、知り合いを増やすための機会とした。



◆ 事業の成果

1 定住奨励事業の実施（主な定住奨励事業の状況）

- ・ マイホーム取得助成 20万円（市内業者、50歳未満、3世代同居・近居各5万円上乗せ、ケーブルテレビ工事費補助あり上限4万円） 最大39万円
 交付実績：新築49件、購入28件 計77件 計 21,052千円
- ・ 商品券事業（きらり商品券3万円分）
 交付実績：Uターン17件、Iターン47件、新婚お祝い46件 計 3,300千円
- ・ 空き家改修事業補助金 対象経費の1/2、上限30万円
 交付実績：8件 計 2,400千円

2 移住相談窓口の充実

- ・ 市の移住相談窓口を通じた移住実績 51世帯 70人
- ・ 移住相談件数（移住相談会・窓口・メール・電話等） 555件

3 都市向け移住セミナー・魅力体験ツアーの実施

- ・ 移住セミナーの開催 16回開催 相談件数305件
- ・ 魅力体験ツアーの開催 4回開催 参加者：23組47名

4 移住者との交流事業(移住者交流会)

年1回開催 参加者：29名

5 結婚支援事業（婚活イベント、異業種交流）

年3回開催 男女計80名参加

カップル成立 5組

6 空き家バンク・物件情報の提供

（空き家バンク利用状況）

物件登録件数 9件、成約件数 8件、利用登録者数 13名

7 連携自立圏移住交流・若者交流事業

- ・ 移住相談窓口・移住セミナーの開催 東京・大阪2回開催 相談件数 19件
- ・ 若者交流イベントの開催 2回開催 男女計 127名参加

◆ 前年からの改善点等

ターゲットを絞った施策展開を実施

- ・ 子育て世代に向け、取り組み強化
- ・ 山岳ファンなどジャンル別のプロモーション強化による関係人口の創出

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	69
担 当 課	総務 部	企画財政 課	企画調整 係	款	2	総務費		
事 務 事 業 名	ふるさと応援団事業				項	1	総務管理費	
					目	3	企画費	
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち				前期計画登載頁		98	
施 策 目 標	市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築				前年度評価 方向性		やり方 改善	
施 策 項 目	健全で持続可能な財政運営							
個 別 計 画								

事業の目的	対象	・寄附者において、生まれた故郷や応援したい自治体への寄附を行うことにより、当該地域への貢献が可能となる。	意 図	・都市部と地方の税収の格差解消に一定の役割を果たすとともに、寄附金を事業の財源として充当、活用が可能となり、自主財源の確保が図れる。 ・寄附特典として地域特産品等を返礼品としており、地域産業の活性化へと繋がる。
事業の内容	12項目の寄附金使途メニューを設け、寄附者の意向に沿った事業に充当、活用している。 ①協働のまちづくり ②自然環境保全 ③未来を担う子ども達 ④高齢者の生きがい ⑤山岳観光都市の進行 ⑥山村留学事業推進 ⑦芸術文化振興 ⑧起業創業支援⑨移住定住支援 ⑩市立大町総合病院の支援 ⑪市長におまかせ ⑫その他 令和元年度充当事業（H30寄附分）：寄附者指定の使途に従い、山岳観光推進事業や定住促進事業ほか31事業			

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	1,109,540,768	47,600,020	48,513,473	913,453	1.9%
	財源内訳					
	特定財源	694,258,295	30,680,887	32,225,248	1,544,361	5.0%
	一般財源	415,282,473	16,919,133	16,288,225	-630,908	-3.7%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
24,572,000	25,426,000	0	0	49,998,000	48,513,473	0
不用額	特定財源	細節名	ふるさと寄附金	ふるさと応援基金利 子収入		
1,484,527	内訳	金額	32,158,300	66,948		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 市ホームページやインターネット等による情報発信
 - 前年度寄附分を寄附者指定の使途に従い33事業に充当

寄附件数 1,185件
 寄附金額 32,158,000円
 寄附金充当額 30,140,000円（H30寄附額）

◆ 事業の成果

ふるさとや地方自治体の様々な取組みを応援する納税者の気持ちを橋渡しし、支え合う仕組みであるとともに地方自治体が自ら財源を確保し、様々な施策を実現するために有効な手段である。一方、これまでの自治体間の過熱する返礼品競争や返礼品割合が高い返礼品の送付により制度運用に際し課題が多いことから、令和元年6月より、ふるさと納税指定制度が創設された。これは、総務大臣が、①寄附金の募集を適正に実施する自治体、②返礼品を送付する場合に「ア 返礼品の返礼割合を3割以下とすること」、「イ 返礼品を地場産品とすること」の基準に適合した地方公共団体をふるさと納税（特別控除）の対象として指定する仕組みである。当市としては、これまで基準を満たすための見直しを随時行っており、令和元年5月14日に総務大臣より指定を受けたところである。

引き続き、制度本来の趣旨に沿った健全な運用を行うとともに、より多くのふるさと納税の確保に努め、得られた財源を有効に活用しながら、地域の活性化に繋げるよう取組みを進める。

◆ 前年からの改善点等

- ・大手インターネット事業者が行う仲介サイトを新たに開設し、窓口の拡大を図った。【令和元年12月20日「楽天ふるさと納税」窓口開設。年末までの約10日間での申込件数120件、1,780,000円】
- ・地域において、新商品を扱う事業者が徐々に増加傾向にあることから、返礼品化に向けた積極的な交渉を進めている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	73
担 当 課	民生 部	市民 課	消費生活・交通安全 係	款	2	総務費		
事 務 事 業 名	交通安全対策費					項	1	総務管理費
						目	6	市民生活支援費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		77
施 策 目 標	市民生活の安全の確保					前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	交通安全対策の推進							
個 別 計 画								

事業の目的	対象	市民の安全で快適な生活の実現に寄与する。	意図	交通ルールを守り、交通事故にあわない・おこなさいという市民の交通安全意識を高め、交通事故防止を図る。
-------	----	----------------------	----	--

事業の内容	市民の交通安全意識の高揚や交通安全を確保するため、啓発活動・道路環境整備等の総合的な交通安全施策の実施 ・交通安全に係る広報、街頭指導の実施 ・交通安全教室の開催、交通安全推進市民大会の開催 ・長野県県民交通災害共済加入促進 他			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	6,238,689	5,202,770	4,921,970	-280,800	-5.4%
	財源内訳				0	-
	一般財源	6,238,689	5,202,770	4,921,970	-280,800	-5.4%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,071,000				5,071,000	4,921,970	
不用額	特定財源	細節名				
149,030	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 交通安全教室の開催 22 回
こどもの交通安全教室 幼稚園3園、保育園7園、小学校6校、地区PTA5カ所
高齢者の交通安全教室 十日町、白塩町、借馬
- 交通安全街頭指導 15 回
- 交通安全ランドセルカバー配布（市内6小学校） 137 枚
- 子どもを交通事故から守る交通安全推進委員会 1 回
- 人身事故発生件数 51 件
- 暴力追放・交通安全推進市民大会 参加者 147 人
- 県民交通災害共済組合

加入者数	18,808 人
加入率	70.3 %
共済掛金	6,652,900 円
見舞金請求件数	42 件
見舞金支払金額	2,760,000 円

◆ 前年からの改善点等

高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、市老人クラブ連合会と連携し、交通安全教育（研修会）を実施した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	75
担 当 課	総務部	部	情報交通	課	交通政策	係	款	2	総務費
事 務 事 業 名	市民バス運行事業						項	1	総務管理費
							目	6	市民生活支援費
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						前期計画登載頁		83
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	移動しやすい公共交通網の整備								
個 別 計 画	大田市地域公共交通総合連携計画								

事業の目的	・市民バスの運行により、通院、通学、買い物など市民の暮らしを支えるため、移動手段を確保し、地域内の持続的な公共交通の維持を図る。 ・特に高齢者をはじめ、障がいをお持ちの方などの交通弱者の移動手段を支える。	意 図 将来的にさらに少子高齢化が進行し、公共交通の重要性は増すものと推測される。地域の実情に応じた交通体系の構築を目指し、まちづくり全体に効果のある事業としたい。
-------	---	---

事業の内容	市内で全10路線の市民バスを運行し、通院、通学、買い物など市民生活における移動手段を確保している。 平（青木方面）コース、平（源汲方面）コース、平（高瀬入方面）コース、常盤（清水・西山方面）コース、美麻コース（川手線、境の宮線）は、関電アメニックス（株）に委託運行し、委託料を支出。 社・常盤コース、八坂コース、循環線（北・南コース）は、（有）やまびこに委託運行し、委託料を支出。
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	97,961,727	104,172,665	95,355,866	-8,816,799	-8.5%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	97,961,727	104,172,665	95,355,866	-8,816,799	-8.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
108,004,000	-5,216,000			102,788,000	95,355,866	
不用額	特定財源	細節名				
7,432,134	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 市内10路線の市民バスの運行 日曜日・祝日・年末年始を除き毎日運行、運航日数294日

コース名		利用者数	対前年比	
平コース	青木方面	11,848人	△557人	4.5% 減
	源汲方面	4,320人	54人	1.3% 増
	高瀬入方面	9,087人	39人	0.4% 増
常盤コース	清水・西山方面	7,571人	△547人	6.7% 減
社、常盤コース		4,824人	△67人	1.3% 減
八坂コース		17,168人	623人	3.8% 増
美麻コース		17,848人	258人	1.4% 増
循環線		6,637人	△460人	6.4% 減
令和元年度 延利用者数		79,303人	△657人	0.8% 減

◆ 前年度からの改善点等

庁内の関係部局で構成する「市民バスあり方検討委員会」を組織して利用者ニーズへの柔軟な対応や運行経費の削減等、令和2年度からの運行方針を決定した。

基本的な運行方針としては、地域の要望の多い停留所の新設や車両の小型化、通学の利用がなく乗車時間が長いコースの地区においては、新たに自宅から目的地まで送迎するデマンド運行を導入することを決定した。経費削減の観点からは、利用者が減少する土曜日の運行を取りやめることなどを主な運行方針とした。検討委員会での運行方針に基づき、区長会及びデマンド運行を導入する地域において説明会を開催し、運行事業者との調整も踏まえ地域公共交通会議で運行方針を決定いただき、令和2年度からデマンド運行も含めた新たな運行を開始する。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	75
担 当 課	総務 部	情報交通 課	交通政策 係	款	2	総務費		
事 務 事 業 名	公共交通対策事業				項	1	総務管理費	
					目	6	市民生活支援費	
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁		83	
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	移動しやすい公共交通網の整備							
個 別 計 画	大町市地域公共交通総合連携計画							

事業の目的	対象	JR大系線、大町長野間特急バス等、地域住民の交通移動における利便性の向上・輸送力の強化への対応について、期成同盟会や協議会を組織し地域交通の充実を図る。	意 図	長野・松本方面への移動や首都圏、中京及び関西圏への移動など、都市間と地域間を結ぶ交通の利便性向上を図ることにより、観光誘客の促進など地域の活性化を推進する。
-------	----	--	-----	--

事業の内容 大系線利用促進輸送強化期成同盟会、大町・長野間特急バス利用促進協議会の事務局を担当し、利用者の利便性向上のためJRへの要望行動や利用促進事業の実施、特急バス大町・長野間の冬期運行に関する事業者との調整や利用促進事業を実施している。また、JR大系線（南小谷～糸魚川区間）の活性化を図るため、大系線活性化協議会が設立されたことに伴い、利用促進事業への協力を行った。また、中央東線の高速化及び利便性向上を図るため、中央東線高速度広域期成同盟会へ参画している

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	5,217,026	5,169,934	3,680,140	-1,489,794	-28.8%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	5,217,026	5,169,934	3,680,140	-1,489,794	-28.8%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,353,000				5,353,000	3,680,140	
不用額	特定 財源	細節名				
1,672,860	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

（大系線利用促進輸送強化期成同盟会）

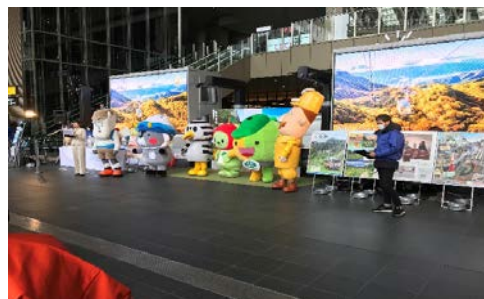
- JR西日本に対する要望活動 10月1日
 - ・輸送強化、利便性向上、輸送の安全確保について

- JR東日本長野支社へ要望書の提出（12月23日）
 - ・輸送強化、災害対策、駅施設整備等について

- 利用促進対策
 - ・大系線カレンダーの作成（2,500部）沿線市町村を通じ無償配布
 - ・テレビ番組特別協賛事業、市民タイムスへ広告掲載

- 長野県JR連絡調整会議 令和2年1月8日
 - ・JR東日本、西日本、東海の各社へ利便性の向上等について要望

- 大系線活性化協議会 大系線PRイベントへの協力
令和2年2月7、8日 大阪駅ノースゲートビル
 - ・沿線ご当地ゆるキャラ撮影会、クイズ大会
 - ガラポン抽選会、観光PR等
 - 来場者 約3,000名



（大町・長野間特急バス利用促進協議会）

○ 冬季運行 12月1日～4月14日

アルピコタクシー（株）へ運行依頼 大町長野間1日3往復 乗車人員2,267人

令和元年度冬期乗車人員 2,267人

◆ 前年からの改善点等

大糸線利用促進輸送強化期成同盟会の事業として、例年のJR西日本金沢支社への要望に加え、JR東日本長野支社へ利便性向上等に関する要望書の提出を行った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	77
担 当 課	総務 部	まちづくり交流 課	市民活動支援 係	款 2	総務費				
事 務 事 業 名	市民活動促進事業				項 1	総務管理費			
					目 8	市民参加協働推進費			
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち				前期計画登載頁		92		
施 策 目 標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進				前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	市民参画と協働によるまちづくりの推進								
個 別 計 画	市民参加と協働のまちづくり推進基本指針								

事業の目的	対象	・自治会や市民活動団体の自主的なまちづくり活動が、より活発にスムーズに行えるよう支援環境を整える。	意図	・市民参画と協働のまちづくりの推進を図る。
-------	----	---	----	-----------------------

事業の内容	・市連合自治会、大町地区連合自治会事務局 ・地縁団体登録、証明 ・まちづくりセミナーの開催 ・まちづくりフォーラムの開催
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	19,949,667	20,078,149	37,250,574	17,172,425	85.5%	
	財源内訳	特定財源	2,500,000	2,500,000	21,028,000	18,528,000	741.1%
		一般財源	17,449,667	17,578,149	16,222,574	-1,355,575	-7.7%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
17,831,000	19,600,000			37,431,000	37,250,574	
不用額	特定 財源	細節名	自治総合センターコ ミュニティ助成金	市町村振興協会コ ミュニティ助成金	ふるさと応援基金 繰入金	
180,426	内訳	金額	17,500,000	2,100,000	1,428,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 連合自治会未加入者加入促進強調月間（6月）
 - ・市広報紙への掲載
 - ・月間中加入した世帯 21世帯

○ まちづくりフォーラム開催

- ・令和元年12月14日（土） サンアルプス大町 参加者 120名
第10回市民参加と協働のまちづくりフォーラム
 - 第1部 まちづくりの取り組み発表
 - 第2部 ミニワークショップ



まちづくりフォーラム

○ まちづくりセミナー「ファシリテーション研修」

- ・令和元年7月11日（木） 基礎編 参加者24名
- ・令和元年8月21日（水） 実践編 参加者20名



まちづくりセミナー

○ AED講習会

- ・令和元年9月19日（木） 参加者 26名

AED講習会

○ 地域懇談会

- ・令和元年10月18日（金） 栄町自治会 参加者11名
- ・令和元年11月10日（日） 白塩町自治会 参加者40名



◆ 事業の成果

まちづくりセミナー、講習会には市民活動団体だけでなく、自治会長の参加もあり、市民参画と協働のまちづくりの推進が図れている。

◆ 前年からの改善点等

まちづくりセミナーは昨年好評だった「ファシリテーション研修」を基礎編、実践編の連続講座とした。
まちづくりフォーラムの開催時間を変更し、多くの人が参加しやすい時間とした。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	79
担 当 課	総務 部	まちづくり交流 課	市民活動支援 係	款	2	総務費			
事 務 事 業 名	ひとが輝くまちづくり事業				項	1	総務管理費		
					目	8	市民参加協働推進費		
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち				前期計画登載頁		92		
施 策 目 標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進				前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	市民参画と協働によるまちづくりの推進								
個 別 計 画									

事業の目的	・自主的かつ主体的な活動で公益性のあるまちづくり事業を行う市民活動団体への支援 ・自治会等における花づくりを通じた地域コミュニティの促進	意 図	市民活動団体の育成及び市民参画と協働によるまちづくりの推進を図る。
-------	---	-----	-----------------------------------

事業の内容	○ひとが輝くまちづくり事業 ・伝統文化の継承事業 ・まちづくり事業（はじめようまちづくり活動、ひろげようまちづくり活動、地域創生活動） ・活動継続支援事業 ○花づくり活動事業
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	14,050,260	14,970,858	11,962,965	-3,007,893	-20.1%
	財源内訳					
	特定財源	2,895,000	14,000,000	1,769,000	-12,231,000	-87.4%
	一般財源	11,155,260	970,858	10,193,965	9,223,107	950.0%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
15,167,000	-3,000,000			12,167,000	11,962,965	
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
204,035	内訳	金額	1,769,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

◎ ひとが輝くまちづくり事業

- 公開審査会 平成31年4月13日（土）
- 補助団体数
 - まちづくり事業新規 1 団体
 - まちづくり事業継続 6 団体
 - まちづくり事業地域創生 1 団体
 - 活動継続支援事業 1 団体
- 最終報告会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



ひとが輝くまちづくり事業公開審査会

◎ 花づくり活動

- 補助団体数 29団体
 - ・市内まちづくり委員会で補助額決定
 - ・7月下旬から8月上旬に中間調査実施
- 花づくり活動団体意見交換会
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



花づくり活動

◆ 事業の成果

◎ ひとが輝くまちづくり事業

- ・補助団体の活動を情報発信することで市内外からの集客に繋がった。

◎ 花づくり活動

- ・花づくり活動は多くの団体が長年継続して活動しており、地域の環境美化を推進している。



◆ 前年からの改善点等

- 市民団体の活動支援を行い、まちづくり事業地域創生活動申請団体が次年度まちづくり活動（新規）への申請に繋がった。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	81
担 当 課		総務 部		情報交通 課		情報化推進 係		款 2	総務費	
事 務 事 業 名		大町総合情報センター管理運営費						項 1	総務管理費	
								目 9	情報化推進費	
まちのテーマ		第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						前期計画登載頁		90
施 策 目 標		快適な生活環境の形成						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		高度情報化社会への対応								
個 別 計 画		大町市地域情報化基本計画								

事業の目的	・市民等への情報通信に関する知識の普及 ・地域イントラネットの活用による行政事務の効率化 ・広域圏域のシステム及びデータ管理	意 図	地域イントラネット等の情報通信基盤や市の情報通信システム及び地域情報化の拠点施設として、大町市総合情報センターの適正な管理運営を行う。
-------	--	-----	---

事業の内容	・地域情報化の推進に関すること ・情報通信に関する知識の普及に関すること ・地域イントラネットの管理及び運営に関すること ・広域共同化サーバ等の管理及び運営に関すること
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	65,129,134	49,929,589	52,345,053	2,415,464	4.8%
	財源内訳					
	特定財源	26,601,000	7,396,205	5,397,101	-1,999,104	-27.0%
	一般財源	38,528,134	42,533,384	46,947,952	4,414,568	10.4%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
45,804,000	2,151,000		4,863,636	52,818,636	52,345,053	
不用額	特定 財源	細節名	電算業務機器広域設 置負担金	地域情報交流施設 使用料	物件移転等補償料	情報センター使用料 ほか
473,583	内訳	金額	4,591,960	488,750	201,300	115,091

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 大町市ICT学習活動推進事業

ロボットプログラミング講座やマイクロビットを使用したプログラミング夏期講座等を開催

・プログラミング夏期講習	2回	11名
・夏期講習フォローアップ講座	1回	4名
・プログラミング講座	5回	21名
・成果発表会	1回	
・スマートフォン、タブレット講座	5回	20名
計		56名



◆ 事業の成果

参加者アンケートの総括では、全児童が「プログラミングを続けたい」との回答に加え、ロボットを「もっと動かしたかった」と殆どの児童が回答したことから、想像力、創造力を掻き立てる実践ができた。また、最初は思い通りにロボットが動かせなかった児童も、動かせるようになっていく過程から、エラー箇所を修正していくトライアル・アンド・エラーにより課題に対する解決策を考えながら実践できた。

◆ 前年からの改善点等

夏休み期間中を利用したプログラミング夏期講習を行い、コンピュータの歴史からプログラミングの実践まで行った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	79
担 当 課	総務 部	情報交通 課	情報化推進 係	款 2	総務費			
事 務 事 業 名	電子自治体構築事業				項 1	総務管理費		
					目 9	情報化推進費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁		90	
施 策 目 標	快適な生活環境の形成				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	高度情報化社会への対応							
個 別 計 画	大町市地域情報化基本計画							

事業の目的	・ホームページ等の情報通信技術の活用による住民等への情報提供の充実 ・行政手続きのオンライン化や証明書のコンビニ交付など、行政サービスの充実による住民の利便性の向上	意 図 ・情報端末機器の整備や各種システムの共同利用など、情報通信技術の活用による情報提供の充実及び行政事務の効率化を図る。 ・行政手続きのオンライン化を推進するとともに、情報セキュリティ対策の強化を図る。
-------	---	--

事業の内容	・情報通信機器整備事業：情報サーバ及び各種システム、情報系端末やプリンタ等のリース ・ネットワーク利用事業：総合行政ネットワークシステム利用料、長野県高速ネットワーク運営負担金、長野県セキュリティクラウド運営負担金、自治体中間サーバプラットフォーム利用負担金 ・システム運用事業：電子申請・届出システム運営負担金、公共施設予約システム利用料、コンビニ交付運営負担金、統合型校務支援システム負担金、学校徴収金管理システム負担金
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	40,667,275	31,909,476	48,158,379	16,248,903	50.9%
	財源内訳					
	特定財源	4,929,944	17,601,951	11,427,547	-6,174,404	-35.1%
	一般財源	35,737,331	14,307,525	36,730,832	22,423,307	156.7%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
43,944,000			4,625,253	48,569,253	48,158,379	
不用額	特定財源	細節名	社会保障・税番号活用推進費補助金	個人番号カード交付事業費補助金	学校現場業務改善加速事業委託金	LGWAN機器広域設置負担金ほか
410,874	内訳	金額	2,391,000	3,725,000	2,828,000	2,483,547

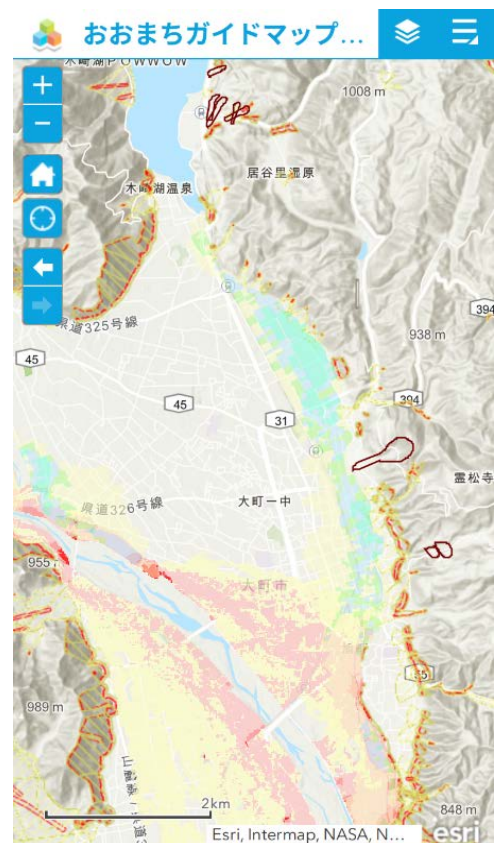
事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 県域でのシステム共同調達・共同利用
 - ・統合型公務支援システムの共同利用の開始
 - ・学校徴収金管理システムの共同利用の開始
- OSのサポート期限終了に伴う対応等
 - ・情報系端末の更新
 - ・公共施設予約システム改元対応
 - ・文書管理システム改元対応
 - ・外部配信GISシステム改修

◆ 事業の成果

- ・県域でのシステム共同利用に参加し、導入経費等の削減が図れた。
- ・OSサポート終了や改元に伴うシステム改修等により、事務処理の最適化、セキュリティの確保を図るとともに、スマートフォン等のマルチデバイスに対応した外部配信GIS環境が構築された。



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	81
担 当 課	総務 部	情報交通 課	情報化推進 係		款	2	総務費			
事 務 事 業 名	電算処理委託事業					項	1	総務管理費		
						目	9	情報化推進費		
ま ち の テ ー マ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		90		
施 策 目 標	快適な生活環境の形成					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	高度情報化社会への対応									
個 別 計 画	大町市地域情報化基本計画									

事業の目的	対象	基幹系業務における事務処理の適正化・迅速化・効率化により、市民サービスの向上を図る。 基幹系業務の電算化により、市民サービスの向上を図る。	意 図	住民記録・税・国保・福祉等の基幹系業務の電算化により、事務処理の適正化、迅速化、効率化を図る。
-------	----	--	-----	---

事業の内容	・業務のデータ処理 ・各種法改正に伴うシステム適用 ・機器保守等の委託業務及びシステム機器のリース ・特定個人情報等の安全管理措置への対応
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	90,227,392	82,421,355	97,574,561	15,153,206	18.4%
	財源内訳					
	特定財源	5,030,000	3,703,000	7,618,517	3,915,517	105.7%
	一般財源	85,197,392	78,718,355	89,956,044	11,237,689	14.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
91,256,000	7,150,000		-379,705	98,026,295	97,574,561	
不用額	特定財源	細節名	情報化推進等負担金			
451,734	内訳	金額	7,618,517			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 業務のデータ処理関係

電算処理業務・・・住民記録、税、年金、国保、福祉等基幹業務のデータ処理及びシステム保守
申告受付データe-TAX連携・・・確定申告システムからe-TAXへの情報連携

○ システム改修関係

- ・コンビニ交付連携システム改修（コンビニ交付印鑑証明書の旧姓併記対応）
- ・幼児教育無償化に伴うシステム改修
- ・健康管理システム改修（母子保健副本登録対応）
- ・障害者自立支援給付審査支払等システム改修
- ・児童扶養手当システム改修

◆ 事業の成果

基幹系業務のデータ処理及びシステム保守を行うとともに、法改正に伴うシステム改修により、事務処理の適正化、効率化が図られ、住民サービスの向上に寄与している。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	83
担 当 課	総務	部	情報交通	課	ケーブルテレビ	係	款	2	総務費	
事 務 事 業 名	ケーブルテレビ運営事業							項	1	総務管理費
								目	9	情報化推進費
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち							前期計画登載頁		97
施 策 目 標	市民との情報共有と持続的なサービス提供体制の構築							前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	情報インフラを有効活用した地域情報の発信									
個 別 計 画	大町市地域情報化推進化基本計画									

事業の目的	対象	地域住民、及び番組コンテンツ交換の実施している県内ケーブルテレビ各局視聴者	意 図	地上デジタル・BSデジタル・CSデジタル（多チャンネル）のテレビ放送の再送信とともに、自主放送番組の充実を図り、地域に密着した情報提供により地域の一体感の醸成を図ることを目指す。併せて県内各局への配信による、大町市の情報発信。
-------	----	---------------------------------------	-----	---

事業の内容	○ テレビ放送の再送信、放送設備等の維持管理 ○ 自主放送番組による情報発信 週刊情報番組「きらり☆ステーション」50本、シャイニング・キッズ30本、きらり特番70本、議会生中継（本会議、一般質問）、市議会等選挙の開票、やまびこまつり等市内イベントの生中継ほか				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	79,891,039	78,090,507	115,144,745	37,054,238	47.5%
	財源内訳					
	特定財源	79,891,039	78,090,507	115,144,745	37,054,238	47.5%
	一般財源				0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
123,801,000	-5,731,000		-39,055	118,030,945	115,144,745	
不用額	特定 財源	細節名	ケーブルテレビ 引込工事負担金	ケーブルテレビ使用料	NHK受信料事務取扱手数料他（雑入）	合併特例交付金
2,886,200	内訳	金額	782,940	64,979,794	32,171,581	20,000,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 自主放送番組による情報発信

- ・週刊情報番組「きらり☆ステーション」50本、シャイニング・キッズ30本、きらり特番70本、議会生中継（本会議、一般質問）、市議会・県議会等選挙の開票、やまびこまつり、木崎湖花火大会等市内イベントの生中継ほか



○ ケーブルテレビ加入促進

- イベント時にパンフレット又はティシュの配布



○ 県内他局への番組配信

- ・週刊情報番組「きらり☆ステーション」の一部は、県内のCATV局で放送されている「まるごと信州情報ネット」で毎週放送されており、県内CATV局で大町市の情報発信が行われている。

◆ 前年からの改善点等

- ・安定的な放送の確保を目的とした送出機器の更新が完了。
- また、前年度更新した気象情報システムを活用し、防災情報機能強化を図るため、Jアラートからの情報（緊急地震速報など）の表示ができるよう協議を進めている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	87
担 当 課	総務 部	八坂支所	課	総務 係	款	2	総務費		
事 務 事 業 名	八坂地域振興事業					項	1	総務管理費	
						目	11	八坂支所費	
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち					前期計画登載頁		93	
施 策 目 標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	過疎地域での地域づくりの推進								
個 別 計 画	大町市過疎地域自立促進計画								

事業の目的	対象	・住民の自主的、主体的な地域づくり活動への支援 ・八坂地区で生活する住民及び、八坂地区に活動拠点のある団体	意図	・定住人口が減少し、少子高齢化が急速に進むなか、住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域活力の持続性を高め、活気と魅力あふれる地域づくりを推進する。
-------	----	--	----	--

事業の内容	・地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地域内の振興策や諸問題への対応を検討する。 ・地域振興バスを運行し、ふれあいバス路線区域外の交通弱者の足の確保を図る。また、診療所の送迎診療、たけのこ保育園の通園バスを運行し、施設利用者の利便性の向上と交通弱者の足の確保を図る。 ・地域づくり協議会、八坂音頭保存会等へ補助金を交付し、地域振興と特色ある地域活動団体の支援を行う。
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	14,441,892	11,857,556	12,896,212	1,038,656	8.8%
	財源内訳					
	特定財源		6,000,000	1,000,000	-5,000,000	-83.3%
	一般財源	14,441,892	5,857,556	11,896,212	6,038,656	103.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
15,400,000				15,400,000	12,896,212	
不用額	特定 財源	細部名	ふるさと応援基金 繰入金			
2,503,788	内訳	金額	1,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 地域振興バスの運行状況
 - ・ 運行日数 293日
 - ・ 利用者数 1,703人
- 道路愛護事業（年4回）
 - ・ 作業実施延長（1回：約75km）
 - ・ 参加者数 1,151人

- 診療所送迎バスの運行状況
 - ・ 運行日数 70日
 - ・ 利用者数 468人

■ 補助金

- ・ 地域づくり事業 1,200千円
- ・ 公共土木施設愛護会事業 800千円
- ・ 地域間交流事業（八坂夏まつり） 600千円
- ・ 八坂青竜太鼓保存会事業 300千円
- ・ 八坂音頭保存会事業 250千円
- ・ 八坂地区老人スポーツ大会事業 100千円
- ・ 移動購買車更新事業 1,300千円



八坂夏まつり(8月14日開催)



道路愛護事業(草刈り作業)



更新した移動購買車
(火～金の週4日の午前中運行)

◆ 前年からの改善点等

- ・ 地域の高齢者世帯に生活物資を届ける移動購買車（JA大北が運営）の更新事業補助金を交付し、新しい車両になりました。商品棚が前より低くなり買い物がし易くなったと大変好評です。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		87	
担 当 課		総務 部		八坂支所 課		総務・産業建設 係		款 2		総務費		
事 務 事 業 名		八坂定住促進事業						項 1		総務管理費		
								目 11		八坂支所費		
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		60		
施 策 目 標		移住・定住促進策等の充実強化						前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目		過疎地域における移住・定住促進										
個 別 計 画		大町市過疎地域自立促進計画										

事業の目的	対象	定住人口が減少し、少子高齢化が急激に進むなか、拠点集落に1・Uターン者等の定住を促進させるための定住促進住宅の整備を行う。また、地域に点在する空き家を有効活用し、移住希望者に紹介するとともに、入居した世帯に奨励金を交付する。	意図	地域に密着した定住促進対策を進め、地域活力の維持と継続を図る。
事業の内容	・平成26年度 住宅建設3棟（切久保2・矢下1）・平成27年度 住宅建設2棟（野平）・平成28年度 住宅建設2棟（野平）・平成29年度 住宅建設2棟（矢下）・令和元年度 宅地造成（栃沢）＜令和2年度 住宅建設2棟（栃沢）・・予定＞ ・移住者との交流会、過疎地域定住促進奨励金・過疎地域住宅新築資金等利子補給金・過疎地域就職促進奨励金等の交付			

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度	41,239,064		11,301,812	11,301,812	皆増
	総事業費（決算額）					
	特定財源	30,700,000		8,000,000	8,000,000	皆増
財源内訳	一般財源	10,539,064		3,301,812	3,301,812	皆増

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
21,131,000	-8,876,000	0	-47,320	12,207,680	11,301,812	0
不用額	特定財源	細節名	八坂定住促進住宅建設事業債			
905,868	内訳	金額	8,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○建設事業

栃沢地区2棟（令和2年度建設目標）

宅地造成工事

工期：令和元年11月7日～令和2年3月23日

竣工：令和2年3月31日

○入居者募集

- ・明野集合団地（1戸）：毎月募集したが、入居希望者はなかった。
- ・12月7日、東京で開催された移住者セミナーに出席し、八坂地区の魅力と定住促進住宅のPRを行った。

○移住者との交流会の開催

- ・11月16日、地域づくり協議会の協力で、八坂地区に移住した皆さんと地元住民との交流会を開催しました。（30名参加）

○奨励金の交付

- ・過疎地域定住促進奨励金 1件（200,000円）



宅地造成地



移住者セミナー

◆ 前年からの改善点等

- ・令和2年度竣工予定の栃沢地区定住促進住宅の入居者募集予定として早い時期（宅地造成段階）から、移住希望者にPR活動を行った事により、十分な周知期間を確保できたとともに、移住希望者側も余裕ある検討ができたと思われる。
- ・移住者との交流会をワークショップ方式で開催したことにより、普段は話づらい不満や要望、また、移住して良かったことなど活発な意見が出され、これからの移住・定住についてみんなで語らう良い機会となった。



移住者との交流会

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	89
担 当 課	総務 部	八坂支所	課	産業建設	係	款	2	総務費
事 務 事 業 名	明日香荘管理運営費					項	1	総務管理費
						目	11	八坂支所費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		56
施 策 目 標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進							
個 別 計 画								

事業の目的	対象	・市民の健康増進に資するための保養施設及び観光施設として、地域間交流の促進、観光の振興を行う。	意図	・地元の郷土食であるそば・おやきの製造、販売をととした郷土文化の維持を図り、地域の活性化に結び付けたい。・地域の拠り所として、地域住民に愛される施設管理を推進する。
-------	----	---	----	--

事業の内容	・施設及び設備等の修繕については、公共施設総合管理計画に基づき、指定管理者と協議をしながら計画的に行うとともに、明日香荘の適正な管理運営を行う。				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	18,472,424	16,009,696	15,003,280	-1,006,416	-6.3%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	18,472,424	16,009,696	15,003,280	-1,006,416	-6.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
15,039,000	0	0	47,320	15,086,320	15,003,280	0
不用額	特定 財源	細節名				
83,040	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動	イベント数：11回 前年度8回	利用者：5,889人 前年度：4,246人 増減+1,643人
○おやきイベント（季節のおやき）		○新そば祭
・毎月開催		・10～11月開催
・利用者：2,585人（前年度 +684人）		・利用者：779人（前年度 +212人）
○入浴と食事のセット		○新そば祭バイキング
・毎月開催		・10月開催
・利用者：1,366人（前年度 +134人）		・利用者：156人
○山菜とそば祭		○マグロ解体ショー＆日本酒まつり
・5月開催		・11月開催
・利用者：310人		・利用者：262人（前年度 +209人）
○八坂バイキング（淡竹バイキング）		○おせち料理販売
・6月開催		・12月開催
・利用者：160人（前年度 -52人）		・利用者：52人（前年度 -6人）
○一夜限りのピアガーデン		○風呂の日始め
・8月開催		・1月開催
・利用者：57人（前年度 -4人）		・利用者：89人
		○クエ解体ショー＆日本酒まつり
		・2月開催
		・利用者：73人
◆ 事業の成果	・イベントを開催することにより、地元住民のリピーター確保を期待している。施設の設置目的である市民福祉の増進に寄与している。	
◆ 前年からの改善点等	・明日香荘連絡協議会は、4回開催され、利用者からの要望として、おやきの焼き方や、風呂の温度設定、自主事業であるイベントの内容等の意見が出され、改善策を講じるなど利用者の満足度向上に努めた。	

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	91
担 当 課	総務 部	美麻支所	課	総務 係	款	2	総務費			
事 務 事 業 名	美麻地域振興事業					項	1	総務管理費		
						目	12	美麻支所費		
まちのテーマ	第5節_市民の参画と協働でつくるまち					前期計画登載頁		93		
施 策 目 標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	過疎地域での地域づくりの推進									
個 別 計 画	大町市過疎地域自立促進計画									

事業の目的	対象	美麻地区住民	意 図	高齢化、少子化が進展する地域において、各種施策を実施し、地域の人口規模の維持を図る。
-------	----	--------	-----	--

事業の内容	・地域住民の声を市政に反映させるための地域づくり委員会の運営 ・地域の課題解決に向けた取り組み強化のため地域振興支援員を配置 ・過疎地域振興策として補助金及び負担金の交付。 補助金：美麻地域づくり会議、源流美麻太鼓の会、営農支援センター、道路愛護事業 負担金：オリンピック白馬ルート地域振興協議会、ロードレース実行委員会	・街路灯の設置 ・美麻診療所への患者輸送業務 ・過疎地域で事業を行う起業家育成支援
-------	---	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	7,724,038	16,599,946	8,006,251	-8,593,695	-51.8%
	財源内訳					
	特定財源		10,235,000	1,000,000	-9,235,000	-90.2%
	一般財源	7,724,038	6,364,946	7,006,251	641,305	10.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
11,800,000	0	0	0	11,800,000	8,006,251	0
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金 繰入金			
3,793,749	内訳	金額	1,000,000			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動（主なもの）
 - ・美麻地域づくり委員会（187千円）
委員数12名、隔月で年間5回開催し、12月には空き家対策について市に意見書を提出している。
 - ・地域振興支援員（2,400千円）
1名を配置し、地域自治組織の運営補助及び地域の課題解決に向けた取り組みに携わっている。
 - ・美麻診療所患者輸送委託業務（671千円）
市民の診療所受診のため、患者輸送及び車両の管理を実施。
（運行曜日 月・水・木、運行日数129日、運行回数230回、輸送人数528人）
 - ・防犯灯設置工事（756千円）
老朽化した蛍光灯式の防犯灯をLED式に交換し、住民の安全確保を図る。（大塩地区24基）
なお、平成29年までは市単独事業で行っていたが、平成30年からは合併特例交付金を活用することで、工事規模を拡大している。



小さな拠点づくりワークショップ
令和1年12月20日開催



地域づくり会議、地域づくり委員会合同での
先進地視察（fabスペースhana_re）
令和1年7月13日実施

【負担金の交付】

- ・大町市美麻ロードレース実行委員会負担金（700千円）
9/1 ロードレス大会 1回開催
選手等競技関係者604人、市内宿泊者452人（うち 美麻宿泊者143人）
- ・オリンピック白馬ルート地域振興協議会負担金（240千円）
イベント「おやき恋訪・ふれあい広場」を2回開催 延べ320名参加

【補助金の交付】

- ・地域づくり事業補助金（1,200千円）
支出先：美麻地域づくり会議
（みあさづくり通信発行、先進地視察、道の駅活性化事業、特産品開発等）
- ・地域芸能文化振興事業補助金（300千円）
支出先：源流美麻太鼓の会
（地域のイベントに10数回参加、第23回日本太鼓ジュニア長野県予選大会3位入賞）
- ・本年度は昨年度と比較し過疎地域起業家育成支援事業補助金交付や美麻診療所患者輸送車の購入がなかったことから、昨年度と比較し予算額の減となった。（前年比△8,600千円）
- ・道路愛護事業補助金（750千円）
支出先：美麻地区連合自治会（市道等の草刈り、側溝整備、清掃）
5自治会で4回実施 作業延長 81.34km

◆ 事業の成果

本年度の地域づくり委員会では、5回の会議を重ね、空き家対策の拡充について意見書を提出した。地域づくり会議では、事業部会が中心となり道の駅活性化事業に取り組むとともに、信州花フェスタに参加し、地区特産品のPRを行った。また当年より取り組んでいる小さな拠点事業の推進のため、地域づくり委員会と共同で、先進地視察を行った。
（北相木村 シェアリングエコノミー、諏訪市 リビルディングセンター、岡谷市 fabスペース）
さらに、小さな拠点づくりのためのワークショップを開催し、美麻地区の活性化について協議を行なった。

◆ 前年からの改善点等

過疎地域起業家育成支援事業は、確実に補助金返還を求める規定を盛り込む等要綱改正を行った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	91
担 当 課	総務 部		美麻支所 課		総務 係		款 2	総務費	
事 務 事 業 名	メンドシーノ交流事業						項 1	総務管理費	
							目 12	美麻支所費	
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		40
施 策 目 標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	特色ある交流事業の推進								
個 別 計 画	大町市過疎地域自立促進計画								
事業の目的	対象	美麻地区の住民及びメンドシーノ訪問団			意図	将来を担う若者に国際交流を体験させることにより、国際感覚を身に付け、積極性を担う機会を設ける。また、幅広い年代の市民が参画することで、市民レベルの国際交流を推進する。			
事業の内容	アメリカ合衆国カリフォルニア州メンドシーノ訪問団の受入又は派遣（隔年） ・負担金：受入時 900千円（H29年度は芸術家交流10周年事業実施により1,100千円とした）派遣時 約3,000千円 ・旅 費：派遣時 約900千円								
決算数値（単位：円）									
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率		
	総事業費（決算額）		1,100,000	4,234,078	900,000	-3,334,078	-78.7%		
	財源内訳	特定財源				0	-		
		一般財源	1,100,000	4,234,078	900,000	-3,334,078	-78.7%		
令和元年度当初予算額	補正予算額		繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額		
900,000	0				900,000	900,000			
不用額	特定財源	細節名							
0	内訳	金額							
事業の実績・成果									
◆ 施策目標に資する活動									
・訪問団受入（美麻地区来訪6／27～7／2 児童24名、引率6名）									
・全体スケジュール									
6/16 メンドシーノ訪問団入国									
17～26 国内見学									
27 大町市美麻入り									
28 学校交流									
29～30 ホストファミリーとの自由交流日									
7/1 市内訪問									
2 帰国									
・学校交流（6/28 美麻小中学校）									
全校児童約90名と訪問団との授業や遊びを通じ、交流を行った。									
・歓迎会（6/27 美麻公民館講堂）・交流会（7／1 ふれあいセンター）									
児童を含め多くの地域住民が参加して訪問団を歓迎し、親交を深めた。									
学校交流									
									
交流会									
									
◆ 事業の成果									
・一定期間、親元を離れることで児童の自立意識が芽生えた。									
・言葉が通じない状況の中で、しっかり自己主張ができるなど、児童の成長が見られた。									
・国内ではまず体験することができない異文化に触れることができた。									
・メンドシーノの方々に和太鼓や横笛など、日本の文化を示すことができた。									
◆ 前年からの改善点等									
・メンドシーノ訪問団への随行方法を見直し、経費の削減に努めた。									

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	91
担 当 課		総務 部	美麻支所 課		総務 係	款	2	総務費	
事 務 事 業 名		美麻定住促進事業				項	1	総務管理費	
						目	12	美麻支所費	
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁		60	
施 策 目 標		移住・定住促進策等の充実強化				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		過疎地域における移住・定住促進							
個 別 計 画		大町市過疎地域振興計画							
事業の目的 対象		美麻地区住民、美麻地区への移住・定住希望者			意図	過疎化が進む美麻地区において、地域の人口増加を図るため、希望者の移住定住が円滑に進むよう、定住促進住宅をはじめとした居住への支援、また、定住促進奨励金などの施策を講じる。			
事業の内容		・平成27年度 新行地区 3棟用地買収 ・平成28年度 新行地区 建築設計 ・平成29年度 新行地区 造成工事、住宅3棟建設 ・定住促進奨励金、住宅新築資金利子補給金、就職促進奨励金の交付（美麻地域振興事業から組替え）							
決算数値（単位：円）									
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率		
	総事業費（決算額）		74,124,940	689,043	86,677	-602,366	-87.4%		
	財源内訳	特定財源	54,600,000			0	-		
		一般財源	19,524,940	689,043	86,677	-602,366	-87.4%		
令和元年度 当初予算額		補正予算額		繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額	
8,000,000		-7,000,000		0	0	1,000,000	86,677	0	
不用額		特定 財源	細節名						
913,323		内訳	金額						

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 定住促進住宅建設等

新行団地：平成29年度 3棟建設 入居者 11名

二重団地：令和元年度 用地選定、令和2年度 土地造成工事

選定予定地を民地から市有地に変更したことに伴い、測量及び土地造成設計業務が減額となった。

◆ 事業の成果

○ 美麻地区定住促進住宅

総戸数 17戸

入居者 16戸 57名

○ 過疎地域定住促進奨励金

(0件)

○ 過疎地域住宅新築資金利子補給金

(2件：86,677円)

○ 過疎地域就職促進奨励金

(0件)

◆ 前年からの改善点等

市ホームページの入居者募集により、平成30年度から空部屋が1室減った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	91
担 当 課	総務 部	美麻支所 課	産業建設 係	款	2	総務費			
事 務 事 業 名	ぽかぽかランド美麻管理運営費					項	1	総務管理費	
						目	12	美麻支所費	
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		56	
施 策 目 標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	地域間交流の促進、観光事業の振興及び市民福祉の増進を図ることを目的とした施設。 道の駅として、幅広い年齢層の市民や観光客等が対象。	意 図	市内唯一の道の駅であり、また美麻地区の地域交流・観光等の拠点施設であるので、良好なサービス提供のため計画的な維持修繕を行うとともに、指定管理者による各種イベント等により利用の促進を図っていきたい。
-------	----	--	-----	--

事業の内容	○指定管理施設の維持管理 ・ぽかぽかランド美麻指定管理料（2,507千円） ・大広間カーペット、宴会場前女子トイレ、非常用照明、厨房エアコンほか修繕 ・テーブル型冷蔵庫ほか備品購入					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		8,157,310	8,117,011	10,119,170	2,002,159	24.7%
	財源内訳	特定財源	15,021	38,826	53,807	14,981	38.6%
		一般財源	8,142,289	8,078,185	10,065,363	1,987,178	24.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,173,000			2,334,024	10,507,024	10,119,170	
不用額	特定財源	細節名	ぽかぽかランド美麻 EV充電器課金			
387,854	内訳	金額	53,807			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
指定管理施設の主な維持管理費
 - ・大広間カーペット、宴会場前女子トイレ、非常用照明、厨房エアコンほか修繕費（6,100千円）
 - ・防火設備調査ほか手数料（193千円）
 - ・指定管理料（2,507千円）
 - ・美遊土地賃借料（403千円）
 - ・テーブル型冷蔵庫ほか備品購入（638千円）

- ◆ 事業の成果
施設利用者数 73,136人

内訳	宿泊	4,035人
	宴会	1,982人
	レストラン	9,170人
	売店	14,536人
	入浴	43,413人

- ◆ 前年からの改善点等
当初予算で見込んでいない予定外の緊急的な修繕は、補正対応により実施している。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	93
担 当 課	総務 部	まちづくり交流 課	芸術文化振興・国際芸術祭推進 係		款	2	総務費		
事 務 事 業 名	芸術文化振興事業					項	1	総務管理費	
						目	13	文化振興費	
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		46	
施 策 目 標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	地域の芸術文化の創造								
個 別 計 画	文化資源活用ビジョン								

事業の目的	対象	■アーティスト・イン・レジデンス事業 ①市民は、市内文化芸術活動と滞在アーティストの連携、交流 ②滞在アーティストは、大町市の魅力を感じアートにより広く発信 ■国際芸術祭事業 ①国内外の多くの人々は、大町市への来訪や魅力の発信 ②市民は、市が持つ魅力の再発見と来訪者との交流 ③市内事業者は、来訪者による消費活動の受入れと芸術祭により知名度アップを活かした新たなビジネスチャンスの創出 ④様々な分野のプロフェッショナルは、芸術祭を媒介として強い情報発信と大町のブランド力向上	意図	■アーティスト・イン・レジデンス事業 ①市内芸術文化活動とアーティストの連携による芸術文化の振興 ②大町市の新たな魅力を創造し芸術文化都市を広く発信 ③交流人口、関係人口の増による定住促進 ■国際芸術祭事業 ①観光誘客による交流人口、関係人口の増 ②市民参加による地域づくりへの足掛かり ③芸術が持つ力を利用した市の魅力発信によるブランディング ④地域の消費拡大
	事業の内容	アーティスト・イン・レジデンス事業については、旧教員住宅を活用した「あさひAIR」を滞在施設として、毎年国内外から作家を招聘して滞在制作の支援を行い芸術文化振興を図るとともに、市民と作家の交流を深めながら芸術文化都市としてのブランディングの土台としていく。 北アルプス国際芸術祭は、3年に一度のトリエンナーレとして開催する。国内外からの作家招聘による質の高いアート作品の展開と、来訪者に生活文化である地域の食を提供する。幅広い分野の一流の人々の協力を得ながら、芸術文化活動が持つ強い情報発信力を最大限に活用することにより、市への新しい人の流れを生み出し交流・移住人口や定住人口の増加にも資することを目指す。		

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	155,451,888	30,927,801	82,709,545	51,781,744	167.4%
	財源内訳					
	特定財源	106,224,152	16,320,000	36,705,796	20,385,796	124.9%
	一般財源	49,227,736	14,607,801	46,003,749	31,395,948	214.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
75,578,000	5,952,000		1,440,709	82,970,709	82,709,545	
不用額	特定 財源	細節名	芸術文化振興基金繰入金	文化芸術振興費補助金	地域活性化センター 助成金	芸術文化振興事業 参加負担
261,164	内訳	金額	35,000,000	863,996	800,000	41,800

事業の実績・成果	
◆ 施策目標に資する活動	
○北アルプス国際芸術祭開催準備	
資金調達	・協賛金については、対前回比約150%、国補助金については、内閣府、文化庁へ要請
広報PR	・9月26日 記者会見において第一弾参加アーティスト・メインビジュアル発表 ビジュアルディレクターに皆川明氏を登用 ・12月5日 首都圏 銀座SIXにおいて企画発表会、第二弾参加アーティスト発表、食プロジェクト発表 メディア、協賛関係者等約150人出席 ・2月3日 長野県庁記者室において企画発表会、阿部知事、牛越市長、北川総合ディレクター、 皆川ビジュアル・ディレクター出席 メディア：19社約30人出席 ・2月22日 松本市 信毎メディアガーデンにおいてプレイベント、北川総合ディレクターによる概要説明 皆川ビジュアル・ディレクター、参加アーティスト串田氏、大町市観光大使村井氏による オープントーク、ミナペルホネンWSなど開催 約300人参加 ・ポスター、パンフレット、のぼり旗等制作物の関係箇所への配布、公式ガイドブック編纂 ・HPのリニューアル、SNSによる情報発信
アート	・アーティスト現地視察11月～随時、パフォーマンス…演劇、ライブ等 ・作品設置候補地の選定、交渉及び借用手続、許認可手続 ・招聘予定アーティスト 約40組（14カ国）

- 食
- ・信濃公堂…公式レストラン「おこひる公堂」、プレミアムダイニング「北アルプスのHATAKE」調理、配膳スタッフへの研修会の開催
 - ・おもてなしプロジェクト…市内1,300人の小中学生による草木染と和紙によるコースターづくり

サポーター・サポーター受入れ態勢…市内旅館等と受入れ協定、サポーター研修、募集イベント

オフィシャルツアー

- ・東回り・西回り、ガイド養成講座開催

二次交通　・市内交通事業者との周遊バス等の運行調整

美術館連携・広報連携、販売協定等　県内20館

○信濃大町アーティスト・イン・レジデンス

- ・市内芸術団体等と委託契約し、12月までに11組（5カ国）の作家を招聘
- ・オープニングイベントをはじめ、市内小中学校、高等学校等でのWS、オープントーク、作家交流会開催
- ・今年度のAIR事業による交流人口は、夏2,150人、冬1,965人、合計で4,115人となった
- ・制作、展示。招聘作家の中から芸術祭参加作家が生まれる。

◆ 事業の成果

アーティスト・イン・レジデンスにおいては、作家の招聘、制作支援、成果発表支援などを担うコーディネーター役の配置が課題であったが、令和元年度から市内の芸術文化団体の方々が担うことになり、有望なアーティストの招聘と質の高い作品制作が可能となった。また、海外作家との交流もスムーズに行えるようになり、今後は地元作家や市民との交流をより深め定着を図っていく。

北アルプス国際芸術祭については、国内外での評価は上がってきており、様々な分野の一流の方々が協力してくれる状況となり、企業協賛も増え、価値は上がってきている。一方で、市民の間でこれらの価値や状況について共有できておらず、事務局の情報提供が不足していると認識している。

◆ 前年からの改善点等

アーティスト・イン・レジデンス事業におけるコーディネーター役の設置と業務委託
北アルプス国際芸術祭におけるビジュアル・ディレクターの配置

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	93
担 当 課	教育委員会 部		生涯学習 課		文化会館 係		款	2	総務費	
事 務 事 業 名	市民舞台芸術創作事業						項	1	総務管理費	
							目	13	文化振興費	
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		45	
施 策 目 標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	芸術文化の振興									
個 別 計 画	第7期社会教育計画									

事業の目的	対象	大町市民（在勤・在学者も対象）	意図	舞台創作を担う人材育成の場として前年度は「企画プロデュースコース」夏期・冬期講座を開講。今回は、より実践的な講座を冬期に集中し「羽毛田丈史コンサート」を企画運営の実務を体験した。	
-------	----	-----------------	----	---	--

事業の内容	冬期講座 受講生 12名 「羽毛田丈史コンサート」実施に係る企画と運営の実践 全7回				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	1,329,611	1,429,158	817,893	-611,265	-42.8%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	1,329,611	1,429,158	817,893	-611,265 -42.8%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,400,000				1,400,000	817,893	
不用額	特定 財源	細節名				
582,107	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

冬期講座

受講生 12名 「羽毛田丈史」コンサート実施に係る企画と運営の実践 全7回・

- ① 9/29 基礎講座 コンサート制作・企画ミーティング
- ② 10/20 実践講座 広報宣伝ミーティング
- ③ 11/16 特別講座 羽毛田丈史コンサート記者発表運営・企画ミーティング
文化会館ホールアシスタントとの交流ミーティング
- ④ 12/4 企画・宣伝ミーティング
- ⑤ 1/19 実践講座 企画・宣伝ミーティング
- ⑥ 2/23 実践講座 企画ミーティング
- ⑦ 3/22 実践講座 イベント中止に関するミーティング

◆ 事業の成果

宣伝プロモーションとして、出演者本人の撮影や取材に同行し各メディアへの情報発信も受講生が行うほか、記者発表会の運営、各メディアへの生出演、近隣市町村コンビニにチラシ配布など、より実践的な活動を行うことができた。また、文化会館ホールアシスタントとの交流ミーティングでは、実際に表方の立場で気を付けなければならない事など”現場の声”を聴くことにより、運営の細かな設定に繋げることができた。

⑦の実践講座（3/22）では、コンサート中止の決定から払い戻しに伴う諸々の課題について講義・ミーティングを実施。本来であればコンサートの実施が最終日となる予定だったが、新型コロナウイルス感染防止対策による中止という事態もあり、講師の様々な経験談は受講者も今後活かせる内容となった。

◆ 前年からの改善点等

前年は夏期・冬期の2コースだったが、今年度は冬期に1本化して内容の充実を図った。
宣伝プロモーションなど実践的な活動を強化した。



10/20広報宣伝ミーティング



1/19企画・宣伝ミーティング



2/23企画ミーティング



12/4企画・宣伝ミーティング



12/4企画・宣伝ミーティング



12/4企画・宣伝ミーティング



11/16特別講座・記者発表



11/16特別講座・記者発表



11/16特別講座・記者発表



羽毛田氏・宮本氏収録取材



羽毛田氏・宮本氏収録取材

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	105	
担 当 課		民生 部		福祉課 課		庶務係 係		款	3	民生費	
事 務 事 業 名		総合福祉センター管理事業						項	1	社会福祉費	
								目	1	社会福祉総務費	
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		68	
施 策 目 標		だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進						前年度評価 方向性		やり方 改善	
施 策 項 目		地域福祉の推進									
個 別 計 画		大町市地域福祉計画									

事業の目的	対象	子どもから高齢者、障がいのある人もない人も、誰もが安心して利用できる施設の運営。	意 図	民間のノウハウと発想を活用した運営、3つの総合福祉センターの連携強化、市民ニーズを的確にとらえた弾力的なサービス提供、保健・福祉に関する総合相談窓口の検討により効果的・効率的な施設の運営を図る。
-------	----	--	-----	---

事業の内容	民間活力導入のための指定管理者制度の導入 大町市総合福祉センター（平成18年度から導入） 八坂総合福祉センター（平成21年度から導入） 美麻総合福祉センター（平成24年度から導入）			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	42,337,335	46,850,008	43,669,846	-3,180,162	-6.8%
	財源内訳					
	特定財源			37,000	37,000	皆増
	一般財源	42,337,335	46,850,008	43,632,846	-3,217,162	-6.9%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
39,528,000			4,311,944	43,839,944	43,669,846	
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
170,098	内訳	金額	37,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○各施設の利用状況

施 設 名	項 目	開設日数	利 用 実 績
大町市総合福祉センター	公衆浴場	310日	延べ28,942人（93.4人／日）
	会議室等貸館	360日	延べ1,926団体（5.4団体／日） 延べ15,774人（43.8人／日）
八坂総合福祉センター	デイサービス	257日	延べ4,113人（16.0人／日）
美麻総合福祉センター	デイサービス	257日	延べ4,851人（18.9人／日）
	会議室等貸館	242日	延べ126団体（0.5団体／日） 延べ1,589人（6.6人／日）

○公衆浴場無料開放デーの実施

- ・子どもの日（5月5日 204人）
- ・敬老の日前日（9月15日 154人）

○年末年始公衆浴場臨時営業（10：00～17：00）

- ・12月29日 73人
- ・12月30日 94人
- ・1月3日 83人 ※おしるこ振る舞い

○美麻ふれあいまつりの開催

- ・8月24日 参加者 160人

◆ 前年からの改善点等

○公衆浴場の利用促進

- ・無料開放日やアルプスマラソンでの利用も増加した。今後、さらに利用促進について検討していく。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	105
担 当 課	民生 部	福祉 課	庶務 係	款	3	民生費				
事 務 事 業 名	市社会福祉協議会助成事業					項	1	社会福祉費		
						目	1	社会福祉総務費		
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		68		
施 策 目 標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	地域福祉の推進									
個 別 計 画	大町市地域福祉計画									

事業の目的	対象	社会福祉法人 大町市社会福祉協議会	意図	社会福祉協議会の組織体制の充実と事業運営の強化を図る。
-------	----	-------------------	----	-----------------------------

事業の内容	大町市における社会福祉事業の遂行を総合的に担う社会福祉協議会へ補助金を交付し、大町市地域福祉活動計画の実施に向けた援助・支援を行う。 対象：法人運営事業・ふれあい福祉センター運営事業・ボランティアセンター運営事業・心配ごと相談事業			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	21,872,000	21,649,000	21,649,000	0	-	
	財源内訳	特定財源				0	-
		一般財源	21,872,000	21,649,000	21,649,000	0	-

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
21,649,000				21,649,000	21,649,000	
不用額	特定財源	細節名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○小地域福祉ネットワーク研修会開催

令和元年10月1日

- ・講演会「笑い与健康」 講師：笑いヨガ認定ティーチャー 五十嵐 千恵 氏
- ・参加者 34名

○大町市社会福祉大会開催

令和2年2月1日 場所：サン・アルプス大町

- ・表彰
- ・アトラクション 「共同作業所の仲間たちコンサート ～みんなの和・種をまこう～」
- ・講演会「住民が地域に福祉をつくる ～地域における新たな支え合い～」
講師：まちの縁側育みプロジェクトながの代表 小林 博明 氏

○ボランティア登録状況

- ・ボランティア団体 103団体 6,272人
- ・小地域福祉ネットワーク 45団体

○心配ごと相談

- ・毎月2回開催
- ・相談件数 85件

◆ 前年からの改善点等

法律に関する内容にも対応できるよう、心配ごと相談と司法書士相談を併せて開設した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	107
担 当 課		民 生 部		福 祉 課	庶 務 係		款	3	民 生 費	
事 務 事 業 名		プレミアム付商品券事業						項	1	社会福祉費
								目	1	社会福祉総務費
ま ち の テ ー マ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		
施 策 目 標		だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進						前年度評価 方向性		R元 新規事業
施 策 項 目		生活困窮者への支援の推進								
個 別 計 画										

事業の目的	・平成31年1月1日現在大町市に住民登録があり、令和元年度の市民税が非課税の方 ・令和元年7月31日及び令和元年9月30日を基準日として、当該日時点で3歳未満児を子育て中の世帯主	意図 消費税率引き上げによる低所得者及び子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため。
-------	--	---

事業の内容	消費税率の引き上げに伴い、所得の低い方や子育て世帯の負担の影響に配慮し、暫定的、臨時的な措置として市内の商店等で買い物ができるプレミアム付商品券を販売することとなり、このプレミアム付商品券購入に必要な引換券の発行業務。
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	-	-	6,342,140	6,342,140	皆増
	財源内訳					
	特定財源	-	-	6,342,140	6,342,140	皆増
	一般財源	-	-	0	0	-

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
0	6,377,000		-34,250	6,342,750	6,342,140	
不用額	特定財源	細節名	プレミアム付商品券事務費助成金			
610	内訳	金額	6,342,140			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○対象者数及び引換券発行枚数

	非課税分	子育て分	計
対象者数	5,867	505	6,372
申請受付件数	2,770		2,770
却下数	4		4
除外数	11		11
引換券発行枚数	2,755	505	3,260

※却下数：高所得世帯や税情報の変更で引換券発行不可

除外数：対象者であるが、申請の希望がない

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	109
担 当 課	民生 部	福祉 課	福祉 係	款	3	民生費				
事 務 事 業 名	その他障害者福祉サービス事業					項	1	社会福祉費		
						目	2	障害者福祉費		
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁				
施 策 目 標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	障がい者福祉の推進									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	障害者（児）の日常生活や社会生活を営むために必要な障害福祉サービス等の提供	意図	住み慣れた地域で必要な日常生活・社会生活を営むための支援を受けられること。
-------	----	---------------------------------------	----	---------------------------------------

事業の内容	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために定められた地域生活支援事業及び市単独事業等の実施 ◆地域生活支援事業 大北圏域障害者総合支援センターの相談支援業務、地域活動支援センター利用事業、日常生活用具給付事業、日中一時支援事業 等 ◆市単独事業 福祉タクシー券交付事業 介護者慰労金給付事業 等				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	58,522,966	56,985,643	55,413,687	-1,571,956	-2.8%
	財源内訳					
	特定財源	24,487,000	23,620,000	23,297,843	-322,157	-1.4%
	一般財源	34,035,966	33,365,643	32,115,844	-1,249,799	-3.7%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
62,219,000	-5,700,000		-57,813	56,461,187	55,413,687	
不用額	特定財源	細節名	【国】地域生活支援事業補助金	【県】地域生活支援事業補助金	北アルプス連携自立圏負担金	地域福祉総合助成金ほか
1,047,500	内訳	金額	11,464,000	5,295,000	6,323,000	215,843

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 障害者総合支援法による地域生活支援事業

- ・相談支援事業 大北圏域障害者総合支援センターを、北アルプス連携自立圏事業で事業委託
相談支援件数 278件（大町市分） 自立支援協議会事務局も運営し、圏域内の課題解決や改善に向け取り組んでいる。
委託料11,279,000円
- ・意思疎通支援事業 情報保障のための手話通訳、要約筆記者の派遣を実施
要約筆記者派遣 延回数 7回 51,317円
- ・成年後見制度利用支援事業 後見人報酬 1名 217,000円、申立費用2名 27,440
- ・日常生活用具給付事業 在宅生活を継続するうえで必要な用具等を給付している。
給付件数 831件 8,703,068円
- ・地域活動支援センター 日中の場、社会適応訓練、入浴介助等を実施 市内事業所 2か所
延利用人数 534人 16,811,017円
- ・移動支援事業 外出先での支援が必要な方に対し実施 延577時間 1,505,415円
- ・訪問入浴サービス 延110回 1,340,000円
- ・日中一時支援事業 介護者の負担軽減 延利用人数 3,332人 8,381,530円
- ・点字・声の広報等発行事業 100,000円

○ その他事業

- ・通所通園事業補助金 2件 25,390円
- ・タイムケア事業 延749時間 389,820円
- ・介護者慰労金 26人 2,600,000円
- ・福祉タクシー券配布 利用枚数4,450枚 3,487,030円
- ・介護用品券 延39件 245,060円
- ・支援員派遣 2件 16,500円
- ・自動車改造 2件 200,000円

◆ 事業の成果

- ・各種事業の実施により、障がいのある方の生活の質の向上に向け、外出機会の確保や介護者の負担軽減に向けた支援を行っている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	109
担 当 課	民生	部	福祉	課	高齢者・介護保険	係	款	3	民生費	
事 務 事 業 名	高齢者福祉一般経費							項	1	社会福祉費
								目	3	高齢者福祉費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち							前期計画登載頁		65
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現							前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築									
個 別 計 画	大町市第7期大町市老人福祉計画									

事業の目的	対象	高齢者・児童並びに地域住民を対象。	意図	高齢者福祉、放課後児童健全育成事業及び三世交代交流事業を通じて、まちづくりに貢献する。
-------	----	-------------------	----	---

事業の内容	ふれあいプラザの管理について、JAが指定管理者として平成18年度より管理を行う。入浴業務、貸館業務のほか市が委託する高齢者総合相談窓口としての南部地域包括支援センターや、介護保険事業者として訪問介護事業などの運営を行っている。また、南小児童クラブの活動場所としている。			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	7,607,721	12,774,692	7,646,083	-5,128,609	-40.1%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	7,607,721	12,774,692	7,646,083	-5,128,609 -40.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,001,000	4,200			8,005,200	7,646,083	
不用額	特定 財源	細節名				
359,117	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- ・土・日曜日及び祝日に開館するなど利用者確保に努め、経費削減に対する職員の意識高揚に積極的に吐露組んだ。
- ・自主事業として、季節に合わせた行事（七夕会、しめ縄作り、節分など）を行い、また、デイサービス利用者、南小児童クラブ、地域ボランティアとの交流を実施した。
- ・市が委託する南部地域包括支援センターをはじめ、指定管理者独自事業として、介護保険の訪問介護事業など地域に密着した福祉サービスを提供した。

◆ 事業の成果

- ・年度末は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集客に支障を来したが、ほぼ前年度並みの収支確保に努めた。
- ・各種自主事業を実施し、前年度の利用者を下回った。（利用者数：本年度881人、前年度1,091人）
- ・放課後児童健全育成及び三世交代交流事業をはじめ、高齢者福祉サービスを実施し、施設の設置目的である市民の福祉及び保健衛生の保持増進を図り、まちづくりの貢献できた。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計			決算書頁		111	
担 当 課		民生 部		福祉 課		高齢者・介護保険 係		款	3	民生費			
事 務 事 業 名		高齢者福祉事業費							項	1	社会福祉費		
									目	3	高齢者福祉費		
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち							前期計画登載頁		70		
施 策 目 標		だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進							前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目		生きがい対策の充実											
個 別 計 画		第7期大町市老人福祉計画											

事業の目的	対象	①ひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯の方を対象 ②老人クラブ会員を対象	意図	①高齢者の緊急時の対応や安否確認を行う。 ②老人クラブ会員の社会参加と健康増進を図る。
-------	----	--	----	--

事業の内容	①ひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯へ、緊急通報装置を設置し高齢者の緊急時の対応や安否確認を行う。 ②老人クラブ連合会及び単位クラブへ補助金を交付し、会員の社会参加と健康増進を図る。					
-------	--	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		32,568,096	34,206,769	33,839,026	-367,743	-1.1%
	財源内訳	特定財源	4,836,136	14,297,196	4,190,168	-10,107,028	-70.7%
		一般財源	27,731,960	19,909,573	29,648,858	9,739,285	48.9%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
36,391,000	-390,000		297,200	36,298,200	33,839,026	
不用額	特定財源	細節名	老人福祉費補助金	緊急通報システム利用者実費徴収金ほか	ふるさと応援基金繰入金	
2,459,174	内訳	金額	578,000	2,604,168	1,008,000	

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - ①緊急通報システム
 - ・一人暮らしや高齢者世帯に対して、緊急通報装置を設置し、安否確認や緊急時の連絡対応を行う。
 - ②老人クラブの主な行事
 - ・市老人クラブ大会 参加者 200名、場所「サン・アルプス」
 - ・市老人クラブ体育祭 参加者 400名 補助金 300,000円
 - ・ゆうあい高齢者の集い（市内ひとり暮らし高齢者の日帰り旅行）、参加者 127名 補助金 320,000円
 - ・水中運動教室 参加者 延べ 276名 補助金 200,000円
- ◆ 事業の成果
 - ① 年間通報件数

緊急通報：1件 安否確認：327件 火災通報：5件 対象者：97名

※ひとり暮らしまたは高齢者世帯へ緊急通報装置を貸し出し、24時間体制で安否確認を行うとともに、緊急時の通報により、高齢者の安心安全な生活を支援する。

この事業は、ひとり暮らし高齢者等の日々の安否確認や緊急時の連絡体制を図り、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、非常に有効な事業である。
 - ②仲間づくりや健康づくりなど、老人クラブ活動を通して、ひととの交流により、生活を豊かにすることは、高齢者の介護予防や引きこもりを防止し、個人の生きがいづくりと明るい長寿社会の実現に大変有効である。
- ◆ 前年からの改善点等
 - ②今後更に少子高齢化が進む中、連合会役員の負担軽減を図るとともに、クラブ会員の減少に減少に歯止めをかけるため、役員（役員数の削減）及び参加しやすい事業形態の見直しを行う。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	113
担 当 課	民生	部	福祉	課	社会就労センター	係	款	3	民生費
事 務 事 業 名	社会就労センター運営管理費						項	1	社会福祉費
							目	4	授産所費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		69
施 策 目 標	だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	障がい者福祉の推進								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	身体及び知的等の障がいにより一般就労が困難な者や生活困窮者	意 図	就労の場を提供し技術を習得させることにより、利用者の自立助長及び生活の安定を図る。
-------	----	-------------------------------	-----	---

事業の内容	施設授産（定員30名）と家庭授産（定員10名：現在0人）で、障がい者のほか要保護者等生活困窮者が利用している。受託作業の主なものは、電気部品の組み立て、機械部品の一部加工、食品や洗髪剤の包装袋詰め等である。			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		35,303,664	37,127,442	31,753,661	-5,373,781	-14.5%
	財源内訳	特定財源	35,300,000	37,120,000	31,218,169	-5,901,831	-15.9%
		一般財源	3,664	7,442	535,492	528,050	7095.5%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
34,789,000	-2,300,000			32,489,000	31,753,661	
不用額	特定財源	細節名	社会就労センター受託事業収入	授産所施設費負担金		
735,339	内訳	金額	10,847,889	20,370,280		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 令和元年度就労センター利用状況

利 用 指 標	数 値
・ 令和元年度延実利用者数	28人
・ 令和元年度利用者実人数（最大）	25人
・ 利用延日数	4,858日
・ 年間利用者平均利用日数	173日
・ 作業受託費合計	10,847,889円
・ 年間一人当たり受託費（最大利用者実人数）	434,000円



◆ 事業の成果

- ・ 年度内に新たに就労継続支援B型の認定を受け一般就労を目指した者

2人

◇ マイナスの成果

- ・ 米中貿易摩擦やコロナウィルス感染拡大によって、関係する電気部品の組立作業やお土産品の包装作業などの受注量が激減した。事態の終息を待って、受注回復に努めていきたい。

◆ 前年からの改善点等

- ・ 新たな作業受託企業の増（9社⇒10社）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	113		
担 当 課		民 生 部		福 祉 課		美麻福祉企業センター		係	款	3	民生費	
事 務 事 業 名		美麻福祉企業センター運営管理費							項	1	社会福祉費	
									目	4	授産所費	
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち							前期計画登載頁		69	
施 策 目 標		だれもがいきいきと暮らせる環境づくりの推進							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		生活困窮者への支援の推進										
個 別 計 画												

事業の目的	対象	身体及び知的等の障がいにより一般就労が困難な人や、就業能力の限られている要保護者。	意図	就労の場所を提供し技術を習得させ、利用者の自立助長及び生活の安定を図る。また、過疎地における就業場所を確保する。
-------	----	---	----	--

事業の内容	施設授産（定員30名）で、要保護者、生活困窮者等が利用している。 受託作業の主なものは ・金属磨き ・罎書き加工 ・化粧箱の組立 ・ハーネスケーブル加工等である。				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	39,100,067	39,395,234	35,028,171	-4,367,063	-11.1%
	財源内訳	特定財源	38,260,848	36,324,586	30,632,089	-5,692,497
		一般財源	839,219	3,070,648	4,396,082	1,325,434

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
38,152,000	-2,370,000			35,782,000	35,028,171	
不用額	特定財源	細節名	授産所施設費負担金	美麻福祉企業センター受託事業収入		
753,829	内訳	金額	14,111,560	16,520,529		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○美麻福祉企業センター

利用指標	数値
・令和元年度延実利用者数	24人
・令和元年度利用者実人数（最大）	23人
・利用延日数	4,340日
・年間利用者平均利用日数	180日
・作業受託費合計	16,520,529円
・年間一人当たり受託費（最大利用者実人数）	718,283円

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計		一般会計		決算書頁		117	
担 当 課		民生 部		市民 課		国保・年金 係		款 3		民生費	
事 務 事 業 名		福祉医療給付一般経費						項 1		社会福祉費	
								目 6		福祉医療給付費	
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		64、73	
施 策 目 標		健康で長生きできる社会の実現						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		安心して受けられる医療の確保									
個 別 計 画											

事業の目的	対象	子ども、障がい者、母子・父子家庭の福祉医療受給者を対象に医療費を給付する。	意図	福祉医療受給者の医療費の負担軽減を行うことにより、安心して医療を受けられる環境を確保する。
-------	----	---------------------------------------	----	---

事業の内容	医療機関に受診した後、約3か月後に保険診療分の窓口自己負担相当額を給付する。 給付時には1レセプト当たり500円を自己負担として差し引く。 対象区分によって、県の2分の1補助制度がある。それ以外は市の単独事業として実施。 中学卒業までの子ども医療費は現物給付方式より、保険医療機関等の窓口で月500円のみを支払い受診できる。					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		211,856,538	221,641,585	223,252,969	1,611,384	0.7%
	財源内訳	特定財源	70,244,603	72,308,357	76,262,267	3,953,910	5.5%
		一般財源	141,611,935	149,333,228	146,990,702	-2,342,526	-1.6%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
216,897,000	6,979,000			223,876,000	223,252,969	
不用額	特定財源	細節名	乳幼児医療費補助金ほか	福祉医療費資金貸付金元金	過年度分福祉医療費特別給付金返還金	
623,031	内訳	金額	67,960,000	6,405,125	1,897,142	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

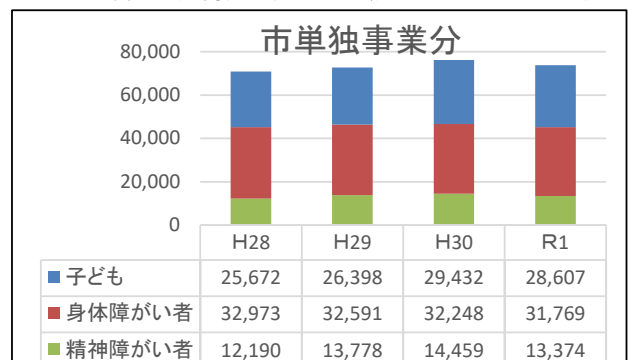
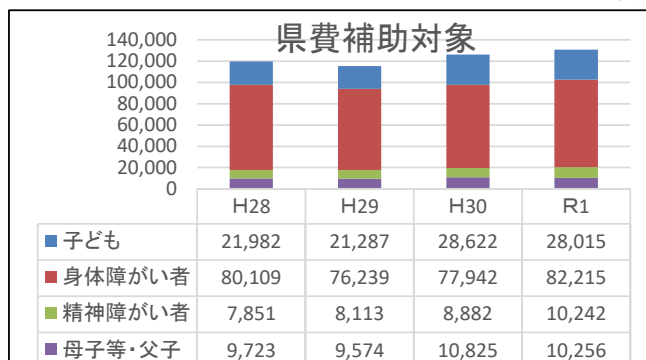
○受給者証交付者数（年度末現在）

区分／年度		H29	H30	R1
県補助対象者		4,473	4,377	4,250
内訳	子ども	(2,810)	(2,706)	(2,610)
	重度心身障害者医療	(1,206)	(1,236)	(1,223)
	母子等	(430)	(415)	(396)
	父子等	(27)	(20)	(21)
市単独事業分		669	678	685
計		5,142	5,055	4,935

◆ 事業の成果

○給付金額の推移（単位：千円）

※H30年度の子ども医療費は、現物給付化への移行により13か月分



◆ 前年からの改善点等

後期高齢者の高額介護合算療養費と福祉医療費の重複支給となる分については、本人の委任状により後期高齢者広域連合から市の口座に直接振り込めることとなり、対象者の負担軽減を図った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	117
担 当 課	民 生 部	福 祉 課	地域包括支援センター 係	款	3	民生費		
事 務 事 業 名	介護予防包括的支援事業				項	1	社会福祉費	
					目	7	地域支援事業費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁		65	
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築							
個 別 計 画	第7期老人福祉計画							

事業の目的	対象	要支援認定、基本チェックリスト該当（事業対象者）の高齢者	意図	介護や介護予防が必要な状態となることを予防し、介護や介護予防が必要となった場合も高齢者の権利を守り、自律した生活を送れるように支援する
事業の内容	①地域包括支援センター業務（包括的支援事業）について、市内2法人に委託を行うもの ②介護予防、介護予防ケアマネジメントの計画作成業務について、居宅介護支援事業所に委託するもの			

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	41,513,620	41,531,500	42,287,036	755,536	1.8%
	財源内訳					
	特定財源	41,513,620	41,531,500	42,287,036	755,536	1.8%
	一般財源				0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
44,816,000	-2,432,000			42,384,000	42,287,036	
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費 受託金	予防計画収入		
96,964	内訳	金額	33,786,000	8,598,000		

事業の実績・成果	
◆ 施策目標に資する活動	■令和元年度相談件数 北部地域包括支援センター（新規延べ件数）231件（継続延べ件数）1,030件 南部地域包括支援センター（新規延べ件数）139件（継続延べ件数）158件 ■令和元年度介護予防計画及び介護予防ケアマネジメント件数（給付管理件数） 北部地域包括支援センター 給付管理件数978件 南部地域包括支援センター 給付管理件数1,367件 ■令和元年度介護予防計画及び介護予防計画作成委託件数 ケアプラン作成件数 総数1,984件 居宅介護支援事業者への委託件数1,515件 ■地域ケア会議の開催 直営：自立支援型地域ケア会議の開催（回数）3回 検討件数（6件） 北部：個別地域ケア会議の開催（回数）16回（件数）16件 北部：地域ケア推進会議の開催（回数）2回（参加者数）170人 南部：個別地域ケア会議の開催（回数）3回 南部：地域ケア推進会議の開催（回数）9回 ■地域密着型運営推進会議への参加 北部：（事業所数）4（延べ会議参加数）8 南部：（事業所数）1（延べ会議参加数）6
◆ 事業の成果	要支援認定者の維持件数（令和元年度末要支援1,2認定者数 346人中、維持改善者数 251人） 要支援、事業対象者数（令和元年度末比） 事業対象者：59人(-45%)、要支援1：129人(-34%)、要支援2：223人(-7%)
◆ 前年からの改善点等	○ 相談者のニーズに応じ、窓口での十分な説明を懇切丁寧に行うことを意識して取り組み、効率的・効果的と考えられる支援、事業、サービスに繋がった。 ○ 利用者の状態像の維持改善に向け、介護支援専門員の作成するケアプランに対し、多職種によるケアプラン点検を行い、必要なサービスの適正量を確認

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	119
担 当 課	民 生 部	福 祉 課	地域包括支援センター	係	款	3	民生費	
事 務 事 業 名	通所型介護予防事業					項	1	社会福祉費
						目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		65
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現					前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築							
個 別 計 画	第7期老人福祉計画							

事業の目的	対象	要支援1,2の認定を受けている方 介護保険の認定を受けていないが、介護予防が必要な方	意図	予防計画によって適切な介護予防サービスを提供し、介護の重度化を防ぐ
-------	----	---	----	-----------------------------------

事業の内容	①介護予防複合教室（軽体操に加え、認知症予防、栄養、口腔衛生について専門家より複合的に学ぶ事業） ②介護予防地域教室（美麻、八坂において開催される） ③通所型サービスC（短期集中事業） ④地域リハビリテーション活動支援事業 ⑤自主活動団体育成補助事業
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	6,415,575	7,289,859	6,835,389	-454,470	-6.2%
	財源内訳					
	特定財源	6,415,575	7,289,859	6,835,389	-454,470	-6.2%
	一般財源				0	-

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,781,000	-5,767,000			8,014,000	6,835,389	
不用額	特定財源	細部名	地域支援事業費受託金	筋力トレーニング利用者実費徴収金		
1,178,611	内訳	金額	6,442,889	392,500		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

■ 通所サービスC事業 利用状況（基本3か月 毎週1回）

運動指導事業所委託分実人数 22人

市立大町総合病院委託分実人数 27人

■ 通所サービスCフォロー事業 利用状況（基本3～6か月 月2回）

市立大町総合病院委託分 9人

■ 複合型運動教室 利用状況（基本 毎週1回×12回で3か月）

10地区で開催 参加実人数 215人

■ 自主活動団体育成事業

27団体活用

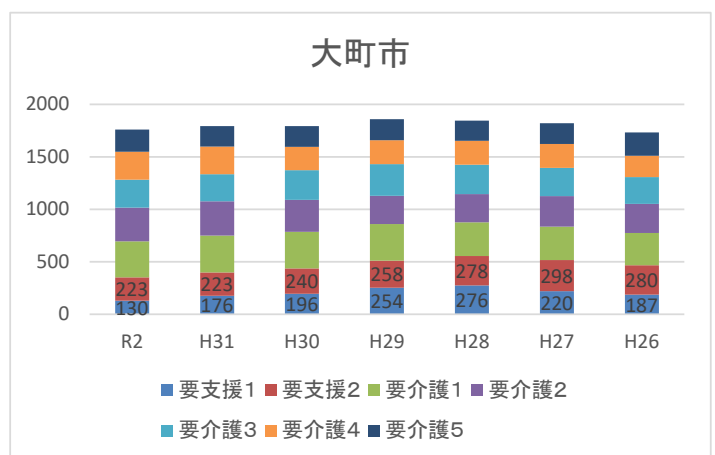
◆ 事業の成果

・筋力向上トレーニング事業（通所型サービスC）は、介護相談のあった者に対し実施することで、機能回復につながり要介護認定の抑止力になっている。

・複合型運動教室の期間終了後は、自主活動団体育成の補助を得て年間を通じて健康体操を実施する団体が多く、高齢者の閉じこもり予防、健康づくりの場となっている。

◆ 前年からの改善点等

○自主活動団体の育成として、自主的な予防について創意工夫を促し、活動の拠点となっている公民館など通いの場を利用しながら独自活動を行ってもらった。



令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	119
担当課	民生部	福祉課	地域包括支援センター係
款	3	民生費	
事務事業名	訪問型介護予防事業	項	1
		目	7
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち	前期計画登載頁	65
施策目標	健康で長生きできる社会の実現	前年度評価 方向性	継続
施策項目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築		
個別計画	第7期老人福祉計画		

事業の目的	対象	介護保険サービスの対象にならない虚弱高齢者	意図	介護保険サービスの対象（要介護・要支援）にならない虚弱高齢者に対し、継続訪問により高齢者の健康づくりと疾病予防、重症化予防を行う。
-------	----	-----------------------	----	---

事業の内容	①看護師による訪問指導 ②理学療法士による体操指導や意識啓発
-------	-----------------------------------

決算数値（単位：円）						
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率	
総事業費（決算額）	4,265,621	3,658,154	3,678,589	20,435	0.6%	
財源内訳	特定財源	4,265,621	3,658,154	3,678,589	20,435	0.6%
	一般財源				0	-

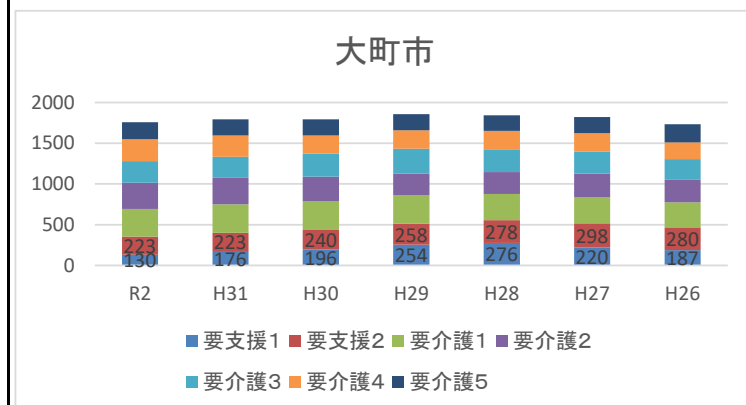
令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,413,000	-1,020,000			4,393,000	3,678,589	
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費 受託金			
714,411	内訳	金額	3,678,589			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

看護師訪問	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	29	26	24	26	22	24	23	24	25	27	21	13
延人員	34	30	31	28	23	25	24	25	26	28	22	13
									電話実人数	4	9	
									電話延人数	4	9	
理学療法士訪問	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	223	13	19	10	8	10	8	9	7	9	10	12
延人員	223	14	22	11	10	14	10	9	7	10	11	13

◆ 事業の成果



訪問指導事業の対象者は、要介護認定では要支援1.2レベルの高齢者が多くを占めているが、訪問指導に実施により介護保険サービスを利用せずに自立した生活を延伸することができており、統計からも、要支援1.2の認定数が減少していることがわかる。

◆ 前年からの改善点等

通所型介護予防事業で血圧管理不良者を確認した際に、訪問指導を実施することとし、循環器病の重症化予防を開始した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		119		
担 当 課		民 生 部		福 祉 課		地域包括支援センター 係		款		3		民生費	
事 務 事 業 名		介護予防普及啓発事業						項		1		社会福祉費	
								目		7		地域支援事業費	
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		65			
施 策 目 標		健康で長生きできる社会の実現						前年度評価 方向性		継続			
施 策 項 目		高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築											
個 別 計 画													

事業の目的	対象	- 地域の骨粗しょう症予防に関心のある方 - 骨粗鬆症でお困りの方	意図	- 骨折の要因となる骨粗しょう症に関する基本知識の啓発 - 簡単な体操を実践して予防につなげる
-------	----	--	----	--

事業の内容	骨粗しょう症予防の講演会（信州大学中村医師による）					
-------	---------------------------	--	--	--	--	--

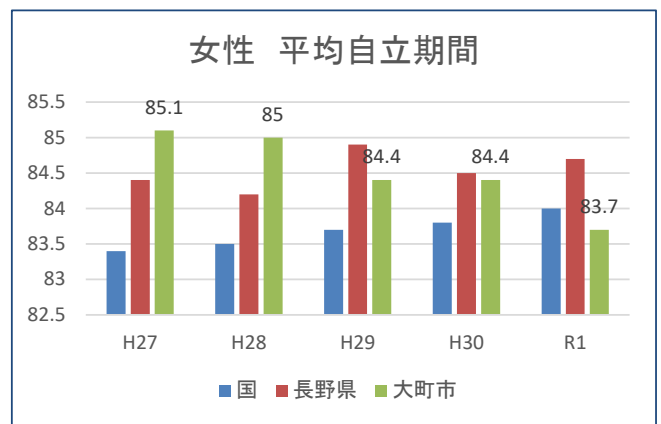
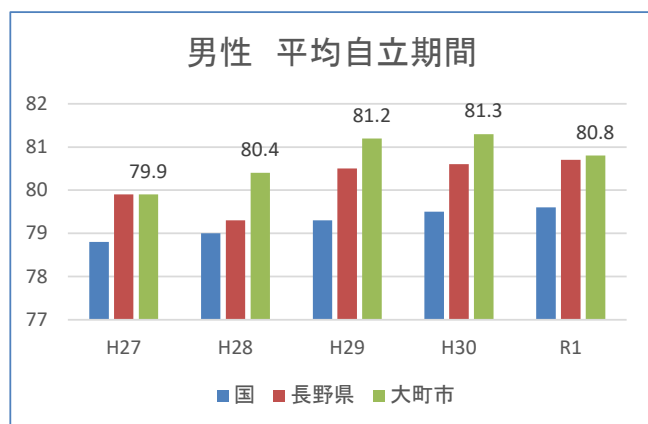
決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	271,232	244,519	292,579	48,060	19.7%
	財源内訳	特定財源	271,232	244,519	292,579	48,060
		一般財源			0	-

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
725,000				725,000	292,579	
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金			
432,421	内訳	金額	292,579			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 講演会の開催 12回 参加者 317人（4年目）
自主活動団体・自治会等に声掛けをしながら開催
講演内容はわかりやすいと好評である



介護予防事業の目的には健康寿命の延伸と、要介護状態への移行抑制がある。評価指標の一つである「平均自立期間（日常生活動作が自立している期間の平均 要介護2以上を不健康とし、平均余命から不健康期間を除いたもの）する」をまとめたところ、当市では女性の平均自立期間が5年間で1.4歳短縮しており、要介護期間が拡大している。

また、平成30年度の当市における後期高齢者の骨折受傷者は855人（後期高齢者人口比15.1%）の内、699人（81.8%）が高血圧や糖尿病の基礎疾患があり、多くが多剤服用状態であり、副作用によるふらつきと転倒による骨折の発生も想像される。

これらのことから、介護予防普及啓発には、骨粗しょう症予防に加え、循環器疾患の管理および薬物有害事象に関する内容が必要で、薬剤師との連携も必要と考えられる。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	119
担 当 課	民 生 部	福 祉 課	地域包括支援センター	係	款	3	民生費	
事 務 事 業 名	家族介護支援事業					項	1	社会福祉費
						目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		65
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現					前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築							
個 別 計 画								

事業の目的	・家族介護支援事業は、在宅で要介護者等を介護している人を対象 ・認知症の啓発事業は、全市民対象	意 図	・在宅で介護している人がリフレッシュすることで介護が継続できることを目的とする。 ・認知症サポーター養成講座は認知症を正しく理解することで、住み慣れた地域で生活し続けられることを目的とする。
-------	--	-----	--

事業の内容	(1) 在宅介護者の介護疲れを解消するため、音楽鑑賞や食事会によって心身のリフレッシュを行う事業 (2) 認知症の啓発・支援活動のために、認知症サポーターを養成する講座を開催し、人材育成をする事業
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	274,884	245,578	276,209	30,631	12.5%
	財源内訳					
	特定財源	274,884	245,578	276,209	30,631	12.5%
	一般財源				0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
603,000				603,000	276,209	
不用額	特定 財源	細節名	地域支援事業費受託 金			
326,791	内訳	金額	276,209			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - (1) 家族介護支援事業
 - 在宅介護者リフレッシュ事業（3回開催し、延べ45名参加）
 - (2) 認知症の啓発活動
 - 認知症サポーター養成講座（5回開催 79名修了）
- ◆ 事業の成果
 - 在宅介護者リフレッシュ事業の参加者からは、コンサート、音楽講座、軽体操、会食等でリフレッシュできたと高評価を得ている。
 - 認知症サポーター養成講座修了者については、基本的な知識の獲得と認知症の人への接し方などの学びから個人のスキルアップにはつながっている。
- ◆ 前年からの改善点等
 - 介護者リフレッシュ事業は、参加者の固定化が課題となっているため、広報などの周知を工夫した。
 - 認知症サポーター養成講座は参加者の減少が課題だったが、組込みでチラシを回覧したところ、幅広い年齢層から申し込みをいただき開催することができた。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	119
担 当 課	民 生 部	福 祉 課	地域包括支援センター 係	款	3	民生費		
事 務 事 業 名	成年後見制度支援事業				項	1	社会福祉費	
					目	7	地域支援事業費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁		65	
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築							
個 別 計 画	第3次大町市地域福祉計画、第7期大町市老人福祉計画							

事業の目的	対象	認知症や知的・精神障がい等で判断能力が不十分な人及びその親族	意図	権利擁護制度の利用により、本人らしく自立した生活が送れる。
-------	----	--------------------------------	----	-------------------------------

事業の内容	(1) 金銭管理や契約行為に支援が必要な人の日常生活自立支援 (2) 成年後見制度の申立てを行う親族等がない場合の市長申立て (3) 成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用助成			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	1,650,000	1,721,120	1,821,400	100,280	5.8%
	財源内訳					
	特定財源	1,650,000	1,693,120	1,196,580	-496,540	-29.3%
	一般財源		28,000	624,820	596,820	2131.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,940,000				2,940,000	1,821,400	
不用額	特定 財源	細節名	地域支援事業費受託 金	成年後見申立費用 利用者実費徴収金		
1,118,600	内訳	金額	1,146,150	50,430		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- (1) 金銭管理や契約行為に支援が必要な人の日常生活自立支援
 - 日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行（3件）
 - 成年後見制度に関する一般相談（随時）
- (2) 成年後見制度の申立てを行う親族等がない場合の市長申立て
 - 市長申立てに向けた親族調査・意向確認（6件）
 - 市長申立てによる後見・保佐・補助開始審判（6件）
- (3) 成年後見人等への報酬を支払うことが困難な人に対する費用助成
 - 成年後見制度利用支援事業実施要綱に基づく助成（0件）
 - 報酬付与の申立ては被後見人ごと年1回であり、死亡後は申請できないことから、該当なしとなった。

◆ 事業の成果

- 成年後見制度の利用により、適切な財産管理と身上監護が行われ、施設入所ができた事例もあった。
- 後見報酬の助成制度があることで、報酬を支払うことが困難な人にも後見人が選任された。

◆ 前年からの改善点等

- 過去の市長申立て事例の蓄積により、複数の担当で速やかに市長申立て手続きを進めることができた。
- 高齢者虐待防止法に基づく経済的虐待事案について、市長申立てにより後見人が選任され、本人の財産を保全することができた。
- 成年後見制度利用促進体制整備検討会を設置し、市町村計画策定に向けた検討が始まった。

第1回検討会：11月21日、第1回実務者部会：1月30日

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	121
担 当 課		民生 部	福祉 課		高齢者・介護保険 係		款	3	民生費	
事 務 事 業 名		地域自立生活支援事業						項	1	社会福祉費
								目	7	地域支援事業費
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		65
施 策 目 標		健康で長生きできる社会の実現						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	①・②ひとり暮らしまたは高齢者世帯。 ③地域の見守りが必要な高齢者とその地域の支援者。社会参加に結び付いていない高齢者。	意図	①・②高齢者が住み慣れた在宅で、自立し安心できる生活支援を行う。 ③一人暮らし高齢者を中心に閉じこもりがちな高齢者を、身近な地域の方が声掛けや見守りをして、社会参加を含めて住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を支援する。
-------	----	---	----	---

事業の内容	①配食サービス：栄養バランスの取れた食事の定期的な配達と安否確認を行う。 ②生活支援員派遣事業：介護保険制度の訪問介護サービス及び介護予防、日常生活支援総合事業で行う家事援助以外の家事等（通院介助や雪かき）の軽易な日常生活上の援助を行う。 ③生活支援体制整備推進事業：人口減少が進む中、地域の支え合いを担う事業主体と連携しながら支援基盤の充実強化や高齢者の社会参加を推進していく為、生活支援コーディネーター（SC）による社会資源の発掘及び協議体（大町市地域支え合い体制づくり協議会）の運営等を行う。
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	15,981,410	15,759,003	18,793,030	3,034,027	19.3%
	財源内訳					
	特定財源	7,521,750	6,499,100	13,964,650	7,465,550	114.9%
	一般財源	8,459,660	9,259,903	4,828,380	-4,431,523	-47.9%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
24,988,000	-5,973,000	0	0	19,015,000	18,793,030	0
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金	保険者機能強化交付金	配食サービス利用者実費徴収金	生活支援員利用者実費徴収金
221,970	内訳	金額	10,017,000	1,376,000	2,528,350	43,300

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

① 配食サービス

在宅で調理が困難なひとり暮らしまたは高齢者世帯の方へ、バランスが取れた食事を提供し、配達時に安否確認を行う。利用者人数：41人 配食数：6,311食

② 生活支援員派遣事業

○虚弱なひとり暮らしまたは高齢者世帯で日常生活を営むのに支障のある方へ、雪かき支援員を派遣する。

・委託事業者1者（市社会福祉協議会）

利用者数：150人 利用回数：627回 利用者負担額：500円/30分

○雪かき以外の家事等軽微な日常生活上の支援を行う。

・委託事業者1者（大北農業協同組合）

利用者数：2人 利用回数：6回 利用者負担額：500円/30分

③ 生活支援体制整備推進事業

・1層協議体数：1 会議開催：4回（全体会1回、部会3回）

・2層協議体数：3 会議開催：毎月

中部事業：幸せの種をまくPJ（綿花視察、近藤紡績視察、コトコトコットンウォーキング）

北部事業：くらし支え合い友の会（縁側講座、ラジオ体操、持ち回りカフェ、地域づくり新聞発行）

南部事業：ときわ、やしろ地区協議会

（集いinときわ、やしろの開催、地域づくりサポーターと企画調整）

◆ 事業の成果

① 配食サービス

住み慣れた在宅で、安心して暮らせるよう、高齢者の食生活改善と見守り対策としても有効である。

② 生活支援派遣事業

この事業は、親族や近所の方から協力を得られない高齢者宅の玄関から道路までの雪かきを行ない、降雪時の買い物や通院等の外出支援のために有効である。

③ 生活支援体制整備推進事業（住民主体の取組、通いの場、啓発活動）

中部事業：見守りマスコット、通いの場（コットンサロン）、綿の種配布による繋がり、綿花畑

北部事業：平マシニング教室、ゆ〜ぶる木崎湖での体操教室、空き家の勉強会、

有線によるラジオ体操放送

南部事業：地域のつながりを再構築するため、新しい祭りを創出

◆ 前年からの改善点等

① 安否確認や制限食を必要としない配食のニーズに対しては、民間が行う代替サービスの提案により、事業費の縮減を図った。

③ 生活支援コーディネーター連絡会を毎月開催し、各担当区域や市福祉課の取り組みについて相互に情報共有し、一体的な取り組みに向けた関係構築を図った。

大町市地域支え合い体制づくり協議会に3つの専門部会（通いの場創出支援部会、社会参加促進部会、ニーズ把握・マッチング部会）を設け、各部会のテーマに沿った課題について協議した内容を次年度事業計画に反映した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	121
担 当 課	民生 部	福祉 課	高齢者・介護保険 係	款	3	民生費			
事 務 事 業 名	地域支援任意事業				項	1	社会福祉費		
					目	7	地域支援事業費		
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁		65		
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現				前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築								
個 別 計 画	第7期大町市老人福祉計画								

事業の目的	対象	①在宅介護者 ②在宅で生活している高齢者又は介護者。	意 図	①在宅介護者への介護の慰労及び経済的な負担軽減を図る。 ②在宅で生活する高齢者の自立または在宅で介護する介護者の経済的負担軽減を図る。
-------	----	-------------------------------	-----	--

事業の内容	①要介護3以上の認定を受けた高齢者等と同居し、在宅で180日以上介護している介護者に対して慰労金100,000円を支給。 ②要介護1以上の認定を受け、市民税が非課税世帯で、在宅で生活している高齢者または介護者に対して、年間最大12枚の介護用品引換券（3,000円/枚）を交付。			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	265,959,141	25,917,385	25,362,032	-555,353	-2.1%
	財源内訳	特定財源		4,871,000	4,871,000	皆増
		一般財源	265,959,141	25,917,385	20,491,032	-5,426,353 -20.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
29,456,000	-4,067,000	0	0	25,389,000	25,362,032	0
不用額	特定財源	細節名	保険者機能強化 交付金受託事業			
26,968	内訳	金額	4,871,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

① 介護者慰労金支給事業

重度の要介護認定者を在宅で介護することは、介護サービスを利用しても介護者の負担は大きいことから、その労をねぎらい介護者を励ますためにも、慰労金を支給。

支給人数：200人 事業費：20,000,000円

② 介護用品引換券交付事業

- ・ 交付人数：219人
- ・ 介護度別人数：要介護1（62人）、要介護2（54人）、要介護3（42人）、要介護4（38人）
要介護5（23人）
- ・ 事業費：5,288,032円

◆ 事業の成果

① 介護者慰労金支給事業

重度の要介護者を在宅で介護することは、介護サービスを利用しても介護者の負担は大きいことから、その労をねぎらい介護者を励ますためにも、慰労金の支給は必要である。また、施設入所希望者が増加する中、在宅介護を推進する方策の一つであり、施設サービス増加に伴う介護保険料の上昇抑制にも一定の効果がある。

② 介護用品引換券交付事業

この事業は、在宅で介護する介護者の負担軽減を図り、介護を受けられる高齢者が、住み慣れた家で暮らすことができるよう支援する意味で必要なサービスである。また、施設入所希望者が増加する中、在宅で介護を推進する方策の一つであり、施設サービス増加に伴う介護保険料の上昇抑制にも一定の効果がある。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		121		
担 当 課		民 生 部		福 祉 課		地域包括支援センター 係		款		3		民生費	
事 務 事 業 名		成年後見支援センター事業						項		1		社会福祉費	
								目		7		地域支援事業費	
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		65			
施 策 目 標		健康で長生きできる社会の実現						前年度評価 方向性		拡大			
施 策 項 目		高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築											
個 別 計 画		第3次大町市地域福祉計画、第7期大町市老人福祉計画											

事業の目的	対象	認知症や知的・精神障がい等で判断能力が不十分な人及びその親族	意図	成年後見制度の利用により、本人らしく自立した生活が送れる。
-------	----	--------------------------------	----	-------------------------------

事業の内容	成年後見支援センターの運營業務を委託して実施（北アルプス広域連携自立圏事業） （１）成年後見制度の普及・啓発 （２）成年後見制度に関する相談・支援 （３）法人としての成年後見受任、後見支援員の育成				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		5,786,000	5,586,000	5,597,000	11,000	0.2%
	財源内訳	特定財源	4,510,000	4,356,000	4,367,500	11,500	0.3%
		一般財源	1,276,000	1,230,000	1,229,500	-500	0.0%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,597,000				5,597,000	5,597,000	
不用額	特定財源	細節名	県補助金 成年後見支援事業	北アルプス連携自立圏事業負担金(町村)		
0	内訳	金額	1,229,500	3,138,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動
（１）成年後見制度の普及・啓発
■普及啓発研修会の開催
第1回 7月4日「認知症の方の権利を守るために～成年後見制度を通して考える～」（120名参加） 会場：北アルプス医療センターあづみ病院 講師：弁護士 塩野悠子 氏
第2回 10月31日「成年後見制度の活用～支援者の立場から考える～」（30名参加） 会場：大町市総合福祉センター 講師：弁護士 塩野悠子 氏
■普及啓発講演会の開催
第1回 2月13日「高齢者、いざという時の備え～相続、遺言、成年後見制度」（52名参加） 会場：池田町総合福祉センター 講師：司法書士 帯金康祐 氏
■広報紙、パンフレット、ホームページによる広報
（２）成年後見制度に関する相談・支援 158件
常設相談員による相談・支援（122件） 無料相談会への相談（36件） 大町市（103件）池田町（26件）松川村（9件）白馬村（7件）小谷村（9件）圏域外（4件） 認知症高齢者（86件） 知的障がい者（30件） 精神障がい者（18件） その他（24件）
（３）法人としての成年後見受任（年度末） 16件（後見12件、保佐4件）
前年度から継続9件（後見7件、保佐2件） 新規受任11件（後見9件、保佐2件） 終了4件（全て後見） 運営委員会の開催（1回：8月2日） 小委員会の開催（5回：4月10日、7月12日、8月2日、9月13日、11月29日）
◆ 事業の成果
○普及啓発活動により、専門職だけでなく一般市民にも制度の理解が広がっている。
○日常生活自立支援事業との連携強化や首長申立てにより、法人後見受任件数が増加している。
○身寄りのない人や経済的虐待を受けている人の権利を擁護する重要な地域資源となっている。
◆ 前年からの改善点等
○成年後見制度利用促進体制整備検討会の設置により、市町村との連携体制が強化している。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	121
担 当 課	民 生 部	福 祉 課	地域包括支援センター	係	款	3	民生費	
事 務 事 業 名	地域包括ケア実践事業					項	1	社会福祉費
						目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		65
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現					前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築							
個 別 計 画	第7期大町市老人福祉計画							

事業の目的	対象	65歳以上の高齢者	意 図	住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる
-------	----	-----------	-----	----------------------

事業の内容	(1) 在宅医療・介護連携体制の推進 (2) 地域ケア会議の推進 (3) 生活支援体制整備に向けた啓発 (4) 高齢者の社会参加促進 (5) 福祉サービスの担い手育成
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	743,682	683,266	719,794	36,528	5.3%
	財源内訳					
	特定財源	743,682	683,266	719,794	36,528	5.3%
	一般財源				0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,756,000				2,756,000	719,794	
不用額	特定財源	細節名	地域支援事業費受託金			
2,036,206	内訳	金額	719,794			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- (1) 平成31年4月に在宅医療・介護連携支援センターを地域包括支援センター内設置専任職員1名配置。
- ①在宅医療・介護連携の評価指標の検討、作成
②医療機関関係者と合同の研修会の開催（令和元年度：2回開催）
- (2) 地域ケア会議の開催
- ①介護予防のための自立支援型地域ケア会議の開催（令和元年度：3回開催、検討事例6件）
②対話型地域ケア会議の開催（令和元年度：3回）
- (3) 生活支援体制整備に向けた啓発
- ①高齢期安心生活支援業務として市社会福祉協議会に委託（令和元年度：1回／講座開催）
- (4) 高齢者の社会参加
- 買い物サポート事業の利便性向上を図るため、参加大型スーパーへの参加要請訪問（令和元年度：10回）
- (5) 福祉サービスの担い手育成
- ①たいそうサポーターの育成（令和元年度：10名）
②たいそうサポーターの活動（令和元年度：20回）

◆ 事業の成果

(1) 在宅医療・介護連携

- ① 在宅医療・介護連携支援センター設置、専任職員の配置により事業効果を検証するための指標を作成
- ② 在宅医療・介護連携を促進するため、各市町村間の事業連携を実施。次年度の共通事業化を図った。

(2) 地域ケア会議の開催

- ① 目標指向型のケアプラン作成による自立支援に向けた支援を行い、2名の方の自立が図られた。

(3) 生活支援体制整備

- ① 高齢期安心生活支援業務を市社協に委託。コロナウイルス感染防止対策による当初予定していた4回の講座の開催ができなかった

(4) 高齢者の社会参加

- ① 高齢者施設福祉事業協会関東ブロック大会において、買い物サポート事業の活動を事例発表。

(5) 福祉サービスの担い手育成

- ① 育成した体操サポーターが地域の介護予防活動において活動し、介護予防活動の実践、普及啓発を実施

◆ 前年からの改善点等

多岐にわたる事業内容において、個別の評価指標を設定。
設定した評価指標を次年度の地域包括支援センター事業計画に位置付けることにより、
効率的・効果的な事業間連携を行えるよう仕組みを改善した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	121
担 当 課	民 生 部	福 祉 課	地域包括支援センター	係	款	3	民生費	
事 務 事 業 名	認知症総合支援事業					項	1	社会福祉費
						目	7	地域支援事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		65
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現					前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	高齢者が住み慣れた場所で生活が続けられる地域の構築							
個 別 計 画								

事業の目的	①認知症の人に初期段階から関わり、早期診断・早期対応に向けた体制の構築。 ②認知症になっても住み慣れた地域で住み続けることができる基盤整備や地域に応じた認知症ケア向上の取組みの推進。	意図 認知症になっても、本人の尊厳を守り、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域にする。
-------	--	--

事業の内容	(1) 認知症初期集中支援推進事業（広域連携自立圏事業・認知症初期集中支援チームの設置） (2) 認知症地域支援・ケア向上事業（認知症地域支援推進員配置）
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	-	5,931,120	6,098,140	167,020	2.8%
	財源内訳	特定財源	-	5,931,120	6,098,140	167,020
		一般財源	-		0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,803,000				7,803,000	6,098,140	
不用額	特定 財源	細節名	地域支援事業費 受託金	北アルプス連携 自立圏事業負担金		
1,704,860	内訳	金額	2,174,140	3,924,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - (1) 認知症初期集中支援推進事業
 - 認知症初期集中支援チーム設置
(チーム員会議の開催はなかったが認知症の人と家族への早期支援につながった)
 - (2) 認知症地域支援・ケア向上事業
 - 認知症地域支援推進員配置（各包括に1名配置（兼務））
- ◆ 事業の成果
 - 認知症初期集中支援チームと広域管内の連携や相談体制がとりやくすくなっている。
 - パネル展示などにより、認知症の正しい理解が進んでいる。
 - 認知症地域支援推進員の活動により、個々のケースに必要な医療やサービスなどにつなげることができた。
 - 認知症の話題となった記録映画を上映し、実際の認知症の進行を鑑賞していただき啓発を行った。
- ◆ 前年からの改善点等
 - 認知症サポーター養成講座に幅広い年齢の方に参加いただいた。
認知症に対する偏見をなくす一助となっている。
 - 認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員の活動は進んできており、さらに役割が地域に浸透していくようにすることが重要。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	123
担 当 課	民生 部	子育て支援 課	子育て支援 係	款	3	民生費			
事 務 事 業 名	子育て応援事業				項	2	児童福祉費		
					目	1	児童福祉総務費		
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁		73		
施 策 目 標	結婚・出産・子育て支援の充実				前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	子育て支援の充実								
個 別 計 画	大町市子ども・子育て支援事業計画								

事業の目的	対象	育児家庭	意 図	・ 出産祝金、育児家庭応援事業→出生数の増加 ・ こんにちは赤ちゃん訪問事業→子育てに対する負担感や不安感の解消と子育て支援に関する情報提供		
-------	----	------	-----	---	--	--

事業の内容	・ 出産祝金・・・第1子 50,000円、第2子 80,000円、第3子 100,000円 ・ 育児家庭応援事業・・・3歳児を対象に30,000円分の商品券支給。 ・ こんにちは赤ちゃん訪問事業・・・概ね生後4か月の乳児がいる家庭を、主任児童委員、民生児童委員が訪問し、支援の必要な家庭の早期発見、子育ての孤立化を防ぐための相談、情報提供による子育て支援を行う。					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	15,293,175	14,468,230	15,166,029	697,799	4.8%
	財源内訳	特定財源	6,092,000	14,132,000	1,130,000	-13,002,000 -92.0%
		一般財源	9,201,175	336,230	14,036,029	13,699,799 4074.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
15,532,000				15,532,000	15,166,029	
不用額	特定 財源	細節名	(国) 子ども・子育て 支援交付金	(県) 子ども・子育て 支援交付金	ふるさと応援基金 繰入金	
365,971	内訳	金額	65,000	65,000	1,000,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 出産祝金	第1子	70人× 50,000円＝3,500,000円
	第2子	51人× 80,000円＝4,080,000円
	第3子以降	28人×100,000円＝2,800,000円
	合計	149人 10,380,000円

○ 育児家庭応援	きらり商品券	30,000円×153人＝4,590,000円	(内未使用分 30,000円)
	・ 実使用分	4,560,000円	

○ こんにちは赤ちゃん事業	スタイセット	146人 × 1,232円 + 税 = 196,612円
	生後4か月児を対象に地域の主任児童委員、民生児童委員が家庭を訪問する。 プレゼントを持参し、子育て支援についての情報を提供する。	

◆ 事業の成果

- ・ 経済的な負担を抱える子育て世代に対し、経済的な支援を行い、安心して子育てができる環境の促進に寄与した。
- ・ 子育て支援のための情報や相談窓口情報などを提供し、不安や悩み相談に応じ、家庭と地域を繋ぐきっかけとなっている。

◆ 前年からの改善点等

- ・ 子育て支援ガイドの更新

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	123
担 当 課		民生 部		子育て支援 課		児童 係		款 3	民生費	
事 務 事 業 名		幼稚園・認定こども園運営支援事業						項 2	児童福祉費	
								目 1	児童福祉総務費	
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		74
施 策 目 標		結婚・出産・子育て支援の充実						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		子育て支援の充実								
個 別 計 画		大町市子ども・子育て支援事業計画								

事業の目的	対象	・地域の幼児期の教育・保育ニーズに対応する認定子ども園	意 図	・国の基準に基づき財政支援を行うことで、安定した施設運営、市民ニーズに応じた受け皿及び保育の質の確保を図る。
-------	----	-----------------------------	-----	--

事業の内容	・市内3認定こども園に対し、国が示す公定価格に基づき、各施設の規模及び利用児数に応じ施設型給付費を支給し施設の運営支援を行う。 ・認定こども園の園舎改築事業に補助金を交付し支援を行う。					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		189,451,813	340,356,270	417,905,394	77,549,124	22.8%
	財源内訳	特定財源	124,743,747	230,434,092	287,779,624	57,345,532	24.9%
		一般財源	64,708,066	109,922,178	130,125,770	20,203,592	18.4%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
395,911,000	22,078,000			417,989,000	417,905,394	
不用額	特定財源	細節名	(国)認定こども園施設整備費交付金	(国)保育所等整備交付金	(国・県)施設型給付費負担金	(国・県)子ども子育て支援交付金など
83,606	内訳	金額	33,797,000	81,036,000	168,824,624	4,122,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 認定こども園大町幼稚園 園舎改築工事関係 実績額
 全事業費（契約額） 365,290,000 円 （補助対象外工事費：17,021,483）
 国補助対象事業費 329,287,883 円
 市→園への補助金 172,249,000 円

○ 認定こども園利用児数

施設名	認定区分	年度				
		H27	H28	H29	H30	R1
幼保連携型認定こども園 大町幼稚園	1号	33	38	36	38	28
	2号	6	7	10	11	17
	3号	3	0	1	3	5
認定こども園 こまくさ幼稚園	1号	57	57	48	41	41
	2号	5	9	16	19	20
	3号	2	4	6	6	4
幼保連携型認定こども園 りんどう幼稚園	1号	40	53	67	61	58
	2号	0	0	0	0	9
	3号	0	0	0	0	4
計		146	168	184	179	186

- 一時預かり（認定こども園利用児の時間外預かり）事業 実績
 利用児数 延べ2,485人 （1日約12人が利用）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	125
担 当 課	民生 部	子育て支援 課	子育て支援 係	款	3	民生費			
事 務 事 業 名	児童福祉扶助費					項	2	児童福祉費	
						目	1	児童福祉総務費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		73	
施 策 目 標	結婚・出産・子育て支援の充実					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	子育て支援の充実								
個 別 計 画	大町市子ども・子育て支援事業計画								

事業の目的	対象	・児童扶養手当給付事業。⇒ひとり親家庭 ・障害児通所支援事業⇒障がい児 ・重度心身障害児童福祉手当⇒重度心身障がい児童の保護者	意図	・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、子どもの福祉の増進を図る ・障がいのある児童が地域で安心して暮らせる環境 ・障がい児を抱える家庭への経済的支援による生活の安定と自立の促進。
-------	----	---	----	---

事業の内容	・児童扶養手当の支給。 ・障がい児童通所利用相談→通所支援事業体験参加→相談支援→仮プラン作成→利用申請・支給決定・通所受給者証発行→支給決定会議→モニタリングの一連の流れを利用者ごとに行う。(H28に福祉課から子育て支援課へ事業が移管) ・重度心身障害児童福祉手当は、精神又は身体に障がいのある満20歳未満の児童を監護する父もしくは母、養育者に支給。 ・心身障害児施設帰省時等交通費の一部を扶助。
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	157,780,713	167,785,433	184,450,531	16,665,098	9.9%
	財源内訳					
	特定財源	78,849,896	83,552,530	90,994,005	7,441,475	8.9%
	一般財源	78,930,817	84,232,903	93,456,526	9,223,623	11.0%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
170,747,000	243,415	0	15,633,878	186,624,293	184,450,531	
不用額	特定財源	細節名	障がい者自立支援給 付費負担金	児童扶養手当負担金	特別支援学校等の臨時休業に伴う放 課後等デイサービス支援事業補助金	児童福祉費委託金ほか
2,173,762	内訳	金額	55,460,187	34,058,320	929,000	546,498

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動・事業の成果

- 児童扶養手当 支給者 延べ 2,530人 （年度末受給者 151人 支給停止者21人）
 - ・手当の支払い月 4月、8月、12月（各月とも11日）
 - ※ 令和元年度のみ制度改正による支払回数の変更により、4月、8月、11月、1月、3月となっている。
- 重度心身障害児童福祉手当 支給者 延べ 288人 （対象者 139人）
- 障害児通所事業
 - ・障がいのある児童や発達に心配のある児童に対し、生活能力の向上や集団生活の適応、社会との交流促進などの療育を提供する。
 - ・利用者 延べ 1,423人 （実人数150人）

(人)

年 度		28	29	30	元
児童発達支援	実人数	39	37	62	66
	延べ人数	351	312	460	555
放課後等デイサービス	実人数	78	70	74	82
	延べ人数	837	837	882	866
保育所等訪問支援	実人数	1	0	1	2
	延べ人数	2	0	1	2

- SST（社会生活技能訓練）教室 利用者 延べ 28人 （実人数 2人）
 - 「社会の中で適切に行動する技能（技術）」「人とうまくつきあうための技能（技術）」を学ぶための教室を開催。児童発達支援事業所への委託による居場所支援。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	125
担 当 課	民生	部	子育て支援	課	子育て支援	係	款	3	民生費	
事 務 事 業 名	母子等福祉費							項	2	児童福祉費
								目	1	児童福祉総務費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち							前期計画登載頁		73
施 策 目 標	結婚・出産・子育て支援の充実							前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	子育て支援の充実									
個 別 計 画	大町市子ども・子育て支援事業計画									

事業の目的	対象	女性及びひとり親家庭	意図	・女性の生涯を通じた心身の健康づくり、女性に対するあらゆる暴力の排除。 ・ひとり親家庭の自立の促進と生活の安定を図る。		
-------	----	------------	----	--	--	--

事業の内容	・ひとり親家庭の各種相談、就業相談、職業紹介、就労支援、養育費確保のための養育費相談等を実施する。 ・日常生活支援事業：ひとり親家庭の育児等の支援を行う。 ・高等技能訓練促進費の給付：ひとり親家庭の親の安定就労につながる資格取得を促進するため、高等職業訓練促進給付金を支給し養成機関で修業するひとり親に対し、修業に係る費用を給付する。					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	3,163,217	3,211,414	4,191,675	980,261	30.5%
	財源内訳	特定財源	806,000	1,887,000	1,822,000	-65,000 -3.4%
		一般財源	2,357,217	1,324,414	2,369,675	1,045,261 78.9%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,195,000				5,195,000	4,191,675	
不用額	特定財源	細節名	母子家庭高等技能訓練促進費等支給事業補助金	女性相談員活動強化事業補助金	母子家庭等対策総合支援事業（未婚受給者臨時特別給付金）	
1,003,325	内訳	金額	900,000	594,000	328,000	

事業の実績・成果						
◆ 事業の成果						
● 高等技能訓練促進費の給付 対象者 1 名 100,000円／月を毎月支給。						
● ・女性男性相談員 1 名 相談件数 348 件						
● ・母子父子自立支援員 1 名 相談件数 53 件						
※ 相談実績については、次ページを参照						

事業の実績・成果

◆女性・男性相談

区分	平成29年度相談件数		平成30年度相談件数		令和元年度相談件数	
	面接	電話	面接	電話	面接	電話
婦人保護施設入所等	0	0	1	1	0	0
暴力の迫害相談	22	7	27	13	23	5
生活困難	21	0	32	3	37	4
離婚相談	66	16	49	16	78	34
養育困難	2	1	6	3	0	0
ストーカー被害	1	0	5	3	1	2
家庭不和	8	7	14	1	8	2
求職	22	5	30	3	25	2
雇用主等との交渉	0	0	0	0	0	0
医療相談	24	3	32	9	44	11
妊娠出産	8	4	7	1	0	0
住居相談	13	1	7	1	17	1
帰郷帰宅	1	0	0	0	0	0
ヒモ・暴力団関係	0	0	0	0	0	0
その他	39	12	53	27	36	18
計	227	56	263	81	269	79

◆母子・父子自立支援員相談指導

区分		平成29年度 件数	平成30年度 件数	令和元年度 件数
生活 一 般	住 宅	4	3	0
	医 療	2	1	0
	家 庭 紛 争	10	6	10
	就 職	4	8	3
	結 婚	0	2	0
	内 職	0	0	10
児 童	そ の 他	8	12	3
	養 育	6	5	1
	教 育	4	0	0
	非 行	1	0	0
	就 職	7	3	0
生活 援 護	そ の 他	0	0	0
	母 子 福 祉 資 金	4	3	19
	寡 婦 福 祉 資 金	6	0	2
	児 童 扶 養 手 当	0	0	1
	生 活 援 護	5	3	3
その他	公 的 年 金	0	0	0
	税	0	0	0
計	そ の 他	6	3	1
		67	49	53

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	125
担 当 課	民生 部	子育て支援 課	子育て支援 係	款	3	民生費				
事 務 事 業 名	家庭児童相談室事業					項	2	児童福祉費		
						目	1	児童福祉総務費		
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		73		
施 策 目 標	結婚・出産・子育て支援の充実					前年度評価 方向性		やり方 改善		
施 策 項 目	子育て支援の充実									
個 別 計 画	大町市子ども・子育て支援事業計画									

事業の目的	対象	児童及び保護者	意図	児童虐待の未然防止など子供達の誰もが子供としての権利を擁護される状態にし、次世代を担う児童すべての健全育成が図られる状態とする		
-------	----	---------	----	---	--	--

事業の内容	家庭児童相談員がトラブルや悩みを抱えた相談者からの相談を受けるとともに、状況に応じて関係機関に繋ぎながらケース会議を行い、家庭環境等の改善を図る。 子育て中の保護者を対象に、養育に関する悩み等の相談支援や、家庭での子どもらの情緒・行動面をフォローする。 児童養育に関係する機関の情報共有・連携を担い、虐待を未然に防いだり、児童の健全育成を手助けする。					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	4,021,724	4,050,453	4,092,597	42,144	1.0%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	4,021,724	4,050,453	4,092,597	42,144 1.0%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,057,000			44,397	4,101,397	4,092,597	
不用額	特定財源	細節名				
8,800	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- ・家庭児童相談員 2人
- ・相談件数 1,120人

項目 年度	心身障害	環境福祉	学校生活等	（知能・言語発達障がい含む）	家族関係	非行	性格・生活習慣等	その他	計
29	65	131	61	413	74	22	96	150	1,012
30	69	291	108	300	132	67	65	58	1,090
元	107	253	112	353	148	82	41	24	1,120

◆ 事業の成果

- ・虐待予防や早期発見により適切な保護につながっている。
- ・相談支援により、悩みを抱える親子の健全育成に寄与している。

◆ 前年からの改善点等

- ・相談員会議を通じ、情報共有の在り方について検討を進めている。現状での改善点等はない。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	125
担 当 課		民生 部	子育て支援 課		子育て支援 係		款 3	民生費		
事 務 事 業 名		療育事業					項 2	児童福祉費		
							目 1	児童福祉総務費		
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		73	
施 策 目 標		結婚・出産・子育て支援の充実					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		子育て支援の充実								
個 別 計 画		大町市子ども・子育て支援事業計画								

事業の目的	対象	児童及び保護者	意 図	- 発達特性の早期発見、早期支援により発達障害の二次的障害を防ぎ、児童の社会的適応性を向上させる - 社会参加に困難を有する子ども・若者の社会参加を支援する。
-------	----	---------	-----	--

事業の内容	5歳児発達相談…年中児童及び保護者を対象とした発達相談の機会を設け、個々の保育環境と就学に向けた準備を行う。 - 巡回相談…発達心理専門相談員等による保育園等の未就学児を対象とした巡回相談を実施。 - 小学校等への巡回相談を実施（市社協委託、大町総合病院線出） - SST（生活技能訓練）教室（児童発達支援事業者への委託により実施） - 子ども若者社会参加支援（社会福祉系通所事業所への委託による居場所支援） - ひきこもり講演会、発達障がい講演会、不登校・ひきこもり講演会の開催
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	5,358,689	7,446,275	8,204,091	757,816	10.2%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	5,358,689	7,446,275	8,204,091	757,816 10.2%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
9,672,000			-55,000	9,617,000	8,204,091	
不用額	特定財源	細節名				
1,412,909	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 5歳児発達相談（年中児童及び保護者を対象とした発達相談）
 - ・対象者 平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれ 179人
 - ・実施人数 175人 実施率 98%
 - 児童発達支援巡回相談（児童心理発達専門相談員による保育園等の巡回相談を実施）
 - ・発達障がいの早期発見、早期対応のための指導助言を保育園、幼稚園、学校等へ専門職員を派遣し実施する。
 - ・実施回数 248回 ・相談件数 859件
 - 若者ひきこもり就労・生活支援（市内社会福祉系通所事業所への委託による居場所支援）
 - ・利用者 15人 利用回数 389回
 - 若者ひきこもり就労・生活支援(就労を主とした支援で市外の事業所へ委託)大町サテライト開設
 - ・利用者8人（市内4人） 利用回数 36回 電話相談等 36件
 - 子育て支援センターあそびの部屋
 - ・発達に支援が必要とする幼児と保護者に、生活技能の向上と身辺自立に向けた支援を行う。
 - ・実施場所 中央保健センター
 - ・実施回数 毎月2回 ・参加人数 延べ202 人
- ◆ 前年からの改善点等
 - ・若者社会参加・就労支援を行う事業所のサテライトを継続し、専門家による相談、支援を受ける場を継続したが、利用者が少なかった。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	127
担 当 課	民生 部	子育て支援 課	子育て支援 係	款	3	民生費				
事 務 事 業 名	子育て支援センター事業					項	2	児童福祉費		
						目	2	児童施設費		
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		72		
施 策 目 標	結婚・出産・子育て支援の充実					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	子育て支援の充実									
個 別 計 画	大町市子ども子育て支援事業計画									

事業の目的	対象	児童を養育する家庭	意 図	子育てをしている家庭が、安心安全な子育てができる環境が整い、楽しんで育児ができるようになる。
-------	----	-----------	-----	--

事業の内容	○子育て支援センター事業 ・子育て世帯や妊婦に対して「子育てに関する情報の提供」「子育ての相談窓口」「安全なあそび場の提供」「読み聞かせ」「季節の遊び」の活動をおこない、育児の悩みを解消し、楽しく子育てができるようサポートしていく。 ・各種子育てセミナー、子育て講座、サークル活動の支援、児童センターまつりなどを行い育児の充実をはかる。 ○療育事業『あそびの部屋』『1歳親子遊び教室』を通して、保護者が子どもの発達の様子を知り、子どもとの遊び方や関わり方を学ぶ場の提供（保育士、家庭相談員、心理士、保健師などが情報の共有をして子どもの成長のフォローアップをしていく）				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		4,470,507	6,429,011	6,546,867	117,856	1.8%
	財源内訳	特定財源	3,152,000	3,776,000	4,106,000	330,000	8.7%
		一般財源	1,318,507	2,653,011	2,440,867	-212,144	-8.0%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,718,000			-452,788	7,265,212	6,546,867	
不用額	特定 財源	細節名	(国) 子ども・子育て 支援交付金	(県) 子ども・子育て 支援交付金		
718,345	内訳	金額	2,053,000	2,053,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 子育て支援ルームの開放

- ・利用者が気軽に育児相談ができるように、日頃の会話を通してコミュニケーションをとっている。
- ・利用者が安心・安全に楽しく遊べる環境づくりに努めている。



○ 未就園児親子対象の各種講座・教室の開催

- ・0歳児親子運動あそび教室【参加者114人】（5/10 7/19 8/29 10/4 11/11 12/9）講師サンバの会
 - ・1歳児親子運動あそび教室【参加者70人】（6/21 7/18 9/13 10/11）講師太田先生（太陽教室）
 - ・2歳児運動遊び教室【参加者58人】（7/2 8/28 9/24 10/15）講師 ジムネット（甘利先生他）
 - ・リトミック教室【0歳参加者38人】【1歳児参加者33人】【2歳参加者26人】
 - ・ベビーマッサージ【参加者33人】講師 酒井さん
 - ・離乳食教室【参加者14人】 10/24 講師伊藤栄養士
 - ・英語教室【26人】 10/30 講師筑地さん
 - ・公演事業（劇団こまねずみ参加者20人）※保健センターと共催
 - ・入園グッズ制作教室【参加者7人】 講師 今溝さん
 - ・センターまつり【参加者343人】 ・バスハイク（山岳博物館）【参加者25人】
- ※活動を通じて、「育児の悩みやストレスを解消することができた」や「育児を楽しめるようになった」などの利用者の声が聞かれた。



○ 小学生対象の各種講座・教室の開催

- ・走り方教室（5/18 2～6年生【参加者33人】 5/25 1年生【参加者7人】）
- ・バトミントン教室（6/1【参加者18人】）
- ・科学教室 8/7東小【参加者39人】 ・8/20北小【参加者48人】 ・10/7西小【参加者27人】
- ・ビーズ教室8/19【参加者27人】 ・こけ玉作り教室9/25【参加者10人】 ・アナウンス体験教室12/7【参加者6人】

○ 親子遊び教室（1歳児、2歳児）

- ・あそびの部屋→2歳児親子が子どもの発達の様子を知り、子どもとの遊び方や関わり方を学ぶ場の提供する事業
- ・1歳親子遊び教室→1歳児親子が子どもの発達の様子を知り、子どもとの遊び方や関わり方を学ぶ場の提供する事業

◆ 前年からの改善点等

毎年同じ講座を行うのではなく利用者のニーズや声を聞きながら、新しい講座も取り入れ、幅広い方の利用につながるよう改善した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	129
担 当 課	民生 部	子育て支援 課	子育て支援 係	款	3	民生費			
事 務 事 業 名	児童クラブ運営事業					項	2	児童福祉費	
						目	2	児童施設費	
ま ち の テ ー マ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		73	
施 策 目 標	結婚・出産・子育て支援の充実					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	子育て支援の充実								
個 別 計 画	大町市子ども・子育て支援事業計画								

事業の目的	対象	小学校に就学している児童であって、その保護者が労働等によって不在となる家庭及び、適切な保護に欠ける児童	意 図	・放課後における児童の健全育成 ・保護者が労働等に専念できる環境の整備
事業の内容	大町市立大町東小学校通学区 東小児童クラブ 大町市立大町西小学校通学区 西小児童クラブ 大町市立大町南小学校通学区 南小児童クラブ 大町市立大町北小学校通学区 北小児童クラブ 大町市立八坂小学校通学区 八坂小児童クラブ 大町市立美麻中学校通学区 美麻小児童クラブ 上記6児童クラブの運営をし、放課後児童健全育成事業（児童クラブ事業）を実施。			

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	22,730,090	21,043,602	20,097,857	-945,745	-4.5%
	財源内訳					
	特定財源	15,224,000	14,124,000	13,790,000	-334,000	-2.4%
	一般財源	7,506,090	6,919,602	6,307,857	-611,745	-8.8%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
24,209,000	-3,480,040			20,728,960	20,097,857	
不用額	特定財源	細節名	児童クラブ登録料	(国) 子ども・子育て支援交付金	(県) 子ども・子育て支援交付金	
631,103	内訳	金額	410,000	6,690,000	6,690,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 児童クラブの運営

・年間開所日数 281日

・開所時間 平日 午後1時から6時まで 土曜日及び長期休暇 午前8時から午後6時まで

・各クラブ登録者数 410人

東小	69人	西小	99人	南小	83人	北小	125人	八坂小	12人	美麻小	22人
----	-----	----	-----	----	-----	----	------	-----	-----	-----	-----

・年間平均利用者数 141人

東小	28人	西小	32人	南小	23人	北小	42人	八坂小	6人	美麻小	9人
----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	-----	----	-----	----

・支援員配置人数 21人（月額支援員5人、時給支援員6人、代替支援員12人、代替補助員2人）

東小	2人	西小	2人	南小	2人	北小	3人	八坂小	2人	美麻小	2人
----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	----

放課後において、児童の居場所を提供し子育てと仕事の両立を図れるよう支援。
安定的な事業運営のために必要な支援員の確保に取り組む。



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	129
担 当 課		民生 部	子育て支援 課		児童 係		款	3	民生費	
事 務 事 業 名		保育所管理運営事業						項	2	児童福祉費
								目	3	保育所費
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		74
施 策 目 標		結婚・出産・子育て支援の充実						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		子育て支援の充実								
個 別 計 画		大町市子ども・子育て支援事業計画								

事業の目的	対象	・満3歳以上及び満3歳未満の保育を必要とする子ども	意図	・保育に欠ける子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図ることを目的として、市内7保育所の管理運営を行う。
-------	----	---------------------------	----	--

事業の内容	児童福祉法に基づき、保育に欠ける子どもに対する保育の実施 市内7保育施設の管理・運営			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	238,324,818	230,897,471	230,015,482	-881,989	-0.4%
	財源内訳	特定財源	111,656,730	105,048,661	68,168,727	-36,879,934 -35.1%
		一般財源	126,668,088	125,848,810	161,846,755	35,997,945 28.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
242,429,000	1,551,000	0	0	243,980,000	230,015,482	0
不用額	特定財源	細節名	保育所使用料	(国) 子ども・子育て支援交付金	(県) 子ども・子育て支援交付金	一時保育負担金ほか
13,964,518	内訳	金額	55,520,375	1,710,000	1,710,000	9,228,352

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 公立7保育園の園児数（4／1現在）

	H27	H28	H29	H30	R1
全園児数	472	426	442	425	412
うち未満児数	109	100	127	117	117

○ 一時保育利用数 1,324人

◆ 事業の成果

- 保育士確保が厳しい状況の中、年間を通じ待機児童が生じることなく施設運営を行うことができた。
- 未就園児とその保護者のために、園開放や子育て支援事業を計画的に実施した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計		一般会計		決算書頁		135	
担 当 課		総務 部		企画財政 課		財政 係		款 4		衛生費	
事 務 事 業 名		病院事業運営費						項 1		保健衛生費	
								目 1		保健総務費	
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		63	
施 策 目 標		健康で長生きできる社会の実現						前年度評価 方向性		やり方 改善	
施 策 項 目		市立大町総合病院新改革プランに基づく経営改善									
個 別 計 画											

事業の目的	対象	病院事業会計の経営安定	意図	必要かつ適正な資金を時限的に集中投入することにより、大町総合病院の経営安定化の促進を図る。
-------	----	-------------	----	---

事業の内容
 病院事業会計に対する繰出しを行う。公営企業に対する繰出金は、地方公営企業繰出基準に基づき、地方交付税措置額及び収益見込みに応じて算定するが、29年度からは新公立病院改革プランに基づき繰出金の額を定めとしているため、令和7年度まで8億円台が続く見込みである。
 病院事業会計は、平成29年度決算において資金不足比率が20%を超えたため、経営健全化計画を策定し早期解消に向け経営改善に努めているところであり、一般会計からの新たな財政支援等を検討している。

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	950,000,000	934,000,000	1,079,000,000	145,000,000	15.5%
	財源内訳					
	特定財源			159,000,000	159,000,000	皆増
	一般財源	950,000,000	934,000,000	920,000,000	-14,000,000	-1.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
920,000,000	159,000,000	0	0	1,079,000,000	1,079,000,000	0
不用額	特定 財源	細節名	地域振興基金繰入金			
0	内訳	金額	159,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

病院事業会計の一時借入金抑制のため、一般会計で資金繰りのうえ優先的に支出

28年度は年度当初(4/1)に全額繰り出し、29年度以降は、4・6・9・11月の4期で繰り出し（普通交付税の入金後）

(単位：千円)

	収益勘定繰出金		資本勘定繰出金		病院事業繰出金計		繰出金財源内訳	
	医業収益分	医業外収益分	出資分	負担金分		うち基準外繰出金	交付税措置額	一般財源等
H23	107,078	462,718	0	288,301	858,097	0	475,566	382,531
H24	113,791	504,588	0	230,967	849,346	0	465,534	383,812
H25	73,482	495,589	0	225,222	794,293	9,141	470,468	323,825
H26	71,947	442,728	0	282,880	797,555	14,113	495,037	302,518
H27	78,460	502,404	0	248,884	829,748	346,272	480,805	348,943
H28	90,467	280,254	222,817	356,211	949,749	257,657	468,696	481,053
H29	92,805	210,541	253,326	393,328	950,000	286,398	455,681	494,319
H30	102,140	450,643	0	382,039	934,822	45,923	437,666	497,156
R1	106,588	471,404	0	345,192	923,184	44,354	425,461	497,723

※ 比較・分析のため、R1繰出金から貸付金159,000千円を除いている

経営効率化等のための病床数削減により、病院事業の収益は安定するが、普通交付税額は病床数を基礎数値としているため減額となっている（激変緩和措置中）。このため、病院事業繰出金が減少しても一般財源額は増加し、一般会計の負担増となっている。

◆ 前年からの改善点等

資金不足解消のため、159,000千円の長期貸付を行った。（財源は地域振興基金）
 平成30年度に引き続き、協力金として3,184千円を拠出

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	135
担 当 課	民生 部	市民 課	消費生活・交通安全 係	款	4	衛生費				
事 務 事 業 名	上原の湯管理費					項	1	保健衛生費		
						目	1	保健総務費		
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		65		
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	健康づくりの推進									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	市民の健康保持増進の拠点として、コミュニティセンター「上原の湯」を管理、運営する。	意図	- 市民同士のふれあいを深めつつ、コミュニティの振興を図る。 - 市民の健康保持増進
-------	----	---	----	---

事業の内容	指定管理者制度により、コミュニティセンター「上原の湯」の管理、運営を指定管理者に委任する。指定管理者を指導及び監督し、効果的、効率的な施設の管理、運営を行わせる。			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	5,972,080	8,980,472	8,564,794	-415,678	-4.6%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	5,972,080	8,980,472	8,564,794	-415,678 -4.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,412,000			311,300	8,723,300	8,564,794	
不用額	特定 財源	細節名				
158,506	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 開館日 341 日
- アンケート結果（抜粋）
- 利用者数 60,150人
 - 一般 6,101人
 - 一般外 46,854人
 - その他 7,195人
- 利用料 15,803,570円
 - 一般 2,997,500円
 - 一般外 11,330,250円
 - その他 1,475,820円
- 自主イベント
 - 近隣農家の農産物販売
 - ヨガ教室
 - シニア健康体操
 - バランスボール教室
 - お抹茶の会
 - 整体マッサージ
 - 折り紙教室 等

項目	人数	割合
満足	23	85.2%
やや満足	2	7.4%
普通	2	7.4%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
合計	27	100.0%

満足度
92.6%

◇施設利用の満足度

項目	人数	割合
満足	15	57.7%
やや満足	7	27.0%
普通	2	7.7%
やや不満	1	3.8%
不満	1	3.8%
合計	26	100.0%

満足度
84.6%

◆ 前年からの改善点等

- ・ 介護浴室の安全な利用のため、介助者が見守りを行っていただけるよう利用者に働きかけ、一人で入浴する際のリスクの軽減に努め、また、入浴開始30分後の声掛けを徹底した。
- ・ 介護浴室浴槽の脇に緊急時の呼び出しベルを設置し複数の安全の確保策を導入した。
- ・ 新たな教室（エクササイズヨガ教室）を開催し、幅広い年代の利用促進を図った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	137
担 当 課	民生 部	市民 課	国保・年金 係	款	4	衛生費		
事 務 事 業 名	後期高齢者健診事業				項	1	保健衛生費	
					目	1	保健総務費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁		64	
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現				前年度評価 方向性		やり方 改善	
施 策 項 目	健康づくりの推進							
個 別 計 画								

事業の目的	対象	後期高齢者医療加入者に健康診査を自己負担無料で実施する。 後期高齢者医療加入者に人間ドックの費用の一部を助成する。	意 図	生活習慣病の重症化予防、フレイル予防を図り、高齢期における健康維持増進及び自立した生活を送るための支援を行う。
-------	----	--	-----	---

事業の内容	- 後期高齢者医療加入者に健康診査（血圧測定、身体測定、血液検査、検尿、診察）を自己負担無料で実施する。 - 後期高齢者医療加入者が人間ドックを受診した場合、費用の一部（日帰り10,000円、1泊2日20,000円）を助成する。
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	10,841,971	11,214,688	10,838,659	-376,029	-3.4%
	財源内訳					
	特定財源	6,947,316	8,195,255	7,988,696	-206,559	-2.5%
	一般財源	3,894,655	3,019,433	2,849,963	-169,470	-5.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
12,874,000	-1,229,000			11,645,000	10,838,659	
不用額	特定 財源	細節名	後期高齢者健診事業 徴収金	後期高齢者高域連合 補助金		
806,341	内訳	金額	132,500	7,856,196		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○健康診査及び人間ドック受診者数

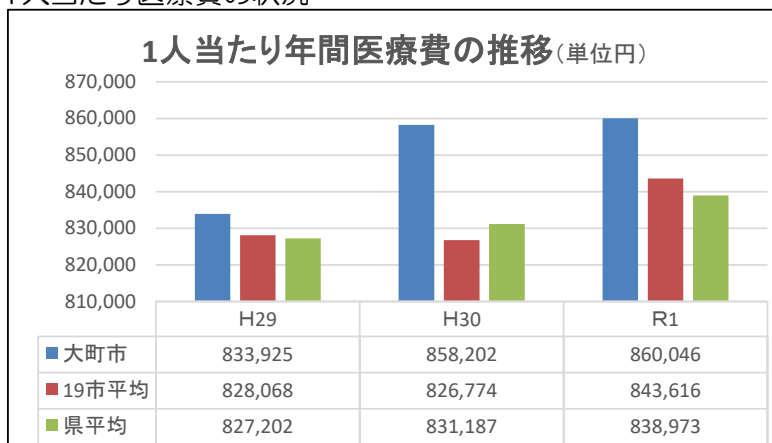
種 類	29年度	30年度	元年度
健康診査	758	747	724
人間ドック（日帰り）	158	234	239
人間ドック（1泊）	24	25	17

○保健指導実施者数（令和元年度）

75～79歳までで特にリスク高い人29人中、23人に実施。

◆ 事業の成果

○1人当たり医療費の状況



◆ 前年からの改善点等

重症化予防のため、75～79歳までで特にリスクの高い人を抽出し保健指導を実施した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		139		
担 当 課		民 生 部		市 民 課		中央保健センター		係		款	4	衛生費	
事 務 事 業 名		予防接種費								項	1	保健衛生費	
										目	2	予防費	
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち								前期計画登載頁		64	
施 策 目 標		健康で長生きできる社会の実現								前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		健康づくりの推進											
個 別 計 画													

事業の目的	対象	・ 予防接種法施行令に定める対象者 ・ インフルエンザの任意接種については、中学3年生及び高校3年生相当の者	意図	伝染病のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の増進に寄与する。
-------	----	---	----	--

事業の内容	・ A類疾病（ジフテリア、結核、百日せき、急性灰白髄炎、麻しん、風しん、日本脳炎、破傷風、水痘、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、B型肝炎）の予防接種 ・ B類疾病（インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌）の予防接種 ・ インフルエンザ任意予防接種 ・ 10月～ ロタウイルス予防接種（A類疾病）
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	58,156,558	60,777,532	58,271,173	-2,506,359	-4.1%
	財源内訳					
	特定財源			1,474,000	1,474,000	皆増
	一般財源	58,156,558	60,777,532	56,797,173	-3,980,359	-6.5%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
67,533,000	-5,686,000		-64,849	61,782,151	58,271,173	
不用額	特定財源	細部名	疾病予防対策事業費等補助金			
3,510,978	内訳	金額	1,474,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

A類疾病予防接種実施状況

R元年度3月末

予防接種の種類	BCG	ポリオ	四種混合	三種混合	二種混合	MR 1期	MR 2期	日本脳炎	水痘	ヒブ	小児肺炎球菌	子宮頸がん	B型肺炎
R元年度対象接種者数	143		569		214	136	139	911	272	572	572		429
全接種者(延べ人数)	132	1	555	0	149	124	118	773	259	537	555	0	402
内訳	定期接種者	125	1	530	0	149	118	767	247	514	531	0	381
	相互乗り入れ	6	0	23	0	0	0	5	12	22	23	0	20
	契約外医療機関	1	0	2	0	0	0	1	0	1	1	0	1

B類疾病予防接種実施状況

R元年度3月末

予防接種の種類	高齢者肺炎球菌	高齢者インフルエンザ
R元年度対象接種者数	1,298	10,158
全接種者(延べ人数)	342	5,981
内訳	定期接種者	332
	相互乗り入れ	10
	契約外医療機関	0
他市依頼接種者	0	0
全接種率	26.3%	58.9%

風しん第5期 対象者 3,153人

令和元年度対象者 1,257人

令和2年度対象者 1,134人+未受診者1,005人 2,139人

令和3年度対象者 743人+未受診者

R元年度接種状況 R元年度3月末 対象者に対し

抗体検査	276名	8.75%
接種対象者(陰性・抗体なし)	82名	2.60%
接種者	56名	1.80%

◆ 事業の成果

おおまち子育て応援アプリの活用や医療機関との連携強化により、接種間隔の誤りによる予防接種事故は0件。

◆ 前年からの改善点等

乳幼児健診等において、保護者に対し、おおまち子育て応援アプリを紹介し、活用方法等を支援。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	139
担 当 課	民生	部	市民	課	中央保健センター	係	款	4	衛生費	
事 務 事 業 名	妊婦・乳幼児健診事業							項	1	保健衛生費
								目	3	母子保健費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち							前期計画登載頁		64
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現							前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	健康づくりの推進									
個 別 計 画	・健康増進計画（中間評価・見直し） ・第3次食育推進計画									

事業の目的	対象	・妊婦及び乳幼児に対し、健康の保持増進を図るため、集団又は個別による健康診査を実施。 ・保護者に対し、乳幼児が心身ともに健全な成長・発達するための育児や発達について学ぶ機会を設ける。	意 図	・母子保健の向上（子どもの健やかな成長） ・親子の愛着形成や育児不安の軽減を図る。
-------	----	--	-----	--

事業の内容	【集団検診】4か月児健康診査・1歳6か月児健康診査・2歳児健康診査・3歳児健康診査（毎月実施） 【個別健診】妊婦一般健康診査（妊婦14回）・妊婦歯科検診1回・乳児一般健康診査（乳児1回）：医療機関委託			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	18,430,213	18,726,991	17,895,379	-831,612	-4.4%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	18,430,213	18,726,991	17,895,379	-831,612	-4.4%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
22,736,000	-3,000,000			19,736,000	17,895,379	
不用額	特定財源	細節名				
1,840,621	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○乳幼児健康診査

（令和元年度）

事業	回数	該当者	受診者	受診率（%）	要フォロー者数	健診（異常のあった児）	個別・集団の指導内容
0歳（乳児一般）	3～11か月に1回		69			15人	
2ヵ月児（相談）	12回	124	114	91.9	11	—	発達・発育、予防接種、母乳育児等
4ヵ月児（健康診査）	12回	130	124	95.3	20	小児科（12人）	発達の学習、離乳食、母体の健康管理等
10ヵ月児（相談）	12回	117	107	91.4	35	—	口腔衛生、離乳食、咀嚼状況
1歳6ヵ月児（健康診査）	12回	121	108	89.2	29	歯科（36）小児科（14）	むし歯予防、栄養
2歳児（健康診査）	12回	117	108	92.3	51	歯科（48）	発達の学習、遊びの体験
3歳児（健康診査）	12回	135	123	91.1	46	歯科（33）小児科（30）	むし歯予防、栄養、視力スクリーニング
合計又はaverage		744	753	91.9	192		

○妊婦及び乳児一般健診

内容：医療機関に委託して実施する健康診査
【受診者数と異常ありの件数】

	1人あたりの件数	受診者数（実数）	受診者数（延べ）	異常ありの件数
妊婦一般	14	215	1,644	17
妊婦歯科	1	64	-	42
乳児	1	74	-	19

◆ 事業の成果

- ・母子及び乳幼児の健診を実施することにより、早期の異常発見及び対処に繋がる。

事業の実績・成果

◆ 前年からの改善点等

- ・ 健診と併せ、親が子の成長発達を学び、相談できる機会を設けている。今後も、健やかな子どもの成長発達の支援に取り組む。

○令和元年度の要フォローの状況（重複あり）

	2ヵ月児 相談	4ヵ月児 健康診査	10ヵ月児 相談	1歳6ヵ月 健康診査	2歳児 健康診査	3歳児 健康診査	小計	全体合計
身体・体重 頭囲	5	9	22	5	6	12	59	244
運動発達	1	7	11	3		1	23	
股関節	1	2				1	4	
精神発達			6	22	53	21	102	
疾病又はその疑い	4	4	1	2		5	16	
尿検査						7	7	
視機能						12	12	
生活リズム					1		1	
母乳・授乳	2		1				3	
離乳食・食事			4		2		6	
母フォロー	1		3		3		7	
家庭環境			1		1	1	3	
歯				1			1	

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	139
担 当 課	民 生 部	市 民 課	中央保健センター 係	款	4	衛生費		
事 務 事 業 名	母子保健事業				項	1	保健衛生費	
					目	3	母子保健費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁		64	
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	健康づくりの推進							
個 別 計 画	・第2次健康増進計画（中間評価・見直し） ・第3次食育推進計画							

事業の目的	対象	・保護者に対する妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援により、育児の悩みや不安の軽減を図るとともに、子どもの育つ力を支える育児力の向上を支援する。 ・小児期からの生活習慣病予防の取組みにより、生活習慣病を予防する。	意図	・育児の悩みや不安の軽減 ・育児力の向上 ・早期からの生活習慣病予防
事業の内容	・母子健康手帳交付・妊産婦相談・両親学級・新生児訪問・育児相談・2か月児相談・離乳食教室 ・10か月児相談・心理相談・不妊治療助成事業・小児期からの生活習慣病予防事業 ・妊娠出産育児の切れ目ない支援事業・母乳相談等助成事業・産後ケア事業・育児支援ヘルパー派遣事業・育児支援力 ウンセリング相談事業			

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	4,741,109	7,998,825	8,869,341	870,516	10.9%
	財源内訳	特定財源	1,742,000	7,603,000	3,558,800	-4,044,200 -53.2%
	一般財源	2,999,109	395,825	5,310,541	4,914,716	1241.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
10,866,000				10,866,000	8,869,341	
不用額	特定 財源	細節名	妊娠・出産包括支援 事業補助金	北アルプス連携自立 圏事業負担金	ふるさと応援基金 繰入金	健康づくり意識啓発 事業ほか
1,996,659	内訳	金額	2,743,000	127,000	600,000	88,800

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

【妊産婦～出産後への支援】

- 母子健康手帳交付 127 件
- 両親学級 2回×3コース実施 参加者延べ 妊婦 27人 家族 19人
- 産前産後サポート ・母乳相談等助成事業 利用実件数 33件 延べ39件
 - ・産後ケア事業 1件（実人数1人） 育児支援ヘルパー派遣事業 2件（実人数2人）
 - ・育児支援力ウンセリング相談事業 実人数 11人 延べ 12人

【乳幼児・育児期の親への支援】

- 相談事業、教室関係

	2か月児 相談	離乳食教室 （ごっくん）	離乳食教室 （もぐもぐ）	10か月児 相談
受診者（人）	148	51	60	121
参加率（%）	89.9	36	48	88.3
- 個別相談
 - ・育児相談

	乳児 （1歳未満）	幼児 （1歳以上）	計
実人数	79	81	160
延べ人数	166	203	369
 - ・心理相談 実人数 9人（延べ件数 12件）
 - ・新生児訪問 137件

【不妊治療助成事業】 21 件

◆ 事業の成果

保護者に寄り添った支援を行うことにより、保護者にとって、保健センターが「支援機関」としての関係を構築できている。

◆ 前年からの改善点等

- ・子育て世代包括支援センターと一体となり、また様々な機会、場所を通して妊娠・出産・子育て期への保護者への支援・相談を実施。
- ・子育て世代包括支援センターを中心として、関係機関との連携強化が図れている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	141
担 当 課	民生 部	市民 課	中央保健センター 係	款	4	衛生費			
事 務 事 業 名	子育て世代包括支援センター事業					項	1	保健衛生費	
						目	3	母子保健費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		64	
施 策 目 標	結婚・出産・子育て支援の充実					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	妊産婦に対し、母子保健施策と子育て施策との一体的な提供を通じ、妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援を行う。	意 図	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する体制を構築する。また、支援により悩みを抱える妊産婦等を早期に発見し、相談支援に繋げ、児童虐待の予防や早期発見に資する。
-------	----	--	-----	---

事業の内容	①妊産婦及び乳幼児等の実情把握 ②妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導 ③支援プランの策定 ④保健医療又福祉の関係機関との連絡調整				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	-	1,317,552	2,262,618	945,066	71.7%
	財源内訳					
	特定財源	-	936,000	1,488,000	552,000	59.0%
	一般財源	-	381,552	774,618	393,066	103.0%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,319,000				2,319,000	2,262,618	
不用額	特定財源	細節名	子ども子育て支援交付金	子ども子育て支援交付金		
56,382	内訳	金額	744,000	744,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

●利用状況

（件数）

	電話相談	来所相談	訪問等	合計
令和元年度	90	81	86	257

重複あり

●相談内容

（件数）

	身体発育	食事	育児	保育園等入所	その他	合計
令和元年度	53	17	123	55	32	280

重複あり

●支援プラン作成

	件数
令和元年度	10

◆ 事業の成果

- ・母子保健施策と子育て支援施策を一体的に提供することにより、相談者に対し、支援が途切れることなく、また、一元化された支援を実現させることを可能としている。
- ・妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供することを可能としてる。
- ・相談をしたい方にとって、相談窓口が明確化されている。

◆ 前年からの改善点等

- ・積極的な関係機関との連携（施設訪問、定例会議等）により情報共有を図り、各機関が一体的に支援策を実施。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		141	
担 当 課		民 生 部		市 民 課		中央保健センター 係		款	4	衛 生 費		
事 務 事 業 名		健康増進事業							項	1	保 健 衛 生 費	
									目	4	保 健 事 業 費	
ま ち の テ ー マ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち							前期計画登載頁		64、65	
施 策 目 標		健康で長生きできる社会の実現							前年度評価 方向性		継 続	
施 策 項 目		健康づくりの推進										
個 別 計 画		第2次健康増進計画（中間評価・見直し）、第3次食育推進計画										

事業の目的	対象	市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及及び啓発を図る。	意図	市民の健康保持及び増進を図る。
-------	----	--------------------------------	----	-----------------

事業の内容	- 市内各地区で開催する健康相談、健康教育 - 訪問指導 - 健康手帳の配布 - 歯周病検診 - 骨粗しょう症検診 - 肝炎ウイルス検診 - 健康増進法健診 - 先取り健診				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	財源内訳	総事業費（決算額）	6,830,102	6,446,206	6,463,712	17,506	0.3%
		特定財源	2,643,300	2,581,500	2,347,000	-234,500	-9.1%
		一般財源	4,186,802	3,864,706	4,116,712	252,006	6.5%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,439,000	-1,011,000		4,450	7,432,450	6,463,712	
不用額	特定財源	細部名	健康増進事業費補助金	健診事業徴収金	健康教室実費徴収金	
968,738	内訳	金額	2,079,000	221,000	47,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○健康教育の開催数

年度	H28	H29	H30	R1
開催数(回)	102	142	105	85
参加者数(人)	1,733	1,611	1,571	1127

○健康相談の開催数

年度	H28	H29	H30	R1
開催数(回)	67	32	31	21
参加者数(人)	476	445	332	212

○健康増進法健診（人数）

年度	H30	R1
集団健診	1	1
個別健診	5	2

○先取り健診（18～39歳）

年度	H30	R1
集団健診	72	64
個別健診	98	92

○歯周病健診（30・40・50・60・70歳）

年度	H30	R1
受診者数(人)	124	128

○骨粗鬆症検診（女性限定） （40歳から70歳までの5歳刻み）

年度	H30	R1
受診者数(人)	243	196

○肝炎ウイルス検診

年度	H30	R1
集団健診	55	41
個別検診	74	64

○特定肝炎ウイルス検診（無料検診）

年度	H30	R1
集団検診	45	32
個別検診	292	245

◆ 事業の成果

各地区で開催する健康教育において、各家庭で血圧を測定する必要性を普及啓発してきた結果、健康相談の機会に血圧測定を希望する方は減っている。これにより、健康相談の開催数は減少傾向にある。また各家庭で、血圧を測定する方が増えていることから、健康手帳の配布も増加傾向にある。

今後は、食を通じた健康づくりの要素を加え、早期からの生活習慣病予防を実施する。

◆ 前年からの改善点等

健康相談、健康教室の開催については、各地区の健康推進員を通じて開催を依頼。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	141
担 当 課		民生 部	市民 課		中央保健センター 係		款	4	衛生費	
事 務 事 業 名		がん検診事業						項	1	保健衛生費
								目	4	保健事業費
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		64
施 策 目 標		健康で長生きできる社会の実現						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		健康づくりの推進								
個 別 計 画		第2次健康増進計画中間評価・見直し								

事業の目的	対象	市民に対し、疾病の早期発見と正しい知識の普及および啓発を行う。	意図	市民の健康保持増進を図る。
-------	----	---------------------------------	----	---------------

事業の内容	・各種がん検診 胃がん検診（バリウム・カメラ）、大腸がん検診、肺がん検診（レントゲン、CT） 乳がん検診（超音波・マンモグラフィ）、子宮頸がん検診、前立腺がん					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	15,883,729	14,138,523	14,580,543	442,020	3.1%
	財源内訳					
	特定財源	1,368,900	1,374,000	1,394,000	20,000	1.5%
	一般財源	14,514,829	12,764,523	13,186,543	422,020	3.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,201,000	-3,500,000		32,200	16,733,200	14,580,543	
不用額	特定財源	細節名	疾病予防対策事業費 等補助金	検診事業徴収金		
2,152,657	内訳	金額	65,000	1,329,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

● 検診受診者の推移（人間ドック含まず。）

検診種別		対象者	受 診 者 数（人）				
			H27	H28	H29	H30	R元
胃がん	バリウム	35歳以上	371	486	424	350	339
	カメラ	H27まで35歳以上 H28から41歳以上（隔年）	792	452	385	292	249
大 腸 が ん		35歳以上	2,022	1,775	1,668	1,420	1,416
		無料クーポン（再掲）	244	28	42	28	29
乳がん	視触診	30歳以上	421	-	-	-	-
	超音波	30歳以上	-	563	530	485	436
	マンモグラフィ	40～74歳（隔年）	316	232	200	171	178
		無料クーポン（再掲）	46	41	51	35	32
子 宮 が ん		20歳以上（隔年）	373	429	356	311	288
		集団検診（再掲）	-	-	36	40	39
		無料クーポン（再掲）	36	41	29	31	23
肺がん	胸部レントゲン	40歳以上	2,202	2,322	2,297	2,177	2,204
	肺CT	41～75歳（隔年）	59	71	71	96	86
前立腺がん		50歳以上	638	615	560	518	534

● 検診受診率の推移

	算出年齢	29年度		30年度		R元		市の目標	国の目標
			ドック含む		ドック含む		ドック含む		
胃がん（カメラ・バリウム）	40～69	10.5%	20.4%	17.1%	29.7%	15.2%	28.1%	30.0%	50.0%
大腸がん	40～69	20.8%	31.8%	17.7%	27.2%	15.9%	24.8%		
肺がん（肺がん・CT）	40～69	22.8%	31.3%	20.8%	28.7%	19.0%	28.4%		
子宮頸がん	20～63	20.4%	24.4%	20.6%	22.6%	19.1%	21.9%		
乳がん（視触診・マンモ）	40～69	35.4%	37.6%	32.9%	36.2%	31.4%	32.7%	50.0%	

◆ 事業の成果

がん検診の受診率については、国の目標値である50%を達成していない状況である。受けやすい体制づくりや受診勧奨を行っているが、受診率の大幅な増加に繋げることが難しい。ただし、市の検診を受診していなくても人間ドックや医療機関等で受診している場合が多い。国保人間ドック受診者のがん検診受診状況について確認すると、胃・大腸・肺がんは受診率にして10%程度、乳房・子宮頸がんは2%程度である。

がんの予防には早期発見が不可欠であることから、引き続き受診勧奨及び意識啓発に努める。

◆ 前年からの改善点等

- ・ 近年、人間ドックの受診者が増えていることから、国保人間ドックにおけるがん検診の受診状況を引き続き把握していく。
- ・ 若い年代の受診者が多かった子宮頸がん集団検診を継続実施していく。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	143
----	------	------	-----

担 当 課	民生 部	市民 課	中央保健センター 係	款	4	衛生費
事 務 事 業 名	精神保健事業			項	1	保健衛生費
				目	4	保健事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画掲載頁	65
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現				前年度評価 方向性	継続
施 策 項 目	健康づくりの推進					
個 別 計 画	第2次大町市健康増進計画（中間評価・見直し）、大町市いのちを守る推進計画					

事業の目的	市民に対し、精神保健に関する知識を広く普及・啓発する。 様々な関係機関が連携し、生きることの包括的支援を実施する。	意図	・自らの心の健康について関心を持ち、心の健康を維持するための取組みにつなげる。 ・関係機関と連携し、生きるための阻害要因を減らし、生きるための促進要因を増やすことにより、自殺対策につなげる。
事業の内容	- 相談指導及び訪問指導 - 健康教育 ・いのちを守る推進計画策定 ・有線放送等を活用した啓発活動 ・こころ・法律・仕事の「なんでも相談会」開催（保健所主催事業） ・ゲートキーパー養成講座の開催 ・Mentalチェックシステム「こころの体温計」事業		

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	1,025,564	301,075	246,277	-54,798	-18.2%
	特定財源	65,000	94,000	122,000	28,000	29.8%
	一般財源	960,564	207,075	124,277	-82,798	-40.0%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
296,000				296,000	246,277	
不用額	特定財源	細節名	地域自殺対策強化事業 補助金			
49,723	内訳	金額	122,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

● 相談指導及び訪問指導事業

	相談			訪問		
	実人数	延べ人数	一人に関わった回数	実人数	延べ人数	一人に関わった回数
R元年度	32	86	2.7	177	370	2.1
H30年度	25	79	3.2	82	279	3.4
H29年度	27	78	2.9	69	168	2.4
H28年度	34	103	3	72	199	2.8

● こころの体温計

	本人モード	家族モード	妊婦・ママモード	ストレスタイプ	アルコールチェック	合計①	大町市以外②	合計①+②
R元年度	2,593	639	182	666	460	4,540	2,262	6,802
H30年度	3,542	875	274	923	643	6,257	3,785	10,042
H29年度	5,357	1,326	400	1,465	1,102	9,650	4,054	13,704

*R2年3月末日現在

- *1 本人モード・・・自分のストレス度や落ち込み度をチェック
- *2 家族モード・・・大切な人の心の健康状態を家族や身近にいる人の目でチェック
- *3 赤ちゃんママモード・・・赤ちゃんのいるお母さんの産後の心の健康をチェック
- *4 ストレス対処法テスト・・・困った時の対処法をタイプ別に分類し、アドバイスを受ける

● いこいの家事業（ディケアの要素をもった通所事業。社協委託）の終了

市内にディケアの要素を持つ地域活動支援センター（そよ風（ぽれぽれ野の花））や、作業所（社協すずらん、北アルプスの風、てとてと、三戸呂）が活動していることから、平成29年度をもって終了。以降は、各事業所との連携を行い、支援を実施。

◆ 事業の成果

保健師が心に悩みや不安を持つ方に寄り添い、主治医と連携しながら支援を実施。

◆ 前年からの改善点等

専門家が一堂に会する相談会については、保健所が主催し、大北地域の市町村が協力する体制で実施。令和2年度以降は、広域連携事業として開催する。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	145
担 当 課		民生 部	生活環境 課		環境衛生 係		款	4	衛生費	
事 務 事 業 名		不法投棄対策事業						項	2	清掃費
								目	1	清掃総務費
まちのテーマ		第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						前期計画登載頁		88
施 策 目 標		快適な生活環境の形成						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	ごみの不法投棄に対して、市民、事業者、行政がそれぞれの立場で清潔で快適な生活環境を守るため取組む。	意図	ごみの不法投棄の防止を進め、不法投棄ごみ発見時の迅速な回収・処理に努め、清潔で快適な生活環境を守り、住みよい地域の形成を進める。
-------	----	---	----	--

事業の内容	・市民啓発、不法投棄防止啓発用看板の必要箇所への設置及び希望者への配布を行いごみの不法投棄を防止する。 ・不法投棄ごみを発見した場合、速やかに回収・処理し清潔で快適な生活環境及び景観の保全を維持する。 ・環境保全推進員活動による不法投棄ごみの回収や防止パトロール実施。 ・地域や団体等との連携による不法投棄ごみの早期回収の実施。 ・広域連合・県等との連携による広域的な不法投棄対策の推進。
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	1,880,523	1,759,822	2,022,397	262,575	14.9%
	財源内訳					
	特定財源	1,880,000	1,703,000	2,000,000	297,000	17.4%
	一般財源	523	56,822	22,397	-34,425	-60.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,890,000				2,890,000	2,022,397	
不用額	特定 財源	細節名	ふるさと応援基金 繰入金			
867,603	内訳	金額	2,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 市民啓発、不法投棄防止啓発用看板の必要箇所への設置及び希望者への配布。
- 不法投棄ごみの速やかな回収と処理。
- 環境保全推進員活動による不法投棄ごみの回収や防止パトロール実施。
- 地域や団体等との連携による不法投棄ごみの早期回収の実施。
- 広域連合・県等との連携による広域的な不法投棄対策の推進。

◆ 事業の成果

- 不法投棄ごみの回収量 12 t
 - ・可燃ごみの回収量 9,280kg 前年比2,540kg減少
 - ・不燃ごみの回収量 2,750kg 前年比1,200kg減少
- 不法投棄ごみ回収数 266回
 - ・環境保全推進員による回収数 112回
 - ・個人・自治会・事業者による回収数 12回
 - ・行政による回収数 142回

不法投棄の状況



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		149	
担 当 課		民 生 部		生活環境 課		クリーンプラント 係		款	4	衛生費		
事 務 事 業 名		し尿処理事業							項	2	清掃費	
									目	3	し尿処理費	
まちのテーマ		第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち							前期計画登載頁		88	
施 策 目 標		快適な生活環境の形成							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進										
個 別 計 画												

事業の目的	対象	快適な生活基盤の観点から安定したし尿処理を行う。	意図	公衆衛生の向上と環境保全を図る。
-------	----	--------------------------	----	------------------

事業の内容	し尿処理施設の安全で安定した維持管理				
-------	--------------------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		90,336,611	85,337,155	107,377,785	22,040,630	25.8%
	財源内訳	特定財源	5,376,180	5,425,740	5,439,240	13,500	0.2%
		一般財源	84,960,431	79,911,415	101,938,545	22,027,130	27.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
117,422,000	-8,272,000			109,150,000	107,377,785	
不用額	特定財源	細節名	し尿処理手数料			
1,772,215	内訳	金額	5,439,240			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

総処理量	平成30年度	令和元年度	比較
生し尿	4,917KL	4,728KL	3.8%減
浄化槽、生活雑排水	4,114KL	4,325KL	5.1%増
計	9,031KL	9,053KL	0.2%増

◆ 事業の成果

- 施設の長寿命化のためにデータログ装置の更新工事を行った。
更新費用 23,100千円

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	151
担 当 課		民生 部	生活環境 課	環境衛生 係	款	4	衛生費		
事 務 事 業 名		生ごみ等資源化推進事業					項	2	清掃費
							目	4	リサイクル推進費
まちのテーマ		第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		87
施 策 目 標		快適な生活環境の形成					前年度評価 方向性		やり方 改善
施 策 項 目		廃棄物の適正な処理とリサイクルの推進							
個 別 計 画									

事業の目的	対象	ごみの排出者自らが、生ごみの減量化と再資源化を行うことで、ごみの減量化、再資源利用に対する市民意識の高揚を図る。	意図	ごみの減量化や再資源利用を図り、循環型社会の形成を進め、快適な生活環境の基盤形成を図る。
-------	----	--	----	--

事業の内容	・堆肥センターはH26年2月から指定管理者による運営管理が開始され、市内小中学校、温泉郷宿泊施設、協力自治会及び福祉施設、市内飲食店等から排出される生ごみを堆肥化している。生産された堆肥は学校での花づくりや野菜作りに活用されている。 ・生ごみ堆肥化等処理容器を購入した市民に購入費の1/2（限度額あり）を補助する。電気式では上限30,000円、100ℓ以上の容器：上限3,000円、100ℓ未満の容器：上限2,000円				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	12,030,588	11,843,230	12,170,809	327,579	2.8%	
	財源内訳	特定財源	424,000	389,000	498,000	109,000	28.0%
		一般財源	11,606,588	11,454,230	11,672,809	218,579	1.9%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,262,000	0	0	0	13,262,000	12,170,809	0
不用額	特定財源	細部名	堆肥販売金			
1,091,191	内訳	金額	498,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動 ○ 牛ふん堆肥販売 ○ 堆肥センターへの生ごみ収集量 ○ 生ごみ堆肥配布 ○ 生ごみ堆肥化補助金	春の牛ふん堆肥販売 風景 	不用食器回収 風景 
◆ 事業の成果 ○ 牛ふん堆肥販売 ・ 春の販売 平成31年4月6日（土）実施 軽トラ128台、2 t車9台 販売額 323,500円 ・ 秋の販売 令和元年10月5日（土）実施 軽トラ 61台、2 t車7台 販売額 174,500円 ○ 堆肥センターへの生ごみ収集量 令和元年度219 t（前年比 135% 前年量162 t） ○ 生ごみ回収箇所 57箇所 自治会 1 件、保育園 2 園、小中学校 6 校、福祉施設 4 施設 宿泊施設 8 施設、工場 1 施設、市内飲食店 33 軒、行政施設 2 施設 ○ 生ごみ堆肥配布 ・ 小中学校への配布 ・ 不用食器回収時の配布 配布数200袋 （リサイクル推進団体と協働実施。R1.12.1リサイクルパーク） ○ 生ごみ堆肥化補助金 ・ 電気式生ごみ処理機 8台 補助金額 219,900円（前年比 台数1増 金額30,508円増） ・ コンポスター 28台 補助金額 52,260円（前年比 台数1減 金額19,986円減） ◆ 前年からの改善点等 ○ 平成31年4月より市内飲食店等からの生ごみの受入れを開始。令和2年3月末現在 33軒		

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	151
担 当 課	民生 部	生活環境 課	環境保全 係	款	4	衛生費			
事 務 事 業 名	環境調査事業				項	3	環境保全費		
					目	1	環境保全費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁		79		
施 策 目 標	自然と共生した環境の創造				前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	自然環境の保全と共生								
個 別 計 画	環境基本計画								

事業の内容

下記環境調査の実施。定期的調査の他苦情等が発生した場合は随時実施する。

○河川、湖沼の水質調査 ○地下水位連続観測 ○ダイオキシン類：大気、土壌 ○低周波音：食品製造施設

○臭気：堆肥製造施設、食品製造施設、畜産関係 ○特定悪臭物質：堆肥製造施設、畜産関係

○自動車交通騒音常時監視

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		10,115,752	11,043,274	11,887,736	844,462	7.6%
	財源内訳	特定財源	5,714,000	11,000,000	4,520,000	-6,480,000	-58.9%
		一般財源	4,401,752	43,274	7,367,736	7,324,462	16925.8%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,474,000				13,474,000	11,887,736	
不用額	特定 財源	細節名	ふるさと応援基金 繰入金			
1,586,264	内訳	金額	4,520,000			

[illegible]

1. *Journal of the American Medical Association*, 2000; 283: 2686-2692.

- ・町川、平河川（17箇所）
- ・常盤、社河川（18箇所）
- ・八坂、美麻河川（4箇所）
- ・仁科三湖（6箇所）
- ・木崎湖流入河川（4箇所）
- ・昭和電工関係（3箇所）

・図書館付近（大町）、丹生子付近（社）、雇用促進住宅付近（社）、社駐在所付近

○自動車交通騒音常時監視 県道有明大町線
県道あづみの公園大町線)

◆ 事業の成果

○水質検査 2,481,732円

河川、湖沼の水質について、概ね環境基準をクリアしている。

水温について、若干上昇傾向にある。

また、一部の河川について、近隣自治会との懇談会において測定結果等を報告している。（年1回）

○地下水位連続観測（4箇所）

平成28年度より水位観測をしている。各井戸ともに降水に係る変動はあるが、大きな水位低下は観測されていない。

また、地下水の保全及びかん養に関する指針により、アルプス地域地下水保全対策協議会へデータを提供し、他市町村分の結果と合わせオープンデータとして公開している。

○ダイオキシン類測定

大気、土壌ともに環境基準を大幅に下回っている。

また、近隣自治会との懇談会において測定結果等を報告している。（年1回）

○低周波音測定（食品製造施設）

測定結果は、環境省から示されている人体に影響を及ぼす参照値を大きく下回っている。

また、近隣自治会に測定結果等を報告している。（年1回）

○臭気測定

・畜産関係A

規制基準値を超過しているが、市民からの苦情はない。事業者と地域の方々が情報を共有し改善に向け取り組んでいくという方向性ではあるが、市も監視を強め改善を依頼している。

・畜産関係B

規制基準値以内である。

・堆肥製造施設

事業者の臭気対策により、臭気は概ね規制基準値以内である。

市民からの苦情については、28件である。県及び地元の公害対策委員会と連携し、臭気の改善が図られるよう対応している。

また、地元の公害対策委員会の定例会において、測定結果等を報告している。（年4回）

・食品製造施設

気体排出口の臭気指数が規制基準値を超過しているが、市民からの苦情は寄せられていない。臭気の改善が図られるよう依頼している。

また、近隣自治会に測定結果等を報告している。（年1回）

○自動車交通騒音常時監視

2路線ともに環境基準を満たしている。

測定結果等について、環境省及び長野県にデータ提供している。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	151
担 当 課	民生 部	生活環境 課	環境保全 係	款	4	衛生費		
事 務 事 業 名	環境保全事業				項	3	環境保全費	
					目	1	環境保全費	
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁		79	
施 策 目 標	自然と共生した環境の創造				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	自然環境の保全と共生							
個 別 計 画								

事業の目的	対象	市民、事業者、行政がそれぞれの立場で自然、景観、生体系の保全に取り組む。	意図	当市の貴重な財産である良質な水や良好な大気の環境等を適切に保全して快適な環境を未来へ引き継ぐ。
-------	----	--------------------------------------	----	---

事業の内容	「環境基本計画」に基づき総合的な環境への取り組みを進めている。地球温暖化防止対策の取組みとして、大町市地球温暖化防止実行計画（令和元～令和5年度）に基づき、目標（温室効果ガス排出量H25年度比5%減）達成に向け大町市環境マネジメントシステムの運用により実施している。 環境保全推進員50名を委嘱し、パトロールによる不法投棄の防止やゴミの回収、外来植物の駆除など良好な生活環境の確保に努めている。					
-------	--	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	3,724,253	3,891,995	3,956,954	64,959	1.7%
	財源内訳					
	特定財源	500,000		3,000,000	3,000,000	皆増
	一般財源	3,224,253	3,891,995	956,954	-2,935,041	-75.4%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,013,000				4,013,000	3,956,954	
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金 繰入金			
56,046	内訳	金額	3,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○外来植物除去量

平成29年度	平成30年度	令和元年度
4,300 k g	5,250 k g	6,590 k g

○公共施設のCO2排出量

平成29年度	平成30年度
10,131,370kg-co2	8,780,413kg-co2

○不法投棄物回収量

平成29年度	平成30年度	令和元年度
17,000kg	16,000 k g	12,000 k g

◆ 事業の成果

○外来植物除去

除去量は、目標値を大きく上回っているが、毎年新たな繁殖地を確認確認している。
オオキンケイギクについては、道路敷、河川敷に繁茂していることから、関係機関と連携し除去していく。

○公共施設のCO2排出量

平成30年度、一般廃棄物焼却施設北アルプスエコパークの稼働に伴いCO2排出量は削減され、令和5年度の目標を達成している。（平成30年度現在）

○不法投棄物回収量

環境保全推進員による不法投棄パトロールは例年同様に実施されたが、回収量は前年度比75%となった。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	153
担 当 課	民生 部	生活環境 課	環境保全 係	款	4	衛生費			
事 務 事 業 名	自然エネルギー活用推進事業					項	3	環境保全費	
						目	1	環境保全費	
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		79	
施 策 目 標	自然と共生した環境の創造					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	自然環境の保全と共生								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	自然エネルギー（水力）を活用した町川発電所の管理を行うとともに、公共施設での再生可能エネルギーの普及を推進する。	意図	地域の特性を生かした再生可能エネルギーの普及促進により地球温暖化を防止する。
-------	----	--	----	--

事業の内容	町川発電所の管理、公共施設への新エネルギー普及促進			
-------	---------------------------	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	68,320	85,220	1,865,573	1,780,353	2089.1%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	68,320	85,220	1,865,573	1,780,353 2089.1%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,268,000	-6,080,000			2,188,000	1,865,573	
不用額	特定財源	細節名				
322,427	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○町川発電所の管理業務

臨時職員：施設点検業務 週3日

職員：除塵機清掃 週1回

事業経過

○太陽光発電システム補助金は一定の普及が図られたことからH28年度終了

H22年度～H28年度実績 補助金額 40,333千円、発電出力1,714kw

○地中熱ヒートポンプシステム導入試行事業補助金（H27年度～29年度）

H27年度～H29年度実績 2件 補助金額 700千円 能力51kw

◆ 事業の成果

○町川発電所発電量 1,078,832 kwh

○町川発電所売電料 9,987,511 円

○クリーンプラント効果額 8,737,047 円

◆ 前年からの改善点等

○令和元年4月から町川発電所の管理は建設課から生活環境課へ移管となった。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	155
担 当 課		産業観光 部		商工労政 課		商業労政 係		款 5	労働費	
事 務 事 業 名		創業支援事業						項 1	労働諸費	
								目 1	労政費	
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		49
施 策 目 標		商工業の振興による地域経済の活性化						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		中小企業の支援と創業支援による地域経済の活性化								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	・新規学卒者、Uターン希望者に対する就職機会の提供 ・市内における創業・起業希望者への支援	意 図	・地元企業等への就職による定住対策 ・市内において新たに創業、起業することによる地域の活性化
-------	----	--	-----	---

事業の内容	・市創業支援アドバイザーによる創業・起業支援 ・企業説明会（就職面接会）の開催 ・関係機関（大町職業安定協会、大北高等職業訓練校等）への支援 ・市創業支援協議会によるセミナー・創業塾の開催、相談窓口の開設、コワーキングスペースの運営
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	6,679,695	13,256,650	14,700,294	1,443,644	10.9%	
	財源内訳	特定財源	66,500	65,500	402,000	336,500	513.7%
		一般財源	6,613,195	13,191,150	14,298,294	1,107,144	8.4%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
15,687,000	-103,400			15,583,600	14,700,294	
不用額	特定 財源	細節名	ふるさと応援基金 繰入金	新規学卒者等 就労支援事業		
883,306	内訳	金額	212,000	178,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○アドバイザーによる創業支援

市創業支援アドバイザーによる創業・起業相談等の実施

○企業説明会（就職面接会）

関係機関（ハローワーク、職業安定協会、県等）と連携し、北アルプス連携自立圏事業として、地域内の企業と新規学卒者を対象とした説明会を開催した。

・企業説明会：大学・短大・専門学校卒業予定者、I・Uターン希望者を対象に、大北管内企業人事担当者との面談を実施

・大北の企業を知ろう：高卒予定者に向けた就職ガイダンスとして、大北管内企業のプレゼン実施

○市創業支援協議会によるセミナー・塾の開催、相談窓口の開設

・創業支援事業計画に基づく関係機関との連携強化、創業希望者・創業者への支援

・コワーキングスペース内ヘテレワークルームを開設

○起業支援補助金の交付

・地域活性化及び定住促進を図るため、個人が新たに起業する際の初期費用に対して補助金を交付する。

◆ 事業の成果

○アドバイザーによる創業支援

・創業相談 創業セミナー開催時の相談・フォローアップ等 3回

○企業説明会（就職面接会）

・開催日：令和元年5月8日（大北農協会館アブロード）

・参加者等：新規学卒者等170名（うち新規学卒者123人、前年比84人増）、参加企業24社

・マイナビを通じた開催情報の発信（DM発送）：サイト登録学生1,079人、大学就職課394校

◆ 事業の成果＜続き＞

○創業支援協議会によるセミナー・塾の開催、相談窓口の開設

- ・創業セミナー：全4回、延べ54名参加
- ・創業塾：1回（全5回）、延べ87名
- ・相談者／創業者数：31人／7人



○起業支援補助金の交付

- ・交付者数／額：5人／5,000千円（5人×1,000千円）

○テレワークルームの開設

- ・4月よりコワーキングスペース内へテレワークルームを開設し、多様な雇用環境を創出した。報道機関を通じてワーカー募集、登録者17人となっている。

◆ 前年からの改善点等

- ・企業説明会（就職面接会）
専門知識を有する事業者（マイナビ）を通じた周知啓発
- ・コワーキングスペース内へのテレワーク開設（創業支援協議会）
- ・塩尻市振興公社と連携したテレワーク事業の導入、多様な労働環境の整備

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		157	
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課		女性未来館ピュア 係		款	5	労働費		
事 務 事 業 名		女性未来館ピュア運営事業							項	1	労働諸費	
									目	2	労働施設費	
まちのテーマ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		42	
施 策 目 標		生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		多様な分野の学習活動の充実と促進										
個 別 計 画												

事業の目的	対象	新規就業者、中途採用者希望者を含む女性労働者及び勤労家庭の女性を対象に円滑な就業の促進や資質の向上を図るための援助を行う。	意図	女性問題に関する啓発活動を通じて問題意識の喚起や女性の意識向上を積極的に推進する。
-------	----	---	----	---

事業の内容	・女性のための各種講座や講演会及びサークルなどが円滑に活動できる管理体制を図る。 ・託児ボランティア活動の人材育成の実施。			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	4,084,181	4,179,239	4,137,754	-41,485	-1.0%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	4,084,181	4,179,239	4,137,754	-41,485	-1.0%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,192,000				4,192,000	4,137,754	
不用額	特定財源	細節名				
54,246	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

寄せ植え講座 全5回



秋のトレッキング 民話の地めぐり

市内6か所を巡る全7回



平公民館・女性未来館ピュア事業の成果発表の場 ピュアフェスタ11/10～12 ピュアコンサート開催11/10



◆ 事業の成果

利用者の高齢化が進む中ピュアフェスタに向けた成果発表の場があることは、利用者各々のサークルでの取り組みに生きがいをもたらせ健康増進に繋がる。またピュアコンサートを同日に行うことにより有意義な一日として利用者、一般の参加者も同時に楽しむことができる。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	161
担 当 課	産業観光 部	農林水産 課	農業振興 係	款 6	農林水産業費				
事 務 事 業 名	農業農村交流事業				項 1	農業費			
					目 3	農業振興費			
ま ち の テ ー マ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁		60		
施 策 目 標	移住・定住促進策等の充実強化				前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	都市との交流の促進								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	中綱湖へら鮒釣り大会、国営公園を拠点とした農家民宿事業により、都市住民と地域住民の交流を図る。	意図	グリーンツーリズム事業を推進して地域の活性化を図る。		
-------	----	---	----	----------------------------	--	--

事業の内容	・中綱湖へら鮒釣り大会開催（毎年6月第3日曜日） ・安曇野市、松川村と共同で農家民宿（農業体験の修学旅行）の受入れ					
-------	--	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	620,935	765,162	706,263	-58,899	-7.7%
	財源内訳				0	-
	一般財源	620,935	765,162	706,263	-58,899	-7.7%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
964,000				964,000	706,263	
不用額	特定 財源	細節名				
257,737	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○第19回中綱湖へら鮒釣り大会参加人数 70人

○農家民泊 受入校9校 受入人数 298人



中綱湖へら鮒釣り大会



農業体験

◆ 事業の成果

農家民宿事業は、民泊前後に約半数の学校が大北地域に宿泊するため、一定の経済効果がある。

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	161	
担 当 課	産業観光 部		農林水産 課		農業振興 係		款 6	農林水産業費		
事 務 事 業 名	農業振興事業(1)						項 1	農業費		
							目 3	農業振興費		
ま ち の テ ー マ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁	52,53		
施 策 目 標	地域の特性を生かした農林水産業の振興						前年度評価 方向性	継続		
施 策 項 目	農地施策の推進									
個 別 計 画	大田市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画									
事業の目的	対 象	①新規就農者 ②有機農業等 ③農業者等		意 図	①担い手を育成し安定的な農業経営を図る。 ②慣行栽培との差別化を進め、価値の高い農産物の栽培を推奨する。 ③「人・農地プラン」の作成及び実質化により、地域の担い手と農地の課題解決及び地域活性化に向けた事業の推進					
事業の内容	・青年等就農計画を認定された新規就農者が、農業経営を開始するにあたり毎年150万円を5年間交付。 ・化学肥料や化学合成農薬を原則5割以上低減する取組みと併せて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援。 ・「人・農地プラン」の作成及び実質化 ・市内全小中学校による学童農園への取組み。									
決算数値（単位：円）										
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率			
	総事業費（決算額）		16,544,016	16,762,690	29,909,935	13,147,245	78.4%			
	財源内訳	特定財源	13,264,600	12,630,363	24,146,724	11,516,361	91.2%			
		一般財源	3,279,416	4,132,327	5,763,211	1,630,884	39.5%			
令和元年度当初予算額	補正予算額		繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額			
28,733,000	1,486,000				30,219,000	29,909,935				
不用額	特定財源	細部名	農業次世代人材投資資金	農業次世代人材投資推進事業費	6次産業化ネットワーク活動整備交付金	環境保全型農業直接支援対策補助金				
309,065	内訳	金額	13,393,399	50,000	9,540,000	1,163,325				
事業の実績・成果										
◆ 施策目標に資する活動 ○農業次世代人材投資事業（経営開始型） ・継続9人 交付額 11,143,399円 ・新規2人 交付額 2,250,000円 ○環境保全型農業直接支払事業 ・6組織 交付額 1,551,100円 ・補助率（県3/4 市1/4） 面積 2,222a ○「人・農地プラン」の実質化 ・10地区 ○学童農園設置委託 ・市内全小中学校 9校 @80,000円 ○6次産業化推進事業整備補助金 ・補助金 9,540,000円 ・補助対象事業者 株式会社大地 ・補助率（対象経費の1/2 国） ○地域特産物加工事業補助金（市単） ・補助金 2,000,000円 補助対象事業者 株式会社大地 ◆ 事業の成果 農業次世代人材投資事業は、経営、技術担当、営農資金担当、農地担当からなるサポートチームにより、当初立てた計画どおり農業経営が進んでいるか、年2回の面談及びほ場確認等によりきめ細やかな指導が行なわれるため、将来の担い手育成の場として大変有益である。 有機農業は、生物多様性保全や地球温暖化防止に高い効果を示すとともに、有機農業により生産される農産物等は国内市場が拡大していることから、引き続き支援していく。										

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計		一般会計		決算書頁		161	
担 当 課		産業観光 部		農林水産 課		農業推進支援 係		款 6		農林水産業費	
事 務 事 業 名		農業振興事業 (2)						項 1		農業費	
								目 3		農業振興費	
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁			
施 策 目 標		地域の特性を生かした農林水産業の振興						前年度評価 方向性		やり方 改善	
施 策 項 目		生産と販売の推進									
個 別 計 画											

事業の目的	①生産者 ②消費者（個人及び事業者）	①大町で生産された農産物を、大町で消費される形を目指して、優良な農産物を安定的に生産する。 ②宣伝販売活動を展開して、地元農産物の魅力を再認識してもらい、継続的な消費に繋げる。
-------	-----------------------	---

事業の内容	・そばスタンプラリーの開催。 ・JA大北の協力による学校給食での地元農産物の利用促進。 ・立川市にある大町市アンテナショップやイベントにおける季節の食材の販売。
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	1,795,200	1,560,420	1,777,200	216,780	13.9%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	1,795,200	1,560,420	1,777,200	216,780	13.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,878,000	0	0	0	1,878,000	1,777,200	0
不用額	特定 財源	細節名				
100,800	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○地産地消事業

・ぐるっとそば処スタンプラリー

市内23店参加、10月1日（火）～11月30日（土）

応募者総数453名

・レシピ集の発行

凍りもちをテーマに平成30年度に研究会を開催。その時出展された

11事業者14品をレシピ集に掲載。（印刷部数2,000部）

・アテプロジェクト研究会

2月13日（木）、2月26日（水） 参加 22事業者

○直売所マップ・食材カレンダー増刷 8,200部

○学校給食用農産物集出荷の支援

市内学校への農産物の配達に係る経費の一部を支援し、学校給食での利用の促進を図っている。

○立川市での農産物の販売

・立川緑化まつりにおける物産展

4月21日（日） 季節の野菜・山菜を出品

・みのーれ立川へのとうもろこしの出荷

1,000本×2回 8月23日（金）・30日（金）

◆ 前年からの改善点等

・そばスタンプラリーでは、相乗効果を狙って美麻と八坂のそばまつりも合わせて周知した。

また、市民タイムスへ掲載するなど、メディアを活用して広く周知を図った。

・とうもろこしについては、みのーれ立川と交渉し取引価格を変更した。（90円→100円）

そばスタンプラリー



レシピ集



アテプロジェクト研究会



直売所マップ



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		163			
担 当 課		産業観光 部		農林水産 課		庶務・林業振興 係		款		6		農林水産業費		
事 務 事 業 名		農業マーケティング事業							項		1		農業費	
									目		3		農業振興費	
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							前期計画登載頁		52			
施 策 目 標		地域の特性を生かした農林水産業の振興							前年度評価 方向性		R元 新規事業			
施 策 項 目		生産と販売の推進												
個 別 計 画														

事業の目的	対象	・輸出を志向する農産物及び農産物を主原料にした加工品の生産者	意図	新たな輸出促進のための取り組みを支援し、多様な販売システムを確立するとともに、農産物及び地域のブランド力の向上を図り、当市の経済の活性化を目指す。
-------	----	--------------------------------	----	---

事業の内容	・輸出事業の現状等の理解促進のための研修会の開催 ・輸出事業者と生産者とのマッチング
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	-	-	231,164	231,164	皆増
	財源内訳					
	特定財源	-	-	0	0	-
	一般財源	-	-	231,164	231,164	皆増

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
753,000	0	0	0	753,000	231,164	0
不用額	特定 財源	細節名				
521,836	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 農産物等の輸出セミナーの開催

平成31年4月8日（月）大町商工会議所2階大会議室

- ・講演会の開催（海外で、精米したての日本産米を～コメ屋から地域商社へ～
参加者：23名
- ・輸出事業に取り組みたい事業者との意見交換会
参加者：12名



◆ 事業の成果

○実際に輸出に取り組んでいる事業者の取り組み事例の講演や事業者との意見交換会を通じて輸出事業に対する理解を深めるため、セミナーを開催した。

○セミナー及び意見交換会等を通じて輸出に取り組んだ事業者 1 者

◆ 次年度に向けた改善点等

輸出事業者・生産者・行政がそれぞれの役割を果たして、事業を展開する必要があることから、研修会の開催や、継続的な取引となるよう輸出事業者及び生産者と連携し、海外におけるキャンペーン等を実施する。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	163
担 当 課	産業観光 部	農林水産 課	農業振興 係	款	6	農林水産業費		
事 務 事 業 名	農業経営基盤強化推進事業				項	1	農業費	
					目	3	農業振興費	
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁		53	
施 策 目 標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	農地施策の推進							
個 別 計 画								

事業の目的	対象	認定農業者の運転資金等の借入利子の負担軽減及び農業経営の改善	意図	認定農業者へ農地を集積し、農地流動化を図るとともに、農地の有効利用と担い手農家を育成し効率的・安定的な農業経営を目指していく。
-------	----	--------------------------------	----	---

事業の内容	・農業経営基盤強化資金（スーパーL）と農業近代化資金の融資残高に対し、一定の率を乗じて補助金を交付。 ・新規に農地の利用権設定を受けた認定農業者に、面積に応じた奨励金を交付。（10aあたり6,000円、10aに満たない場合、10aあたり8,000円）					
-------	--	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	2,196,007	1,182,227	1,507,053	324,826	27.5%
	財源内訳	特定財源	161,850	121,840	84,901	-36,939 -30.3%
		一般財源	2,034,157	1,060,387	1,422,152	361,765 34.1%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,748,000				2,748,000	1,507,053	
不用額	特定財源	細節名	農業経営基盤強化促進対策事業補助金			
1,240,947	内訳	金額	84,901			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - スーパーL助成件数 6件 補助金額 164,022円
 - 近代化利子補給件数 4件 補助金額 4,479円
 - 担い手育成奨励金交付件数 17件 補助金額 839,152円

- ◆ 事業の成果

認定農業者等々の経営改善と当該者等への農地集積に寄与している。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	163
担 当 課		産業観光 部		農林水産 課	農業振興 係		款 6	農林水産業費		
事 務 事 業 名		中山間地域等直接支払事業						項 1	農業費	
								目 3	農業振興費	
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		53
施 策 目 標		地域の特性を生かした農林水産業の振興						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		農地施策の推進								
個 別 計 画		大町市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画								

事業の目的	対象	中山間地域における農地保全、水源涵養、良好な景観形成等の多面的機能の確保と増進	意 図	耕作放棄地の解消と発生防止に努め、将来にわたって持続可能な農業生産活動の維持を目指す。
-------	----	---	-----	---

事業の内容	第4期対策期間 急傾斜地 田1/20以上 畑15°以上 10aあたり（田21,000円 畑11,500円） 緩傾斜地 田1/100以上1/20未満 畑8°以上15°未満 10aあたり（田8,000円 畑3,500円）					
-------	--	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	13,324,082	13,281,251	13,090,387	-190,864	-1.4%
	財源内訳					
	特定財源	9,377,485	9,369,485	9,359,485	-10,000	-0.1%
	一般財源	3,946,597	3,911,766	3,730,902	-180,864	-4.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,453,000				13,453,000	13,257,169	
不用額	特定 財源	細節名	中山間地域等農業直 接支払事業補助金	中山間地域等農業直接 支払推進事業補助金		
195,831	内訳	金額	9,302,485	57,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○実施団体数 16集落

大町地区 4集落 418,413㎡ 6,183,477円

八坂地区 8集落 278,154㎡ 5,164,665円

美麻地区 4集落 92,970㎡ 1,742,245円



水路草刈作業



有害獣防護柵修繕作業

◆ 事業の成果

中山間農地の遊休荒廃化を防ぐうえで、重要な役割を担っている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	163
担 当 課		産業観光 部		農林水産 課		農業振興 係		款 6	農林水産業費	
事 務 事 業 名		多面的機能支払事業						項 1	農業費	
								目 3	農業振興費	
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		53
施 策 目 標		地域の特性を生かした農林水産業の振興						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		農地施策の推進								
個 別 計 画		大町市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画								

事業の目的	対象	農業者等が共同で取り組む地域活動や地域資源（農地・水路・農道等）の質的向上に資する活動に対して支援する。	意図	農地の多面的機能の維持増進を図る。
-------	----	--	----	-------------------

事業の内容	基本的単価（配分により満額交付にならない場合があるため、面積に対して交付額が少ない場合あり）				
	農地維持支払	田3,000円	畑2,000円（10aあたり）		
	資源向上支払（共同活動・5年未経過等）	田2,400円	畑1,440円（10aあたり）		
	（共同活動・5年未経過等）	田1,800円	畑1,080円（10aあたり）		
	（長寿命化）	田4,400円	畑2,000円（10aあたり）		

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	123,144,314	116,066,264	120,427,520	4,361,256	3.8%
	財源内訳					
	特定財源	92,377,411	87,221,872	92,026,765	4,804,893	5.5%
	一般財源	30,766,903	28,844,392	28,400,755	-443,637	-1.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
126,931,000	-4,615,000			122,316,000	122,263,374	
不用額	特定財源	細節名	多面的機能支払 事業補助金	多面的機能支払 推進交付金	多面的機能支払 生坂村負担分	
52,626	内訳	金額	90,320,640	1,700,000	6,125	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○実施団体数 33組織

農地維持支払	取組面積	1,529ha	交付額	44,879,800円
資源向上支払（共同）	取組面積	1,341ha	交付額	23,492,180円
資源向上支払（長寿命化）	取組面積	1,334ha	交付額	52,055,540円



共同で取組む地域作業



水路工事箇所草刈作業

◆ 事業の成果

農地の維持管理等に大きく寄与している。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	165
担 当 課		産業観光 部		農林水産 課	農業推進支援 係		款	6	農林水産業費	
事 務 事 業 名		農業推進支援センター事業						項	1	農業費
								目	3	農業振興費
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		52、53
施 策 目 標		地域の特性を生かした農林水産業の振興						前年度評価 方向性		やり方 改善
施 策 項 目		生産と販売の推進								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	地域農業者の農業に関する様々な相談窓口として、大町市21農業推進支援センターの機能の充実を図る。	意図	・大町市地域農業再生協議会の事務局として、水田農業政策の推進を図る。 ・担い手への農地集積、農作業の受委託促進により農地の有効活用と維持保全に努める。
-------	----	--	----	--

事業の内容	米の需給調整の実施を行い、米政策における経営所得安定対策の推進や、地域の特性に応じた水田農業の仕組みづくりに取り組んでいる。				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	29,455,439	27,400,558	25,918,932	-1,481,626	-5.4%	
	財源内訳	特定財源	12,733,824	11,443,679	10,417,000	-1,026,679	-9.0%
		一般財源	16,721,615	15,956,879	15,501,932	-454,947	-2.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
26,994,000	-580,000	0	0	26,414,000	25,918,932	0
不用額	特定 財源	細節名	経営所得安定対策等 推進事業費補助金	機構集積協力金	強い農業・担い手づ くり総合支援補助金	
495,068	内訳	金額	4,986,000	2,514,000	2,917,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 米の生産調整に関すること
農業者や農業者団体が主体となり、最大限の生産目標数量が確保され、当初の目標を達成することができた。
大町市の生産確定数量8,818トン
大町市の基準単収613キロ/10a
- 農地中間管理事業に関すること
農地中間管理機構が農地を借り受け、地域の担い手へ集積・集約化を進めている。
農地の出し手70者 合計約39.6ヘクタールの集積
- 農作業の受委託の促進に関すること
農作業の受委託を促進し、地域の農地の有効活用と維持保全に努めている。
受託者43者 受託面積395.4ヘクタール、防除面積1,604.7ヘクタール

◆ 前年からの改善点等

地域農業者の相談窓口として、センター機能の充実を図るために組織の見直しを行った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	165
担 当 課	産業観光 部	農林水産 課	農業振興 係	款	6	農林水産業費		
事 務 事 業 名	遊休農地荒廃防止事業				項	1	農業費	
					目	3	農業振興費	
ま ち の テ ー マ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁		53	
施 策 目 標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	農地施策の推進							
個 別 計 画								

事業の目的	対象	遊休農地の荒廃地化を防止。	意図	景観形成作物等の作付けにより農地の有効利用転換を図る。
-------	----	---------------	----	-----------------------------

事業の内容	生産団体や農業コミュニティ組織が遊休農地の解消及び維持管理を行うための経費に対して3/4以内（7万円/10aあたり上限）の補助金を交付			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	570,000	516,120	1,180,000	663,880	128.6%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	570,000	516,120	1,180,000	663,880	128.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,230,000				1,230,000	1,180,000	
不用額	特定 財源	細節名				
50,000	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○取組組織等 2組織

- ・塩の道菜の花委員会 補助金額 270,000円
- ・西山農地再生会 補助金額 910,000円



塩の道菜の花委員会 ほ場作業中



塩の道菜の花委員会 菜の花開花状況

◆ 事業の成果

農地の遊休荒廃化対策として、一定の成果が上がっている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		165	
担 当 課		産業観光 部		農林水産 課		農業推進支援 係		款 6		農林水産業費		
事 務 事 業 名		園芸振興事業							項 1		農業費	
									目 3		農業振興費	
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							前期計画登載頁		52	
施 策 目 標		地域の特性を生かした農林水産業の振興							前年度評価 方向性		やり方 改善	
施 策 項 目		生産と販売の推進										
個 別 計 画												

事業の目的	対象	販売目的で園芸作物の生産拡大に取り組む農業者や団体に対して支援を図る。	意 図	園芸作物の生産振興と、生産拡大を図る。
-------	----	-------------------------------------	-----	---------------------

事業の内容	・果樹改新植事業 ・園芸生産機械整備事業 ・地域特産加工事業				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	3,829,363	4,385,808	8,106,665	3,720,857	84.8%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	3,829,363	4,385,808	8,106,665	3,720,857 84.8%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
11,131,000	-2,431,000	0	0	8,700,000	8,106,665	0
不用額	特定 財源	細節名				
593,335	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動		苗木・トレリス（リンゴ）	苗木（栗）	苗木（ブドウ）
○果樹改新植事業				
・りんご苗木	3者	854本		
・栗苗木	1者	4本		
・ワイン用ぶどう苗木	1者	315本		
・トレリス	3者	約58.32 a		
○園芸生産機械整備事業		播種機	耕起用	乗用草刈機
・播種機、耕起用アタッチメント	1者			
・乗用草刈機	1者			
○地域特産加工事業				
・ワイン醸造施設	1者（施設改修）			
・シードル醸造施設、機器	1者（冷蔵庫、大型作業台）			
冷蔵庫	小型フォークリフト	作業台	ワイナリー	冷蔵庫
				

◆ 前年からの改善点等	果樹改新植事業の実効性の確認が課題であったため、圃場や出荷状況等の現況確認を行った。
-------------	--

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		110			
担 当 課		産業観光部		農林水産課		庶務・林業振興係		款		6		農林水産業費		
事 務 事 業 名		有害鳥獣対策事業							項		1		農業費	
									目		3		農業振興費	
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							前期計画登載頁		53			
施 策 目 標		地域の特性を生かした農林水産業の振興							前年度評価 方向性		継続			
施 策 項 目		生産と販売の推進												
個 別 計 画		大田市鳥獣被害防止計画												

事業の目的	対象	農業者等	意図	サル、シカ、イノシシ、クマ、カラス等の野生鳥獣による農作物被害の防止対策を実施し、農業生産の安定化と遊休荒廃農地の防止を図る。
-------	----	------	----	---

事業の内容	○野生鳥獣の追い払い、侵入防止柵設置、緩衝帯の整備等による対策強化 ○県特定鳥獣保護管理計画等に基づく個体数調整 ○モンキードッグの育成 ○猟友会員など鳥獣被害対策者の育成
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	14,086,662	19,330,848	19,543,329	212,481	1.1%
	財源内訳					
	特定財源	968,544	518,344	929,274	410,930	79.3%
	一般財源	13,118,118	18,812,504	18,614,055	-198,449	-1.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,346,000	1,000,000	0	485,181	21,831,181	19,543,329	0
不用額	特定財源	細節名	野生鳥獣総合管理対 策事業補助金	貸地料		
2,287,852	内訳	金額	876,930	52,344		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 有害鳥獣駆除

ニホンザル：106頭
 ニホンシカ：32頭
 イノシシ：31頭
 アナグマ・ハクビシン・タヌキ・キツネ：30頭
 カラス・ハト類・スズメ・カモ類・サギ類：223羽
 合計：422

○ 侵入防止柵設置補助（市単独事業）

設置数：55件
 設置距離：10,492m



◆ 事業の成果

国庫補助を活用した柵の設置や追い払い、駆除等の総合防除とともに、市単独の侵入防止柵の設置補助により個々のほ場を囲っており、農業被害額は減少傾向にあるが、サルによる宅地への侵入やふん害なども報告されているとともに、電気柵等の対策が十分でない地域においては依然として被害がある。



◆ 前年からの改善点等

サルにおいては、猟友会との連携を図り駆除に力を入れているとともに、令和2年度においては、会計年度任用職員を増員し猟友会との連携をさらに強化し駆除を実施するとともに、追い払いや駆除をより効果的に実施するため、GPSや大型捕獲檻の導入を予定している。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	169
担 当 課	産業観光 部	農林水産 課	農業振興 係	款	6	農林水産業費			
事 務 事 業 名	たかね市民農園管理費					項	1	農業費	
						目	5	市民農園費	
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		53	
施 策 目 標	地域の特性を生かした農林水産業の振興					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	農地施策の推進								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	- 農地を希望者に貸付 - 農業未経験者等に対し、野菜づくり教室を開催	意図	- 潤いのある農園づくりを目指す。 - 野菜づくりにより、農業を楽しんでもらい、就農へのきっかけづくり、生きがいつくりにつなげていく。
-------	----	--	----	--

事業の内容	- 借り受けた農地を希望者に貸し付け（81区画3,869㎡） - 教育ファーム事業農地を活用した「たのしい野菜づくり教室」を開催（14回）
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	402,321	399,691	422,756	23,065	5.8%
	財源内訳					
	特定財源	224,211	229,520	229,120	-400	-0.2%
	一般財源	178,110	170,171	193,636	23,465	13.8%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
444,000				444,000	422,756	
不用額	特定 財源	細節名	たかね市民農園 使用料			
21,244	内訳	金額	229,120			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 野菜づくり教室開催 14回
 - 野菜づくり教室参加者 32世帯



第1回教室（4月13日）



第11回教室（9月7日）

- ◆ 事業の成果

野菜づくりにより、就農へのきっかけづくり、生きがいつくりへとつながっている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	169
担 当 課	総務 部	美麻支所	課	産業建設 係	款	6	農林水産業費			
事 務 事 業 名	ふたえ市民農園管理費					項	1	農業費		
						目	5	市民農園費		
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		60		
施 策 目 標	移住・定住促進策等の充実強化					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	都市との交流の促進									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	地域資源（遊休荒廃農地）を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。 市外在住者対象	意図	都市住民との交流事業に加え、体験用施設を活用して新規利用者を獲得し、利用を通じて移住・定住促進に繋がるよう施設を管理運営していく。
-------	----	--	----	---

事業の内容	○交流促進センター及び休憩施設付農園49区画の管理 ・センター・休憩施設の管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む） ・市民農園内（農地を除く）の草刈り・除雪業務委託 ・休憩施設屋根塗装修繕 4棟					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	20,468,209	22,461,367	22,391,542	-69,825	-0.3%
	財源内訳					
	特定財源	18,560,460	17,635,944	17,703,765	67,821	0.4%
	一般財源	1,907,749	4,825,423	4,687,777	-137,646	-2.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
24,324,000	-500,000		-21,259	23,802,741	22,391,542	
不用額	特定 財源	細節名	交流促進センター 使用料	ふたえ市民農園使用 料		
1,411,199	内訳	金額	2,171,400	15,532,365		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

ふたえ市民農園休憩施設 49棟
 内、お試し暮らし体験用 5棟
 （大町市への移住を考えている方及び市民農園
 利用希望者のお試し体験用）

主な維持管理費

ラウベ屋根塗装ほか修繕（5,366千円）
 ふたえ市民農園運営業務ほか委託料（6,349千円）
 寝具等使用料及び土地賃借料（2,928千円）



◆ 事業の成果

平成31年4月1日現在契約状況
 休憩施設契約数 33棟
 空き区画 11棟

◆ 前年からの改善点等

ふたえ市民農園運営業務と農園管理業務（草刈り作業等）を同一業者に委託することにより、
 作業が効率的に行われるようになった。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	169	
担 当 課		総務 部		美麻支所 課		産業建設 係		款 6		農林水産業費	
事 務 事 業 名		おおしお市民農園管理費						項 1		農業費	
								目 5		市民農園費	
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		60	
施 策 目 標		移住・定住促進策等の充実強化						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		都市との交流の促進									
個 別 計 画											

事業の目的	対象	地域資源（遊休荒廃農地）を活用し、都市住民との交流と共生を図るとともに、地域の振興と活性化に寄与する。 市外在住者対象	意図	都市住民との交流事業に加え、体験用施設を活用して新規利用者を獲得し、利用を通じて移住・定住促進に繋がるよう施設を管理運営していく。
-------	----	--	----	---

事業の内容	○管理棟及び休憩施設付農園36区画の管理 ・管理棟・休憩施設の管理業務委託（利用者の受付・日常清掃・農作業技術指導等を含む） ・市民農園内（農地を除く）の草刈り・除雪業務委託 ・農園駐車場の舗装修繕 7区画					
-------	--	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	6,227,202	6,077,869	6,633,663	555,794	9.1%
	財源内訳	特定財源	12,342,895	12,212,423	10,505,792	-1,706,631 -14.0%
		一般財源	-6,115,693	-6,134,554	-3,872,129	2,262,425 -36.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,158,000	-470,000			7,688,000	6,633,663	
不用額	特定財源	細節名	おおしお市民農園使用料			
1,054,337	内訳	金額	10,505,792			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

おおしお市民農園休憩施設 36棟
 内、お試し体験用 1棟
 （市民農園利用希望者のお試し体験用）

主な維持管理費

ラウベ駐車場舗装ほか修繕（953千円）
 おおしお市民農園管理業務ほか委託料（2,912千円）
 寝具等使用料及び土地賃借料（1,457千円）



◆ 事業の成果

平成31年4月1日現在契約状況
 休憩施設契約数 25棟
 空き区画 10棟

◆ 前年からの改善点等

7棟のラウベ駐車場のアスファルト舗装を実施し、利便性を向上した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	171
担 当 課	建設水道 部	建設 課	農地整備 係	款	6	農林水産業費			
事 務 事 業 名	農業用施設管理事業					項	2	耕地整備事業費	
						目	1	農地費	
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		79	
施 策 目 標	自然と共生した環境の創造					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	自然環境の保全と共生								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	・市内に整備された農地においては、ほ場整備以降30年以上が経過しており、農業施設、用排水路施設や暗渠排水機能など老朽化が進み、維持管理に苦慮している。水路やほ場などの改修、整備を行い、農業の再編を図る。	意 図	・経年劣化等により老朽化する農業用施設等を、県営事業や交付金事業等を活用し水路等の改修や再ほ場整備を行い、安定した農業経営の実現と防災面での強化を図る。
-------	----	---	-----	--

事業の内容	・農業用施設修繕工事 7箇所 ・緊急修繕工事 23箇所 ・県営ため池耐震化事業（居谷里1号・2号ため池） 負担金事業（全体事業費2億円 負担割合国55%、県34%、市11%） ・県営二重地区ほ場整備事業・・・負担金事業（全体事業費4億円 負担割合：国55%、県27.5%、市10%、地元7.5%）
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	15,019,120	56,274,141	49,559,399	-6,714,742	-11.9%
	財源内訳					
	特定財源		22,500,000	22,250,000	-250,000	-1.1%
	一般財源	15,019,120	33,774,141	27,309,399	-6,464,742	-19.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
51,490,000				51,490,000	49,559,399	
不用額	特定財源	細節名	土地改良事業負担金	農業水路等長寿命化・ 防災減災事業補助金	水路使用料	北アルプス山麓仁科 の里整備基金繰入金
1,930,601	内訳	金額	9,550,000	3,200,000	1,000,000	8,500,000

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○農業用施設修繕工事

自治会、農家組合、土地改良区などの要望及び降雨等の自然災害の影響により被害を受けた農業施設で、中綱北村堰他6箇所の改修工事を実施。

中綱北村堰（農業用給排水路の末流市道横断面における、閉塞解消のための水路改修）

<着工前>



<しゅん工>



◆ 事業の成果

- 県営事業により、居谷里1号・2号ため池の耐震対策工事や美麻地区でのほ場田再編事業に取り組み、美麻ほ場に関しては、一部耕作も始っており、掛け口に自動給水栓が設置され、運用が始まっている。
- 緊急修繕工事、農業用施設改修工事に関しては、老朽化水路の改修要望など、自然災害に伴う緊急対応など30箇所実施した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	173
担 当 課	産業観光	部	農林水産	課	庶務・林業振興	係	款	6	農林水産業費	
事 務 事 業 名	林業振興一般経費							項	3	林業費
								目	1	林業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							前期計画登載頁		54
施 策 目 標	地域の特性を生かした農林水産業の振興							前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	市内の森林 市民	意図	みどりのふれあい促進、みどり教育の推進、薪ストーブ等に対する助成による木質バイオマスエネルギー推進と間伐の促進による健全な森林を育成する。
-------	----	-------------	----	---

事業の内容	○みどりの少年団活動など森林体験事業（植樹祭、育樹祭等）を通じた森林や緑とのふれあい促進支援 ○「木のぬくもりプレゼント」として県産材積み木を幼児に贈り木育を推進 ○木育の推進のためイベント等における積み木の貸し出し ○薪ストーブ等の導入補助（1台10万円を限度） ○森林所有者等が行う間伐等に要する経費の負担軽減を図るため補助金の嵩上補助（査定事業費等の5%以内）			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	5,521,603	3,956,425	2,540,408	-1,416,017	-35.8%
	財源内訳	特定財源	1,660,000	1,276,500	-1,276,500	皆減
		一般財源	3,861,603	2,679,925	-139,517	-5.2%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,558,000	-5,721,000		93,224	2,930,224	2,540,408	0
不用額	特定財源	細節名				
389,816	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 薪ストーブ等への補助金交付
木質バイオマスエネルギー推進のため、薪ストーブの購入に対し補助金を交付している。
薪ストーブ：3台

- 木のぬくもりプレゼント
木育を推進するため県産材の積み木を製作し、1歳6か月検診時の幼児に積み木を配布している。
配布人数：128人

- 間伐の実施に対し5%の嵩上げ補助を行い健全な森林を育成する。
間伐実施面積：29.22ha



◆ 事業の成果

1歳6か月検診時の幼児への県産材を使用した積み木を配布することにより、木に触れていただく機会を増やすことができた。また、薪ストーブの導入補助により木質バイオマスの促進されるとともに、間伐の嵩上げ補助により、林業事業体等による森林整備が促進されている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	175
担 当 課	産業観光 部	農林水産 課	庶務・林業振興 係	款	6	農林水産業費			
事 務 事 業 名	松林健全化推進事業				項	3	林業費		
					目	1	林業振興費		
ま ち の テ ー マ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁		54		
施 策 目 標	地域の特性を生かした農林水産業の振興				前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	松枯れの被害木について、被害拡大を防ぐための伐倒くん蒸処理等を行う。	意 図	健全な森林の維持と多面的・公益的な機能の保持のため、森林における松くい虫による被害拡大を防ぎ、地域の財産である森林資源を保全する。
-------	----	------------------------------------	-----	---

事業の内容	被害木を早期発見し、伐倒くん蒸処理等により適正処理を行い被害拡大を防ぐ。				
-------	--------------------------------------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	13,492,124	23,434,196	20,793,956	-2,640,240	-11.3%
	財源内訳					
	特定財源	11,529,000	19,257,300	16,760,600	-2,496,700	-13.0%
	一般財源	1,963,124	4,176,896	4,033,356	-143,540	-3.4%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
18,656,000	2,173,000	0	0	20,829,000	20,793,956	
不用額	特定 財源	細節名	松林健全化推進事業 補助金	森林づくり推進 支援交付金	ふるさと応援基金 繰入金	
35,044	内訳	金額	12,172,600	1,588,000	3,000,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 松くい虫伐倒くん蒸処理等
伐倒くん蒸等処理量：689㎡

- 特別防除
空中散布（八坂上箒）：3ha



◆ 事業の成果

枯死した松の樹体にいるカミキリムシを伐倒くん蒸により駆除し、被害の拡大を防いでいる。駆除を実施しているが被害木は毎年発生している状況にある。
多くの森林を有する当市において、松くい虫被害の対策を実施することは、森林自体の保護のほか当地域の財産である北アルプスと緑の森林の景観を守ることにもつながっている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		175	
担 当 課		産業観光 部		農林水産 課		庶務・林業振興 係		款	6	農林水産業費		
事 務 事 業 名		森林環境譲与税事業							項	3	林業費	
									目	1	林業振興費	
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							前期計画登載頁		54	
施 策 目 標		地域の特性を生かした農林水産業の振興							前年度評価 方向性		R元 新規事業	
施 策 項 目		豊かで多様な森林の育成と地域林業の活性化										
個 別 計 画												

事業の目的	対象	地域の森林等	意図	森林の整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材利用の促進その他森林の整備の促進に関する施策に活用し、森林整備を進める。
-------	----	--------	----	--

事業の内容	森林環境譲与税基金への積み立て				
-------	-----------------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	-	-	11,926,000	11,926,000	皆増	
	財源内訳	特定財源	-	-	11,926,000	11,926,000	皆増
		一般財源	-	-	0	0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
0	11,926,000	0	0	11,926,000	11,926,000	0
不用額	特定財源	細節名	森林環境譲与税			
0	内訳	金額	11,926,000			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- 今後、森林の整備に関する施策、森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材利用の促進その他森林の整備の促進に関する施策に活用するため、令和元年度の森林環境譲与税は基金に積み立てた。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	177
担 当 課	産業観光	部	商工労政	課	商業労政	係	款	7	商工費	
事 務 事 業 名	中小企業支援事業						項	1	商工費	
							目	1	商業振興費	
ま ち の テ ー マ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		49	
施 策 目 標	商工業の振興による地域経済の活性化						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	中小企業の支援と創業支援による地域経済の活性化									
個 別 計 画										

事業の目的	・商工会議所において市内事業者への経営指導 ・市内金融機関に対して制度融資資金貸付金の預託 ・条例に基づく審議会の開催	・健全な経済環境整備を目指す ・市内事業者の経営資金等の円滑化、低利な制度融資資金の運用による支援 ・高度化、共同化等近代事業の促進、必要な助成措置による中小企業の振興
事業の内容	・県・市制度資金融資の斡旋及び融資相談等 ・商工会議所による中小企業の事業活動の相談業務等への支援 ・地域経済の活性化、子育て支援や定住促進に向けた地域商品券発行事業への支援 ・中小企業振興条例に基づく審議会の開催	

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	423,917,309	422,813,026	423,302,535	489,509	0.1%
	財源内訳					
	特定財源	401,576,791	401,704,790	401,214,784	-490,006	-0.1%
	一般財源	22,340,518	21,108,236	22,087,751	979,515	4.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
435,175,000				435,175,000	423,302,535	
不用額	特定 財源	細節名	市制度資金融資 預託金元金	制度資金保証料 補給金返還金	市制度資金融資 預託金利子	
11,872,465	内訳	金額	400,000,000	1,214,719	65	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 県・市制度資金融資の斡旋及び融資等の相談
- 商工会議所による中小企業の事業活動の相談業務等への支援
 - ・小規模事業者への経営改善普及事業
 - 経営支援員による巡回指導、窓口相談、講習会等の開催
- 地域経済の活性化や定住促進等に向けた地域商品券発行事業への支援
 - ・信濃大町キラリ商品券の発行
- 中小企業振興審議会の開催

◆ 事業の成果

- 県・市制度資金融資の拡充
 - ・暖冬による雪不足や新型コロナウイルス感染症の影響による中小企業者の資金繰りを支援するため、緊急経済対策として制度融資資金を拡充（不況対策資金：緊急経済対策枠）
 - 暖冬時：6件、34,000千円、コロナウイルス：6件、30,500千円
 - ・制度融資資金への利子補給
- 信濃大町キラリ商品券発行実績
 - ・育児家庭応援事業（3歳児） 4,590千円
 - ・入学祝い事業 4,860千円
 - ・IUターン、新婚生活応援事業 3,300千円
 - ・消防団入団促進褒賞 30千円

◆ 前年からの改善点等

- ・制度融資資金の拡充（緊急経済対策として不況対策資金の臨時的運用）
- ・制度融資資金への利子補給（緊急経済対策）



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計			決算書頁		177	
担 当 課		産業観光 部		商工労政 課		ブランド振興担当 係		款	7	商工費			
事 務 事 業 名		ブランド振興事業						項	1	商工費			
								目	1	商業振興費			
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		59～62			
施 策 目 標		移住・定住促進策等の充実強化						前年度評価 方向性		継続			
施 策 項 目		信濃大町ブランドの戦略的展開											
個 別 計 画		信濃大町ブランド戦略											

事業の目的	◎信濃大町ブランド戦略に基づくブランド力の向上 ◎信濃大町水ブランド戦略の推進 ◎地域資源、特産品のブランド化 市内・国内・国外問わず全ての人が対象	意 図 地域資源の付加価値を高め、他の地域と差別化を図ることにより、市場において情報発信力や競争力の面で比較優位性を持ち、地域住民に自信と誇りを持たせるだけでなく、観光客や消費者等に共感・愛着・満足度をもたらし、「訪れたい」「住みたい」などの具体的な行動を起こす気持ちを誘引する。
-------	---	---

事業の内容	(1) 信濃大町ブランド戦略の推進 ①信濃大町ブランド戦略委員会・研究会の開催 ②信濃大町ブランド啓発宣伝事業 ③信濃大町サポーター事業 (2) アンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」の運営 信濃大町の食を通じた魅力発信	(3) 特産品販路拡大事業 積極的な物産展への参加、えんボーターの派遣 (4) おおまびよんの活用 (5) 黒部ダムカレーの推進 (6) 農産物販路開拓支援 農林水産課と連携した海外販路開拓支援
-------	---	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	総事業費（決算額）	13,204,599	16,189,272	17,685,388	1,496,116	9.2%
	財源内訳					
	特定財源	695,024	477,074	2,774,162	2,297,088	481.5%
	一般財源	12,509,575	15,712,198	14,911,226	-800,972	-5.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
26,136,000	-3,520,000			22,616,000	17,685,388	
不用額	特定財源	細節名	キャラクター商品販売金	ふるさと応援基金 繰入金		
4,930,612	内訳	金額	523,162	2,251,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

(1) 信濃大町ブランド戦略の推進

◎信濃大町サポーター事業

首都圏在住市出身者などが、現地開催のイベントや物産展で、物販や観光PR をアシスト。

登録者数 33名、参加イベント12事業、延べ20名参加

◎水の名所巡りモニターツアー開催 25名参加

◎信濃大町ブランド啓発宣伝事業

<製造品>



<男清水女清水ペットボトル>



<啓発用コスター①>



<啓発用コスター②>



<水の名所巡りモニターツアー>

(2) アンテナショップ「信濃大町アルプスプラザ」の運営

信濃大町の食を通じた魅力発信 売上総額12,252千円 前年比11%up

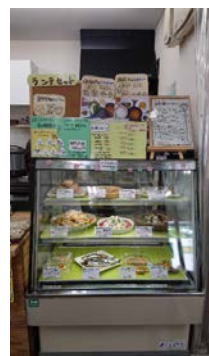
イベント出展委託事業 17件、店頭イベント 27件



<店内①>



<店内②>



<大町の食材を使った惣菜コーナー>

アンテナショップ売上げ推移

(単位：千円)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
全体	5,202	7,690	9,720	7,445	7,928	8,653	7,027	9,029	10,997	12,252
大町市分	5,202	7,690	9,546	7,160	7,620	8,148	6,632	5,936	6,450	7,206
立川市分	0	0	174	285	308	505	395	407	418	396
店内製造品	0	0	0	0	0	0	0	2,686	4,129	4,650
委託料	5,160	8,084	5,280	5,280	6,500	6,750	6,000	4,320	5,568	5,731

(3) 特産品販路拡大事業

○積極的な物産展等への参加

いーずら大町特産館物産展委託事業 19件、えんポーター 9件、その他23件



<グランデュオ立川>



<えんポーター そば祭り>



(4) おおまびょん活用事業

出動回数 126回



<花フェスクロージングイベント>



<きゃわふえす>

(5) 黒部ダムカレーの推進



<黒部ダムカレーバイキング>



<黒部ダムカレーバイキング>



◆ 前年からの改善点等

(1) 信濃大町ブランド戦略の推進

水に対するシビックプライドの醸成を目的とした「信濃大町水の恵みに感謝を！！プロジェクト」実施。

特産品販路拡大事業

市の特産品の販路拡大と信濃大町ブランドの認知度向上、意欲ある生産者や製造業者等への市場調査や販路拡大の場の提供を目的として「えんポーター」制度を創設した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	179
担 当 課	産業観光 部	商工労政 課	商業労政 係	款	7	商工費			
事 務 事 業 名	中心市街地多目的ホール管理事業					項	1	商工費	
						目	1	商業振興費	
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		49・50	
施 策 目 標	商工業の振興による地域経済の活性化					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	中心市街地の活性化								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	・ 中心市街地多目的ホールの管理業務を大町商工会議所へ委託	意 図	・ 利用しやすく効率的な施設運営を行い、市民の福祉向上と中心市街地の振興を図る。
-------	----	-------------------------------	-----	--

事業の内容	・ 施設の利用受付許可事務 ・ 利用料の收受 ・ 事務及び施設、設備等の維持管理
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	2,936,900	2,777,600	2,756,000	-21,600	-0.8%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	2,936,900	2,777,600	2,756,000	-21,600	-0.8%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,866,000				2,866,000	2,756,000	
不用額	特定 財源	細節名				
110,000	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 中心市街地多目的ホール指定管理委託
 - ・ ホール利用受付許可
 - ・ 使用料の收受、
 - ・ ホール、公衆トイレの維持管理



- ◆ 事業の成果
 - ・ ホール利用状況等
利用件数199回、利用時間587.0H、利用人数2,923名、利用料103,900円（年）
 - ・ 公衆トイレ管理状況等
多目的トイレ内の汚損や盗難（消耗品類）あり。

- ◆ 前年からの改善点等
 - ・ 夜間等の多目的トイレ内汚損や盗難を防止するため、入口付近への感知式カメラ設置
 - ・ 利用者増を図るため、商店街イベント等での周知啓発

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	179	
担 当 課		産業観光 部		商工労政 課		商業労政 係		款	7	商工費	
事 務 事 業 名		中心市街地活性化事業						項	1	商工費	
								目	1	商業振興費	
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		50	
施 策 目 標		商工業の振興による地域経済の活性化						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		中心市街地の活性化									
個 別 計 画		中心市街地活性化基本計画（第4次）									

事業の目的	- 中心市街地活性化基本計画に位置付けられた施策事業の推進 - 中心市街地振興条例に基づく集客施設への助成	意 図	- 大町まちづくり協議会、商店街連合会等関係団体との連携により、中心市街地の活性化を図る。 - 民間の投資意欲を促し、集客施設等を集約、都市機能の充実による誘客促進、賑わいの創出を図る。
-------	--	-----	--

事業の内容	- 中心市街地活性化基本計画の策定（第4次） - 関係団体との連携による施策・事業の実施（やまびこまつり、ゆかたまつり、駅前拠点施設運営、荷ぐるま市等） - 中小企業振興条例に基づく事業者支援（空き店舗活用事業、商店街消費者交流事業等） - 中心市街地振興条例に基づく事業者支援（建築費等助成）
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	14,004,896	15,798,665	19,089,258	3,290,593	20.8%
	財源内訳					
	特定財源	321,000	10,324,048	5,285,600	-5,038,448	-48.8%
	一般財源	13,683,896	5,474,617	13,803,658	8,329,041	152.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
14,216,000	76,714,000			90,930,000	19,089,258	70,000,000
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金 繰入金	臨時職員賃金繰入金		
1,840,742	内訳	金額	5,000,000	285,600		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 中心市街地活性化基本計画（第4次）の策定
 - 中心市街地活性化基本計画策定委員会による計画概要の検討、素案作成
- 中心市街地活性化基本計画（第3次）に基づく関係団体との連携による施策・事業の実施
 - 駅前拠点施設運営、荷ぐるま市、まち歩きイベント（まちづくり協議会）
 - ゆかたまつり、あめ市、花フェス関連イベント（商店街連合会）
 - やまびこまつり（実行委員会）
- 空き店舗活用・店舗改修事業
 - 中心市街地内の空き店舗等の活用を促進し、商店街の活性化を図る。
- 商店街が独自に取り組む消費者交流事業等への支援
 - 商店街等が実施する独自な事業を通じ、消費者との交流を促し中心市街地の活性化を図る。
- 中心市街地振興条例に基づく助成事業
 - 建築費等助成金の交付（北アルプスブルワリー、㈱表屋）

◆ 事業の成果

- 中心市街地活性化基本計画（第4次）の策定
 - 策定委員会（4回）、関係団体説明会（商店街連合会、まちづくり協議会）、パブリックコメント実施
- 中心市街地活性化基本計画（第3次）に基づく施策・事業の実施
 - 大町まちづくり協議会 荷ぐるま市：約2,000人、まち歩きイベント：約1,000人
 - ゆかたまつり・やまびこまつり：約10,000人
- 空き店舗活用事業、店舗改修事業
 - 空き店舗改修・家賃補助 5件：2,314千円
 - 店舗改修補助 3件：1,248千円
- 商店街活性化消費者交流事業等
 - 商店街独自イベント補助 11件：390千円
 - 商店街連合会イベント補助 ゆかたまつり：700千円、あめ市：500千円



◆ 前年からの改善点等

- 中心市街地振興条例に基づく建築費等助成金の交付
 - 交付件数2件：9,812千円（北アルプスブルワリー：4,338千円、㈱表屋：5,474千円）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	181
担 当 課	産業観光	部	商工労政	課	商業労政	係	款	7	商工費	
事 務 事 業 名	プレミアム付商品券事業						項	1	商工費	
							目	1	商工振興費	
ま ち の テ ー マ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁			
施 策 目 標	商工業の振興による地域経済の活性化						前年度評価 方向性		R元 新規事業	
施 策 項 目	中小企業の支援と創業支援による地域経済の活性化									
個 別 計 画										

事業の 目的	対象	消費税・地方消費税の改定(10%)に伴う低所得者・子育て世帯(0~2歳児)の消費に与える影響を緩和する。	意 図	プレミアム付商品券を発行し、消費に与える影響の緩和、地域における消費喚起・下支えする。	
-----------	----	--	-----	---	--

事業の 内容	プレミアム付商品券発行事業委託(大町商工会議所) ・商品券作成(発行) ・広告宣伝(取扱店募集、ポスター、報道機関への広告掲載) ・換金業務				
-----------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		-	-	14,580,830	14,580,830	皆増
	財源内訳	特定財源	-	-	14,580,830	14,580,830	皆増
		一般財源	-	-	0	0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額		繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
	15,581,000				15,581,000	14,580,830	
不用額	特定 財源	細 節 名	プレミアム付商品券 事業費助成金	プレミアム付商品券 事務費助成金			
1,000,170	内訳	金 額	10,759,100	3,821,730			

事業の実績・成果

◆ 事業の成果

- ・申請者数 3,259人/6,372人(51.14%)
- ・販売者数 2,456人/3,259人(75.36%)
- ・販売期間 10月1日~2月28日
- ・使用期間 10月1日~3月31日

※対象者(低所得者・子育て世帯)を限定した発行であったため、購入者が対象者の半数程度となる等、今回の商品券購入需要は低かった。対象者を限定せず、必要とする者への発行とする等、多くの者への発行により、消費拡大につなげていく取り組みが必要である。

◆ 前年からの改善点等

国の施策による実施のため、令和元年度のみ。



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	181
担 当 課	産業観光	部	産業立地戦略室	課	係 款		7	商工費	
事 務 事 業 名	工業振興・企業誘致事業						項	1	商工費
							目	2	工業振興費
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		50
施 策 目 標	商工業の振興による地域経済の活性化						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	企業誘致の推進								
個 別 計 画	大町市企業誘致戦略								

事業の目的	対象	市民や移住希望者に「安定した働く場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。	意 図	働く場を確保し、市民及びUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。
-------	----	---	-----	---

事業の内容	・既存企業の育成、支援 市内製造業景況調査などの実施。情報をもとに各種支援策につなげる。 ・企業誘致の推進 拠点整備に関する企業情報を収集し、地域特性を活かした戦略的な企業誘致の展開。また、その情報に基づくトップセールスの実施。
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	4,728,565	2,765,343	489,531	-2,275,812	-82.3%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	4,728,565	2,765,343	489,531	-2,275,812	-82.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,348,000	0	0	0	2,348,000	489,531	0
不用額	特定 財源	細節名				
1,858,469	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 企業相談業務 26件／年（事業候補地選定のための問い合わせは複数あり。）
- 市内製造業等景況調査 2回／年

◆ 事業の成果

平成30年に当市への進出を発表した(株)みすずコーポレーション及びサントリーブロダクツ(株)については、進出計画に伴い継続的な支援を実施。

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	181
担 当 課		産業観光 部		産業立地戦略室 課		係 款		7	商工費
事 務 事 業 名		工場等誘致振興助成事業					項	1	商工費
							目	2	工業振興費
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		50
施 策 目 標		商工業の振興による地域経済の活性化					前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		企業誘致の推進							
個 別 計 画		大町市企業誘致戦略							
事業の目的	対象	市民や移住希望者に「安定した働く場の確保」を実現するため、企業情報を収集し、既存企業の育成支援や市民が働きたいと思う企業の企業誘致活動を実施する。			意図	働く場を確保し、市民及びUターンや移住希望者が安心して住めるまちにし人口の社会減を縮小するとともに、既存企業の発展、新たな企業の立地による経済的波及効果により、地域産業経済の活性化を目指す。			
	事業の内容	・大町市工場等誘致振興条例に基づく助成雇用を伴う設備投資（新設・移設・増設）に対して助成金を支給。							
決算数値（単位：円）									
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率		
	総事業費（決算額）		59,982,900	2,981,400	8,364,000	5,382,600	180.5%		
	財源内訳	特定財源				0	-		
		一般財源	59,982,900	2,981,400	8,364,000	5,382,600	180.5%		
令和元年度当初予算額		補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額		
108,505,000		-20,000,000	0	0	88,505,000	8,364,000	72,628,000		
不用額		特定財源	細節名						
7,513,000		内訳	金額						

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- 大町市工場等誘致振興審議会開催 3回／年
審議案件：助成事業の指定に関する事項4件（新設2件、増設2件）
- 大町市工場等誘致振興条例に基づく助成金
固定資産税相当額の助成 2社

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	181
担 当 課	産業観光 部		観光 課	観光振興担当	係	款	7	商工費	
事務事業名	観光誘客宣伝事業					項	1	商工費	
						目	3	観光振興費	
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		56～58	
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					前年度評価 方向性		R元 新規事業	
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進								
個別計画	大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画								
事業の目的	対象	国内外の誘客キャンペーンやホームページ等からの情報発信を通じて観光誘客の促進を行うとともに、イベント開催支援によって魅力ある観光地づくりを進め、当市の主要産業の一つである観光振興を図る。			意図	魅力ある観光地づくりを進め、リピーターの獲得などによる国内外からの外貨の獲得、おもてなしの心で観光客を迎える魅力ある観光地づくり			
事業の内容	他団体など官・民が連携した誘客キャンペーンや商談会等への参加や、アルペンルート佐々成政武者行列及び夜の黒部ダムと星空観賞会並びに霊松寺のライトアップ事業等のイベント開催支援								
決算数値（単位：円）									
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率		
	総事業費（決算額）		-	-	38,673,832	38,673,832	皆増		
	財源内訳	特定財源	-	-	4,863,900	4,863,900	皆増		
		一般財源	-	-	33,809,932	33,809,932	皆増		
令和元年度当初予算額	補正予算額		繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額		
45,304,000	1,350,000			-12,200	46,641,800	38,673,832	7,150,000		
不用額	特定財源	細節名	臨時職員賃金繰入金	宣伝用カラー名刺台紙販売	観光ポスター販売金				
817,968	内訳	金額	4,828,000	17,700	18,200				
事業の実績・成果									
◆ 施策目標に資する活動 ○ 観光誘客キャンペーン（旅費） 立山黒部アルペンルート全線開通大宮観光キャンペーン（4月1日・2日） モンベルクラブフレンドフェア大阪出展（4月6日・7日、11月2日・3日） モンベルクラブフレンドフェア横浜出展（4月28日・29日、9月14日・15日） モンベルクラブフレンドフェア名古屋出展（5月18日・19日） レイニーヤンFan Meeting in 東京への出展（4月20日（土）品川インターシティホール） 黒部ダム・信濃大町 夏の観光キャンペーン（JR横浜駅 6月26日） 紅葉の立山黒部アルペンルート 信濃大町・黒部ダム立川駅キャンペーン（9月1日・2日） その他各団体出展のキャンペーンへの参加 ○ 仁科神明宮御遷宮祭にかかる観光誘客テレビ番組制作・放送等業務（委託業務） （テレビ番組の制作及び放送・動画の編集（各種キャンペーンでの動画再生・インターネット上での動画配信用） ○ 大町市プロモーション委員会（負担金） 黒部ダムフリーイベント（佐々成政おもてなし武将隊ほか） セレモニー事業（黒部ダム30万人イベント、電気バス愛称発表会ほか） 黒部ダム公募イベント（破碎帯見学ツアー、夜の黒部ダム星空観賞会など） 共催事業（黒部ダム周辺トレッキング、FM長野企画など） 発信・宣伝事業 （SNS情報発信キャンペーン、信濃大町情報ステーション情報発信運営事業、観光スポット連携事業ほか） 信濃大町まちなか歩き促進事業 立山黒部アルペンルート・イベント（佐々成政武者行列ほか）									



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	183
担 当 課	産業観光 部	観光 課	庶務管理 係	款 7	商工費				
事 務 事 業 名	観光資源活用事業				項 1	商工費			
					目 3	観光振興費			
ま ち の テ ー マ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち				前期計画登載頁		56～58		
施 策 目 標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進				前年度評価 方向性		R元 新規事業		
施 策 項 目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進								
個 別 計 画	大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画								

事業の目的	対象	市民や観光客が利用する観光課所管の公共施設の適切な維持管理や恵まれた温泉資源の環境整備などの支援	意 図	観光課所管の公共施設を適切に管理するため、管理業務の委託や清掃業務委託などにより環境美化等に努める。また、各温泉事業を実施する団体への支援を行う。
-------	----	--	-----	---

事業の内容	観光施設の維持管理、修繕等 ○観光課管理の公衆便所の維持管理（光熱水費、修繕、汲取り、清掃業務委託、浄化槽点検業務委託など） ○流錫馬会館管理運営業務委託 来館者数4,028人 温泉事業団体への活動支援（負担金） ○大町市温泉地連絡協議会事業への支援 ○大北温泉協会事業への支援
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	-	-	15,331,761	15,331,761	皆増
	財源内訳					
	特定財源	-	-	410,155	410,155	皆増
	一般財源	-	-	14,921,606	14,921,606	皆増

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
15,566,000			141,925	15,707,925	15,331,761	
不用額	特定 財源	細節名	貸地料	観光施設電気使用料		
376,164	内訳	金額	313,155	97,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 流錫馬会館

営業期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日

※令和2年3月5日から令和2年3月24日まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止より臨時休業の実施

入場者人数 4,028人（対前年比76.3%）

○ 修繕 七倉ダム下公衆トイレ入口扉修繕

○ 委託業務

市内観光施設点検清掃業務（公衆便所5カ所、駐車場3カ所）
（公衆便所：七倉ダム下、七倉登山補導所横、餓鬼岳登山道入口、高瀬ダム天端、木崎湖キャンプ場）
（駐車場：扇沢市営駐車場、七倉ダム下駐車場、七倉広場市営駐車場）

観光施設浄化槽保守点検業務（3カ所）

（大町温泉郷森林劇場、扇沢総合案内センター、七倉登山補導所）

流錫馬会館管理運営業務

市営駐車場等誘導整理業務（2カ所）

（扇沢駐車場 17日間、七倉駐車場 5日間）

◆ 事業の成果

観光施設の美化清掃及び適切な維持管理に努めることができた。

◆ 前年からの改善点等

観光施設（トイレ等）の整備・修繕については、優先順位をつけ実施している。現在進めている「大町市個別施設計画」の内容に基づき施設改修や廃止など検討していきたい。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	183	
担 当 課		産業観光 部		観光 課		庶務管理 係		款	7	商工費	
事 務 事 業 名		2次交通対策事業						項	1	商工費	
								目	3	観光振興費	
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		56～58	
施 策 目 標		観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進						前年度評価 方向性		R元 新規事業	
施 策 項 目		“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進									
個 別 計 画		大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画									

事業の目的	対象	国内外の観光客が観光拠点への移動手段として2次交通の整備など充実を図る	意図	市内の観光拠点をはじめ、広域的な観光周遊を行える手段として2次交通を充実させ、観光消費額の増大による地域振興と活性化を目指す。
-------	----	-------------------------------------	----	---

事業の内容	滞在型周遊型の観光誘客に取り組むことで観光入込数を増やし観光消費額増加につなげる。 周遊バス「ぐるりん号の運行」、三市村2次交通事業（アルペンライナー及び北陸新幹線対策シャトルバス）運行支援、松本空港シャトル便運行支援			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	-	-	14,584,934	14,584,934	皆増
	財源内訳					
	特定財源	-	-	0	0	-
	一般財源	-	-	14,584,934	14,584,934	皆増

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
16,349,000				16,349,000	14,584,934	1,326,600
不用額	特定財源	細部名				
437,466	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号運行（東コース）

運行期間 平成31年4月25日から令和元年11月10日まで（102日間 1日7便運行）
期間内の土日祝日運行
※4月25日から5月6日、7月20日から8月31日は毎日運行）

利用運賃 1回大人（中学生以上）200円（一日券500円、1回小人100円（一日券200円）

利用実績 539名（対前年比 82.5%）

○ 周遊バス「信濃大町ぐるりん号運行（南コース）

運行期間 平成31年4月25日から令和元年11月10日まで（102日間 1日7便運行）
期間内の土日祝日運行
※4月25日から5月6日、7月20日から8月31日は毎日運行）

利用運賃 1回大人（中学生以上）200円（一日券500円、1回小人100円（一日券200円）

利用実績 1,206名（対前年比 81.1%）

◆ 事業の成果



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	185
担 当 課		産業観光 部		観光 課	庶務管理 係		款	7	商工費	
事 務 事 業 名		仁科三湖振興事業						項	1	商工費
								目	3	観光振興費
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		56～58
施 策 目 標		観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進						前年度評価 方向性		R元 新規事業
施 策 項 目		“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進								
個 別 計 画		大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画								

事業の目的	対象	観光課が所管する仁科三湖周辺の観光施設の維持管理及び観光振興を図る	意 図	観光施設の適切な維持管理のために、施設改修・更新を計画的に実施する。特に大町市アミューズメントハウスについては、指定管理者制度を導入して経費の削減を図ると共に、民間による創意工夫に基づいた利用者の拡大に努める
-------	----	-----------------------------------	-----	--

事業の内容	観光施設及び温泉館の維持管理、修繕等 指定管理：大町市アミューズメントハウス 修繕：大町市アミューズメントハウス 塩素注入器修繕（井戸汲上倉庫内及びプール棟ジャグジー）、 プール凝集剤注入器修繕、男子トイレ床タイル修繕				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	-	-	38,944,405	38,944,405	皆増
	財源内訳					
	特定財源	-	-	169,480	169,480	皆増
	一般財源	-	-	38,774,925	38,774,925	皆増

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
45,811,000	-5,675,000		-397,418	39,738,582	38,944,405	
不用額	特定財源	細節名	木崎湖キャンプ場 トイレ施設管理費			
794,177	内訳	金額	169,480			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 大町市アミューズメントハウス

指定管理業務（施設管理、施設運営、緊急時対応、自主事業）

入場者人数 32,701人（対前年比91.6%）

※令和2年3月7日から3月24日までコロナウイルス感染症の拡大防止対策として臨時休館を実施

○ 施設修繕

大町市アミューズメントハウス塩素注入器修繕（井戸汲上倉庫内）

大町市アミューズメントハウス塩素注入器修繕（プール棟ジャグジー）

大町市アミューズメントハウスプール凝集剤注入器修繕

大町市アミューズメントハウス男子トイレ床タイル修繕

○ 負担金

仁科三湖を美しくする会

○ 補助金

木崎湖花火大会補助金

第77回木崎湖灯籠流しと花火大会への補助 来場者人数：約25,000人



◆ 前年からの改善点等

大町市アミューズメントハウスについては、機械系故障に伴う緊急的な修繕を実施。

木崎湖周辺の観光拠点施設としての位置づけであるとともに、健康増進施設として利用も多い状況である。指定管理者制度を継続し民間による創意工夫に基づいた利用者の拡大につなげていきたい。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		185			
担 当 課		産業観光 部		観光 課		庶務管理・観光振興担当 係		款		7		商工費		
事 務 事 業 名		広域観光推進事業							項		1		商工費	
									目		3		観光振興費	
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち							前期計画登載頁		56～58			
施 策 目 標		観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進							前年度評価 方向性		R元 新規事業			
施 策 項 目		“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進												
個 別 計 画		大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画												

事業の目的	対象	団体等が実施するプロモーション事業、情報発信事業、受入体制事業、二次交通事業などに対する支援を行う。	意 図	誘客キャンペーンやパンフレット等の作成による情報発信、旅行商品造成促進による誘客や広域観光拠点をつなぐ二次交通の整備など、広域観光の推進に取り組む。
-------	----	--	-----	--

事業の内容	各団体が計画、実施する広域的な観光事業への支援 【負担金】 大系線ゆう浪漫委員会負担金、北アルプス地域旅行商品造成促進事業負担金、信州まつもと空港地元利用促進協議会負担金、北アルプス日本海広域観光連携会議負担金、日本アルプス観光連盟負担金、（一社）長野県観光機構年会費、（一社）長野県観光機構学習旅行誘致推進事業負担金、立山黒部観光宣伝協議会負担金、三市村観光連絡会負担金、長野県国際観光推進協議会負担金 など
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	-	-	9,039,400	9,039,400	皆増
	財源内訳					
	特定財源	-	-	957,000	957,000	皆増
	一般財源	-	-	8,082,400	8,082,400	皆増

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
9,034,000	470,000			9,504,000	9,039,400	
不用額	特定財源	細節名	北アルプス地域旅行 商品造成促進事業			
464,600	内訳	金額	957,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

【負担金】

○ 大系線ゆう浪漫委員会

プロモーション事業（広域観光パンフレット作成、設置及び配布）

誘客キャンペーン事業（首都圏駅キャンペーンなど）

情報発信事業（メディア等連携事業、広告宣伝事業等）

受入態勢整備事業（「リゾートビューふるさと」でのおもてなし等）

二次交通対策事業（二次交通パンフレット・WEB作成）

○ 北アルプス地域旅行商品造成促進事業

北アルプス連携自立圏事業として、圏域内に1泊以上かつ2カ所以上

の観光施設利用する旅行商品（信州まつもとと空港利用商品には増額助成）に対し、広告費と送客実績に応じた助成を実施。

○ 信州まつもとと空港地元利用促進協議会

大阪キャラバンへの参加（5月25日～26日 大阪国際空港）

信濃の国楽市楽座への参加（10月19日～20日 やまびこドーム）

信州まつもとと空港福岡線複便化利用促進助成事業

2019年4月1日から6月30日までの期間中に信州まつもとと空港福岡線を往復で利用された場合に助成を行う事業の実施。先着300名 1名あたり往復利用で5,000円の助成

信州まつもとと空港冬季利用促進助成金事業

「信州まつもとと空港から冬の旅にでかけよう！」令和元年11月1日～令和2年2月29日までの期間中に信州まつもとと空港を利用した方に助成金を交付する事業の実施。

◇助成金額：

札幌線・福岡線（先着900名）…往復利用／1名あたり 5,000円 …片道利用／1名あたり 2,000円
神戸線（先着500名）…往復利用／1名あたり 3,000円 …片道利用／1名あたり 1,500円



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	187
担 当 課		産業観光 部	観光 課	観光振興担当 係		款 7	商工費			
事 務 事 業 名		インバウンド推進事業					項 1	商工費		
							目 3	観光振興費		
ま ち の テ ー マ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁		56～58	
施 策 目 標		観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					前年度評価 方向性		R元 新規事業	
施 策 項 目		“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進								
個 別 計 画		大田市観光振興計画、大田市東山周辺地域観光整備計画								

事業の目的	対象	東アジア、東南アジアをターゲットとする戦略的な誘客促進を図るとともに、外国人観光客の関心を喚起する新たな観光資源の発掘	意図	本市の魅力ある観光資源の情報を積極的に国外に発信し、滞在型周遊型の観光誘客に取組み、外国人観光客の入込数の増及び観光消費額増加につなげる。
-------	----	---	----	---

事業の内容	周辺自治体等と連携した広域観光の推進を実施し、インバウンド事業として東アジア（台湾、韓国、香港）を中心にASEANに誘客活動を行い、市内での文化体験ができるカルチャープログラム事業等を展開する。 また、移動手段のひとつである二次交通などの公共交通機関の乗換案内や時刻案内などを、外国語で表示するデジタルサイネージシステムの構築を行う。
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	-	-	14,658,140	14,658,140	皆増
	財源内訳					
	特定財源	-	-	686,000	686,000	皆増
	一般財源	-	-	13,972,140	13,972,140	皆増

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
13,000,000	1,659,000			14,659,000	14,658,140	
不用額	特定財源	細節名	観光施設整備事業補助金			
860	内訳	金額	686,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

【備品購入費】

○ デジタルサイネージ機器

県の「外国人にもわかりやすい案内標識整備事業補助金」を活用し、デジタルサイネージシステムの構築を実施。

主要な施設へ設置（大田市観光協会、駅前バス待合所ほか）



【負担金】

○ 大田市インバウンド推進協議会

セールス事業（国内セールス、台湾プロモーション、韓国・香港プロモーション、タイプロモーション）
イベント等事業（立山黒部アルペンルート「佐々成政おもてなし武将隊」
信濃大町グルメストリート、エージェント・メディア招聘）

広告宣伝事業（メディア等タイアップ）

JNTO（日本政府観光局）参画事業

○ （一社）HAKUBAVALLE TOURISM会費

HAKUBAVALLE TOURISM事業支援



令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	187
担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係
事務事業名	山岳観光推進事業	款	7
まちのテーマ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち	項	1
施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進	目	3
施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進	前期計画登載頁	56～58
個別計画	大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画	前年度評価 方向性	R元 新規事業

事業の目的	登山道改修への支援、高瀬渓谷の誘客促進、大町市扇沢総合案内センター開設業務、東山エリアの観光整備など山岳観光の振興を図る。	意図	山岳関係者と協議し登山道の重点整備箇所を選定し整備・改修を行うとともに、安全で良好な登山道の維持管理に努める。立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口にある扇沢総合案内センターの運営。
-------	---	----	--

事業の内容	登山道整備箇所 竹村新道登山道整備、ブナ立尾根登山道整備、伊藤新道登山道整備、針ノ木登山道整備、白沢登山道整備 扇沢総合案内センターの運営、霊松寺公衆便所建設工事、各団体事業への支援
-------	---

決算数値（単位：円）						
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率	
総事業費（決算額）	-	-	35,654,525	35,654,525	皆増	
財源内訳						
特定財源	-	-	27,637,146	27,637,146	皆増	
一般財源	-	-	8,017,379	8,017,379	皆増	

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
38,341,000	-2,437,000		90,199	35,994,199	35,654,525	
不用額	特定 財源	細節名	合併特例交付金	ふるさと応援基金 繰入金	扇沢総合案内セン ター使用料	観光施設電気使用料 ほか
339,674	内訳	金額	6,100,000	21,000,000	307,000	230,146

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 扇沢総合案内センター（臨時職員1名）
- 霊松寺公衆トイレ建設工事（新築：女子トイレ・多目的トイレ、改築：男子トイレ）
霊松寺公衆トイレ建設工事監理業務
- 登山道整備
 - ・ 白沢登山道整備（栈橋設置、梯子掛替、落葉等除去ほか）
 - ・ ブナ立尾根登山道整備（倒木処理、土留め、ロープ補強、草刈ほか）
 - ・ 裏銀座・伊藤新道整備（丸太設置、枝払い、草刈ほか）
 - ・ 針ノ木登山道整備（雪渓誘導表示、架橋作業、草刈ほか）
 - ・ 竹村新道登山道整備（下草刈・笹刈）
- 信濃大町山岳フェスティバル支援
各団体事業支援



◆ 前年からの改善点等

登山道整備については、年次計画により整備を進めたたいところですが、毎年の自然状況により荒れた登山道を復旧するといった形にならざるを得ません。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	189
担 当 課	産業観光 部	観光 課	庶務管理 係	款	7	商工費			
事 務 事 業 名	着地観光充実事業					項	1	商工費	
						目	3	観光振興費	
ま ち の テ ー マ	第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち					前期計画登載頁			
施 策 目 標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					前年度評価 方向性		R元 新規事業	
施 策 項 目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進								
個 別 計 画	大町市観光振興計画、大町市東山周辺地域観光整備計画								

事業の目的	対象	観光客の増大等の観光振興を図るため、市観光協会など観光関係者と連携し誘客宣伝事業を実施。	意図	窓口やHPなどによる観光案内や観光情報の発信、また安心して安全な旅のサポートや滞在現地における行動を支援するためのWi-Fi環境の活用による情報発信を行う。
-------	----	--	----	--

事業の内容	本市の魅力ある観光資源の情報を積極的に国内外に発信するため、観光パンフレット等の印刷物やホームページのリニューアルを実施した「信濃大町なび」からの情報発信など観光案内や宣伝等の充実や観光関係団体などが行う事業との連携など行う市観光協会への支援事業。 スポット的に環境整備を行ったWi-Fiエリアの維持管理事業や観光案内看板の付替えなど、滞在者への観光誘導整備などを実施。			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	-	-	35,002,337	35,002,337	皆増
	財源内訳					
	特定財源	-	-	1,114,214	1,114,214	皆増
	一般財源	-	-	33,888,123	33,888,123	皆増

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
32,549,000	2,523,000		177,494	35,249,494	35,002,337	
不用額	特定 財源	細節名	観光案内所利用負担 金	ふるさと応援基金 繰入金		
247,157	内訳	金額	419,214	695,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 観光案内業務（市観光協会負担金）

- ・ 国内 窓口10,271件 電話10,052件 メール665件
- ・ インバウンド 窓口2,174件 電話16件 メール3件
- ・ 宿泊案内 1,021件
- ・ 登山案内 534件
- ・ パンフレット発送（個人宛） 528件 合計25,264件
- ・ HPリニューアル「信濃大町なび」

- ・ 各種メディア情報発信（ラジオ、新聞など）
- ・ WEB、SNSによる情報発信
- ・ 商談会、メディア懇談会への参加（東京・大阪）
- ・ 観光展、観光キャラバンへの参加（JR横浜駅・名古屋県人会など）

- ・ ガイド研修会の実施（7回）、ガイドツアーコースの開発
- ・ グリーンシーズン自転車観光誘客事業の実施

（環境整備：サイクルステーション設置43店舗 など）

- ・ イベント事業実施

（塩の道祭り、絶景の北アルプスと塩の道ウォーク、木崎湖湖水開き地引網と水上トレッキング
小熊山トレッキングなど



◆ 前年からの改善点等

令和元年度大町市観光協会総会において、役員改選により新たな役員体制となり、事業展開を行っている。今後は法人化に向け準備を進めていく。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	191
担 当 課		総務 部	八坂支所 課		産業建設 係		款 7	商工費		
事 務 事 業 名		八坂観光施設管理費						項 1	商工費	
								目 3	観光振興費	
まちのテーマ		第2節_活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち						前期計画登載頁		56
施 策 目 標		観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	・市民の健康増進及び、地域以外の多数の方が利用する観光事業の振興を図る。	意図	・地域間交流や観光の振興を通じて、地域の活性化を図る。 ・体験事業を通して、そば打ちや灰焼きおやき等 地区固有の伝統文化の継承を行う。
-------	----	--------------------------------------	----	---

事業の内容	・八坂地区の観光施設は指定管理施設をはじめ、公衆トイレ等の施設があり、施設や設備の経年劣化が進んでいるが、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な整備改修を行い機能維持を図り、利用者が安全かつ快適に利用できるよう管理運営を行う。 ・鷹狩山展望施設、ふるさと体験館、さざなみについては、指定管理者制度を導入し、民間活力による効率的な運営を行う。
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	7,829,515	6,493,750	5,694,066	-799,684	-12.3%
	財源内訳					
	特定財源	479,790	345,070	128,994	-216,076	-62.6%
	一般財源	7,829,515	6,493,750	5,694,066	-799,684	-12.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
6,491,000	0	0	0	6,491,000	5,694,066	0
不用額	特定 財源	細節名	体験館電気料金等 管理者負担金			
796,934	内訳	金額	128,994			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○鷹狩山展望施設

展望台施設利用者数：5,493人（前年度：5,877人 増減： -384人）
 イベント数：3回（前年度：3回） 利用者数：785人（前年度：880人 増減：-95人）
 ・グランフォンド 7月7日 600人（前年度 -100人）
 ・夏のビール祭 7月26日 29人（前年度 -1人）
 ・トレイルランニング 11月3日 156人（前年度 +6人）

○体験館

体験館利用者数：3,650人（前年度：4,545人 増減： -895人）
 イベント数：2回（前年度：2回） 利用者数：1,374人（前年度：1,590人 増減： -216人）
 ・春の山菜そば祭り 4月27日～5月19日 利用者数：601人（前年度： -52人）
 ・秋の新そば祭り 10月26日～11月24日 利用者数：773人（前年度： -164人）

○さざなみ

さざなみ利用者数：25,627人（前年度：29,981人 増減： -4,354人）
 イベント数：2回（前年度：2回） 利用者数：19人（前年度：190人 増減：-171人）
 ・カレーバイキング 7月5日～10日 10人
 ・秋の新そばまつりカレーバイキング 10月26日～11月5日 9人

◆ 事業の成果

各施設、イベント等の開催による観光振興や、地元食材の活用による地域振興に寄与している。

◆ 前年からの改善点等

・八坂地区にある4つの指定管理施設が連携したイベントを検討し、3施設で新そばまつりの期間にイベントを行ったが、利用者増に結びつかなかった。事前周知の強化等の改善が必要である。
 ・各施設、定期的な施設巡回や指定管理者及び施設管理受託者との連携を図りながら、計画的な維持管理を行う。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	191
担 当 課		建設水道 部	上下水道 課		温泉 係		款	7	商工費	
事 務 事 業 名		温泉供給事業						項	1	商工費
								目	4	温泉管理費
まちのテーマ		第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						前期計画登載頁		80
施 策 目 標		自然と共生した環境の創造						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		安定した温泉の供給								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	市の観光振興と市民福祉の向上を図る為。	意図	源泉の保全と温泉の有効活用をする。
-------	----	---------------------	----	-------------------

事業の内容	源泉を保全し、利用者に安定して温泉を供給するため、日常点検を通じて施設を適切に管理し、老朽化の著しい施設は計画的に更新を行う。				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	75,920,048	60,211,971	59,611,061	-600,910	-1.0%
	財源内訳					
	特定財源	60,646,680	60,211,971	59,611,061	-600,910	-1.0%
	一般財源	15,273,368			0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
72,357,000	-11,000,000	0	0	61,357,000	59,611,061	0
不用額	特定 財源	細節名	引湯管等貸付収入	北アルプス山麓仁科 の里整備基金繰入金	温泉利用料	
1,745,939	内訳	金額	2,903,400	38,000,000	18,707,661	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

利用者に安定して温泉を供給するため、施設の日常点検を通じて施設の状況を把握し、必要に応じて修繕を実施するとともに、施設の計画的な更新に努めた。

① 施設の維持管理

- 施設の日常点検 年間 242日
- 電気計装設備点検 年1回
- 修繕の実施 16件

② 温泉供給の安定化

- 温泉郷配湯管の更新 L=292.5m



配湯管布設替工事

◆ 事業の成果

施設の適切な維持管理と計画的な更新によって温泉の安定供給を確保し、観光振興、市民福祉の向上に寄与している。

- 上原地区温泉供給量 43.5ℓ／分
- 高瀬分譲地温泉供給量 168ℓ／分
- 温泉郷配湯管更新率 65.1%

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	197
担 当 課	建設水道 部	建設 課	建設 係	款	8	土木費				
事 務 事 業 名	道路維持管理事業					項	2	道路橋梁費		
						目	2	道路維持費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		85		
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備					前年度評価 方向性			継続	
施 策 項 目	安全で快適な道路整備・維持管理									
個 別 計 画	「舗装長寿命化修繕計画」「橋梁長寿命化修繕計画」「トンネル等長寿命化修繕計画」									

事業の目的	対象	市所管の幹線道路及び生活道路（総延長867km）における舗装及び道路施設（橋梁、トンネル、側溝等）	意 図	道路利用者の安全で快適な移動の確保と道路環境の保全
-------	----	---	-----	---------------------------

事業の内容
幹線道路については、「舗装長寿命化修繕計画」に基づき、計画的に修繕工事を実施する。また、比較的交通量の少ない生活道路については、日常的点検や地域要望を踏まえ、道路施設（側溝、標識等）を含め緊急度に応じ修繕を実施する。橋梁やトンネル等の重要構造物については、「橋梁・トンネル等長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な予防修繕を実施するとともに、5年サイクルで全箇所点検（計340箇所）を実施し、定期的に計画の見直しを行う。

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	186,612,748	167,659,370	187,971,575	20,312,205	12.1%
	財源内訳	特定財源	33,015,000	82,604,307	68,269,808	-14,334,499 -17.4%
		一般財源	153,597,748	85,055,063	119,701,767	34,646,704 40.7%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
196,871,000	18,200,000	9,300,000	-32,237	224,338,763	187,971,575	34,040,000
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金	道路維持事業債	道路使用料	橋梁長寿命化事業債ほか
2,327,188	内訳	金額	14,379,000	25,200,000	19,350,878	4,339,930

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 道路舗装修繕工事

木崎野口泉線（泉）	W=7.0m L=174m
東町線（東町）	W=6.5m L=308m
木崎海ノ口線（海ノ口）	W=6.0m L=135m
大町鹿島線（大原町）	W=6.0m L=320m
矢下野平線（城）	W=2.0m L=82m
高瀬分譲地南北線（上原）	W=3.5m L=150m
野口4号線（野口）	W=3.5m L=100m
旭町上橋線（旭町）	W=2.0m L=57m
他3路線	

○ 道路側溝工事

宮明沢線（宮本）	VS300 L=28m
矢下野平線（城）	プレスト管φ300 L=9m
大町鹿島線（二ツ屋）	U型側溝150 L=11m
御堂ノ入線（二重）	U型側溝300 L=6m
木崎海ノ口線（森）	U型側溝240 L=26m
神明原閼田線（清水）	U型側溝400 L=8m
一宇田川手線（青貝）	U型側溝300 L=4m
北條作の平線（土袋）	U型側溝300 L=12m
他3路線	

○ 道路施設修繕

N=97箇所

○ 橋梁修繕事業

川久保橋ほか4橋（笹尾） 補修実施設計 1式
橋梁点検（直営） 48橋
※令和2年度へ繰越

◆ 事業の成果



舗装修繕（東町線）



側溝修繕（宮明沢線）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	197
担 当 課	建設水道 部	建 設 課	建 設 係	款	8	土木費		
事 務 事 業 名	交通安全施設整備事業				項	2	道路橋梁費	
					目	2	道路維持費	
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁		85	
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	安全で快適な道路整備・維持管理							
個 別 計 画	「大町市通学路交通安全プログラム」							

事業の目的	対象	市所管の幹線道路及び生活道路における歩行者空間		意図	安心・安全な歩行者空間の整備		
	生活道路については、日常点検や地域要望を踏まえ、危険度及び緊急度に応じ計画的に歩道の新設や交通安全施設（ガードポスト、外側線等）の整備を実施する。通学路については、大町市通学路安全推進会議（教育委員会、市内小学校、警察、道路管理者で構成）による合同点検及び交通安全プログラムの見直し（年1回）を踏まえ、計画的に歩道やグリーンベルトの新設及び交通安全施設の整備を実施する。また、保育所等のお散歩ルートについても保育所、警察、道路管理者で合同点検を行い、危険箇所及び対応策を取りまとめ、横断歩道待場の拡幅やガードポスト等の交通安全施設の整備を実施する。						
決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		79,671,950	71,387,054	98,551,245	27,164,191	38.1%
	財源内訳	特定財源	22,736,000	31,449,000	28,380,000	-3,069,000	-9.8%
		一般財源	56,935,950	39,938,054	70,171,245	30,233,191	75.7%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
120,554,000	-500,000	25,600,000	-2,596,909	143,057,091	98,551,245	38,213,000
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金		
6,292,846	内訳	金額	23,380,000	5,000,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 歩道新設工事

旭町上橋線（旭町）W=2.5m L=298m ※事業完了

※令和2年度へ繰越

長畑高根線（泉） W=6.0(歩道3.0m) L=172m ※R2事業完了予定

○ 交通安全施設整備

市内一円

区画線更新 L=8,390m

春午子柿ノ木線他（上一他）

グリーンベルト整備 L=1,200m A=310m²

矢下野平線（笹尾）

ガードレール設置 L=40m

神明宮線（宮本）

ガードポスト設置 9本

長畑高根線（泉）

土羽築堤 L=77m

○ 交通安全施設修繕

N=20箇所

◆ 事業の成果



歩道新設（旭町上橋線）



グリーンベルト整備（春午子柿ノ木線）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	199
担 当 課	建設水道 部	建設	課	建設	係	款	8	土木費		
事 務 事 業 名	道路新設改良事業						項	2	道路橋梁費	
							目	3	道路新設改良費	
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち						前期計画登載頁		85	
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	安全で快適な道路整備・維持管理									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	市所管の幹線道路及び生活道路	意図	道路利用者の安全で快適な移動の確保と円滑な道路ネットワークの構築
-------	----	----------------	----	----------------------------------

事業の内容	日常点検及び地域要望を踏まえ、整備効果や緊急度を精査し、計画的に道路改良事業を実施する。				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		120,021,350	88,507,604	219,537,669	131,030,065	148.0%
	財源内訳	特定財源	23,136,000	52,115,000	114,986,000	62,871,000	120.6%
		一般財源	96,885,350	36,392,604	104,551,669	68,159,065	187.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
188,458,000	-977,000	72,630,000	0	260,111,000	219,537,669	33,190,000
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備 総合交付金	道路整備事業債		
7,383,331	内訳	金額	66,286,000	48,700,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 道路改良工事

大町鹿島線（二ツ屋）	W=9.8m L=827m ※一部工区令和2年度へ繰越 R2事業完了予定
泉30号線（泉）	W=5.0m L=109m ※R2事業完了予定
神明宮線（宮本）	W=5.0m L=159m ※事業完了
源汲10号線（源汲）	W=5.0m L=151m ※R2事業完了予定
借馬宮裏線（借馬）	W=7.0m L=110m
中花見線（中花見）	W=6.0m L=152m ※R2事業完了予定

◆ 事業の成果



道路改良（大町鹿島線）



道路改良（借馬宮裏線）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	201
担 当 課	建設水道 部	建設 課	維持 係	款 8	土木費					
事 務 事 業 名	雪害対策事業				項 2	道路橋梁費				
					目 4	雪害対策費				
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち				前期計画登載頁			85		
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備				前年度評価 方向性			継続		
施 策 項 目	安全で快適な道路整備・維持管理									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	市道（幹線道路、歩道を含む生活道路）の除排雪及び凍結防止剤散布	意 図	- 除排雪の充実による安全かつ安心な交通確保 - 除雪機械の計画的な整備、更新及び貸与による除雪業者の経営負担を軽減 - 凍結防止剤散布によるスリップ事故の防止
-------	----	---------------------------------	-----	--

事業の内容	- 市道867kmの内除雪延長425.8km（大町地区325.6km 美麻地区48.9km 八坂地区51.3km） - 市道・国道の歩道除雪延長45.0km（大町地区41.3km 美麻地区3.7km） - 除雪委託業者73者（業者47社 自治会26者） - 業者等への貸与する除雪機械の購入
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	213,672,004	216,310,549	168,107,600	-48,202,949	-22.3%
	財源内訳					
	特定財源	23,881,000	26,568,000	37,614,000	11,046,000	41.6%
	一般財源	189,791,004	189,742,549	130,493,600	-59,248,949	-31.2%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
162,325,000	-5,000,000		10,782,606	168,107,606	166,657,153	
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備総合交付金			
1,450,453	内訳	金額	37,614,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

◆ 事業の成果

除排雪及び凍結防止剤散布委託料等調

項目	地区	H29	H30	R01
業者数	大町	62	60	60
	美麻	8	8	9
	八坂	4	4	4
	計	74	72	73
	前年対比		-2.70%	1.39%
除雪延長 (km)	大町	368.5	367.9	366.9
	美麻	54.7	52.2	52.6
	八坂	52.1	51.3	51.3
	計	475.3	471.4	470.8
	前年対比		-0.82%	-0.13%
委託料 (千円)	大町	140,447	154,092	93,890
	美麻	31,741	33,861	17,792
	八坂	8,233	7,751	4,042
	計	180,421	195,704	115,724
	前年対比		8.47%	-40.87%

除雪機保有台数

除雪ドーザ (大型)	除雪ドーザ (小型)	ロータリ除雪車 (大型)	ロータリ除雪車 (小型)	ハンドガイド ロータリ除雪車	凍結防止剤 散布車
24	1	2	1	33	2

・令和元年度に整備した除雪機械



(ロータリ除雪機2.2m級)

◆ 前年からの改善点等

- ・道路除雪延長は地域の生活、経済活用の維持に留意しつつ、代替ルートがある場合等においては計画的に冬期の道路サービス水準を下げ、場合によっては除雪を行わず冬期に通行不能とする区間を設けることを今後検討する。

令和元年度は除雪路線延長は路線の見直しを行った結果、大町地区で367.9kmから366.8kmに減となり、全体では前年度の471.4kmから470.8kmに減となった。

- ・積雪地域における冬期間の安全かつ安心な道路交通の確保は、通学通勤、救急医療、消防防災等の住民生活の安全確保、さらには定住促進や産業経済の円滑な活動の面からも、極めて重要である。一方、除雪を委託される建設業者の経営状況は厳しさを増しているため、除雪機械の管理費を軽減し継続的な除雪体制を維持するため、今以上に除雪機械を大町市で整備し受託業者に貸与することを検討する。

令和元年度はロータリ除雪機1台を購入し、降雪量の多い平地区の除雪業者に貸与した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	201
担当課	建設水道部	建設課	農地整備係
事務事業名	水路維持改良事業	款	8
		項	3
		目	1
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち	前期計画登載頁	77
施策目標	市民生活の安全の確保	前年度評価 方向性	継続
施策項目	災害に強いまちづくりの推進		
個別計画			

事業の目的	対象	・日常点検や地域要望に基づき、老朽化した水路等の更新や改修を行う。	意図	・老朽化した用水路に起因する漏水、溢水被害を防止し、宅地や農地を守る。
-------	----	-----------------------------------	----	-------------------------------------

事業の内容	・市が管理する河川および市街地における水路の改修・修繕工事を実施。 水路改良工事 20箇所 水路修繕工事 30箇所
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	32,762,950	23,484,007	41,118,619	17,634,612	75.1%
	財源内訳					
	特定財源		13,000,000	9,000,000	-4,000,000	-30.8%
	一般財源	32,762,950	10,484,007	32,118,619	21,634,612	206.4%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
35,335,000		9,034,000		44,369,000	41,118,619	
不用額	特定 財源	細節名	北アルプス山麓仁科 の里整備基金繰入金			
3,250,381	内訳	金額	9,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○水路改良工事实施 <高根町 北村堰> 児童通学路安全対策、冬季水路詰まり解消

着工前



しゅん工



◆ 事業の成果

○水路改良工事（20箇所実施）

対策	箇所数	内 容
安全対策	2	開水路覆蓋化
漏水対策	1	目地等
越水対策	1	水路布設替え
老朽化対策	4	石積み水路2次製品化
	6	水路布設替え
	2	ます修繕

対策	箇所数	内 容
改良	1	土水路2次製品化
	1	沈砂ます設置
その他	2	水路廃止等
(合計)	20	

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計		決算書頁	203
担 当 課	建設水道 部	建設	課	農地整備	係	款	8	土木費	
事 務 事 業 名	雨水対策整備受託事業					項	3	河川費	
						目	1	水路費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		77	
施 策 目 標	市民生活の安全の確保					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	災害に強いまちづくりの推進								
個 別 計 画	大町市雨水整備基本計画								

事業の内容	・雨水バイパス管渠工事（Φ1100mm、全延長 L=620.2m） 令和元年度実績 L=144.6m（管渠工事は全線完了）

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		52,868,657	51,514,780	78,455,820	26,941,040	52.3%
	財源内訳	特定財源	52,868,657	51,514,780	78,455,820	26,941,040	52.3%
		一般財源				0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額		繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
79,497,000					79,497,000	78,455,820	
不用額	特定 財源 内訳	細節名	雨水対策整備受託事 業収入				
1,041,180		金額	78,455,820				

◆ 施策目標に資する活動

- ・ 雨水バイパス管の工事発注

図面箇所: ⑥(国道147号)

工事名: 雨水管渠(バイパス管)

工事概要: 鉄筋コンクリート台



○進捗状況

	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2～	合計
施工延長	118.9m	89.4m	157.9m	109.4m	144.6m		620.2m
進捗率	19%	34%	59%	77%	100%		
工事工法	①開削口 1800×800	③開削口 1800×800 ②推進φ 1080	④開削φ 1100	⑤開削φ 1100	⑥開削φ 1100	舗装 本復旧	
事業費							

雨水管渠（新設バイパス管）埋設全体計画 L=620.4m

① L=144.6m 埋設工 H31 実施済
② L=100.4m 埋設工 H30 実施済
③ L=157.9m 埋設工 H29 実施済
④ L=33.5m 埋設工 H28 実施済
⑤ L=118.9m 埋設工 H27 実施済

分水施設
放流口

伊東医院
イワノ薬局
中央通り
大富通り
かえで保育園
信越
米村組
白旗通

工事とは、下流(豊具川)側から上流(西)側に向けて進んでいきます。

132

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	203
担 当 課	建設水道 部	建設 課	計画 係	款	8	土木費				
事 務 事 業 名	おたんじょ桜事業					項	4	都市計画費		
						目	1	都市計画総務費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		83		
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	・市民を挙げて次代を担う児童の出生を祝い、これを記念して桜の植樹を進める。	意図	・さくらの里づくりを目指し、桜の名所の形成を図り児童の健全育成と健康で文化的な都市環境の整備を図る。
-------	----	---------------------------------------	----	--

事業の内容	○記念植樹会(毎年10月下旬～11月上旬 実行委員会主催) ・各小学校へ入学した市内の小学1年生児童を対象(植樹1本/1クラス)・樹種：オオヤマザクラ・本数：9～10本/年 ○桜維持管理業務(※国営公園を除く植樹箇所) ・草刈り、施肥、灌水、害虫駆除、生育調査他			
-------	--	--	--	--

決算数値(単位：円)						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費(決算額)	1,008,888	1,127,636	1,226,023	98,387	8.7%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	1,008,888	1,127,636	1,226,023	98,387 8.7%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,825,000				1,825,000	1,226,023	
不用額	特定財源	細部名				
598,977	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 実行委員会 総会
令和元年10月8日 市役所
・役員改選、記念植樹会実施計画について
・実行委員18名出席(31名)
(市議会、小学校、PTA、自治会、育成会他)
- 記念植樹会開催
令和元年11月2日 国営アルプスあづみの公園
・オオヤマザクラの記念植樹 9本
・市内6小学校、9クラス
(安曇養護学校は、新入生がいないため不参加)
・参加者 児童及び保護者等約120人



実行委員会総会

◆ 事業の成果

- ・第1回の記念植樹会から20年間で、都市公園をはじめとする8か所の公共用地の中に376本の桜を植樹し、それぞれの場所においてまとまった桜の形成が図られている。(国営公園内 97本/10年間)
- ・桜維持管理事業(7箇所)
文化公園、やしろ公園、大町浄水センター、平グラウンド
国営公園外周道路、蓮華大橋南詰駐車場、野口久保第2調整池



記念植樹会

◆ 前年からの改善点等

市内の都市公園や市道沿線等における公共用地に植樹を行ってきたが、今後、植樹場所の選定が課題となる。また、少子化により新入生が減少し、植栽本数も減少傾向にあるため植栽本数の平準化の検討を進める。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	203
担 当 課	建設水道 部	建設 課	計画 係	款	8	土木費				
事 務 事 業 名	街路整備事業					項	4	都市計画費		
						目	2	都市計画事業費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		84		
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	都市構造を支える幹線道路網の構築・整備促進									
個 別 計 画	大町市都市計画マスタープラン									

事業の目的	対象	主要幹線道路を補完して地域間の流動を担う、比較的交通量が多い道路である。	意図	市民生活に必要な走行性、安全性を確保した道路整備を進める。
-------	----	--------------------------------------	----	-------------------------------

事業の内容	○（街）中央通り線（（主）長野大町線）北大町工区 整備区間：大町文化会館入口交差点南～若一王子神社入口 事業規模：L＝約450m・W＝16m 全体事業費：C＝971,479千円（うち市負担金10%から15%） ○（街）館ノ内借馬線（（主）大町明科線）松崎工区 整備区間：旭町交差点（旭橋）～社会就労センター南 事業規模：L＝約280m・歩道設置（片2.5m） 全体事業費：C＝200,000千円（うち市負担金10%から15%）			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	10,304,958	19,412,197	22,045,627	2,633,430	13.6%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	10,304,958	19,412,197	22,045,627	2,633,430	13.6%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,000,000	4,350,000			24,350,000	22,045,627	
不用額	特定財源	細節名				
2,304,373	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 交付金・県単事業要望活動
令和元年9月25日 合同庁舎（大町建設事務所）
・事業要望調書の提出（街路事業4路線）

- 地元工事説明会（予定）
令和2年4月14日 俵町公民館（大町建設事務所）
・自治会役員への説明会
・付帯工事についての説明（上下水道）



中央通り線（北大町工区）

◆ 事業の成果

- 用地補償については、9割程度終了。
- 本工事は、R2年4月以降着手予定。
- 都市計画街路整備現況（R1年度末 2020.3.31現在）
街路延長 28,370m
改良済 17,520m
整備率 61.8%



中央通り線（北大町工区）

◆ 前年からの改善点等

- 無電柱化の整備検討がされてきたが、困難であり、今後は、早期完了となるよう事業費確保の要望活動と、円滑に進捗するよう協力体制を強化する。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	205
担 当 課	建設水道 部	建設 課	計画 係	款	8	土木費				
事 務 事 業 名	全国都市緑化フェア推進事業					項	4	都市計画費		
						目	3	公園費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		84		
施 策 目 標	暮らしやすい都市基盤の整備					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	中心市街地の活性化									
個 別 計 画	全国都市緑化フェア開催要綱及び第36回全国都市緑化信州フェア実施計画									

事業の目的	対象	都市緑化意識の高揚と、持続力ある都市緑化活動の推進と共に緑豊かな信州の魅力を全国にアピールするため、公民学の連携と協働により、都市緑化の推進を図る。	意図	緑の大切さを意識し、緑を守り、増やし、育てるための知識を得る場とし、活動の継続性を保ちながら、都市緑化を推進し、中心市街地の回遊の仕掛けづくりと賑わい創出につなげ交流人口の拡大を図る。
-------	----	--	----	--

事業の内容	開催期間：平成31年4月25日～令和元年6月16日（53日間） 会場：県松本平広域公園、国営アルプスあづみの公園、県鳥川溪谷緑地及び、各市内サテライト会場 主催：長野県、松本市、大田市、塩尻市、安曇野市、都市緑化機構 信濃大町サテライト会場：信濃大町駅前、中心市街地周辺エリア、ラ・カスタ ナチュラルヒーリングガーデン、大町温泉郷 主な内容：市街地周辺のポケットパークなどの花壇整備、ワークショップの開催、小中学生が植栽したフラワーコンテナの設置 関連イベントの開催など
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	4,718,161	19,993,798	40,911,728	20,917,930	104.6%
	財源内訳					
	特定財源		5,000,000	10,000,000	5,000,000	100.0%
	一般財源	4,718,161	14,993,798	30,911,728	15,917,930	106.2%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
41,730,000				41,730,000	40,911,728	
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
818,272	内訳	金額	10,000,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ メイン会場（長野県松本平広域公園）

開催期間：平成31年4月25日～令和元年6月16日（53日間）

テーマ：北アルプスの麓から広がる 花と緑に包まれた しあわせ暮らし

会場の構成 ①出会いにぎわいのエリア

②信州の花や緑とふれあうエリア

③花緑のある暮らしを提案するエリア

④信州の山並みと花のある風景を楽しむエリア

公式行事 4/23 内覧会

4/25 テープカットセレモニー

開会式

5/23 全国都市緑化祭 眞子内親王殿下記念植樹

6/16 閉会式

・来場者10万人・50万人・60万人・70万人達成セレモニー

庭園等出典コンテスト

主催者催事 ・信州サボテンのインスタレーション

・皇室花と緑の写真展

・劇団四季展

・いわさきちひろ・花とあそびの庭

・まるごと信州わくわくデー

・花と緑の体験プログラム

・信州アクティビティ体験プログラム

・ランドスケープシンポジウム（共催）

メディアタイアップ催事

・SBCくらしフェスタほか（TSB・abn・NBS）



はじまりの花庭 大花壇



北アルプスと花の丘



出会いの広場

一般タイアップ催事

- ・屋外催事 ・県民ステージ ・屋外PRブース
- ・飲食・物販ブース
- 県民協働 ・協働大花壇「北アルプスと花の丘」づくり
- ・花・緑スキルアップ講座 ・花緑ガイド養成講座ほか

- 信濃大町サテライト会場（信濃大町駅前、中心市街地エリア、
ラ・カスタ ナチュラルヒーリングガーデン、大町温泉郷）

開催期間：平成31年4月29日～令和元年6月16日（49日間）

- ・開幕セレモニー（鉄拳氏・村井美樹氏トークショー、まり子ミニライブ）
- ・おおまびょん等身大トピアリーの設置（信濃大町駅前）
- ・駅前広場公園やポケットパークを活用した花壇づくり（市民協働）
- ・小中学生が植栽したフラワーコンテナ設置（市民協働）
- ・フラワーアレンジメント、ハーバリウム等WS（駅前情報ステーション）
- ・まちなかイベント・企画展（わちがい、ちょうじや、麻倉ほか）
- ・フラワーモニュメント設置（ラ・カスタ主催）
- ・沿道花苗植栽、ミニコンサート、会場タイアップ事業（温泉郷主催）
- ・クロージングイベント（ミニライブ、クイズ大会）



開幕セレモニー



駅前花壇づくり



トピアリーWS

◆ 事業の成果

- 来場者数（当初想定来場者数：50万人）（単位：人）

メイン会場	長野県松本平広域公園	492,300
サブ会場	国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高）	148,800
	国営アルプスあづみの公園（大町・松川）	57,000
	長野県烏川渓谷緑地	7,200
合計		705,300

信濃大町サテライト会場	人流センサーによる来場者数調査を含む	21,785
-------------	--------------------	--------

- 緑豊かなまちづくりをテーマに開催し、公共施設や一般住宅などの緑化も含めた総合的な都市緑化を幅広くかつ積極的に推進するための契機となった。
- 花や緑を繋ぎ役として、交流と賑わいを創出し、活気ある地域づくりや市民との協働により、来場者をおもてなしできた。

◆ 前年からの改善点等

- 魅力的で集客力の高いイベントを展開することにより、フェアの会場をはじめ地域全体の賑わい創出に努めた。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	207
担当課	建設水道部	建設課	農地整備係
事務事業名	仁科三湖周辺整備事業	款	8
		項	4
		目	3
まちのテーマ	第4節 豊かな自然を守り快適に生活できるまち	前期計画登載頁	83
施策目標	暮らしやすい都市基盤の整備	前年度評価 方向性	継続
施策項目	魅力あるまちの形成に向けた都市計画の推進		
個別計画	仁科三湖整備計画		

事業の目的	対象	〇地域要望並びに、仁科三湖整備計画に基づく市道の拡幅改良工事。	意図	〇木崎湖の眺望を望む農地内の市道拡幅により、営農や地域交通の利便性の向上と伴に、観光の利活用の推進を図る。
-------	----	---------------------------------	----	---

事業の内容	<繰越事業> 〇用地購入（市道東西海ノ口下線 10筆、地権者7名、事業費549,720円） <当年事業> 〇道路改良工事（L=90m、W=3.0m、事業費9,537,000円） 〇用地測量業務（2件 事業費1,408,000円）
-------	--

決算数値（単位：円）		年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	財源内訳	総事業費（決算額）	6,123,600	0	11,494,720	11,494,720	皆増
		特定財源	10,000	0	9,000,000	9,000,000	皆増
		一般財源	6,113,600	0	2,494,720	2,494,720	皆増

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
12,000,000		3,975,000		15,975,000	11,494,720	
不用額	特定財源	細節名	北アルプス山麓仁科の里整備基金繰入金			
4,480,280	内訳	金額	9,000,000			

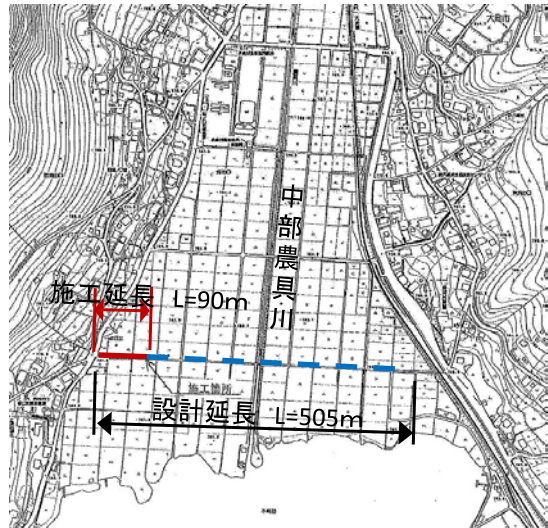
事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

着工前



しゅん工



◆ 事業の成果

〇用地取得計画

	地権者数	買収予定筆数	R1買収済筆数
中部農具川西側	11人	17筆	10筆
中部農具川東側	11人	12筆	0筆

〇工事実施状況

道路改良工事 L=90m（事業総延長L=505m）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	207
担 当 課	建設水道 部	建設 課	建築住宅 係	款	8	土木費				
事 務 事 業 名	住宅・建築物耐震化推進事業				項	4	都市計画費			
					目	4	建築費			
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁			77		
施 策 目 標	市民生活の安全の確保				前年度評価 方向性			継続		
施 策 項 目	災害に強いまちづくりの推進									
個 別 計 画	大町市耐震改修促進計画									

事業の目的	・昭和56年以前に建設された住宅・建築物の耐震診断 ・所有者が行う耐震改修工事に要する費用に対し、補助金を交付する。	意 図	・耐震化により、市民の生命及び財産を守る。 ・耐震化により、震災による被害を最小限にする。
-------	---	-----	--

事業の内容	・住宅耐震診断 昭和56年以前に建設した木造在来工法の住宅の耐震診断 所有者負担なし 診断件数 18件 ・住宅耐震改修 診断の結果、耐震改修が必要と判断された住宅の耐震補強工事等への補助 改修3件 建替4件
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	2,880,000	6,100,000	8,155,000	2,055,000	33.7%
	財源内訳					
	特定財源	1,925,000	4,575,000	6,115,750	1,540,750	33.7%
	一般財源	955,000	1,525,000	2,039,250	514,250	33.7%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
6,924,000	1,235,000			8,159,000	8,155,000	
不用額	特定財源	細節名	住宅・建築物耐震改修等事業補助金	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金		
4,000	内訳	金額	4,077,000	2,038,750		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- 市ホームページ、広報誌（4月1日号）による事業案内
 - 住宅耐震診断申込窓口開設 令和元年10月12日(土)「2019市民ふれあい広場」での窓口開設を予定していたが、荒天のためイベント中止
 - 耐震事業制度案内チラシ 令和元年9月回覧組込（1,200枚）
 - 耐震事業制度案内通知 固定資産税納入通知書に同封（10,000件）
- ◆ 事業の成果

項目 \ 年度	H16~21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	合計
耐震診断												
住宅	134	5	27	10	11	17	15	6	9	20	18	272
避難施設	21	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	27
特定建築物	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
住宅耐震改修	17	3	2	2	6	3	3	2	2	5	7	52

- ・ 耐震化を促進する取組を規定した「住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」を策定し、毎年度耐震改修等に係る支援目標を設定するとともに、実施・達成状況を把握・検証・公表し対策を進める。この取組により、耐震改修に係る補助金率、限度額の引き上げになることから、前年度と比較して耐震改修実施件数が増加した。
平成30年3月に改定した大町市耐震改修促進計画では、令和2年度における住宅の耐震化率の目標を90%としている。現在、耐震改修を必要とする住宅は約2,400戸で、耐震化率は、耐震性を有する住宅と合わせると、約77%と推計する。
- ・ 地域防災計画で指定している指定緊急避難場所は94箇所、うち民間又は地縁団体等が所有する集会所等は89箇所である。この内、昭和56年以前の旧耐震基準により建築された施設は27か所で、建替え計画があるなどの理由により、耐震診断を希望しない5か所を除いた22か所について、平成29年度までに耐震診断を実施した。耐震診断を実施した全ての施設において、耐震性が劣っていることから、今後、所有者等と耐震改修に向けた協議、意向確認をしていく。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	207
担 当 課	建設水道 部	建設 課	建築住宅 係	款	8	土木費				
事 務 事 業 名	住宅性能向上リフォーム支援事業					項	4	都市計画費		
						目	4	建築費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁			89	
施 策 目 標	快適な生活環境の形成					前年度評価 方向性			継続	
施 策 項 目	住宅環境の向上									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	市民が施工業者に依頼して行う住宅リフォーム工事に要する費用に対し、補助金を交付する。	意 図	・住宅の性能向上を図るリフォーム工事を支援することで、良質な住宅ストックの形成、定住促進を図る。 ・住宅の性能向上を図るリフォーム工事を支援することで、市内経済の活性化に寄与する。
-------	----	--	-----	---

事業の内容	・交付状況（補助率：20%、限度額：200千円、性能向上の類型：省エネルギー型、防災型、環境負荷低減型） - リフォーム件数：172件 - 補助金交付額：29,342千円				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	29,005,000	29,511,000	29,342,000	-169,000	-0.6%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	29,005,000	29,511,000	29,342,000	-169,000	-0.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
30,000,000	0			30,000,000	29,342,000	
不用額	特定財源	細節名				
658,000	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
○ 市ホームページ、広報誌（4月1日号）による事業案内

◆ 事業の成果

年度	交付件数	交付額累計	平均交付額	補助対象額累計	平均対象額	効果倍率	受付終了日
H27	172 件	30,012 千円	174,488 円	206,503,889 円	1,200,604 円	6.88 倍	H27.8.21
H28	171 件	29,521 千円	172,637 円	225,599,550 円	1,319,295 円	7.64 倍	H28.8.9
H29	168 件	29,005 千円	172,648 円	203,453,478 円	1,211,032 円	7.01 倍	H29.7.10
H30	173 件	29,511 千円	170,583 円	214,205,395 円	1,238,181 円	7.26 倍	H30.8.29
R元	172 件	29,342 千円	170,593 円	233,593,284 円	1,358,100 円	7.96 倍	通年
計	856 件	147,391 千円	172,185 円	1,083,355,596 円	1,265,602 円	7.35 倍	

○ 住宅性能向上リフォーム支援事業類型別状況

種別	主たる工事内容	H27	H28	H29	H30	R元	合計	割合（％）	
省エネ型	断熱材の敷設等の断熱化	9	15	6	9	12	51	6.0	85.3
	屋根・壁の葺き替え・塗装工事（断熱性・遮熱性向上）	56	62	71	51	54	294	34.3	
	窓・ガラスの断熱化	29	25	8	12	16	90	10.5	
	高効率給湯器等の設置	13	11	12	19	14	69	8.1	
	高断熱浴槽の設置	25	17	37	35	33	147	17.2	
	節水型洋式トイレ等の設置	13	14	9	15	19	70	8.2	
	まきストーブ、ソーラー発電、暖房ボイラーの設置		1	2		6	9	1.1	
防災型	壁・柱・基礎等の補強工事		2				2	0.2	2.2
	屋根の葺き替え（防災瓦・軽量化）	5	2	2	3		12	1.4	
	防火対策工事		1				1	0.1	
	落雪防止対策工事	3	1				4	0.5	
環境負荷低減型	下水道接続及び下水道接続に伴う設備改修工事	11	19	15	24	17	86	10.0	12.5
	合併浄化槽設置に伴う水洗化及び機械設備改修工事	8	1	6	5	1	21	2.5	
計		172	171	168	173	172	856	100.0	100.0

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	209
担 当 課	建設水道 部	建設 課	建築住宅 係	款	8	土木費				
事 務 事 業 名	住宅管理費					項	5	住宅費		
						目	1	住宅管理費		
まちのテーマ	第4節_豊かな自然を守り快適に生活できるまち					前期計画登載頁		89		
施 策 目 標	快適な生活環境の形成					前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	住宅環境の向上									
個 別 計 画	大町市営住宅等整備計画									

事業の目的	対象	・市営住宅 住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸する。 ・雇用促進住宅 勤労者に住宅を賃貸する。	意図	・生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。 ・勤労者の生活及び就業の安定を図る。 ・適切な維持管理を行う。 ・市営住宅等整備計画に基づく住宅の整理統合、施設改修等を計画的に実施する。
事業の内容	・地積測量図作成業務（明野団地 大田市八坂883番地他4筆） ・市営住宅不動産鑑定評価業務（譲渡価格の設定 西平団地2戸 中村団地2戸） ・市営住宅不動産鑑定評価意見書作成業務（譲渡価格の時点修正 本村団地4戸） ・市営住宅向山団地機械設備改修工事（向山団地7棟10戸機械設備等改修 水洗化,ユニットバス,給湯設備の設置） ・市営住宅屋根塗装修繕工事（中村3戸、本村団地3戸の屋根塗装）			

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	24,849,161	68,301,897	82,036,059	13,734,162	20.1%
	財源内訳					
	特定財源	24,849,161	68,301,897	82,036,059	13,734,162	20.1%
	一般財源				0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
72,709,000	4,349,000	5,176,000		82,234,000	82,036,059	
不用額	特定財源	細節名	社会資本整備 総合交付金	公営住宅整備事業債	雇用促進住宅 (駐車場)使用料	市営住宅敷金ほか
197,941	内訳	金額	19,753,000	25,200,000	29,505,353	7,577,706

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 市営住宅西原団地機械設備改修工事概要

施工団地 向山団地7棟10戸

施工内容 全体改修 合併浄化槽（42人槽）の設置

戸別改修

屋外 ガス給湯器の設置

トイレ 洋風水洗便器、紙巻器、手すり、パイプファン設置

台所 キッチンセット(流し台,ガス台,吊戸棚,レンジフード),洗面化粧台設置

浴室 ユニットバス設置

脱衣室 洗濯用排水金具設置

工事費 44,971,200円



合併浄化槽の設置



キッチンセットの設置



ユニットバスの設置



給湯器の設置



水洗便器の設置



洗面化粧台の設置

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	211
担当課	総務部 消防防災課	消防防災係 款 9	消防費
事務事業名	消防団運営経費	項 1	消防費
		目 2	非常備消防費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち	前期計画登載頁	76
施策目標	市民生活の安全の確保	前年度評価 方向性	継続
施策項目	災害に対する市民生活の安全の確保		
個別計画			

事業の目的	対象	地域防災力の中核的な存在である消防団員の資質向上と市民の防災意識・知識の高揚	意図	消防団員が安心して消防団活動ができるよう活動服等を貸与し、各種訓練の開催や資機材等の補充により災害対応への強化を図る。また、地域での活動を通じて、地域住民と顔の見える関係を作ること、災害時の迅速で適切な対応を図る。			
	事業の内容						
消防団		- 出水期前の水防訓練 - 操法大会、ラッパ吹奏大会 - 春と秋の住民参加型訓練や地区の防災訓練 - 消防フェスタ	- 各種訓練を通じて地域防災力の向上 - 火災現場での消火活動、台風・豪雨時の管轄地域の警戒巡視、行方不明の捜索 - 団員への補償（公務災害報償・退職報償）掛金の支払い				
決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		38,314,133	46,640,354	35,698,253	-10,942,101	-23.5%
	財源内訳	特定財源	10,422,533	20,964,650	9,922,947	-11,041,703	-52.7%
		一般財源	27,891,600	25,675,704	25,775,306	99,602	0.4%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
42,038,000	-5,264,000	0	0	36,774,000	35,698,253	0
不用額	特定財源	細節名	消防団退職報償金 支出金	公務災害損害補償金	市町村振興協会 コミュニティ助成金	
1,075,747	内訳	金額	6,692,000	2,230,947	1,000,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ポンプ操法・ラッパ吹奏大会

- ・大北大会 白馬村（ポンプ車操法の部：優勝、ラッパ吹奏の部：優勝）
- ・県大会 飯田市（ポンプ車操法の部：4位、ラッパ吹奏の部：9位）



○消防団装備品の充実強化

- ・低水位ストレーナー 15台配備



○消防フェスタの開催

来場者数 約5,000人

- ・消防団が実行委員会を組織し開催
- ・救護、救出、放水などの体験で参加者の防災意識や知識の高揚が図れた。
- ・地域住民との触れ合いにより顔の見える関係と消防団活動への理解を高められた。
- ・子供たちと触れ合うことで、将来、消防団へ加入しやすい環境を醸成した。



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	213
担 当 課	総務 部	消防防災 課	消防防災 係	款	9	消防費			
事 務 事 業 名	消防施設整備事業					項	1	消防費	
						目	3	消防施設費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち					前期計画登載頁		75	
施 策 目 標	市民生活の安全の確保					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	災害に対する市民生活の安全の確保								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	・市内の消防施設及び消防団車両、防火水槽等を計画的に配備、更新 ・火災等災害時には、素早い初期対応が可能な状況を維持することにより地域防災力の向上を目的とする。	意 図	・消防団が災害時に迅速な消防活動が展開できるよう、消防施設の適正な管理及び耐震化を推進する
-------	----	---	-----	---

事業の内容	・消防施設の耐震化、不要な施設の解体・撤去 ・消防団車両の更新					
-------	--	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	24,444,270	20,265,670	28,546,085	8,280,415	40.9%
	財源内訳					
	特定財源	14,900,000	17,700,000	24,300,000	6,600,000	37.3%
	一般財源	9,544,270	2,565,670	4,246,085	1,680,415	65.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
29,912,000	0	0	264,000	30,176,000	28,546,085	0
不用額	特定 財源	細節名	過疎対策事業債	北アルプス山麓仁科 の里整備基金繰入金		
1,629,915	内訳	金額	17,800,000	6,500,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○消防団車両の更新

- ・20年を目途に消防団車両の更新を進めている中で、第5分団第1部（9号車）ポンプ車を更新。



○消防団施設の改廃等

- ・清水積載車庫を改築
- ・消防団器具置場の状態を把握、統廃合について協議

◆ 前年からの改善点等

- ・清水積載車庫の改築により、長畑器具置場を撤去し統合することとした。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	215
担 当 課	総務 部	消防防災 課	消防防災 係	款 9				消防費		
事 務 事 業 名	防災対策一般経費				項 1				消防費	
					目 5				防災費	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁			75・76		
施 策 目 標	市民生活の安全の確保				前年度評価 方向性			継続		
施 策 項 目	災害に対する市民生活の安全の確保									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	・地域のことは地域で守ることを基本に、自治会等での資機材購入等について補助を実施し、地域防災組織の強化を図る。 ・周辺住民に悪影響を及ぼす恐れのある危険な空家の改善を図る。	意 図	・災害時に必要となる資機材の確保と、自主防災組織への補助により地域防災力を強化 ・危険空家等の解消
-------	----	---	-----	--

事業の内容	・自主防災組織への補助（資機材補助・運営費補助） ・情報伝達手段の確保（衛星携帯電話・行政無線電波利用料） ・危険空家等の所有者等へ適正な管理のお願い ・特措法に基づく特定空家等への措置（助言、指導、勧告、命令、代執行）
-------	---

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	4,174,526	4,316,445	4,292,997	-23,448	-0.5%
	財源内訳					
	特定財源	521,946	552,247	469,868	-82,379	-14.9%
	一般財源	3,652,580	3,764,198	3,823,129	58,931	1.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,177,000	-1,100,000	0	40,000	6,117,000	4,292,997	0
不用額	特定財源	細節名	自動販売機 売上電気料金			
1,824,003	内訳	金額	469,868			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○空家等対策

- ・危険空家の報告（4件）
- ・報告案件の状況調査
- ・特定空家等認定案件（4件）の取組
- ・危険空家等所有者と接触、適正な管理のお願い

◆ 事業の成果

○危険空家等

- ・危険空家等報告件数 73件（R1 4件）
- ・危険空家等解体 15件（R1 3件）
- ・危険空家等売却 2件
- ・危険空家等排除 1件（R1 2件）
- ・危険空家等解体中 1件（R1 1件）
- ・特定空家等に認定され、所有者が判明している3件のうち、2件が解体・撤去、1件が解体中

◆ 前年からの改善点等

- ・特定空家に認定した4件のうち、所有者が判明している3件を重点的に助言・指導にあたった結果、2件が解体・撤去、1件が解体中である。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	217
担 当 課		総務 部	消防防災 課		消防防災 係		款	9	消防費	
事 務 事 業 名		防災施設整備事業						項	1	消防費
								目	5	防災費
まちのテーマ		第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		75
施 策 目 標		市民生活の安全の確保						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		災害に対する市民生活の安全の確保								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	・防災無線の整備促進 ・防災備蓄物資・資機材の充実	意図	・消費（使用）期限を過ぎた備蓄物資の更新 ・防災資機材の強化 ・防災無線の適正な管理により正常な状態を保つ
-------	----	--	----	---

事業の内容	・消費（使用）期限を過ぎた備蓄物資の更新 ・災害対応に必要な資機材の購入及び備蓄 ・防災無線の適正な管理
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	7,834,293	9,406,229	5,724,055	-3,682,174	-39.1%
	財源内訳					
	特定財源		5,000,000		-5,000,000	皆減
	一般財源	7,834,293	4,406,229	5,724,055	1,317,826	29.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
5,958,000	0	0	0	5,958,000	5,724,055	0
不用額	特定 財源	細節名				
233,945	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○防災資機材

- ・スタンドライトセット（2台）
- ・高圧洗浄機（3台）
- ・ジャンプスターター（6台）

○保守点検

- ・同報系防災行政無線保守管理

○防災備蓄物資

- ・ビスコ、カロリーメイト等期限切れに伴う購入
- ・冰糖

◆ 前年からの改善点等

- ・長期間保存可能な保存食への切り替えをさらに進めた
（カロリーメイト3年→エマージェンシークッキー7年）
- ・アレルギー対応食に一部切り替え
（カロリーメイト→エマージェンシークッキー）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	219
担当課	教育委員会 部	学校教育 課	庶務 係 款 10
事務事業名	奨学金事業	項 1	教育総務費
		目 2	事務局費
まちのテーマ	第1節 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち	前期計画登載頁	38
施策目標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成	前年度評価 方向性	継続
施策項目	教育環境の整備		
個別計画			

事業の目的	対象	高等学校や大学等に在学する者で、学力があるにもかかわらず経済的な理由によって就学が困難な者	意図	就学の機会の確保及び経済的な支援
-------	----	---	----	------------------

事業の内容	- 貸与額：高等学校等 月15,000円以内、大学等 月30,000円以内 - 貸与期間：学校における正規の就学期間以内 - 利息：無利息 - 償還期間：卒業6か月後から、貸与期間の2倍の期間内。なお、特別奨学金貸与者は貸与を受けた期間の倍の期間継続して市内に居住した場合は償還免除。
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	360,000	1,440,000	1,080,000	-360,000	-25.0%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	360,000	1,440,000	1,080,000	-360,000	-25.0%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,520,000	0	0	-286,000	2,234,000	1,080,000	0
不用額	特定 財源	細節名				
1,154,000	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 情報提供

- ① 市広報紙
 - ・ 毎年6月号に掲載
- ② 市ホームページ
 - ・ 常設
- ③ 暮らしのガイドブック掲載
 - ・ 各戸配布、市ホームページ常設

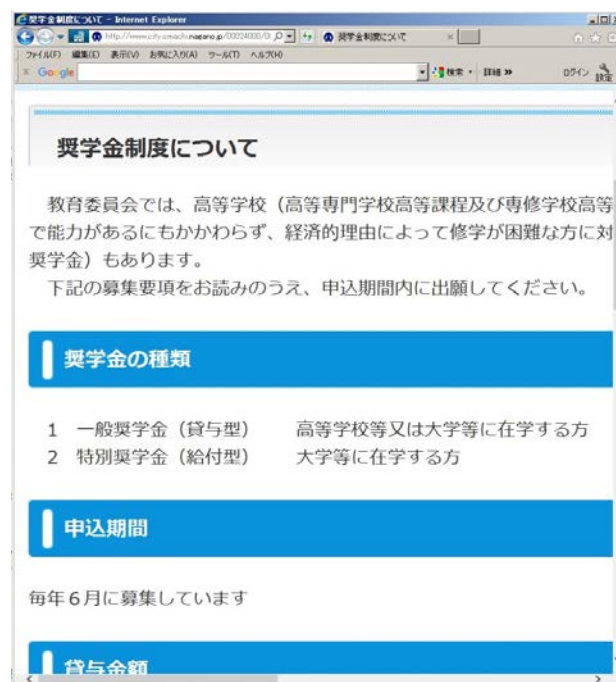
◆ 事業の成果

○ 令和元年度奨学金利用状況

- ① 新規貸付現況
 - ・ 一般奨学金（貸与型）：1件
 - ② 継続貸付現況
 - ・ 特別奨学金（給付型）：2件（2年目）
 - ③ 償還現況
 - ・ 償還件数：7件
- ※元年度で1件償還完了

◆ 前年からの改善点等

経済的な理由によって修学をあきらめることのないよう、制度の情報提供に努める。



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		221	
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課		八坂公民館 係		款	10	教育費		
事 務 事 業 名		山村留学支援事業							項	1	教育総務費	
									目	2	事務局費	
ま ち の テ ー マ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		39	
施 策 目 標		心豊かにたくましく生きる子どもの育成							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		地域で育む教育の推進										
個 別 計 画												

事業の目的	対象	・公益財団法人育てる会 ・大町市八坂美麻山村留学推進協議会	意 図	山村留学生の積極的な受け入れにより、複式学級の回避を図るほか、多方面で教育効果の向上に努め、地元小中学生と留学生相互の健全な成長を助長する。また、保護者や地域と都市住民との交流を促進し、地域の活性化につなげる。
-------	----	--	-----	---

事業の内容	・山村留学事業主体の「公益財団法人育てる会」への補助金交付 ・山村留学生受入農家への助成金交付 ・旧市内小学生の「夏休み農山村交流体験活動」（短期山村留学）への参加助成
-------	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	20,050,000	20,050,000	20,340,000	290,000	1.4%
	財源内訳					
	特定財源	15,605,000	17,545,000	14,840,000	-2,705,000	-15.4%
	一般財源	4,445,000	2,505,000	5,500,000	2,995,000	119.6%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,340,000	0	0	0	20,340,000	20,340,000	0
不用額	特定 財源	細節名	過疎対策事業債	ふるさと応援基金 繰入金		
0	内訳	金額	14,000,000	840,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○（公財）育てる会への支援

- ・補助金 15,500,000円
- ・山村留学児童生徒人数 30名
【内訳】
八坂小学校：13名 八坂中学校：7名
美麻小：4名 中学校：6名
- ・長期山村留学等農山村交流体験事業活動補助



山村留学生

○八坂・美麻山村留学推進協議会への支援

- ・補助金 4,840,000円
- ・受入農家戸数 8戸
【内訳】
八坂地区：5戸
美麻地区：3戸
- ・受入農家支援、地元児童への体験活動助成



地域、育てる会合同スキー交流会

◆ 前年度からの改善点

- ・山村留学の理解を深めるため、地区内全戸に現状と必要性、受入れ農家の魅力等を記載したパンフレットを配布した。
- ・山村留学生との交流を深めるため、（公財）育てる会が実施しているスキー教室に地元の小中学生も参加した。
- ・山村留学を終了する留学生が留学の記念となるよう新たに記念プレートを作成し配布した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	221
担 当 課	教育委員会	部	学校教育	課	学校教育	係	款	10	教育費	
事 務 事 業 名	コミュニティスクール推進事業							項	1	教育総務費
								目	2	事務局費
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		35
施 策 目 標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成							前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	地域とともにある学校づくり									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	保護者及び地域住民等が学校に参画することによる学校教育の充実を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。	意図	学校と地域住民等が共に地域の課題や目標、ビジョンを共有し、地域住民等が積極的に学校運営に参画できる環境を構築し、地域の声を学校運営に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進する。
-------	----	--	----	--

事業の内容	- 学校運営協議会・学校運営委員会の開催。 - 学校支援コーディネーターの配置。 〃 会議における研修と情報共有。 - コミュニティ通信とによる情報発信。
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	1,101,270	1,207,355	1,876,767	669,412	55.4%
	財源内訳	特定財源	65,000		0	-
		一般財源	1,036,270	1,207,355	1,876,767	669,412 55.4%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,637,000				2,637,000	1,876,767	
不用額	特定 財源	細節名				
760,233	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 学校運営協議会
（美麻小中3回、八坂小中：4回）
 - 学校運営委員会
（一中3回、仁中3回、東小3回、西小2回、南小4回、北小3回）
 - 学校支援コーディネーター活動・会議・研修
活動（一中：122.25h、仁中：22h、美麻小中：241h、東小：127.5h、北小：86.5h）
研修会議 1回

- ◆ 事業の成果
 - 学校運営協議会又は学校運営委員会の開催
 - 学校支援ボランティアによる各種活動（学校支援）の実施
 - 地域・保護者の参画

- ◆ 前年からの改善点等
 - 文部科学省が進める法律に基づく学校運営協議会制度へ市内全校が移行し、いわゆる信州型の「学校支援」の形態から文科省型の地域との「連携・協働」によるコミュニティ・スクールへ令和2年度から移行する。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	221
担 当 課	教育委員会	部	学校教育	課	学校教育	係	款	10	教育費	
事 務 事 業 名	ＩＣＴ活用推進事業						項	1	教育総務費	
							目	2	事務局費	
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		36	
施 策 目 標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	時代の変化に対応した教育の推進									
個 別 計 画										

事業の目的	対象	社会の情報化の進展に対応できるよう、児童生徒の情報モラルを含む基礎的な情報活用能力を育成する。	意図	ICTを有効に活用した教科等横断的な授業を進め、新学習指導要領に基づいた学習の基盤となる資質・能力を育成する。
-------	----	---	----	---

事業の内容	・情報教育研究委員会におけるＩＣＴを活用した授業研究。 ・デジタル教科書の活用。 ・クラウドを活用したドリル学習等。 ・ＩＣＴを活用した授業を円滑に進めるためのＩＣＴ支援員の配置。			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	4,597,789	6,861,515	8,252,813	1,391,298	20.3%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	4,597,789	6,861,515	8,252,813	1,391,298	20.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,528,000				8,528,000	8,252,813	
不用額	特定 財源	細節名				
275,187	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - ＩＣＴ活用支援員による授業支援（4名・1,264h）
 - デジタル教科書を用いたＩＣＴ教育の実践（中学：数学・理科・英語、小学：算数・社会）
 - ＩＣＴを効果的に活用する指導方法の研究と実践（研究会2回、研修会1回）
 - プログラミングを体験しながら論理的思考を身に付けるための学習活動
 - 「きらりおおまちサンبران」と家庭におけるインターネット利用に関するリーフレットの配布

- ◆ 事業の成果
 - 臨時休業中において、インターネットを活用して家庭学習を進めることができた



- ◆ 前年からの改善点等
 - 学習活動におけるクラウドサービスの活用（ドリル教材導入）

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	221		
担 当 課		教育委員会 部		学校教育 課		庶務 係		款	10	教育費		
事 務 事 業 名		学校現場業務改善加速事業						項	1	教育総務費		
								目	2	事務局費		
ま ち の テ ー マ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		35		
施 策 目 標		心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目		基礎的な学力・体力の向上										
個 別 計 画												
事業の目的	対象	教職員の長時間勤務を解消する働き方改善				意 図	勤務時間の現状把握及び出退勤管理による勤務時間の見える化や、部活動指導と学校徴収金会計業務の負担軽減を重点課題として、教職員が「誇り」「やりがい」「使命感」をもって子どもと向き合う環境を整える。					
事業の内容	①勤務実態の分析 ②業務の縮減、分業化、協業化、効率化、情報化 ③業務環境の改善 ④事業周知・研修 ⑤大町市小中学校業務改善ポリシーによる評価											
決算数値（単位：円）												
事業費	年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		前年差額		増減率	
	総事業費（決算額）		5,683,168		2,555,298		2,716,470		161,172		6.3%	
	財源内訳	特定財源		5,400,000		2,200,000		2,662,000		462,000		21.0%
		一般財源		283,168		355,298		54,470		-300,828		-84.7%
令和元年度当初予算額		補正予算額		繰越事業費繰越額		予備費支出及び流用増減		計		支出済額		翌年度繰越額
2,169,000		662,000		0		0		2,831,000		2,716,470		0
不用額		特定財源	細節名	学校現場業務改善加速事業委託金								
114,530		内訳	金額	2,662,000								

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- ①勤務実態の分析
 - ・勤務時間管理システムによる年間を通しての勤務時間調査と分析
- ②業務の縮減、分業化、協業化、効率化、情報化
 - ・総合型地域スポーツクラブの設立に向け、学校の枠を超えた部活動の合同練習に向けた環境整備、競技ごとのクラブ化の推進
 - ・部活動指導員等の指導による運用 ・県共通仕様の統合型校務支援システムの大北地域への普及
 - ・市教育委員会事務局内で、学校徴収金を徴収及び管理するシステムの構築
 - ・給食費公会計の運用 ・給食費以外の学校徴収金業務の負担軽減についての研究
 - ・市依頼事業の縮減 ・学校における業務内容の見直し・改善の推進
- ③業務環境の改善
 - ・学校閉庁日の設定、時間外の留守番電話対応の実施
- ④事業周知・研修
 - ・統合型校務支援システム導入に向けての研修
- ⑤大町市小中学校業務改善ポリシーによる評価
 - ・評価指標の策定と評価 ・業務改善の成果と検証

◆ 事業の成果

- ・教職員の勤務時間への意識が高まった。
- ・一部競技の地域スポーツクラブ指導による合同練習の開始及び、2中学校における4部活動での部活動指導員による指導開始で、部活動顧問の負担軽減。
- ・給食費公会計化による業務の軽減 ・校務支援システムの利便性の向上
- ・学校閉庁日（リフレッシュウィーク）を、夏休み、冬休みで実施。
- ・勤務時間外の留守番電話対応の実施。
- ・昨年度に比べ、小学校の時間外勤務時間の縮減は10.99%、中学校では、9.8%縮減。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	225
担 当 課		教育委員会 部		学校教育 課	学校教育 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名		小学校教育振興一般経費						項	2	小学校費
								目	2	小学校教育振興費
まちのテーマ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		36
施 策 目 標		心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	児童の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある児童への支援体制の確立、児童の情報活用基礎能力の習得など時代の変化に対応した教育の推進、さらに不登校等の悩みを抱える児童への支援など豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する。	意 図	新しい学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。
-------	----	---	-----	---

事業の内容	学校医、特別支援員教育補助指導員、登校支援補助指導員（心の教室相談員）及び図書館司書の配置、教育教材用品及び教育用情報機器の整備。					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	68,017,653	64,296,286	81,326,700	17,030,414	26.5%
	財源内訳					
	特定財源	2,450,000	35,445,000	1,448,000	-33,997,000	-95.9%
	一般財源	65,567,653	28,851,286	79,878,700	51,027,414	176.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
86,611,000			-84,400	86,526,600	81,326,700	
不用額	特定財源	細節名	理科教育整備等補助金	ふるさと応援基金 繰入金		
5,199,900	内訳	金額	448,000	1,000,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- 特別支援員、教育補助指導員、登校支援補助指導員等を配置し、増加傾向にある障がい等様々な課題を抱えている児童の教育環境を確保し、学校生活を支える。
 - 国際化社会に対応できる人を育てるため、ALTを派遣して英語活動を実施する。
 - 知識を詰め込むだけでなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積くことによって「生きる力」を育む。

◆ 事業の成果

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	229
担 当 課		教育委員会 部		学校教育 課	学校教育 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名		中学校教育振興一般経費						項	3	中学校費
								目	2	中学校教育振興費
まちのテーマ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		36
施 策 目 標		心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		多様な教育的ニーズのある子どもたちへの支援								
個 別 計 画										

事業の目的	生徒の基礎学力の定着と学力・体力の向上、多様な教育的ニーズのある生徒への支援体制の確立、生徒の情報活用基礎能力の習得など時代の変化に対応した教育の推進、さらに不登校生徒の学校復帰に向けた指導援助等による豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する。	新しい学習指導要領の「生きる力」を育むという理念のもと、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などの育成に向けた取り組みを進める。
-------	---	--

事業の内容	学校医、外国人英語指導助手、特別支援員教育補助指導員、登校支援補助指導員（心の教室相談員）及び図書館司書の配置、教育教材用品及び教育用情報機器の整備及び中間教室の運営。
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	58,752,045	51,257,517	61,474,401	10,216,884	19.9%
	財源内訳					
	特定財源	2,675,000	36,318,000	2,251,300	-34,066,700	-93.8%
	一般財源	56,077,045	14,939,517	59,223,101	44,283,584	296.4%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
65,363,000			-105,000	65,258,000	61,474,401	
不用額	特定財源	細節名	理科教育設備費等 補助金	部活動指導員配置事 業補助金	ふるさと応援基金 繰入金	
3,783,599	内訳	金額	673,300	578,000	1,000,000	

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○特別支援員、教育補助指導員、登校支援補助指導員等を配置し、増加傾向にある中1ギャップなどによる不登校傾向の生徒をはじめ様々な課題を抱えている生徒達の教育環境を確保し、学校生活を支える。

○A L Tによるネイティブな外国語の授業により、国際化に対応した深い学びの実践。

○知識を詰め込むだけでなく、野外学習や社会科見学等を通じ様々な体験を積むことによって「生きる力」を育む。

◆ 事業の成果

令和元年度 主要な施策の成果説明書

担 当 課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	款	10	教育費
事 務 事 業 名	エネルギー博物館運営費助成事業			項	4	社会教育費
				目	1	社会教育総務費
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち			前期計画登載頁		41
施 策 目 標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供			前年度評価 方向性		やり方 改善
施 策 項 目	自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築					
個 別 計 画	第7期社会教育計画					

事業の目的	対象	エネルギー博物館の運営費助成	意図	生きがいに満ちた生涯学習社会の推進、様々な学びの場の確保のため、エネルギーを中心とした理論・技術等に関し、多面的な考察により様々な事業展開をしているエネルギー博物館の社会教育施設としての安定した運営維持を図る。
-------	----	----------------	----	---

事業の内容	経常経費分と修繕工事等臨時的経費分の補助		
-------	----------------------	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	12,543,000	13,013,000	12,684,000	-329,000	-2.5%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	12,543,000	13,013,000	12,684,000	-329,000 -2.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
				0		
不用額	特定 財源	細節名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動	○大町エネルギー博物館は、近隣では珍しいエネルギーを中心とした博物館であり、理論・技術等に関して多面的な考察を行い、展示・体験・解説などを通じて入館者の科学的思考を喚起し、科学や技術全般に対する理解を深めることを目的として事業を展開している。いつでも、どこでも、誰もが、様々な分野において、学ぶことが出来る環境整備を行うため、エネルギー博物館の運営費に対し補助することで、社会教育施設として安定した運営維持を図る。 ○参考／エネルギー博物館の主な事業 ・北アルプスと気象と山岳環境コーナー更新 ・トロリーバス集電装置展示 ・トヨタプリウスPHVカットモデル展示 ・大町少年少女発明クラブ（19回開催） ・日本宇宙少年団北アルプス大町分団活動（4回開催） ・本間利也ライブinプラネタリウム（5回開催） ・「大町の地下水」講演会（6回開催） ・星まつり など					
◆ 事業の成果	○令和元年度の入館者は、7,401人で前年度の8,122人から721人、8.9%の減となった。社会教育施設として性格性を重んじながらも運営団体は独立した法人のため、独立した運営が出来るよう支援していく。					
◆ 前年からの改善点等	○エネルギー博物館と協力し助言を行いながら、社会教育施設として安定した運営が行えるよう積極的な支援の実施。新たにトヨタ自動車から県内で初めてとなる現行型プリウスPHVのカットモデルの展示公開や、「北アルプスの気象と山岳環境シリーズ」の展示内容を更新するなど、環境問題や新エネルギーに関する企画・展示の充実が図られた。					

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	233
担 当 課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係	款	10	教育費			
事 務 事 業 名	公民館分館整備助成事業					項	4	社会教育費	
						目	1	社会教育総務費	
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち					前期計画登載頁		41	
施 策 目 標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供					前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	社会教育の充実と活性化								
個 別 計 画	第7期社会教育計画								

事業の目的	対象	公民館分館及び地域集会施設の施設整備等に対する補助	意図	地域の拠点となる公民館分館や集会施設の施設整備に対する補助を行うことにより、環境整備が図られ生涯学習活動の拠点とし、自治活動の活発化を図る。
-------	----	---------------------------	----	--

事業の内容	施設の改修・改築などにの費用に対し、事業費の1／3を補助（上限あり）				
-------	------------------------------------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	1,626,000	828,000	6,090,000	5,262,000	635.5%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	1,626,000	828,000	6,090,000	5,262,000 635.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額		繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
					0		
不用額	特定 財源	細節名					
0	内訳	金額					

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○清水原村集会所改修工事（補助額1,044,000円）

○旭町公民館全面改築工事（補助額5,046,000円）

◆ 事業の成果

地区の活動拠点となる集会所が整備されることにより、生涯学習活動の拠点として、また、その地区の活動の継続・発展が見込まれる。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	233
担当課	教育委員会 部	生涯学習 課	生涯学習・青少年 係
事務事業名	生涯学習推進事業	項	4
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち	目	1
施策目標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供	前期計画登載頁	41
施策項目	自由に学び成果を生かせる学習環境の整備と連携体制の構築	前年度評価方向性	継続
個別計画	第4次大町市生涯学習推進プラン		

事業の目的	一人一人が自ら生きがいを持ち、主体的に心豊かな人生を歩むため、生涯学習社会の推進を図る。	意図	その生涯にわたってあらゆる機会、あらゆる場所において、学習することができる環境の整備とともに、その主体的な学びの成果を地域に生かし、還元できる生涯学習社会の推進。
-------	--	----	---

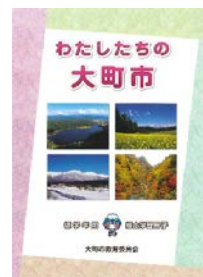
事業の内容	生涯学習に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための大町市生涯学習推進本部を設置し、公民館などの社会教育施設における各種取り組みの推進だけでなく、生涯学習社会の推進を図るため、生涯学習推進プランに基づき、関係部署における全市的な取り組みの進捗管理の実施。また、生涯学習・青少年係としては、生涯学習推進本部事務局のほか、リーダーバンク制度の推進、職員出張講座、「がったつうしん」の発行、郷土冊子の作成をしている。
-------	--

決算数値（単位：円）	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	総事業費（決算額）	807,326	24,789	796,835	772,046	3114.5%
財源内訳	特定財源			4,800	4,800	皆増
	一般財源	807,326	24,789	792,035	767,246	3095.1%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
				0		
不用額	特定財源	細節名	郷土学習冊子販売代金			
0	内訳	金額	4,800			

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
- 大町市生涯学習推進本部の事務局として生涯学習推進プランに基づく全市的な取り組みの把握＜生涯学習・青少年係としての取り組み＞
- ・「がったつうしん」の年4回（1,800部）の発行。夏休み特別号（各戸配布）の発行
 - ・リーダーバンク登録18団体・62人
 - ・職員出張講座利用数102件・4,402人
 - ・郷土学習冊子「きのう・きょう・あした」を新4年生へ配布
 - ・低学年用郷土学習冊子「わたしたちの大町市」作成
- 郷土学習冊子
「がったつうしん」
- 郷土学習冊子
「きのう・きょう・あした」
- 低学年用郷土学習冊子
「わたしたちの大町市」



- ◆ 事業の成果
- 生涯学習という概念は、個人の生きがいや教養・趣味・レクリエーション活動等に関する主体的な学習だけでなく、市民一人一人が地域と関わり、地域課題、生活課題の解決に向けて一体となった「学びの絆」や、その学びの成果を地域に還元する「学びの循環」が重要となってきた。その一方、ネットを介した学びや個としての趣味づくりが多くなってきているため「学びの絆」「学びの循環」の大切さについて、粘り強く啓発を続けていく。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	233		
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課		人権教育 係		款	10	教育費		
事 務 事 業 名		人権教育推進事業							項	4	社会教育費	
									目	1	社会教育総務費	
まちのテーマ		第5節_市民の参画と協働でつくるまち							前期計画登載頁		95	
施 策 目 標		多様性に満ちた共生社会の実現							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		人権教育・啓発の推進										
個 別 計 画		大田市人権教育及び人権啓発に関する基本方針										

事業の目的	対象	全市民（地域、学校、企業）	意 図	人権教育を通じて市民一人ひとりが人権問題を自分自身の問題としてとらえ、学校、地域、職場、企業が一体となった人権教育に総合的に取り組むことが出来るよう、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にした人権教育の推進を図る。	
-------	----	---------------	-----	---	--

事業の内容	・人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会の研修 ・学校人権教育研究委員会による各学校での活動、人権教育指定校の公開授業（2校）の開催 ・市内6地区での人権を考える市民の集いの開催 ・人権作品集「ヒューマンライツ」の作成及び作品集を使った啓発事業 ・市内小中高の実践記録の作成				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	4,103,404	3,910,094	3,813,298	-96,796	-2.5%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	4,103,404	3,910,094	3,813,298	-96,796 -2.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,012,000				4,012,000	3,813,298	
不用額	特定 財源	細部名				
198,702	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

（１）学校人権教育

- ①市内小中学校のうち指定校2校による人権教育研究、実践の促進
- ②市内幼保小中学校の教職員研修会の実施
 - ・教職員研修会の開催 5/20 「手話で自己紹介・挨拶をしよう。」 20人参加
 - ・公開授業 11/13 2校（東小42人、仁中50人参加）
- ③各学校ごとの人権教育講演会等の実施（東小、一中）
- ④人権教育作品集（作文、ポスター）募集、作品展示
 - ・作文ポスター作品集「ヒューマンライツ 42号」2月発行 作文51点、ポスター43点
- ⑤学校人権教育実践録の発行（2月下旬）

【課題】 小学校中学年辺りからの、児童・生徒におけるSNSなどによる、目の届かない所での誹謗・中傷などいじめの事案が発生しており、新たな対応が迫られている。

（２）社会人権教育

- ①関係団体（人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会）に関わる研修、研修会案内
- ②3団体合同現地視察研修 10/16 浅川伯教・巧資料館、平山郁夫シルクロード美術館 17人
- ③「人権を考える市民の集い」6地区で開催

平地区（一般20人、小中学校295人）	6/14
大町地区（一般101人、小学校186人）	7/5
八坂地区（一般77人、小中学校100人）	8/27
美麻地区（一般49人、小中学校93人）	9/12
常盤地区（一般30人、小学校226人）	10/19
社地区（一般126人、小学校225人）	11/9
総計 1,528名	

④企業人権教育研修(企業人権教育推進協議会事業の推進

- ・大田市研修会、県主催セミナー、大北地区研修会、社内研修



社地区人権を考える市民の集い

(3) 人権・同和教育推進懇談会事業

①人権教育研修、交流事業の実施

- ・人権教育講演会の実施 1 / 18 32人
- ・映画会及び交流研修会 12 / 2 37人

【課題】 平成14年度の「地対財特法」の失効により、「人権教育」の課題の中での同和教育の比重が小さくなるとともに、道徳授業の特別な教科化により、副読本「あけぼの」を使っの指導も少なくなる傾向にある。教科学習との関連付け、児童生徒の実態に応じた題材設定や資料活用の工夫が必要となっている。

近年、県内では差別事案が発生したり、ネット上で差別を助長する内容が増加したりしていることを踏まえ、同和問題も大事にした人権教育を行っていく必要がある。



人権ポスター展



人権教育講演会

◆ 事業の成果

- ・「人権を考える市民の集い」は、平成27年度から会場を学校に変更し、高齢者学級やPTAの協力を得ながら地域と学校が一体となった取り組みができています。また、市民の集い参加者へのアンケート調査では、人権問題や人権課題への理解が深まり、問題・課題解決に向けた意識改革が進んでいることが把握できる。今後も様々な機会を活用し、継続して取り組む必要がある。
- ・幼少期から高校生までは、人権感覚を磨くとともに自己有用感を高めることが重要であるため、各園・校が連携して研究活動や情報交換を行い、継続した取り組みを進めている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	233
担 当 課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	款	10	教育費	
事 務 事 業 名	補導・環境浄化活動事業						項	4	社会教育費	
							目	2	青少年育成費	
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		38	
施 策 目 標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	地域で育む教育の推進									
個 別 計 画	第7期社会教育計画									

事業の目的	対象	青少年センターの補導委員と共に補導活動をおとした青少年の健全育成を図る。	意図	補導活動をおとし「青少年は地域社会から育む」という観点にたち、地域全体で青少年を育む機運の醸成を図る。
-------	----	--------------------------------------	----	---

事業の内容	青少年センターが委嘱した補導委員と共に、青少年が非行化することのないように街頭活動や、青少年を取り巻く有害環境の浄化活動を行うとともに啓発活動を実施。			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	2,843,656	2,831,465	2,765,539	-65,926	-2.3%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	2,843,656	2,831,465	2,765,539	-65,926	-2.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
				0		
不用額	特定 財源	細節名				
0	内訳	金額				

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - 補導委員数 71人
 - 街頭補導活動の実施
 - ・14班編成で約2時間の活動
 - ・実施回数56回
 - 青少年センターだより「わかくさ」の発行（年3回・各戸配布）

青少年センターだより
「わかくさ」

街頭補導・見守り



◆ 事業の成果

街頭補導活動を実施することにより非行への抑止だけでなく、いつでも子ども達を地域全体が見守っているという気運の醸成を図る役割も担っている。引き続き、補導活動を通し地域全体で青少年の健全育成に取り組む啓発活動を粘り強く続けていく。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計		決算書頁	233	
担 当 課	教育委員会	部	生涯学習	課	生涯学習・青少年	係	款	10	教育費
事 務 事 業 名	青少年育成事業						項	4	社会教育費
							目	2	青少年育成費
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		41
施 策 目 標	心豊かにたくましく生きる子どもの育成						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	地域で育む教育の推進								
個 別 計 画	第7期社会教育計画								

事業の目的	対象	地域全体による青少年の健全育成	意図	市民運動として、地域全体で青少年の健全育成に取り組むまちづくり
-------	----	-----------------	----	---------------------------------

事業の内容
市民運動として地域全体で子どもを育む機運の醸成を図るため、大田市青少年育成市民会議の事務局として各種事業を推進。春・秋の「あいさつ運動」、毎年8月に開催する「青少年育成市民大会」、地域子育てセミナー、家庭教育懇談会の開催など。
また、子ども会や育成会の活動支援として、低廉な利用料でバスを使用できる「子ども体験学習号」の運行を実施。

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	2,617,828	2,772,473	2,745,005	-27,468	-1.0%
	財源内訳					
	特定財源	24,800	45,200	43,400	-1,800	-4.0%
	一般財源	2,593,028	2,727,273	2,701,605	-25,668	-0.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
				0		
不用額	特定 財源	細節名	子ども体験学習号 利用料			
0	内訳	金額	43,400			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○子ども体験学習号

- ・申込件数 13件
- ・利用人数441人

○青少年育成市民大会

- ・開催日 8月24日（土）
- ・参加者 166人

青少年育成市民大会（全体会）

青少年育成市民大会（分科会）

あいさつ運動



◆ 事業の成果

地域全体で子どもを見守る連帯感の醸成を図るため、青少年市民大会において再確認するとともに、現在の子どもたちが抱える問題や課題を分科会において学び、意見交換し問題を共有する中で、子どもたちの健やかな成長を願う意識を地域全体で持ち続けるため、粘り強く啓発活動を継続していく。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	235
担 当 課	教育委員会 部		生涯学習 課		大町公民館 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名	大町公民館活動費						項	4	社会教育費	
							目	3	公民館費	
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		41	
施 策 目 標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	社会教育の充実と活性化									
個 別 計 画	第7期社会教育計画									

事業の目的	・公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点としての機能を発揮する。また、住民の地域における課題や思いや住民が主体的に行動する力（自治と活力）を育むことを目的とする。 ・幼児から高齢者までの幅広い年齢層を対象とする。	意図	・事業を通じて暮らしの質を高め住みよい地域をつくること。
-------	--	----	------------------------------

事業の内容	公民館分館事業助成、分館講座の開設支援、文化祭の開催、囲碁将棋の普及、講座の開設		
-------	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	2,657,441	2,307,441	2,301,066	-6,375	-0.3%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	2,657,441	2,307,441	2,301,066	-6,375	-0.3%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,620,000				2,620,000	2,301,066	
不用額	特定財源	細節名				
318,934	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○公民館講座開設

- ・外国人のための日本語講座 40回実施 延べ400人参加
- ・親子教室「すくすく広場」 16回実施 延べ832人参加
- ・菊づくり講座 6回実施 延べ100人参加
- ・歴史・哲学講座 6回実施 延べ194人参加
- ・陶芸講座（前期・後期） 8回実施 延べ48人参加

新たな生涯学習の提供、サークル活動の活性化等を図ることができた。



○体育事業

- ・大町地区市民運動会 6分館 200人参加
- ・大町地区球技大会（ソフトボール・ソフトバレーボール・マレットゴルフ） 延べ218人参加

スポーツを通じて、地域コミュニティの活性化を図ることができた。



○文化事業

- ・大町市文化祭 11/2～4日開催 延べ10,956人来場
- ・北アルプス囲碁将棋大会（夏季・新春）2回開催 延べ106人参加

普段各自・各団体で行っている生涯学習を発表する場を提供する事により、更なる生涯学習の意欲を持っていただくとともに、来場者に様々な生涯学習の実態がある事を知っていただく事により、自己の生涯学習の推進を図る事ができた。



◆ 前年からの改善点等

- ・市民運動会について、分館に属さなくても参加可能な「オープン参加」を設けた。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	237		
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課		平公民館 係		款	10	教育費		
事 務 事 業 名		平公民館活動費							項	4	社会教育費	
									目	3	公民館費	
ま ち の テ ー マ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		41	
施 策 目 標		生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		多様な分野の学習活動の充実と促進										
個 別 計 画		大町市第7期社会教育計画										

事業の目的	対象	・地域住民、自治会等 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援	意 図	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す
-------	----	---------------------------------------	-----	----------------------------

事業の内容	地域住民参加による運動会・市民スポーツ祭等の体育事業を実施。住民の関心・要望や地域課題に取り組む講座を開設。住民の自主的学習活動を支援するためにサークル体験を実施。自治会・育成会・社会福祉等の地域活動の支援およびこれらとの共催により事業を実施。			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	1,083,605	1,078,991	1,157,535	78,544	7.3%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	1,083,605	1,078,991	1,157,535	78,544	7.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,248,000				1,248,000	1,157,535	
不用額	特定 財源	細節名				
90,465	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 平地区市民スポーツ祭開催
令和元年6月2日（平運動場、B & G体育館）
 - ・平地区分館対抗ソフトボール、ソフトバレーボール大会
 - ・参加者：150名
- 平地区少年少女球技大会開催
令和元年7月13日（平公民館、B & G体育館）
 - ・平地区の小学生によるドッジボール大会
 - ・参加者：200名
- 平地区市民運動会開催
令和元年9月3日（平運動場）
 - ・平地区分館対抗運動会
 - ・参加者：400名
- 平地区マレットゴルフ大会開催
令和元年10月14日（借馬金山神社マレットゴルフ場）
 - ・平地区分館対抗マレットゴルフ大会
 - ・参加者：35名
- 平地区市民ゴルフ大会開催
令和元年10月27日（日向山高原ゴルフコース）
 - ・平地区分館対抗ゴルフ大会
 - ・参加者：36名



◆ 前年からの改善点等

公民館事業では、地元自治会の協力が必要不可欠ですが、高齢化や自治会離れがあり、分館ごとの事業が難しくなっているため、分館合同の事業を行った。
公民館講座では、夕方の仕事終わりの時間にすることで若い世代を集めた講座を実施することができた。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	239
担 当 課	教育委員会 部		生涯学習 課		常盤公民館 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名	常盤公民館活動費						項	4	社会教育費	
							目	3	公民館費	
まちのテーマ	第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		41	
施 策 目 標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	社会教育の充実と活性化									
個 別 計 画	大町市社会教育計画（第7期）、第4次大町市生涯学習推進プラン									

事業の目的	対象	地域住民が自主的にやりたい、やってみたいと思える事業を行う。利用者が利用しやすく活動しやすい生涯学習の場の提供をする。地域住民の交流の場として、事業を継続して行う。	意図	地域住民にとって最も身近な学習拠点であり、交流の場である公民館の役割を果たすため、ニーズに応じた各種講座を開催するとともに、体育事業及び文化事業を通じて地域のコミュニティ力の醸成を図る。
-------	----	--	----	---

事業の内容	①講座（親子教室「ともだち広場」、鍬の峰登山、わら細工講座ほか）、②体育事業（常盤地区球技大会、常盤地区運動会、卓球・ソフトバレーボール大会）、③文化事業（常盤囲碁・将棋・マージャン大会、サークル活動発表展示会）、④補助事業（分館事業補助金）			
-------	---	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	922,658	948,995	865,358	-83,637	-8.8%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	922,658	948,995	865,358	-83,637	-8.8%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
974,000				974,000	865,358	
不用額	特定財源	細節名				
108,642	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 第54回常盤地区運動会開催

令和元年8月25日（南小学校グラウンド）

- ・人生航路、松林マラソン、ボール送りリレー ほか
- ・参加者：約700人

○ 常盤地区球技大会開催

令和元年6月2日・9日（上ーグラウンドほか）

- ・ソフトボール、バレーボール、マレットゴルフ
- ・参加者：269人

○ 常盤公民館サークル活動発表展示会開催

令和2年2月17日～20日（常盤公民館）

- ・書道、詩、手芸、わら細工 ほか
- ・来場者：308人

○ 常盤囲碁・将棋・マージャン大会

令和2年2月16日（常盤公民館）

- ・参加者 ポン抜き（未就学児）：3人 麻雀（一般）：32人

○ 常盤卓球・ソフトバレーボール大会

令和2年3月3日（南小学校体育館、常盤公民館）

◆新型コロナウイルス感染対策により中止



- 親子教室「ともだち広場」
令和元年6月12日～令和2年2月26日（全16回）
 - ・親子のふれあいと未就園児の集団生活の学び
 - ・いもほり、クリスマス会、ハロウィン、節分の豆まき他
 - ・参加者：27組（延べ550人）



- 講座「鍬の峰にのぼろう」
令和元年5月25日（土）
 - ・参加者：15人

- 講座「布で作る押絵の干支」
令和元年10月3日～10月17日（全3回）
 - ・参加者：8人（延べ17人）

- そば打ち講座「秋の味覚、新そばを楽しもう「そば打ち教室」」
令和元年11月19日～11月29日（全4回）
 - ・参加者：11人（延べ16人）

- 「初めての庭木の剪定講座」
令和元年11月28日～12月5日（全2回）
 - ・参加者：19人（延べ33人）

- わら細工講座「円座とねこつぐら」
令和元年2月27日～3月12日（全5回）
 - ◆新型コロナウイルス感染予防対策のため中止



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	241
担 当 課	教育委員会 部		生涯学習 課		社公民館 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名	社公民館活動費						項	4	社会教育費	
							目	3	公民館費	
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		10	
施 策 目 標	生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	生涯各期における学習活動の充実									
個 別 計 画	大町市社会教育計画（第7期）									

事業の目的	対象	・地域住民、自治会等 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援	意図	公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す
-------	----	---------------------------------------	----	----------------------------

事業の内容	①講座（親子教室「なかよし広場」、花咲く書道講座ほか） ②体育事業（社地区球技大会、社地区子ども球技大会、社地区運動会、元旦マラソン） ③文化事業（社地区文化祭） ④補助事業（分館事業補助金）			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	787,283	799,325	731,432	-67,893	-8.5%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	787,283	799,325	731,432	-67,893	-8.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
988,000				988,000	731,432	
不用額	特定 財源	細節名				
256,568	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 社地区球技大会開催（社B&G、東小学校ほか）
令和元年6月2日 6月8・9日
・ソフトボール、野球、ソフトバレーボール
マレットゴルフ（雨天中止）、ゲートボール
・参加者：240人
- 社地区運動会開催
令和元年9月1日（社B&G多目的広場）
・かけっこ、みんなでジャンプ、世代交流競技、玉入れ他
・参加者：約200人
- 社地区文化祭 民俗資料館特別展
令和元年10月31日～11月4日（社公民館）
・花咲く書道、菊花展、東小学校児童画展、
社地区の蝶標本、どんぐり保育園児作品ほか
・来場者：205人
- 社地区元旦マラソン大会
令和2年1月1日（社公民館）
・参加者 192人



社地区球技大会



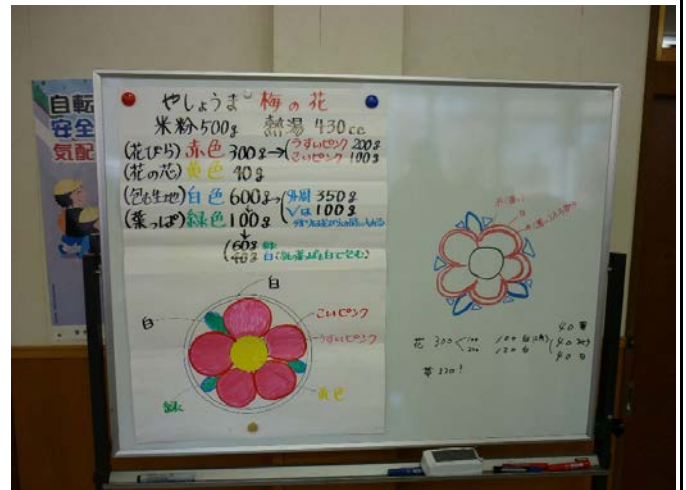
- 親子教室「なかよし広場」
令和元年5月22日～令和元年2月19日（全19回）
 - ・親子のふれあいと未就園児の集団生活の学び
 - ・さつまいも作り、プール、消防署見学、電車・バス遠足、クリスマス会ほか
 - ・参加者：18組（延べ223人）
 - ・講師：新井理栄（保育士）



- 花咲く書道講座
令和元年11月14日、21日、28日（全3回）
 - ・多くのメディアでも取り上げられ話題の花咲く書道。
 - 心を込めた言葉と彩り豊かな花の絵などを織り交ぜる花咲く書道
 - ・花咲く書道認定講師 金木千絵さん



- やしろうまづくり講座
令和2年2月19日（水）
 - ・やしろうまは、毎年春になると作られる、信州の郷土食です。
 - 大人から子どもまで親しまれている、やしろうまづくり



◆ 前年からの改善点等

- 公民館利用の活性化のため、新規の公民館講座を開設し、サークル活動を目指した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	241
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課	八坂公民館 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名		八坂公民館活動費						項	4	社会教育費
								目	3	公民館費
まちのテーマ		第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		41
施 策 目 標		生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		社会教育の充実と活性化								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	・地域住民 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援	意図	地域社会のニーズに対応した質の高い公民館事業を推進し、地域コミュニティの活性化を図るとともに、自主グループ等の育成と支援を行う。
-------	----	--	----	--

事業の内容	○体育事業（地域、小学校、保育園合同運動会、体操教室等） ○文化事業（文化祭、かるた・もちつき大会等） ○学級講座（子育て学級、高齢者学級、八坂塾等） ○その他（子ども会育成会等の団体事業支援、八坂図書館図書の貸し出し、サークル活動団体支援や分館活動事業への支援や補助金交付）
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	1,212,786	1,053,343	970,020	-83,323	-7.9%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	1,212,786	1,053,343	970,020	-83,323	-7.9%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
1,481,000	0	0	0	1,481,000	970,020	0
不用額	特定財源	細節名				
510,980	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 体育事業

- ・ 八坂地区登山（雨天のため蝶ヶ岳から京ヶ倉へ変更）
山村留学生との交流登山
開催日：令和元年7月13日
参加者：山村留学生のみ参加
- ・ お盆球技大会（ソフトボール・マレットゴルフ）
八坂地区の高校生で組織する学友会が運営する大会
開催日：令和元年8月14日
参加者：180人
- ・ 体操教室（元笑気クラブ）
八坂支所と共催
開催日：令和元年8月～10月（全6回）
参加者：延べ60人
- ・ 八坂地区ふれあい運動会
たけのこ保育園、八坂小学校、八坂地域合同の運動会
開催日：令和元年9月14日
参加者：400人



体操教室（元笑気クラブ）



八坂地区ふれあい運動会

○ 文化事業

・ 通学合宿とキャンプ

小学校5年生が山留センターに宿泊しながら学校へ通う

開催日：令和元年6月12日～16日（4泊5日）

参加者：5年生4人

・ 八坂地区文化祭

日頃の学習活動、芸能活動の発表を行う

開催日：令和元年10月26日～27日（2日間）

参加者：300人

・ 小学生とお年寄りの交流会（おやきづくり、わら細工、そば料理、茶道、干し柿）

小学生と地域のお年寄りが活動を通じて交流を行う。

開催日：令和元年11月21日

参加者：70人

・ かるたもちつき大会

保育園、小学生がもちつきとかるた取りを楽しむ

開催日：令和2年1月11日

参加者：90人



小学生とお年寄りの交流会



かるたもちつき大会

○ 学級、講座

・ 高齢者学級「高砂大学」

地域の高齢者を対象とした学習講座を年間を通じて開催

開催日：令和元年6月～12月（年9回）

参加者：延べ420人

・ 子育て学級「すこやか広場」

未就園児とその親を対象とした学習講座を年間を通じて開催

開催日：令和元年6月～2月（年8回）

参加者：延べ59人

・ 「八坂塾」料理教室、苔玉づくり、文化財巡り、そば打ち

地域の伝統文化、歴史等を学習し、伝承する

開催日：令和元年6月～11月（全9回）

参加者：延べ81人

・ 子育てセミナー

親子で行う体験を通じて子育て力向上を目指す

開催日：令和元年11月30日

参加者：59人



高砂大学



すこやか広場

◆ 前年からの改善点等

- ・ 地区内の40歳以上を対象として、日常的に運動を行うきっかけづくりの体操教室（元笑気クラブ）を6回開催した。
- ・ 山村留学生と地元の児童生徒の交流を深めるため育てる会と合同でスキー教室を実施した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	243		
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課		美麻公民館 係		款	10	教育費		
事 務 事 業 名		美麻公民館活動費							項	4	社会教育費	
									目	3	公民館費	
ま ち の テ ー マ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		41	
施 策 目 標		生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		社会教育の充実と活性化										
個 別 計 画		大町市第7期社会教育計画										

事業の目的	対象 ・地域住民、自治会等 ・住民へ生涯学習の機会の提供、地域づくりの支援	意 図	・公民館事業の充実を図り、地域づくりの拠点施設を目指す
-------	--	-----	-----------------------------

事業の内容	・体育事業：「地区、学校、保育園合同運動会・夏季球技大会・冬季スポーツ大会」 ・文化事業：「元氣アップ講座・地区文化祭、親子教室、高齢者・熟年学級、通学合宿・自然体験教室、介護予防教室共催」 ・分館事業補助
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	3,362,415	2,515,643	3,359,368	843,725	33.5%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	3,362,415	2,515,643	3,359,368	843,725	33.5%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
3,591,000				3,591,000	3,359,368	
不用額	特定 財源	細節名				
231,632	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ 体育事業

地区・学校・保育園合同運動会（美麻小中学校グラウンド）

令和元年6月1日

・参加者 400人 21種目

美麻地区夏季球技大会（美麻小中学校グラウンド他）

令和元年8月18日

・参加者 150人 2種目

○ 文化事業

木彫り教室（美麻公民館）

令和元年 7月5日～10月10日（全5回）

・参加者 延べ30人（文化祭展示作品作り兼ねて開催）

通学合宿・自然体験教室（山留センター他）

令和元年6月12日～16日 4泊5日

・参加者 美麻小中学校4・5年生 21人

高齢者、熟年学級（美麻公民館他）

令和元年6月13日～12月4日（全7回）

・参加者 延べ161人

◆ 前年からの改善点等

地区と学校が別々に行っていた運動会を、合同で開催しことで自治会役員の負担軽減になった。



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	245
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課	図書館 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名		図書資料購入事業						項	4	社会教育費
								目	4	図書館費
まちのテーマ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		41
施 策 目 標		芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		芸術文化の振興								
個 別 計 画		大田市第7期社会教育計画・第4次大田市生涯学習推進プラン								

事業の目的	対象	市民が必要とする資料を選定及び購入することにより、図書館の役割を強化し、利用者の増加や図書館活動の質的向上を図ることを目的とする。	意図	知の拠点として、住民の「知りたい」、「学びたい」に応えられるよう、求める情報をいつでも提供できる環境づくりに努め、住民が自ら調べ、考え、行動できる手助けをする。
-------	----	---	----	--

事業の内容	- 市民のニーズに適合した資料の選定及び購入 - 図書館ならではの専門的な知識を得るための資料の購入 - 図書資料の収集、整理 - 市民のリクエスト本の購入 - 資料の修理
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	8,218,617	8,307,075	8,287,486	-19,589	-0.2%
	財源内訳					
	特定財源				0	-
	一般財源	8,218,617	8,307,075	8,287,486	-19,589	-0.2%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,080,000	0	0	0	8,080,000	8,079,666	0
不用額	特定財源	細節名				
334	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

蔵書購入数 3,889冊（点）
 一般書 2,079冊
 児童書 1,182冊
 郷土資料 20冊
 雑誌 597冊
 AV資料 11点

図書購入リクエスト数 87冊

セカンドブック購入数 214冊

◆ 事業の成果

消費税率改正等により図書が実質的に値上がりする中、限られた予算の中で、住民の希望する図書の購入に努め、その結果、貸出数増加に繋がった。

◆ 前年からの改善点等

図書館の果たすべき役割として、市民の資料・情報要求に応え、生活や課題解決のための資料・情報提供を行うことである。そのため一般書から専門書までの幅広い資料収集が求められており、限られた予算の中でこれまで以上に資料の選定や蔵書の構築について、真摯に検討する中で、除籍についても、除籍基準を見直し、適正な蔵書構築に努めた。リクエスト資料については、限られた予算の中で可能な限り提供に努める立場で資料収集を行った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		247	
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課		文化会館 係		款	10	教育費		
事 務 事 業 名		文化会館公演事業							項	4	社会教育費	
									目	5	文化会館費	
ま ち の テ ー マ		第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		45	
施 策 目 標		芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		芸術文化の振興										
個 別 計 画		第7期社会教育計画										

事業の目的	対象	基本、大町市民を対象とするが、同規模の文化ホールが近隣市町村にないことから、広域的な利用についても対象とする。	意図	舞台芸術に触れる機会の少ない市民が、気軽に楽しく芸術文化に触れあうことができるよう文化会館を中心とした継続的な芸術文化活動を促進すると共に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。
-------	----	---	----	---

事業の内容	・ミュージカル、落語、クラシックコンサート、ポップスコンサート等の公演の開催。 ・市民文化芸術活動の発表の場の提供
-------	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	19,403,887	26,499,905	12,655,049	-13,844,856	-52.2%
	財源内訳					
	特定財源	5,682,592	8,380,356	1,483,149	-6,897,207	-82.3%
	一般財源	13,721,295	18,119,549	11,171,900	-6,947,649	-38.3%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
29,356,000	-14,975,000			14,381,000	12,655,049	
不用額	特定財源	細節名	文化会館入場料収入	物品販売手数料		
1,725,951	内訳	金額	661,800	821,349		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

自主事業

「おおまち寄席」ほか自主事業5事業（うち2事業新型コロナウイルス感染症対策のため中止）
 公演中止：劇団四季ファミリーミュージカル「カモメに飛ぶことを教えた猫」
 羽毛田丈史ソロコンサート

自主文化事業

市民芸術祭、「市民芸能SHOW」ほか4事業

共催事業

ベンチャーズジャパンツアーほか4事業

市芸術文化協会の活動支援・市少年少女合唱団の活動支援

◆ 前年からの改善点等

テレビ局等との共催事業を中心に据えて公演事業を展開したことにより、公演委託費の節減が図られたとともに、多くの優良公演を実施することができた。
 近隣のコミュニティFM等を活用したメディア告知を強化した。

事業の実績・成果

○自主事業

実施日	公演名称	公演委託料	入場料収入等	公演収支比率	券売数	入場者数
6月15日	おおまち寄席	648,000	522,000	80.6%	273	263
10月5日	ちっちゃなコンサート —音楽っていいな。	1,102,540	99,500	9.0%	102	102
12月8日	劇団四季「こころの劇場」 ミュージカル『はだかの王様』	—	0	0.0%	—	1,086
12月14日	大町市少年少女合唱団 定期演奏会	—	0	0.0%	—	220
3月27日	劇団四季ファミリーミュージカル 「カモメに飛ぶことを教えた猫」 【中止】	528,000	0	0.0%	—	—
3月29日	羽田丈史ソロコンサート image la plume in信濃大町 【中止】	742,500	0	0.0%	—	—

○自主文化事業「市民が主役のエンターテイメント 2019大町市民芸術祭」

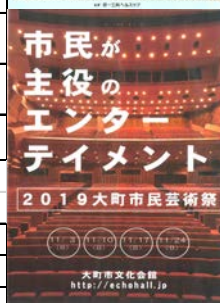
実施日	公演名称	入場者数	内 容
11月3日	市民芸能SHOW	300	市民の芸能一般 (標準舞台セット)
11月3日	日本舞踊	80	日本舞踊 (所作台舞台)
11月10日	DANCE LIVE 2019	900	バレエ、ジャズダンス、フラダンスなど (リノリウム舞台)
11月17日	Sky Blue ミュージックコンサート	350	器楽、合唱など (反響版舞台)
11月24日	信濃大町 ROCK LIVE	180	バンド (バンド照明舞台)

○共催事業

実施日	公演名称	入場者数	内 容
5月18日	劇団四季ミュージカル 観劇ツアー「キャッツ」	47	共催：(株)トラベルプラザ
7月28日	ベンチャーズ結成60周年記念 ジャパンツアー2019	555	共催：M&Iカンパニー
8月17日	舞台「家族のはなし」	814	共催：NBS長野放送 (株)ILLUMINUS
8月25日	南こうせつコンサートツアー 2019	954	共催：信濃毎日新聞社 (株)スーパーキャスト
12月21日	稲垣潤一コンサート2019	1,017	共催：SBC信越放送

○協力事業

実施日	公演名称	入場者数	内 容
6月8日	北アルプス雪形まつり	330	舞台等協力
8月4日	大町やまびこまつり	1,000	舞台技術担当が企画部会として協力
10月27日	大町市民芸術協力事業 スマイルVol8	600	クラシックバレエ・ダンスの合同発表会



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	－	
担 当 課		教育委員会 部		生涯学習 課		文化財 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名		遺跡発掘調査事業						項	4	社会教育費	
								目	6	文化財保護費	
まちのテーマ		第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		46	
施 策 目 標		芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		文化財の保護継承と活用									
個 別 計 画		大町市第7期社会教育計画									

事業の目的	対象	埋蔵文化財の保護と記録保存、出土品や遺跡の活用を図る。	意 図	埋蔵文化財の適切な保護と必要に応じた埋蔵文化財の発掘調査を実施し、記録の保存と出土品や埋蔵文化財の有効活用を図る。
-------	----	-----------------------------	-----	---

事業の内容	学術発掘調査、土木工事等に伴う試掘調査、緊急発掘調査・記録保存 発掘調査に伴う現地見学会や出土品等の展示会の開催
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	297,027	148,354	0	-148,354	皆減
	財源内訳					
	特定財源	0	0	0	0	-
	一般財源	297,027	148,354	0	-148,354	皆減

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
574,000				574,000	0	
不用額	特定 財源	細節名				
574,000	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○発掘調査

令和元年度の発掘調査案件はなかった。

○土木工事等に伴う試掘調査

工事立会いに伴う試掘調査 合計3件 24 m²

住宅新築工事2件、水路改良工事1件の試掘調査として工事立会いを行ったが、
出土遺物等は確認されなかった。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	249
担 当 課	教育委員会 部		生涯学習 課		文化財 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名	中村家住宅管理事業						項	4	社会教育費	
							目	6	文化財保護費	
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		46	
施 策 目 標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	文化財の保護継承と活用									
個 別 計 画	大町市第7期社会教育計画									

事業の目的	対象	国重要文化財建造物の保存（維持管理）と活用（公開）を進める。公開対象は、市民や観光客である。	意図	国重要文化財建造物の適切な維持管理を図るとともに、地域の貴重な文化財として一般に公開し、地域の歴史や民俗文化を学び、体験する場とする。
-------	----	--	----	---

事業の内容	毎年4月から11月までの8か月間、一般に公開するとともに、必要な維持管理を行っている。					
-------	---	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	2,127,141	2,482,786	1,992,193	-490,593	-19.8%
	財源内訳	特定財源	220,150	217,250	226,550	9,300 4.3%
		一般財源	1,906,991	2,265,536	1,765,643	-499,893 -22.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
2,279,000	23,000			2,302,000	1,992,193	
不用額	特定 財源	細節名	旧中村家住宅入館料	旧中村家住宅資料等 物品販売金		
309,807	内訳	金額	199,550	27,000		

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 重要文化財建造物公開
平成31年4月～令和元年11月
開館日数：177日
入館者数 有料 705人
免除 42人
合計 747人

美麻小中学校の体験交流授業の様子



◆ 事業の成果

地域の貴重な文化財建造物として適切に管理するとともに、一般に公開することにより、観光資源として地域振興の一助としている。また、地域の文化と民俗を体験できる場として、学校教育活動で活用するとともに、伝統行事の継承を図っている。

地域の伝統行事「巻き俵（わら）」



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計			決算書頁		251	
担 当 課		教育委員会 部		体育 課		社会体育 係		款	10	教育費			
事 務 事 業 名		体育大会運営事業							項	5	保健体育費		
									目	1	体育振興費		
まちのテーマ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		47		
施 策 目 標		芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実							前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目		スポーツの振興											
個 別 計 画		スポーツ振興計画											

事業の目的	対象	市民をはじめとする各種競技団体	意図	市民スポーツ祭を始め各種競技大会の開催や、様々な競技における全国大会等を誘致し、トップレベルの選手が参加する大会を開催する中で、市民との交流やスポーツの活性化を図る	
-------	----	-----------------	----	--	--

事業の内容	夏季・冬季市民スポーツ祭、木崎湖カップカヌー大会などの開催及びアルプスマラソン、大北スポーツ競技会、大北縦断駅伝大会、県縦断駅伝大会、おおまびょんカップサッカー大会、県高校駅伝大会等の支援（負担金支出）				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	8,712,605	5,513,720	5,474,303	-39,417	-0.7%
	財源内訳	特定財源			0	-
		一般財源	8,712,605	5,513,720	5,474,303	-39,417 -0.7%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
6,042,000				6,042,000	5,474,303	
不用額	特定財源	細節名				
567,697	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ スポーツ大会

- 市民スポーツ祭
 - ゴルフの部（5/6 参加者199名）
 - 夏季大会（6/30、7/6、7、13）16競技 参加者1,140名
 - スケート大会（暖冬により中止）
 - スキー大会（コロナにより中止）
- 木崎湖カップカヌー大会（8/18）参加者38名
- B & G 武道大会（9/22）参加者56名
- ワンバウンドふらばーるバレーボール大会（コロナにより中止）



市民スポーツ祭ソフトボール競技

○ スポーツ大会（負担金）

- 大町アルプスマラソン（10/20）参加者3,184名
- おおまびょんカップサッカー大会（8/3、4）参加12チームうち県外10チーム
- 大北スポーツ競技会（11競技）（9/22）参加者906名
- 県高校駅伝競走大会（11/2、3）男子21チーム、女子18チーム参加
- 北信越高校駅伝競走大会（11/23、24）男女30チーム参加
- 北アルプスバドミントンオープン（7/13～15）シングル81名・ダブルス30組

◆ 事業の成果

- 市民参加の「市民スポーツ祭」や全国から一般競技者が参加する「アルプスマラソン」、高校駅伝や北アルプスバドミントンオープンなどトップレベルの大会など多種多様の大会が当市で開催されたことで、市民が「する」「みる」「ささえる」スポーツの活性化を図った。



北アルプスバドミントンオープン

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	一般会計	決算書頁	253
担当課	教育委員会 部	体育課	社会体育 係
事務事業名	スポーツ振興事業	款	10
まちのテーマ	第1節 ふるさとに誇りを持つひとを育むまち	項	5
施策目標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実	目	1
施策項目	スポーツの振興	前期計画登載頁	47
個別計画	スポーツ推進計画	前年度評価方向性	継続

事業の目的	対象	市民及び競技団体	意図	市民一人ひとりが、それぞれの年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会等の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図る。
-------	----	----------	----	---

事業の内容	【スポーツ教室】運動あそび教室（巡回運動教室）、親子ふれあいスポーツ教室、小学生対象スキー教室など 【補助金・負担金】総合型地域スポーツクラブへの負担金、体育協会、スポーツ少年団への補助 スポーツ振興事業（青少年スポーツ振興、生涯スポーツ振興、指導者等人材育成、競技力向上） 【松本山雅の活用】小学校、保育園等での巡回指導、ホームタウンデー等での大町市のPRなど 【その他】JAF「夢の教室」、スポーツイベント（スポフェスおおまち）開催
-------	--

決算数値（単位：円）	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	総事業費（決算額）	10,592,245	9,998,078	9,736,047	-262,031	-2.6%
財源内訳	特定財源		216,596	427,603	211,007	97.4%
	一般財源	10,592,245	9,781,482	9,308,444	-473,038	-4.8%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
11,560,000	306,000			11,866,000	9,736,047	
不用額	特定財源	細節名	スポーツ教室参加者保険料			
2,129,953	内訳	金額	427,603			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○ スポーツ教室等

- 運動遊び教室（2クラス×15回）参加者647人
- ママさんフリータイム広場（5回）参加者102人
- ボディーバランス教室（5回）参加者95人
- 親子ふれあいスポーツ教室（6回）参加者210人
- パーソナルトレーナーによるトレーニング講座（全26回）参加者508人
- 小学生スキー教室及びママさんフリータイム広場冬は雪不足のため中止。
- ワンバウンドふらばるバレーボール教室はコロナウイルスによる中止。
- 海洋性スポーツ体験教室 参加者686人

○ JAF 夢の教室 小学生5年生（東小、西小、美麻小中） 中学生2年生（一中、仁科台中）

○ スポフェスおおまち コロナウイルスにより中止

○ 松本山雅活用事業

巡回教室（保育園8園）

ホームゲーム観戦事業

・市内小中学生26名

○ スポーツ振興事業補助金

- ・青少年スポーツ振興事業（13件）・指導者等人材育成事業（2件）
- ・競技力向上事業（1件）



ママさんフリータイム広場

◆ 事業の成果

- ・様々なスポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会等を開催することにより、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上を図った。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	255
担 当 課		教育委員会 部		体育 課	社会体育 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名		体育施設整備事業						項	5	保健体育費
								目	2	体育施設費
まちのテーマ		第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		47
施 策 目 標		芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		スポーツの振興								
個 別 計 画										

事業の目的	対象	体育施設利用者の安全確保と、施設の長寿命化を図るため。	意図	生涯スポーツの推進のため、必要な施設を整備し長寿命化を図るとともに、施設の在り方や利用率等を参考に、スクラップ&ビルドにより施設の在り方を検討し、必要な施設整備を行う。
-------	----	-----------------------------	----	--

事業の内容	H28 第二屋内運動場建設 H29 総合体育館トイレ改修、陸上競技場4種公認 H30 総合体育館音響設備更新 R元 運動公園テニスコート改修（クレーコートを砂入れ人工芝に変更）
-------	---

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	22,676,647	9,747,454	77,376,140	67,628,686	693.8%
	財源内訳					
	特定財源	4,284,000		71,600,000	71,600,000	皆増
	一般財源	18,392,647	9,747,454	5,776,140	-3,971,314	-40.7%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
98,112,000	-18,360,000		-1,060,354	78,691,646	77,376,140	
不用額	特定財源	細節名	体育施設整備事業債	スポーツ振興くじ 助成金		
1,315,506	内訳	金額	47,600,000	24,000,000		

事業の実績・成果

- ◆ 施策目標に資する活動
 - テニスコート改修工事

- ・ 運動公園テニスコート
クレーコート4面を砂入れ人工芝に改修
砂入れ人工芝4面のうち2面を改修し全6面の改修



テニスコート改修後（砂入れ人工芝）

◆ 事業の成果

- ・ クレーコートの砂入れ人工芝化に伴い雨天時の使用も可能となる。
- ・ 冬期間でも降雪・積雪がなければ利用可能となる。
- ・ 上記により通年の利用が可能となることから、利用可能日数や利用者人数増が図られ稼働率や利用率が向上する。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計			決算書頁		255	
担 当 課		教育委員会 部		学校教育 課		庶務 係		款 10		教育費			
事 務 事 業 名		おいしい給食費							項 5		保健体育費		
									目 3		学校給食費		
まちのテーマ		第1節_ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		35		
施 策 目 標		心豊かにたくましく生きる子どもの育成							前年度評価 方向性		R元 新規事業		
施 策 項 目		基礎的な学力・体力の向上											
個 別 計 画													

事業の目的	①教職員の働き方改革の一つとして、学校給食費を公会計化し、市が徴収管理。②学校給食用食材の納入に関し業者の登録を義務付け。③地産地消の推進。	意 図	①教職員や保護者の負担軽減と、学校給食費の透明性・公平性を確保。②安心安全な食材、安定した価格・供給の確保。③地域食材の活用を図り、郷土食の食育及び郷土愛を育む。
-------	--	-----	---

事業の内容	- 学校給食費の賦課徴収 ・ 納入業者の登録業務 - 納入業者への食材費の支払い - 滞納相談 ・ 児童手当等の給食費への充当		
-------	---	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）			106,568,150	106,568,150	皆増
	財源内訳					
	特定財源			103,033,405	103,033,405	皆増
	一般財源			3,534,745	3,534,745	皆増

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
123,058,000	-14,086,000	0	0	108,972,000	106,568,150	0
不用額	特定財源	細部名	学校給食費			
2,403,850	内訳	金額	103,033,405			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○未収金対応

- ・児童手当による徴収
85件、451,910円
- ・就学援助費からの充当（振替）
643件、3,242,550円
- ・生活保護費からの充当（振替）
30件、199,925円

○納入業者登録状況（元年度末）

- ・市内：33件
- ・市外：10件

○大町を味わう日

- ・年2回実施



◆ 事業の成果

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		257	
担 当 課		教育委員会 部		山岳博物館 課		山岳博物館 係		款	10	教育費		
事 務 事 業 名		山岳博物館教育普及事業							項	6	山岳博物館費	
									目	1	山岳博物館費	
ま ち の テ ー マ		第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁			
施 策 目 標		生きがいに満ちた生涯学習の機会の提供							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		多様な分野の学習活動の充実と促進										
個 別 計 画		第7期 社会教育計画										

事業の目的	対象	市内小中学生及び大町市を訪れる観光客。	意図	山岳文化の継承及び教育普及事業を推進。
-------	----	---------------------	----	---------------------

事業の内容	令和元年度は、企画展「北アルプスの山小屋」を開催し、関連事業として「上高地徳本峠小屋」など歴史的な山小屋の現地見学会や「建築からみた山小屋」の講演会などを実施。また主だった博物館主催の教育普及事業として、「チベット・シュエラブカンリ初登頂と高所順応」。また冬期間の入館者増のため「常設展スペシャルガイド」など開催。				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	4,196,348	3,949,522	3,409,083	-540,439	-13.7%
	財源内訳					
	特定財源	1,661,450	3,000,000		-3,000,000	皆減
	一般財源	2,534,898	949,522	3,409,083	2,459,561	259.0%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
4,380,000	0	0	0	4,380,000	3,409,083	0
不用額	特定財源	細節名				
970,917	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

常設展示：展示資料 1,110点（収蔵資料64,432点）

企画展「北アルプスの山小屋」の開催：観覧者数7,990人

企画展関連事業 ミュージアムトーク3日・合計6回実施

講演会「建築からみた北アルプスの山小屋」：参加者35人

上高地徳本峠小屋ほか現地見学会：参加者22人

講演会「チベットシュエラブカンリ初登頂」：参加者37人

ふぞくえんまつり（10日間）：参加者延べ3,187人

さんばくこども夏期だいがく「親子の化石教室」参加者34人

みんなで温暖化ウォッチ「セミのぬけがらを探せ！」参加28人

常設展スペシャルガイド（5日間）参加者計58人

総合的な学習・職業体験学習等 16校・1,469人参加

観察会・講演会への講師派遣 57回・1,430人参加

博物館実習生の受け入れ：6人

広報誌「山と博物館」の発行：発行部数10,500部×年4回

研究紀要の発行：発行部数500部

博物館年報の発行：発行部数200部 など



企画展に伴い山小屋見学会風景

◆ 事業の成果

計画したものについては、すべて開催し、市民からの感想も好評である。

◆ 前年からの改善点等

毎年開催していた付属園まつりは、平成30年度に抜本的な内容の見直しを行い、新たに視点を变えて令和元年度より再開した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書				会計	一般会計			決算書頁	259
担 当 課	教育委員会	部	山岳博物館	課	山岳博物館	係	款	10	教育費
事 務 事 業 名	山岳博物館調査研究事業						項	6	山岳博物館費
							目	1	山岳博物館費
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		46
施 策 目 標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	山岳文化の振興と活用								
個 別 計 画	第7期 社会教育計画								

事業の目的	対象	市民並びに博物館を訪れる観覧者。	意図	大学や研究機関との連携を推進し、北アルプス及び山麓地域のにおける自然や文化における自然や文化に関する調査、研究活動の進化を図る。社会教育施設としてのレファレンスサービスを充実させる。
-------	----	------------------	----	---

事業の内容	令和元年度の主な調査研究事業 ・「高山植物の生活史に関する研究」 ・「大北地域の植物分布調査」 ・「ニホンライチョウの飼育、増殖技術確立を目指した研究」 ・「博物学に関する現地調査」 ・「爺ヶ岳(タネマキジイサン)雪形伝承に関する資料調査」 ・「北アルプスの山小屋」に関する現地調査・聞き取り調査など。			
-------	--	--	--	--

決算数値(単位:円)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	総事業費(決算額)	1,208,477	248,686	246,067	-2,619	-1.1%
	財源内訳				0	-
	一般財源	1,208,477	248,686	246,067	-2,619	-1.1%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
294,000				294,000	246,067	
不用額	特定財源	細節名				
47,933	内訳	金額				

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

主な調査研究項目

・自然科学系

「高山植物の生活史に関する研究」→R3年に企画展予定
 「大北地域の植物分布調査」
 「ライチョウの飼育・増殖技術確立を目指した研究」
 「博物学に関する現地調査」→R2年に企画展「博物学と登山」
 「爺ヶ岳(タネマキジイサン)雪形伝承に関する資料調査」→紀要
 「北アルプスの山小屋」の現地調査及び聞き取り→R元年に企画展実施
 「セミの抜け殻を探せ」(子供を対象とした温暖化調査)など



◆ 事業の成果

企画展「北アルプスの山小屋」展として展開する。
 各調査は今後企画展や、研究紀要、広報誌「山と博物館」、
 さんばく研究最前線などに順次展示、公開される。

子ども達と一緒にの
 セミの抜け殻調査風景

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	一般会計			決算書頁	259
担 当 課		教育委員会 部	山岳博物館 課		山岳博物館 係		款	10	教育費	
事 務 事 業 名		山岳資料収集保管事業						項	6	山岳博物館費
								目	1	山岳博物館費
まちのテーマ		第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち						前期計画登載頁		46
施 策 目 標		芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目		山岳文化の振興と活用								
個 別 計 画		第7期 社会教育計画								

事業の目的	対象	博物館の展示資料、文献など、博物館の機能充実のために、市民や観覧者を対象として、自然科学資料及び人文科学資料の購入や寄贈を受け入れる。	意図	新たに受け入れた資料については、展示に活用するとともに、将来の基礎資料として厳密な保管管理を行う。また受け入れた資料の整理を行い、後世に亘り活用できるよう適正に保存管理を行う。
-------	----	---	----	--

事業の内容	新規資料の購入や寄贈の受け入れ。寄贈資料については、資料の受入のための手続き、整理作業を実施。また保存管理のため忌避剤などにより害虫の防除を実施。併せて新たな資料の受入の際には、浸透性の高いフッ化スルフルリル系製剤による包み込み燻蒸を実施し、資料の永続的な保管を行っている。				
-------	---	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成２９年度	平成３０年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		2,834,147	3,497,664	2,739,893	-757,771	-21.7%
	財源内訳	特定財源			764,000	764,000	皆増
		一般財源	2,834,147	3,497,664	1,975,893	-1,521,771	-43.5%

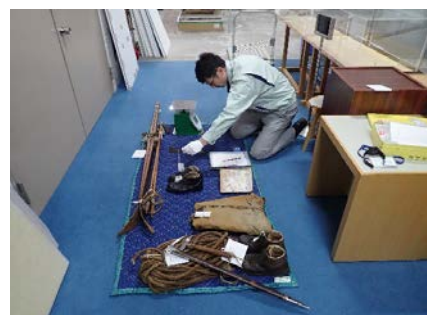
令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
3,040,000	0	0	0	3,040,000	2,739,893	0
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金 繰入金			
300,107	内訳	金額	764,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

資料整理 山岳博物館資料整理臨時職員1名
年間を通じ学芸員の指導に基づき資料整理を実施

資料収集 令和元年度の寄贈・購入による収集資料
自然科学系（化石標本） 6件・一式・1,217点
人文科学系（山岳資料ほか） 7件 751点



寄贈資料整理風景

◆ 事業の成果

年間を通じ寄贈いただいた資料については、その年度内で資料整理を行い、保管管理に移行する。

◆ 前年からの改善点等

これまで積み残してきた資料の整理についても、近年の2年間でほぼ見通しがついてきている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		259	
担 当 課		教育委員会 部		山岳博物館 課		山岳博物館 係		款	10	教育費		
事 務 事 業 名		動植物飼育栽培繁殖事業							項	6	山岳博物館費	
									目	1	山岳博物館費	
まちのテーマ		第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		46	
施 策 目 標		芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実							前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目		山岳文化の振興と活用										
個 別 計 画		第7期 社会教育計画										

事業の目的	対象	市民並びに来館者を対象として、貴重な野生動物を保護し飼育・繁殖及び栽培、調査研究を行いつつ、北アルプスから山麓に生息する生物の生体展示。	意図	博物館本館の展示と連携した野生動植物の飼育・栽培及び繁殖・増殖を行い、山岳博物館としての機能の充実を図る。
-------	----	--	----	---

事業の内容	付属園の機能・役割として、博物館本館では伝えきれない生体展示としての動物や植物の実物の姿を見ていただき、その生態の不思議と命の大切さを伝える。また飼育栽培している動植物を活用した調査研究及び教育普及活動を実践する。また付属園の目的を達成するため、施設整備に努める。				
-------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	9,272,898	6,457,837	6,550,736	92,899	1.4%
	財源内訳	特定財源	156,000	174,000	126,000	-48,000 -27.6%
		一般財源	9,116,898	6,301,837	6,424,736	122,899 2.0%

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
7,000,000	0	0	0	7,000,000	6,550,736	0
不用額	特定 財源	細節名	傷病鳥獣救護委託料			
449,264	内訳	金額	126,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

動物飼育：哺乳類3種（8個体）、鳥類7種（24個体）
 プリーディングローン（カモシカ）：貸出数2個体
 内訳：富山市ファミリーパーク（平成15年～）
 埼玉県こども動物自然公園（平成21年～）

栽培植物：種数 アズミノハラオモダカ他68種類



カモシカの飼育風景

◆ 事業の成果

令和元年度における一般動物の死亡個体はなし。飼育に関しては適切に管理されている。
 傷病鳥獣の受け入れは、現在実施していないが、これまで受け入れた個体については、適切に保護、管理がなされている。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計		一般会計		決算書頁		259	
担 当 課	教育委員会 部		山岳博物館 課		山岳博物館 係		款	10	教育費			
事 務 事 業 名	ライチョウ飼育事業							項	6	山岳博物館費		
								目	1	山岳博物館費		
まちのテーマ	第1節「ふるさとに誇りを持つひとを育むまち							前期計画登載頁		46		
施 策 目 標	芸術・文化・スポーツに親しむ機会の充実							前年度評価 方向性		継続		
施 策 項 目	山岳文化の振興と活用											
個 別 計 画	第7期 社会教育計画											

事業の目的	対象	対象は、ニホンライチョウ及びスバルバルライチョウ。	意図	環境省のニホンライチョウ保護増殖事業の一環として、ライチョウの生息域外保全事業に寄与。保護増殖技術の確立。ライチョウについて調査研究及び一般公開による教育普及の推進。
-------	----	---------------------------	----	---

事業の内容	- ニホンライチョウの繁殖、飼育事業及びスバルバルライチョウの飼育事業の実施。 - ニホンライチョウ及びスバルバルライチョウの生態の調査研究・教育普及の実施。 - ニホンライチョウ及びスバルバルライチョウの一般公開・展示による教育普及。			
-------	--	--	--	--

決算数値（単位：円）		年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	財源内訳	総事業費（決算額）	6,072,563	10,186,368	7,974,768	-2,211,600	-21.7%
		特定財源		8,000,000	3,016,000	-4,984,000	-62.3%
		一般財源	6,072,563	2,186,368	4,958,768	2,772,400	126.8%

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,750,000	0	0	0	8,750,000	7,974,768	0
不用額	特定財源	細節名	ふるさと応援基金繰入金			
775,232	内訳	金額	3,016,000			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

現在のライチョウの飼育数

- スバルバルライチョウ（現在メス2羽）
 - R元年12月 繁殖のため飯田動物園へメス1羽譲渡。
 - R2年2月 繁殖のため富山市ファミリーパークへメス1羽譲渡。
 - R2年3月 繁殖のため横浜市繁殖センターからオス1羽受け入れ。



ニホンライチョウの飼育状況

- ニホンライチョウ（現在オス5羽・メス3羽）
 - 年度当初飼育していた6羽の個体について、1ツガイを飼育繁殖技術向上の観点から繁殖に取り組んだ結果、7羽の雛が誕生した。産まれた7羽のうち4羽が死亡。残りの3羽が現在まで生育している。

また遺伝的多様性を考慮した取り組みにより、平成29年産まれたメスの1羽を、いしかわ動物園に生体移動させた。令和2年3月現在、オス5羽、メス3羽の計8羽を飼育している。

◆ 事業の成果

H31年3月より、ニホンライチョウの公開が始まり、現在は2羽のライチョウを公開展示している。

◆ 前年からの改善点等

懸案であったニホンライチョウの公開が開始された。見学時間もこれまでの時間限定での公開から終日の公開となり、来館する方々が利用しやすく改善が図られた。

国民健康保険特別会計（事業勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款	項		令和元年度 収入済額	平成30年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1		国民健康保険税	527,533,035	557,959,544	-30,426,509	-5.5
	1	国民健康保険税	527,533,035	557,959,544	-30,426,509	-5.5
2		使用料及び手数料	377,800	456,900	-79,100	-17.3
	1	手数料	377,800	456,900	-79,100	-17.3
3		国庫支出金	190,000	0	190,000	皆増
	1	国庫補助金	190,000	0	190,000	皆増
4		県支出金	2,189,996,697	2,168,862,669	21,134,028	1.0
	1	県補助金	2,189,996,697	2,168,862,669	21,134,028	1.0
5		財産収入	269,308	165,493	103,815	62.7
	1	財産運用収入	269,308	165,493	103,815	62.7
6		繰入金	245,586,085	208,638,526	36,947,559	17.7
	1	他会計繰入金	211,586,085	208,638,526	2,947,559	1.4
	2	基金繰入金	34,000,000	0	34,000,000	皆増
7		繰越金	32,062,701	218,993,702	-186,931,001	-85.4
	1	繰越金	32,062,701	218,993,702	-186,931,001	-85.4
8		諸収入	32,439,638	8,453,733	23,985,905	283.7
	1	延滞金及び加算金	3,842,294	3,544,555	297,739	8.4
	2	預金利子	0	0	0	-
	3	貸付金元利収入	458,379	2,313,000	-1,854,621	-80.2
	4	雑入	28,138,965	2,596,178	25,542,787	983.9
合計			3,028,455,264	3,163,530,567	-135,075,303	-4.3

歳出

(単位：円)

款 項	令和元年度 支出済額	平成30年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1 総務費	20,757,246	17,431,646	3,325,600	19.1
1 総務管理費	10,673,630	7,615,656	3,057,974	40.2
2 徴税費	10,002,016	9,684,990	317,026	3.3
3 運営協議会費	81,600	131,000	-49,400	-37.7
2 保険給付費	2,140,066,042	2,111,013,879	29,052,163	1.4
1 療養諸費	1,849,785,587	1,840,413,639	9,371,948	0.5
2 高額療養諸費	283,393,935	262,227,090	21,166,845	8.1
3 移送費	0	0	0	-
4 出産育児諸費	5,866,520	7,143,150	-1,276,630	-17.9
5 葬祭諸費	1,020,000	1,230,000	-210,000	-17.1
3 国民健康保険事業費納付金	770,661,873	742,642,747	770,661,873	3.8
1 医療給付費分	535,639,869	525,678,446	525,678,446	1.9
2 後期高齢者支援金等分	173,743,993	165,859,242	165,859,242	4.8
3 介護納付金分	61,278,011	51,105,059	51,105,059	19.9
4 共同事業拠出金	0	0	0	-
1 共同事業拠出金	0	0	0	-
5 財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
1 財政安定化基金拠出金	0	0	0	-
6 保健事業費	36,360,438	37,965,387	-1,604,949	-4.2
1 特定健康診査等事業費	19,668,487	21,444,222	-1,775,735	-8.3
2 保健事業費	16,691,951	16,521,165	170,786	1.0
7 基金積立金	269,308	152,165,493	-151,896,185	-99.8
1 基金積立金	269,308	152,165,493	-151,896,185	-99.8
8 公債費	0	0	0	-
1 公債費	0	0	0	-
9 諸支出金	39,162,702	70,248,714	-31,086,012	-44.3
1 償還金及び還付加算金	24,222,323	46,200,714	-21,978,391	-47.6
2 繰出金	14,548,000	21,711,000	-7,163,000	-33.0
3 貸付金	392,379	2,337,000	-1,944,621	-83.2
10 予備費	0	0	0	-
1 予備費	0	0	0	-
合計	3,007,277,609	3,131,467,866	-124,190,257	-4.0

国民健康保険特別会計（八坂診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款	項	令和元年度収入済額	平成30年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1	診療収入	30,058,436	32,978,664	-2,920,228	-8.9
	1 外来収入	28,521,721	31,813,455	-3,291,734	-10.3
	2 その他の診療収入	1,536,715	1,165,209	371,506	31.9
2	使用料及び手数料	163,590	160,355	3,235	2.0
	1 手数料	163,590	160,355	3,235	2.0
3	繰入金	24,860,000	20,176,000	4,684,000	23.2
	1 他会計繰入金	18,057,000	12,041,000	6,016,000	50.0
	2 事業勘定繰入金	6,803,000	8,135,000	-1,332,000	-16.4
4	繰越金	1,218,010	1,392,111	-174,101	-12.5
	1 繰越金	1,218,010	1,392,111	-174,101	-12.5
5	諸収入	242,000	384,480	-142,480	-37.1
	1 雑入	242,000	384,480	-142,480	-37.1
合計		56,542,036	55,091,610	1,450,426	2.6

歳出

（単位：円）

款	項	令和元年度支出済額	平成30年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1	総務費	39,207,133	37,841,940	1,365,193	3.6
	1 施設管理費	39,207,133	37,841,940	1,365,193	3.6
2	医業費	16,099,788	16,031,660	68,128	0.4
	1 医業費	16,099,788	16,031,660	68,128	0.4
3	予備費	0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
合計		55,306,921	53,873,600	1,433,321	2.7

国民健康保険特別会計（美麻診療所直診勘定）決算対前年度比較

歳入

（単位：円）

款	項	令和元年度収入済額	平成30年度収入済額	前年度差額	増減率(%)
1	診療収入	15,332,923	12,671,847	2,661,076	21.0
	1 外来収入	12,645,078	12,529,078	116,000	0.9
	2 その他の診療収入	2,687,845	142,769	2,545,076	1,782.7
2	使用料及び手数料	191,130	94,355	96,775	102.6
	1 手数料	191,130	94,355	96,775	102.6
3	繰入金	16,495,000	29,074,000	-12,579,000	-43.3
	1 他会計繰入金	12,226,000	16,155,000	-3,929,000	-24.3
	2 事業勘定繰入金	4,269,000	12,919,000	-8,650,000	-67.0
4	繰越金	1,860,368	1,096,787	763,581	69.6
	1 繰越金	1,860,368	1,096,787	763,581	69.6
5	諸収入	1,298,199	379,124	919,075	242.4
	1 雑入	1,298,199	379,124	919,075	242.4
合計		35,177,620	43,316,113	-8,138,493	-18.8

歳出

（単位：円）

款	項	令和元年度支出済額	平成30年度支出済額	前年度差額	増減率(%)
1	総務費	25,018,257	35,469,703	-10,451,446	-29.5
	1 施設管理費	25,018,257	35,469,703	-10,451,446	-29.5
2	医業費	8,248,598	5,986,042	2,262,556	37.8
	1 医業費	8,248,598	5,986,042	2,262,556	37.8
3	予備費	0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
合計		33,266,855	41,455,745	-8,188,890	-19.8

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	国民健康保険特別会計	決算書頁	21
担当課	民生部 市民課	国保・年金係	款 6
事業名	特定健診・保健指導事業	項 1	特定健康診査等事業費
		目 1	特定健康診査等事業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち	前期計画登載頁	64
施策目標	健康で長生きできる社会の実現	前年度評価 方向性	継続
施策項目	健康づくりの推進		
個別計画	大田市特定健診等実施計画		

事業の目的	対象	大田市国民健康保険加入者に対し、特定健康診査及び保健指導を実施する。	意図	特定健診により生活習慣病を発症するリスクの高い者を明確にし、保健指導により生活習慣の改善に向けた働きかけをすることで、被保険者の生活習慣病発症予防・重症化予防を充実させるとともに、医療費の伸びを抑制し、国保財政の健全運営を図る。
-------	----	------------------------------------	----	--

事業の内容	特定健診（診察、身長・体重・腹囲、血液検査、尿検査）の実施 特定保健指導及びそれ以外の保健指導の実施 健診結果報告会の実施
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		21,686,242	21,444,222	19,668,487	-1,775,735	-8.3%
	財源内訳	特定財源	15,643,000	21,444,222	19,668,487	-1,775,735	-8.3%
		一般財源	6,043,242			0	-

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
23,767,000	-782,000			22,985,000	19,668,487	
不用額	特定財源	細節名	保険者努力支援分	特別調整交付金、県繰入金	特定健康診査等負担金	保健事業徴収金
3,316,513	内訳	金額	9,021,487	4,214,000	6,206,000	227,000

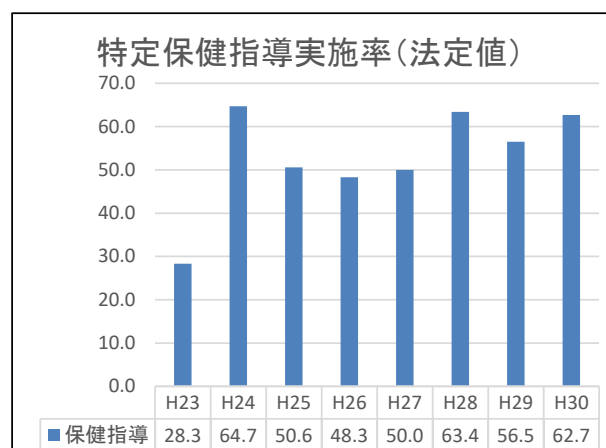
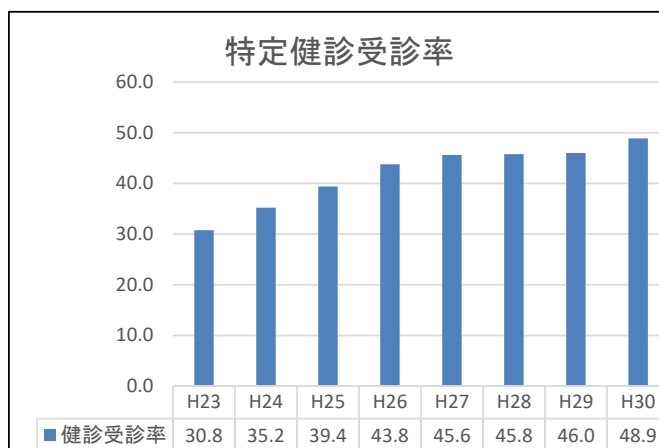
事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

- 特定健診受診者数（暫定値）
- ・特定健診 1,410 人
 - ・検査結果代行業務 246 人
 - ・職場健診受診者 100 人
 - ・人間ドック受診者数 672 人
- 特定保健指導実施者数（暫定値） 346 人

◆ 事業の成果

- 特定健診受診率及び特定保健指導実施率（法定値）



◆ 前年からの改善点等

- ・未申込者全員に特定健診受診券の送付。
- ・40～50歳代の健診未受診者に電話で受診勧奨を実施。
- ・新規国保加入者の加入手続き時に健診の案内を行い、申し込みをその場で受付した。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	国民健康保険特別会計	決算書頁	23
担当課	民生部	市民課	国保・年金係
事務事業名	保健衛生費	項	2
		目	1
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち	前期計画登載頁	64
施策目標	健康で長生きできる社会の実現	前年度評価 方向性	継続
施策項目	健康づくりの推進		
個別計画	大町市特定健診等実施計画		

事業の目的	- 被保険者に自身のかかった医療費の総額が分かる医療費通知と後発医薬品（ジェネリック医薬品）利用差額通知を発送。 - 被保険者のうち人間ドック受診者に費用の一部を助成する。	- 医療費の総額や後発医薬品の利用差額通知により制度に対する理解を深め、医療費の削減につなげる。 - 人間ドックの助成は、被保険者の健康保持・増進を図ることを目的にしている。
-------	---	--

事業の内容	- 医療費通知…年3回、被保険者に医療機関にかかった時の総医療費をお知らせしている。 - 後発医薬品利用差額通知…年2回後発医薬品に切り替えた場合の差額をお知らせしている。 - 人間ドック助成事業…日帰り及び1泊2日人間ドック、脳ドックを受診した被保険者に対する助成
【助成額】人間ドック	64歳以下 日帰り 20,000円、1泊2日 30,000円、単独脳ドック 18,000円

決算数値（単位：円）						
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率	
総事業費（決算額）	16,663,928	16,521,165	16,691,591	170,426	1.0%	
財源内訳						
特定財源		4,098,778	4,786,513	687,735	16.8%	
一般財源	16,663,928	12,422,387	11,905,078	-517,309	-4.2%	

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
19,669,000	163,000			19,832,000	16,691,951	
不用額	特定財源	細部名	保険者努力支援分	特別調整交付金	県繰入金	
3,140,049	内訳	金額	3,362,513	320,000	1,104,000	

事業の実績・成果

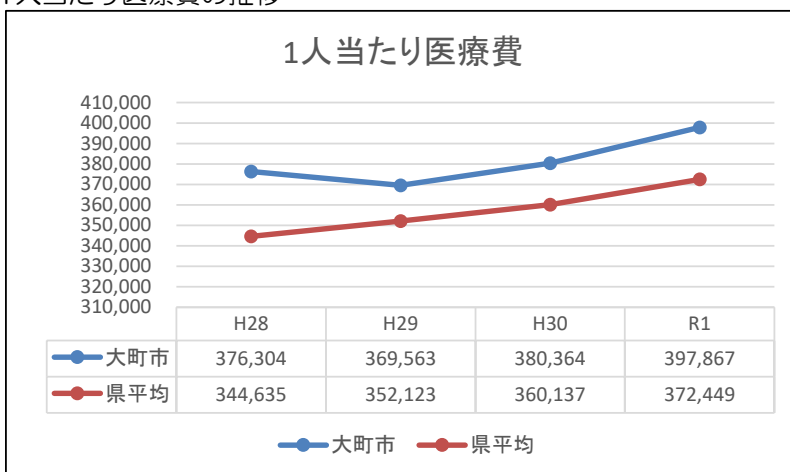
◆ 施策目標に資する活動

○人間ドック受診者数

種類	H29	H30	R1
日帰りドック	609	642	642
1泊2日ドック	25	28	30
脳ドック	14	10	6

◆ 事業の成果

○1人当たり医療費の推移



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	国民健康保険特別会計	決算書頁	27
担 当 課	民生 部	市民 課	国保・年金 係	款	9	諸支出金		
事 務 事 業 名	高額療養費貸付金				項	3	貸付金	
					目	1	高額療養費貸付金	
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち				前期計画登載頁		64	
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現				前年度評価 方向性		継続	
施 策 項 目	安心して受けられる医療の確保							
個 別 計 画								

事業の目的	対象	被保険者のうち、高額な医療費がかかる見込みの人に医療費の貸付を行う。元金として高額療養費を後日充当する。	意図	手術等で高額な医療費がかかる人（特に国保税未納者）に対して、医療の貸付を行い、安心して医療が受けられる環境を確保する。
-------	----	--	----	---

事業の内容	・高額な医療費がかかる被保険者からの医療費の相談受付 ・高額療養費貸付金制度の案内及び受付 ・医療機関からの請求に基づき、医療機関へ支払い ・高額療養費の算定後、貸付金を元利収入として返金
-------	---

決算数値（単位：円）							
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率	
	総事業費（決算額）	1,681,890	2,337,000	392,379	-1,944,621	-83.2%	
	財源内訳	特定財源	1,681,890	2,337,000	392,379	-1,944,621	-83.2%
		一般財源				0	-

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
8,000,000	-7,607,000			393,000	392,379	
不用額	特定財源	細節名	高額療養費貸付金元利収入			
621	内訳	金額	392,379			

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○高額療養費貸付件数

H29年度23件、H30年度25件、R1年度12件

◆ 事業の成果

入院等で高額な医療がかかる場合、本来限度額適用認定証により被保険者が負担すべき限度額まで医療機関の窓口で払う制度があり、通常その制度を利用し、高額な一部負担金は払わなくて良い仕組みがある。高額療養費貸付金を利用する人は、限度額適用認定証の申請漏れのほか、主は国保税未納世帯の被保険者である。

国保税未納世帯の被保険者に対しては、負担と給付の公平性の観点から限度額適用認定証を交付せず、高額な医療費がかかる場合は、国保税の納税相談とともに高額療養費貸付制度を案内している。

年度により利用者数や金額に差があるが、制度がなくなると医療機関への支払いが困難になる被保険者が発生するため、制度を維持していくことは必要であり、義務的経費と考える。

令和元年度 主要な施策の成果説明書

会計	国民健康保険特別会計	決算書頁	43
担当課	民生部	市民課	国保・年金係
事務事業名	診療所医業費	項	1
		目	1
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち	前期計画登載頁	64
施策目標	健康で長生きできる社会の実現	前年度評価 方向性	継続
施策項目	安心して受けられる医療の確保		
個別計画			

事業の目的	対象	八坂地区の地域医療の充実及び健康づくりの推進	意図	八坂地区の医療の核として診療所を運営し、八坂地区の住民が安心して医療を受けられる環境を確保し、健康の保持・増進を図る。
-------	----	------------------------	----	---

事業の内容	八坂診療所の診療に係る医薬品、検査委託料、医療用機器（備品）などに係る経費
-------	---------------------------------------

決算数値（単位：円）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
事業費	年度					
	総事業費（決算額）	19,985,571	16,031,660	16,099,788	68,128	0.4%
	財源内訳					
	特定財源	19,985,571	16,031,660	16,099,788	68,128	0.4%
	一般財源				0	-

令和元年度 当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
20,905,000	-4,677,000		-123,240	16,104,760	16,099,788	
不用額	特定財源	細節名	診療収入			
4,972	内訳	金額	16,099,788			

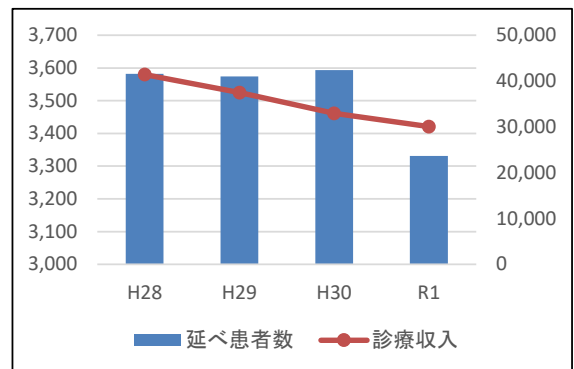
事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○患者数と診療収入の推移

（単位：人・千円）

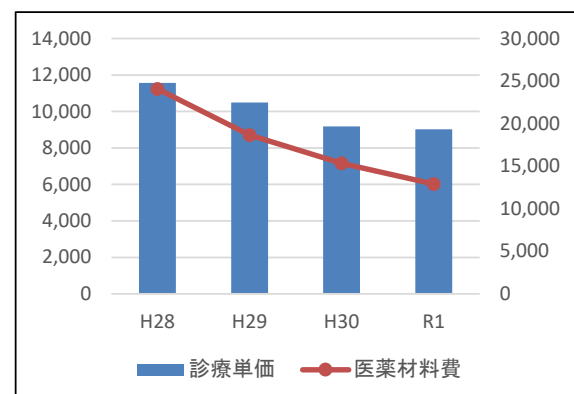
	H28	H29	H30	R1
延べ患者数	3,582	3,574	3,593	3,331
診療収入	41,413	37,512	32,978	30,058



○診療単価と医薬材料費の推移

（単位：円・千円）

	H28	H29	H30	R1
診療単価	11,561	10,496	9,178	9,023
医薬材料費	24,084	18,646	15,350	12,905



令和元年度 主要な施策の成果説明書

令和元年度 主要な施策の成果説明書					会計	国民健康保険特別会計		決算書頁	59
担 当 課	民生	部	市民	課	国保・年金	係	款	2	医業費
事 務 事 業 名	診療所医業費						項	1	医業費
							目	1	医業費
まちのテーマ	第3節_だれもが健康で安心して暮らせるまち						前期計画登載頁		64
施 策 目 標	健康で長生きできる社会の実現						前年度評価 方向性		継続
施 策 項 目	安心して受けられる医療の確保								
個 別 計 画									

事業の目的	対象	美麻地区の地域医療の充実及び健康づくりの推進	意図	美麻地区の医療の核として診療所を運営し、美麻地区の住民が安心して医療を受けられる環境を確保し、健康の保持・増進を図る。
-------	----	------------------------	----	---

事業の内容	美麻診療所の運営に係る医薬品、検査委託料、医療用機器（備品）などに係る経費					
-------	---------------------------------------	--	--	--	--	--

決算数値（単位：円）							
事業費	年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）		8,482,674	5,986,042	8,248,598	2,262,556	37.8%
	財源内訳	特定財源	8,482,674	5,986,042	8,248,598	2,262,556	37.8%
		一般財源				0	-

令和元年度当初予算額	補正予算額	繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計	支出済額	翌年度繰越額
12,735,000	-3,954,000		-529,350	8,251,650	8,248,598	
不用額	特定財源	細節名	診療収入			
3,052	内訳	金額	8,248,598			

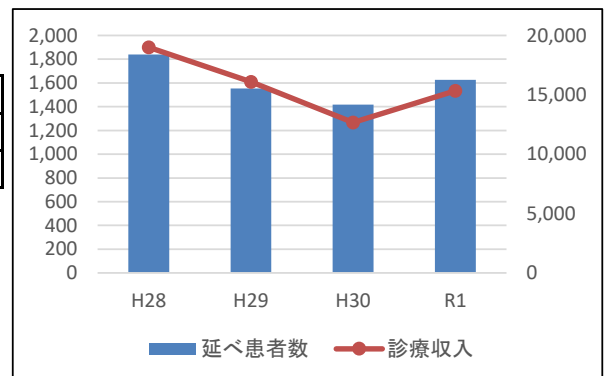
事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○患者数と診療収入の推移

（単位：人・千円）

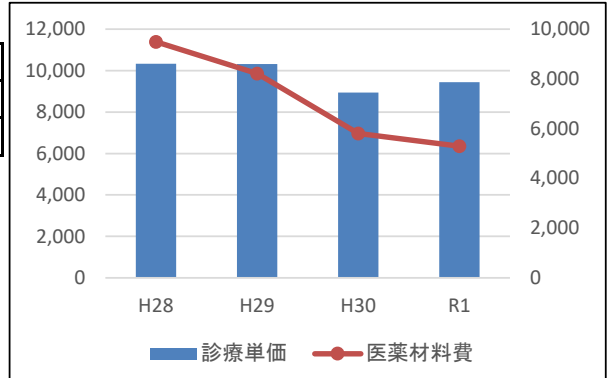
	H28	H29	H30	R1
延べ患者数	1,840	1,554	1,417	1,623
診療収入	19,003	16,086	12,671	15,333



○診療単価と医薬材料費の推移

（単位：円・千円）

	H28	H29	H30	R1
診療単価	10,328	10,351	8,942	9,447
医薬材料費	9,492	8,215	5,808	5,294



公営簡易水道事業特別会計決算対前年度比較

歳入

(単位：円)

款	項	令和元年度 収入済額	平成30年度 収入済額	前年度差額	増減率 (%)
1	使用料及び手数料	42,829,455	42,846,587	-17,132	-0.0
	1 使用料	42,798,955	42,825,187	-26,232	-0.1
	2 手数料	30,500	21,400	9,100	42.5
2	分担金及び負担金	913,000	0	913,000	皆増
	1 分担金	176,000	0	176,000	皆増
	2 負担金	737,000	0	737,000	皆増
3	繰入金	111,929,000	137,383,000	-25,454,000	-18.5
	1 繰入金	111,929,000	137,383,000	-25,454,000	-18.5
4	繰越金	19,454,382	38,228,276	-18,773,894	-49.1
	1 繰越金	19,454,382	38,228,276	-18,773,894	-49.1
5	諸収入	119,271	161,540	-42,269	-26.2
	1 雑入	0	7,668	-7,668	皆減
	2 延滞金加算金及び過料	0	0	0	-
	3 受託事業収入	119,271	153,872	-34,601	-22.5
6	市債	26,500,000	24,100,000	2,400,000	10.0
	1 市債	26,500,000	24,100,000	2,400,000	10.0
合計		201,745,108	242,719,403	-40,974,295	-16.9

歳出

(単位：円)

款	項	令和元年度 支出済額	平成30年度 支出済額	前年度差額	増減率 (%)
1	総務費	70,079,382	75,973,190	-5,893,808	-7.8
	1 一般管理費	40,514,113	35,810,301	4,703,812	13.1
	2 施設管理費	29,565,269	40,162,889	-10,597,620	-26.4
2	建設改良費	57,885,359	66,100,650	-8,215,291	-12.4
	1 建設改良費	57,885,359	66,100,650	-8,215,291	-12.4
3	公債費	61,694,802	81,191,181	-19,496,379	-24.0
	1 公債費	61,694,802	81,191,181	-19,496,379	-24.0
4	予備費	0	0	0	-
	1 予備費	0	0	0	-
合計		189,659,543	223,265,021	-33,605,478	-15.1

会計	公営簡易水道事業特別会計	決算書頁	15
----	--------------	------	----

事業の目的	対象	・ 18か所ある水源の涵養機能の維持 ・ 老朽管路・施設の計画的更新	意図	水源水質保全の強化に努め、更新時期を迎える管路・施設の耐震化を促進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。
	内容	18か所ある水源の涵養機能の維持、老朽管路・施設の計画的更新		水源水質保全の強化に努め、更新時期を迎える管路・施設の耐震化を促進し、安全な水道水を安定して供給することを目的としている。

決算数値（単位：円）						
事業費	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年差額	増減率
	総事業費（決算額）	52,768,800	66,100,650	57,885,359	-8,215,291	-12.4%
	財源内訳					
	特定財源	52,768,800	66,100,650	57,885,359	-8,215,291	-12.4%
	一般財源				0	-

事業の実績・成果

◆ 施策目標に資する活動

○送配水管布設替工事	美麻青具	減圧弁	φ50	n=1基
		送水管	HPPEφ50・75・100	L= 17m
	美麻新行	導水管	HPPEφ50・75・100	L= 46m



191